

# 宮久保遺跡

(一)石田川C1調節池社会資本総合整備(防災・安全)事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2016

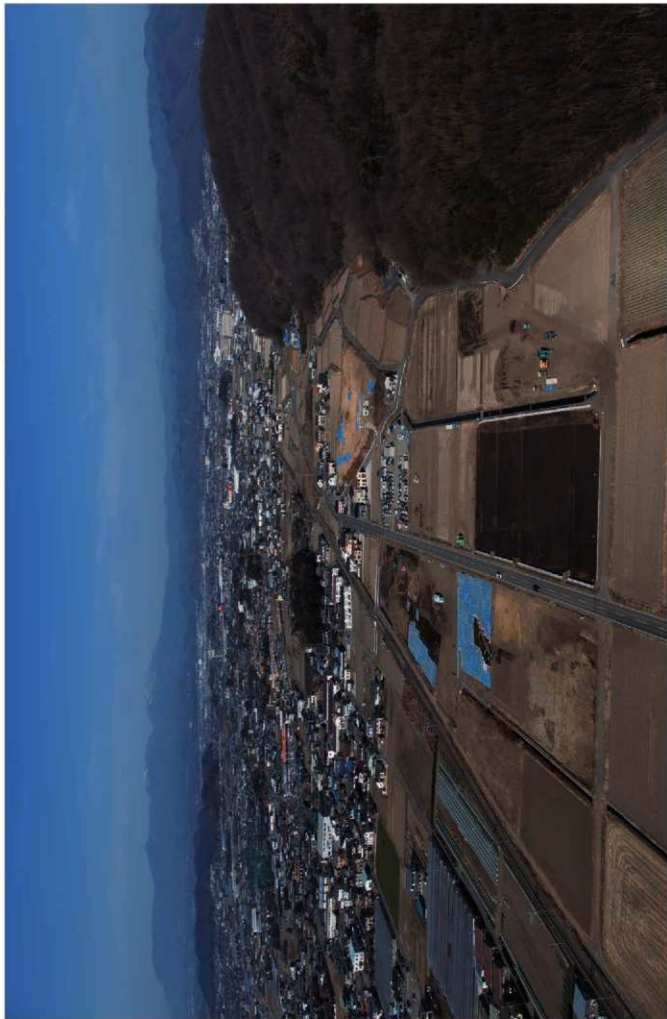
群馬県桐生土木事務所  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

# 宮久保遺跡

(一)石田川C1調節池社会資本総合整備(防災・安全)事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2016

群馬県桐生土木事務所  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



宮久保遺跡全景（正面左に赤城山をのぞむ） 南から

## 序

本書は、平成24・25年度社会資本総合整備事業に伴い発掘調査を実施し、平成26・27年度には、(一)石田川C1調節池社会資本総合整備(防災・安全)事業の一環として、整理業務を行った宮久保遺跡の発掘調査報告書です。

本事業の対象となる石田川圏域においては、幾度となく河川改修をはじめとする治水対策が施されてきました。しかし、昨今の石田川圏域の地域開発はめまぐるしく変化するところでもあり、石田川流域の流量変化による対応が急がれるところでもあります。また、気候変動の影響もあり、60年に一度の大洪水に備えるための整備も喫緊の課題であります。そして、石田川圏域において、豪雨時の河川流入を軽減させ、県民の生命財産を守ることを目的に、調整池が整備される運びとなりました。

ここに報告する宮久保遺跡は、縄文時代～近世にわたる遺構・遺物が発見された複合遺跡です。弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代の竪穴住居、浅間山の噴火災害(1108年)の農地の復旧作業痕と考えられる耕作痕や畑、溝に区画された中世の掘立柱建物群等々、出土した遺構と遺物は多岐にわたります。その中で特に、弥生時代中期後半の竪穴住居と埋設土器の発見は、遺跡のある八王子丘陵周辺のみならず、大間々扇状地周辺地域にとって、大変貴重な発見になりました。

本報告書の作成にあたっては、桐生土木事務所、群馬県教育委員会、みどり市教育委員会、地元関係者の皆様より、多大なるご指導、ご協力を賜りました。これらの皆様に、心より感謝の意を表しますとともに、本書が地域における歴史の解明に資することを願ひまして、序といたします。

平成28年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 中野三智男





## 例 言

- 1 本書は、平成24・25年度社会資本総合整備事業に伴い発掘調査し、平成26・27年度(一)石田川C1調節池社会資本総合整備(防災・安全)事業に伴い整理作業を行った宮久保遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 所在地 群馬県みどり市笠懸町阿左美3836、3837-1、3837-2、3840-1、3841-1、3842-3、3844、3845、3846、3847、3848、3849、3850、3851、3853-1、3856-1、3856-2、3857-1、3858-1、3862-1、3863、3864、3865、3866-1、3866-2他
- 3 事業主体 群馬県桐生土木事務所
- 4 調査主体 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 5 発掘調査の期間と体制は次のとおりである。

(平成25年度)

### 「宮久保遺跡」

履行期間 平成25年10月1日～平成26年3月31日

調査期間 平成25年12月1日～平成26年3月31日

調査担当 菊池実(上席専門員) 麻生敏隆(上席専門員) 齊藤利昭(上席専門員)

藤井義徳(主任調査研究員) 小野隆(主任調査研究員)

### 「宮久保遺跡2」

履行期間 平成25年12月1日～平成26年3月31日

調査期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日

調査担当 関根慎二(上席専門員・調査統括) 小林正(専門員(主任)) 相京建史(専門調査役)

遺跡掘削工事請負 スナガ環境測設株式会社

地上測量委託 株式会社シン技術コンサル北関東支店

空中写真撮影委託 株式会社シン技術コンサル北関東支店

テフラ分析委託 株式会社火山灰考古学研究所

植物珪酸体分析委託 バリノ・サーヴェイ株式会社

(平成26年度)

### 「宮久保遺跡」

履行期間 平成26年3月31日～平成26年11月30日

調査期間 平成26年4月1日～平成26年9月30日

調査担当 関根慎二(上席専門員・調査統括) 菊池実(上席専門員) 藤井義徳(主任調査研究員)

小野隆(主任調査研究員)

遺跡掘削工事請負 スナガ環境測設株式会社

地上測量委託 株式会社シン技術コンサル北関東支店

空中写真撮影委託 株式会社シン技術コンサル北関東支店

- 6 整理事業の期間と体制は次のとおりである。

(平成26年度)

履行期間 平成26年11月1日～平成27年3月31日

整理期間 平成26年11月1日～平成27年3月31日

整理担当 田村博(主任調査研究員)

(平成27年度)

履行期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

整理期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

整理担当 飛田野正佳(専門調査役)

獣歯・人歯鑑定委託 宮崎重雄

7 本書作成担当は次のとおりである。

編集 飛田野正佳・田村博

本文執筆 第1章・第2章：田村博 第3章：田村博・加筆飛田野正佳 第4章：別記委託 第5章：飛田野正佳

遺物観察 石器・石製品：津島秀章(専門員(総括)) 縄文土器・弥生土器：石坂茂(専門調査役)

土師器・須恵器：神谷佳明(専門調査役) 中・近世陶磁器・土器：藤巻幸男(専門調査役)

金属器・木製品：関邦一(補佐(総括))・資料統括)

デジタル編集 齊田智彦(主任調査研究員)

遺物写真撮影 石器・石製品：津島秀章 縄文土器・弥生土器：石坂茂 土師器・須恵器：飛田野正佳

中・近世陶磁器・土器：藤巻幸男 金属器・木製品：関邦一

保存処理 関邦一(補佐(総括))

8 出土遺物および写真・図面等記録類は、群馬県埋蔵文化財調査センターに保管している。

9 発掘調査および報告書作成には、次の関係機関、諸氏にご助言をいただいた。記して感謝いたします。

群馬県教育委員会、みどり市教育委員会、桜井美枝(群馬県教育委員会文化財保護課)

# 凡 例

- 1 本報告書に用いた遺構名称は、発掘調査時の名称を踏襲したが、変更したものもある。
- 2 本報告書に用いた座標・方位は、すべて国家座標「世界測地系(日本測地系2000平面直角座標第IX系)」による。  
座標北と真北との偏差は $X=42000$ 、 $Y=-47300$ で $+0^{\circ}18'45.63''$ である。主軸方位等の計算にもこれを用いた。
- 3 本報告書の遺構図版縮尺は以下の通り。ただし、遺構によってはこの限りではない。  
遺構平面図 竪穴住居・竪穴状遺構1/60、掘立柱建物・柵1/80、ピット・土坑・井戸1/40、製鉄関連遺構1/20、溝1/80、耕作痕群1/200、畑1/100、埋設土器1/10、縄文土器包含層1/40  
カマド・竈1/30  
遺構断面図 溝1/50、畑1/40、他は平面図に同じ。
- 4 本報告書の遺物図版縮尺は以下の通り。ただし、遺物によってはこの限りではない。  
土器・陶・磁器1/3、石製品1/3、鉄製品1/2、銭貨1/1、石器1/2・1/3
- 5 本報告書における遺構略称は以下の通り。  
住…竪穴住居、竪穴…竪穴状遺構、掘…掘立柱建物、柵…柵、P…ピット、製鉄…製鉄関連遺構、土…土坑、井…井戸、溝…溝、耕…耕作痕群、畑…畑
- 6 本報告書の調査区は、『笠懸村宮久保遺跡』1989において報告された調査区と一部重複する部分がある。この時の調査区・遺構については、その名称の前に「笠懸または笠」を付けて記し、本調査におけるものとは区別した。
- 7 本報告書中の遺構断面図の標高値は、原則として断面図下に「L=○○m」のように表記した。
- 8 本報告書における土層断面図及び遺物観察表に記した色調表現は、農林水産省水産技術事務局・財団法人日本色彩研究所色票監修1998『新版標準土色帳』による。
- 9 本報告書におけるテフラ(火山噴出物)の略号は以下の通り(テフラの名称は町田洋・新井房夫1992『火山灰アトラス』東京大学出版会による)。

As-A…浅間A軽石 As-B…浅間B軽石 As-C…浅間C軽石 Hr-FP…榛名ニッ岳伊香保テフラ  
Hr-FA…榛名ニッ岳渋川テフラ As-YP…浅間板鼻黄色軽石 As-BP…浅間板鼻褐色軽石

- 10 遺物図に使用しているスクリントーンの意味は以下の通り。



- 11 遺構図に使用しているスクリントーンの意味は以下の通り。



- 12 各調査区の調査面対応表は以下の通り。

	1区						2区						3区															
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G	H	I	A	B	C	D	E	F	G						
1面(中・近世, II層 [As-R堤上]上)	1区第1~5面						2区1面			2区2面			2区1面			3区 1~3面												
2面(中世, II層 [As-R堤上]下)							2区2・3面			2区3面			トレン チのみ															
3面(平安時代末, III層 [As-B]下)							2区4面																3区 3・4面			3区 3・4面		
4面(古墳~平安, IV層 [Hr-FA・As-C(部上)]下)													3区 4面										3区 4面			3区 4面		
5面(縄文~弥生, V層 [ローム遷移層]下)													2区5面										2区5面			3区 4面		

# 目 次

口絵	6	製鉄関連遺構	122
序 例言 凡例	7	土坑	131
目次	8	井戸	160
挿図・表・写真図版目次	9	溝	162
	10	耕作痕群・畑	241
	11	畦畔・水田面	259
	12	遺構外からの出土遺物	261
第1章 発掘調査の経過	1	第2節 弥生時代～旧石器時代の遺構と遺物	263
第1節 事業実施に至る経緯	1	1 概要	263
1 事業実施に至る経緯	1	2 弥生時代	264
2 発掘調査に至る経緯	2	3 縄文時代	268
第2節 発掘調査の経過	4	4 旧石器時代	271
第3節 発掘調査の方法	6	第4章 自然科学分析	273
1 座標の設定	6	第1節 分析の目的	273
2 調査の方法	6	1 獣歯・人歯鑑定	273
3 遺構測量	6	2 テフラ分析	273
4 遺構写真撮影	6	3 植物珪酸体分析	273
第4節 整理作業の経過と方法	6	第2節 獣歯・人歯鑑定結果	274
		第3節 テフラ分析結果	275
第2章 周辺の環境	7	第4節 植物珪酸体分析結果	277
第1節 地理的環境	7	第5章 まとめ	280
1 地理的現況	7	第1節 概要	282
2 地理的環境	7	第2節 各面の遺構	282
3 本遺跡周辺の環境	7	1 1面(中・近世)	282
第2節 歴史的環境	9	2 2面(中世)	283
1 旧石器時代	9	3 3面(平安時代末)	287
2 縄文時代	9	4 4面(古墳時代～平安時代)	287
3 弥生時代	9	5 5面(縄文時代～弥生時代)	291
4 古墳時代	9	第3節 宮久保遺跡全体の様相	292
5 奈良・平安時代	11		
6 中・近世	11		
第3節 基本土層	15		
第3章 確認された遺構と遺物	16		
第1節 古墳時代以降の遺構と遺物	16	遺物観察表	
1 概要	16	未掲載遺物一覧	
2 竪穴住居	19	写真図版	
3 竪穴状遺構	59	報告書抄録	
4 掘立柱建物・柵	64		
5 ピット	93		

# 挿図目次

第1図	周辺の地勢	1	第64図	1区D2面5号掘立柱建物1	72
第2図	宮久保遺跡の調査区位置図	2	第65図	1区D2面5号掘立柱建物2	73
第3図	宮久保遺跡と笠懸村教育委員会の調査区	3	第66図	1区D2面6号掘立柱建物	73
第4図	周辺の地形分類図	8	第67図	1区D2面7号掘立柱建物1	74
第5図	周辺の道跡	10	第68図	1区D2面7号掘立柱建物2	75
第6図	基本土層	15	第69図	1区D2面8号掘立柱建物	76
第7図	宮久保遺跡遺構配置図	17・18	第70図	1区D2面9号掘立柱建物	77
第8図	1区Ⅱ6住居位置図	19	第71図	1区D2面10号掘立柱建物	78
第9図	1区A4面1号住居と出土遺物	20	第72図	1区D2面11号掘立柱建物	79
第10図	1区A4面1号住居カマド	21	第73図	1区D2面12号掘立柱建物	80
第11図	1区B4面2号住居出土遺物	21	第74図	1区D2面13号掘立柱建物	81
第12図	1区B4面2号住居	22	第75図	1区D2面14号掘立柱建物	82
第13図	1区A4面3号住居出土遺物	22	第76図	1区D2面15号掘立柱建物	83
第14図	1区A4面3号住居	23	第77図	1区D2面1号櫓	84
第15図	1区E4面4号住居出土遺物	23	第78図	1区D2面2号櫓	85
第16図	1区E4面4号住居	24	第79図	1区D2面3号櫓	85
第17図	1区E4面5号住居と出土遺物	25	第80図	1区D2面4号櫓	86
第18図	1区E4面6号住居	26	第81図	1区D2面5号櫓	86
第19図	1区E4面6号住居出土遺物	27	第82図	1区D2面6号櫓	87
第20図	1区E4面8号住居出土遺物	27	第83図	1区D2面7号櫓	87
第21図	1区E4面8号住居	28	第84図	1区D2面8号櫓	88
第22図	1区C4面9号住居と出土遺物	29	第85図	1-3区Ⅱ3位置図	93
第23図	1区C4面10号住居	30	第86図	1区Ⅱ位置図	94
第24図	1区C4面10号住居出土遺物	31	第87図	1区A位置図とビット	95
第25図	1区C4面11号住居1	31	第88図	1区B位置図とビット	96
第26図	1区C4面11号住居2	32	第89図	1区C位置図とビット1	97
第27図	1区C4面11号住居出土遺物	33	第90図	1区Cビット2	98
第28図	1区C4面12号住居と出土遺物	34	第91図	1区D4号溝区画外ビット位置図	99
第29図	1区C4面13号住居	35	第92図	1区Dビット1	100
第30図	1区C4面13号住居出土遺物	36	第93図	1区Dビット2	101
第31図	1区C4面14号住居と出土遺物	37	第94図	1区Dビット3	102
第32図	1区E4面15号住居と出土遺物	38	第95図	1区D4号溝区画内ビット位置図	103
第33図	1区E4面16号住居と出土遺物	39	第96図	1区Dビット4	104
第34図	1区C4面17号住居と出土遺物	40	第97図	1区Dビット5	105
第35図	1区D4面18号住居と出土遺物	41	第98図	1区Dビット6	106
第36図	1区D4面19号住居出土遺物	42	第99図	1区Dビット7	107
第37図	1区D4面19号住居	43	第100図	1区Dビット8	108
第38図	1区D4面19号住居カマド	44	第101図	1区Dビット9	109
第39図	1区D4面20号住居と出土遺物	45	第102図	1区Dビット10	110
第40図	1区D4面21号住居	46	第103図	1区Dビット11	111
第41図	1区D4面21号住居出土遺物	47	第104図	1区Dビット12	112
第42図	1区D4面29号住居	48	第105図	1区Dビット13	113
第43図	1区D4面29号住居カマドと出土遺物	49	第106図	1区Dビット14	114
第44図	1区D4面22・23号住居	50	第107図	1区E位置図とビット	114
第45図	1区D4面22号住居カマドと出土遺物	51	第108図	2区Ⅱ位置図	115
第46図	1区D4面23号住居カマドと出土遺物	52	第109図	2区F2面位置図とビット	116
第47図	1区D4面24・26号住居	53	第110図	2区Ⅰ2面位置図とビット	116
第48図	1区D4面25号住居と出土遺物	54	第111図	2区Ⅰ3面位置図とビット	117
第49図	1区D4面27号住居出土遺物1	55	第112図	2区B4面位置図とビット	118
第50図	1区D4面27号住居1と出土遺物2	56	第113図	2区E4面位置図とビット	118
第51図	1区D4面27号住居2	57	第114図	2区F4面位置図とビット	119
第52図	1・2区Ⅱ6状遺構位置図	59	第115図	2区Ⅰ4面位置図とビット	119
第53図	1区E1面1号Ⅱ6状遺構と出土遺物	60	第116図	2区B5面位置図とビット	120
第54図	2区Ⅰ2面2号Ⅱ6状遺構	61	第117図	3区Ⅱ位置図とC4面位置図	121
第55図	2区Ⅰ2面3号Ⅱ6状遺構	62	第118図	1区製鉄関連遺構位置図とD4面1・2号製鉄関連遺構と出土遺物	122
第56図	2区Ⅰ2面4号Ⅱ6状遺構	63	第119図	1-3区Ⅰ土坑位置図	131
第57図	1・2区Ⅱ掘立柱建物・櫓位置図	64	第120図	1区Ⅰ土坑位置図	132
第58図	1区DE4号溝区画内外掘立柱建物・櫓位置図	66	第121図	1区A土坑	133
第59図	1区B2面1号掘立柱建物	67	第122図	1区B土坑	133
第60図	2区B2面2号掘立柱建物	68	第123図	1区C土坑位置図と土坑1	134
第61図	1区D2面3号掘立柱建物1	69	第124図	1区C土坑2	135
第62図	1区D2面3号掘立柱建物2	70	第125図	1区D土坑位置図と土坑1と出土遺物	138
第63図	1区D2面4号掘立柱建物	71			

第126図	1区D土坑2	139	第192図	2区E 3面37号溝	202
第127図	1区D土坑3	140	第193図	2区I 3面48号溝	203
第128図	1区D土坑4	141	第194図	2区I 3面49号溝	203
第129図	1区D土坑5と出土遺物	142	第195図	2区I 3面50号溝	204
第130図	1区D土坑6と出土遺物	143	第196図	2区I 3面51号溝	204
第131図	1区D土坑7と出土遺物	144	第197図	2区A～E 4面26号溝1、A B 4面27号溝1	205
第132図	1区D土坑8	145	第198図	2区A～E 4面26号溝2、A B 4面27号溝2	206
第133図	1区E土坑位置図と土坑1	146	第199図	2区A～E 4面26号溝3と出土遺物、A B 4面27号溝3	207
第134図	1区E土坑2	147	第200図	2区F C 4面28号溝	208
第135図	1区F土坑位置図と土坑1	147	第201図	2区F G 4面29号溝	209
第136図	1区F土坑2	148	第202図	2区C 4面30～32号溝1	210
第137図	2区土坑位置図と1 2面土坑	149	第203図	2区C 4面30～32号溝2	211
第138図	2区B 2・3面土坑位置図と土坑1	150	第204図	2区E～H 4面33号溝1、E F 4面46号溝1	213・214
第139図	2区B 2・3面土坑2	151	第205図	2区E～H 4面33号溝2と出土遺物、E F 4面46号溝2	215
第140図	2区F 3面土坑	152	第206図	2区F 4面34号溝	216
第141図	2区G 3面土坑	152	第207図	2区E F 4面35号溝	217
第142図	2区H 3面土坑	152	第208図	2区E F 4面45号溝1	218
第143図	2区I 3面土坑	153	第209図	2区E F 4面45号溝2	219
第144図	2区B 4面土坑	153	第210図	2区I 4面55～58号溝1	220
第145図	2区C 4面土坑	153	第211図	2区I 4面55～58号溝2	221
第146図	2区D 4面土坑	154	第212図	2区I 4面61号溝	223
第147図	2区E 4面土坑	154	第213図	2区I 4面62号溝	224
第148図	2区F 4面土坑	154	第214図	2区F 4面69・70号溝	225
第149図	2区H 4面土坑	154	第215図	3区F G 3面38号溝	226
第150図	2区I 4面土坑位置図と土坑	155	第216図	3区E F 3面39号溝	227
第151図	3区土坑位置図とE 1面土坑	156	第217図	3区F 1面40号溝	228
第152図	2区井戸位置図とB 1面井戸	160	第218図	3区I 1面47号溝	229
第153図	2区I 2面井戸	161	第219図	3区B C 3面63号溝1	230
第154図	1～3区調査された溝1	162	第220図	3区B C 3面63号溝2	231
第155図	1～3区調査された溝2	163	第221図	3区F G 4面52号溝	232
第156図	1区D E 2面2・4号溝1と4号溝出土遺物	165・166	第222図	3区F 4面53号溝	233
第157図	1区D E 2面2・4号溝2	167	第223図	3区E～G 4面54号溝と出土遺物	234
第158図	1区F 2面3号溝	168	第224図	3区F G 4面60号溝と出土遺物	235
第159図	1区C D 4面5号溝1	169	第225図	3区G 4面65号溝	236
第160図	1区C D 4面5号溝2	170	第226図	3区B C 4面64号溝	237・238
第161図	1区C D 4面5号溝出土遺物	171	第227図	2・3区耕作痕群・畑位置図	241
第162図	1区D 4面7号溝	172	第228図	2区A～E 2面1・2号耕作痕群	243
第163図	1区C D 2面12号溝	173	第229図	2区F 2面3号耕作痕群	244
第164図	1区C D 2面10号溝1と出土遺物	174	第230図	2区I 2面5号耕作痕群	244
第165図	1区C D 2面10号溝2	175	第231図	2区I 2面4号耕作痕群	244
第166図	1区C D 2面11号溝1と出土遺物	176	第232図	2区C 3面6号耕作痕群、H 3面7号耕作痕群	245
第167図	1区C D 2面11号溝2	177	第233図	2区A 4面8号耕作痕群	246
第168図	1区C D 2面13号溝	178	第234図	2区F 4面9号耕作痕群、G 4面10号耕作痕群	247
第169図	1区C D 2面14号溝と出土遺物	179	第235図	3区B 4面11号耕作痕群	248
第170図	1区C D 2面15号溝	180	第236図	2区F 2面1号畑	250
第171図	2区調査された溝	181	第237図	2区F 2面2号畑	251
第172図	2区B～F 1面1号溝1	182	第238図	2区E 2面3号畑	251
第173図	2区B～F 1面1号溝2	183	第239図	2区I 2面4号畑	252
第174図	2区B 1面6号溝	184	第240図	2区F～H 2面5号畑	253・254
第175図	2区A 1面9号溝	185	第241図	2区H 2面6号畑	255・256
第176図	2区I 1面68号溝	186	第242図	2区F 2面7号畑	257
第177図	2区B 2面8号溝	187	第243図	2区B～D 1面畑群・水田面	259
第178図	2区E 2面16号溝	188	第244図	2区B～D分析資料サンプル採取地点配置図	260
第179図	2区A 2面17号溝	189	第245図	表出出土遺物	261
第180図	2区G H 2面23号溝、H 2面66号溝	190	第246図	1区道橋外出土遺物	261
第181図	2区F G 2面24号溝	191	第247図	1区道橋外出土遺物1	261
第182図	2区F 2面25・67号溝	192	第248図	2区道橋外出土遺物2	262
第183図	2区E F 2面36号溝	193	第249図	3区道橋外出土遺物	262
第184図	2区I 2面41号溝	194	第250図	弥生・縄文時代遺構位置図	263
第185図	2区I 2面42号溝	195	第251図	1区D 5面28号住居	264
第186図	2区I 2面43号溝	196	第252図	1区D 5面28号住居出土遺物	265
第187図	2区I 2面44号溝	197	第253図	1区D 5面1号埋設土器	266
第188図	2区B 2・3面21号溝と出土遺物	198	第254図	弥生時代道橋外出土遺物	267
第189図	2区A 3面18・19号溝	199	第255図	1区A 5面1号縄文土器包含層と出土遺物	268
第190図	2区A B 3面20号溝	200	第256図	縄文時代道橋外出土遺物1	269
第191図	2区F G 3面22号溝	201	第257図	縄文時代道橋外出土遺物2	270

第258図	1区CD旧石器トレンチ位置図	271
第259図	1区CD旧石器試掘トレンチ配置図と土層断面	272
第260図	宮久保遺跡1面の遺構	280
第261図	宮久保遺跡2・3面の遺構	281
第262図	1区D2面 推定掘立柱建物等配置図	284

第263図	宮久保遺跡4・5面の遺構	290
第264図	弥生・古墳時代、1・2期の聖穴住居	293
第265図	3期、4期の聖穴住居	294
第266図	5期の聖穴住居	295

## 表 目 次

第1表	周辺の遺跡一覧表	12
第2表	周辺の遺跡で利用した文献一覧表	14
第3表	聖穴住居計測一覧表	58
第4表	掘立柱建物計測一覧表	58
第5表	樫計測一覧表	92
第6表	ビット計測一覧表	123
第7表	土坑計測一覧表	157
第8表	井戸計測一覧表	161

第9表	溝計測一覧表	239
第10表	畑畝開計測一覧表	258
第11表	弥生・縄文時代上部土分類表	263
第12表	宮久保遺跡遺物観察表	297
第13表	中・近世以降出土 未掲載遺物集計表	309
第14表	古墳・奈良・平安時代出土 未掲載遺物集計表	310
第15表	縄文・弥生時代出土 未掲載遺物集計表	312

## 写 真 目 次

P.L. 1	遺跡全景
1	調査区から八王子丘陵遠景 南西から
2	調査区1～3区全景 南から
3	1区A B 1～5面全景 南から
P.L. 2	調査区
1	1区C 1～5面全景 南から
2	1区D 1～5面中央部分 南から
P.L. 3	調査区
1	1区E 1～5面全景 南から
2	2区A～D 1面全景 南から
3	2区A～D 2面全景 南から
P.L. 4	調査区
1	2区B 1面西寄り 南から
2	2区1 2面南西部 北から
3	2区1 2面北東部分 北から
4	2区1 2面全景 南から
5	2区B～D 2・3面西半分 東から
6	2区B 2・3面西部 東から
7	2区E 3面全景 南から
8	2区F～H 3面全景 南から
P.L. 5	調査区
1	2区I 3面全景 南から
2	2区I 3面南東部分 北から
3	2区F～H 4面全景 南から
4	2区I 4面全景 南から
5	2区E～A 4面全景 北から
P.L. 6	調査区
1	3区F G 1～3面全景 南から
2	3区E 1～3面全景 北から
3	3区B 1～3面西部 南から
4	3区F G 4面全景 南から
P.L. 7	1区1・4号住居
1	1号住居全景 南から
2	1号住居掘り方全景 西から
3	1号住居カマド全景 北西から
4	1号住居南寄り遺物出土状態 北から
5	4号住居全景 西から

P.L. 8	1区2～4号住居
1	4号住居カマド全景 西から
2	4号住居遺物出土状態(1) 西から
3	2号住居全景 南から
4	2号住居全景 西から
5	2号住居貯蔵穴全景と遺物出土状態(1) 南東から
6	2号住居貯蔵穴断面(B-B') 南東から
7	3号住居全景 南西から
8	3号住居貯蔵穴 北西から
P.L. 9	1区5号住居
1	5号住居全景 西から
2	5号住居カマド全景 西から
3	5号住居カマド遺物出土状態(3・5) 南西から
4	5号住居カマド焚口部遺物出土状態(1・2) 西から
5	5号住居遺物出土状態(6) 北から
P.L. 10	1区6号住居
1	6号住居全景 西から
2	6号住居遺物出土状態全景 西から
3	6号住居カマド全景 西から
4	6号住居カマド掘り方全景 西から
5	6号住居カマド断面(D-D') 西から
P.L. 11	1区6・8号住居
1	6号住居カマド遺物出土状態(3) 西から
2	6号住居南東隅遺物出土状態 北西から
3	8号住居全景 北西から
4	8号住居カマド全景 北西から
5	8号住居カマド焚口部遺物出土状態(3) 南西から
P.L. 12	1区9号住居
1	9号住居全景 南から
2	9号住居遺物出土状態全景 西から
3	9号住居掘り方全景 西から
4	9号住居貯蔵穴全景 南から
5	9号住居貯蔵穴全景 北から
P.L. 13	1区9・10号住居
1	9号住居南西隅遺物出土状態(1～5) 北から
2	9号住居遺物出土状態(6) 西から
3	10号住居全景 南から



	4	10号住居カマド全景	南から		2	24号住居廻り方全景	西から
	5	10号住居北東隅遺物出土状態(2・3)	西から		3	24号住居カマド全景	西から
P.L.	14	1区11号住居			4	24号住居カマド廻り方全景	西から
	1	11号住居全景	西から		5	24号住居北東隅ビット全景	西から
	2	11号住居廻り方全景	西から	P.L.	25	1区25・27号住居	
	3	11号住居カマド上面全景	西から		1	25号住居全景と10号溝	西から
	4	11号住居カマド使用面全景	西から		2	25号住居廻り方全景	西から
	5	11号住居カマド廻り方全景	西から		3	25号住居カマド全景	西から
P.L.	15	1区12・15・17号住居			4	27号住居A s-B軒高階積状況全景	北西から
	1	12号住居全景	西から		5	27号住居断面(A-A'東部分)	南から
	2	12号住居カマド全景	西から	P.L.	26	1区27号住居	
	3	17号住居全景	南西から		1	27号住居全景	西から
	4	17号住居廻り方全景	西から		2	27号住居遺物出土状態全景	西から
	5	15号住居全景	西から		3	27号住居カマド全景	西から
	6	15号住居カマド全景	西から		4	27号住居南壁障子遺物出土状態(2・8)	西から
	7	15号住居南壁寄り遺物出土状態(1)	北西から		5	27号住居北東隅遺物出土状態(4)	南から
P.L.	16	1区13号住居		P.L.	27	1区1号、2区2～4号竪穴遺構	
	1	13号住居全景	南東から		1	1号竪穴遺構全景	西から
	2	13号住居遺物出土状態全景	南東から		2	1号竪穴遺構遺物出土状態	西から
	3	13号住居廻り方全景	南西から		3	2号竪穴遺構全景	南から
	4	13号住居1号竪穴全景	南東から		4	2号竪穴遺構廻り方全景	南から
	5	13号住居2号竪穴全景	南東から		5	3号竪穴遺構全景	南から
P.L.	17	1区16号住居			6	3号竪穴遺構廻り方全景	南から
	1	16号住居全景	西から		7	4号竪穴遺構全景	北から
	2	16号住居カマド全景	西から		8	4号竪穴遺構廻り方全景	北から
	3	16号住居カマド断面(D-D')	西から	P.L.	28	1区1号・2区2号竪立柱建物	
	4	16号住居カマド袖前遺物出土状態(2)	西から		1	1号竪立柱建物全景	南東から
	5	16号住居遺物出土状態(4)	北西から		2	2号竪立柱建物全景	東から
P.L.	18	1区14・18号住居			3	2号竪立柱建物P1全景	南から
	1	18号住居全景	西から		4	2号竪立柱建物P1断面	南から
	2	18号住居カマド全景	西から		5	2号竪立柱建物P2全景	南から
	3	18号住居カマド断面(D-D')	西から		6	2号竪立柱建物P2断面	南から
	4	18号住居遺物出土状態(1)	西から	P.L.	29	2区2号竪立柱建物	
	5	14号住居全景及び断面(A・B)	南から		1	2号竪立柱建物P3全景	南から
P.L.	19	1区19号住居			2	2号竪立柱建物P3断面	南から
	1	19号住居全景	北西から		3	2号竪立柱建物P4全景	南から
	2	19号住居遺物出土状態全景	北西から		4	2号竪立柱建物P4断面	南から
	3	19号住居上面露出土状態全景	北西から		5	2号竪立柱建物P5全景	南から
	4	19号住居カマド全景	北西から		6	2号竪立柱建物P5断面	南から
	5	19号住居遺物出土状態(1)	北西から		7	2号竪立柱建物P6全景	南から
P.L.	20	1区19・20号住居			8	2号竪立柱建物P6断面	南から
	1	19号住居確範測	西から	P.L.	30	1区3～6・9号竪立柱建物	
	2	19号住居確範測下面廻り込み	西から		1	3号竪立柱建物全景	南から
	3	20号住居全景	西から		2	4号竪立柱建物全景	南から
	4	20号住居カマド全景	西から		3	5号竪立柱建物全景	南から
	5	20号住居カマド断面(C-C')	西から		4	6号竪立柱建物全景	南から
P.L.	21	1区21・29号住居			5	9号竪立柱建物全景	南から
	1	21号住居全景	西から	P.L.	31	1区7・8号竪立柱建物	
	3	29号住居全景(21号住居廻り方)	西から		1	7号竪立柱建物全景	南から
	2	21号住居カマド全景	西から		2	8号竪立柱建物全景	南から
	4	29号住居廻り方全景	西から	P.L.	32	1区10～15号竪立柱建物・1・6号櫓	
	5	29号住居1(右)・2号カマド全景	西から		1	10号竪立柱建物全景	南から
P.L.	22	1区22号住居			2	11号竪立柱建物全景	南から
	1	22号住居全景	西から		3	12号竪立柱建物全景	南から
	2	22号住居露出土状態全景	西から		4	13号竪立柱建物全景	南から
	3	22号住居カマド全景	西から		5	14号竪立柱建物全景	南から
	4	22号住居カマド断面(C-C')	南から		6	15号竪立柱建物全景	南から
	5	22号住居遺物出土状態(1)	東から		7	1号櫓P6全景、28号住居北東隅(弥生時代)	西から
P.L.	23	1区23号住居			8	6号櫓P1全景	南から
	1	23号住居全景	西から	P.L.	33	1区1～8号櫓	
	2	23号住居カマド全景	西から		1	1～8号櫓、4溝区画内ビット及び周辺の遺構	南から
	3	23号住居カマド廻り方全景	北西から	P.L.	34	1区ビット1	
	4	23号住居南西隅遺物出土状態(4)	北西から		1	1号ビット全景	南から
	5	23号住居南東隅露出土状態	北から		2	2号ビット断面	南から
P.L.	24	1区24・26号住居			3	3号ビット断面	南から
	1	24・26号住居全景と10号溝	西から		4	4号ビット全景	南から

5	4号ビット断面	南から	7	1号製鉄関連道橋(400号ビット)断面	西から
6	5号ビット全景	南から	8	2号製鉄関連道橋(401号ビット)断面	北から
7	5号ビット断面	南から	P.L. 39	2区ビット1	
8	6号ビット(右)全景	南から	1	409号ビット全景	南から
9	6号ビット断面	南から	2	409号ビット断面	南から
10	7号ビット断面	南から	3	410号ビット全景	南から
11	8号ビット全景	南から	4	410号ビット断面	南から
12	9号ビット全景	南から	5	411号ビット全景	南から
13	9号ビット断面	南から	6	411号ビット断面	南から
14	10号ビット全景	南から	7	412号ビット全景	南から
15	14号ビット全景	西から	8	412号ビット断面	南から
P.L. 35	1区ビット2		9	413号ビット全景	南から
1	11～13号ビット全景	南東から	10	413号ビット断面	南から
2	11号ビット断面	南から	11	414号ビット全景	南から
3	12号ビット断面	東から	12	414号ビット断面	南から
4	13号ビット断面	南から	13	415号ビット全景	南東から
5	15号ビット全景	西から	14	415号ビット断面	南東から
6	16号ビット全景	西から	15	416号ビット全景	南から
7	17号ビット全景	南から	P.L. 40	2区ビット2、3区ビット	
8	18号ビット全景	東から	1	417号ビット全景	南から
9	19号ビット全景	東から	2	417号ビット断面	南西から
10	20号ビット全景	北から	3	420号ビット全景	南から
11	20号ビット断面	南西から	4	418号ビット全景	南から
12	21号ビット全景	北東から	5	418号ビット断面	南から
13	21号ビット断面	西から	6	419号ビット全景	南から
14	22号ビット断面	西から	7	419号ビット断面	南東から
15	23号ビット全景	南から	8	421号ビット全景	東から
P.L. 36	1区ビット3		9	421号ビット断面	東から
1	24号ビット全景	北東から	10	422号ビット全景	南東から
2	28号ビット全景	南から	11	422号ビット断面	南東から
3	27号ビット全景	南から	12	423号ビット全景	西から
4	27号ビット断面	南西から	13	423号ビット断面	西から
5	29(右)・33号ビット全景	北から	14	424号ビット全景	西から
6	30号ビット全景	南から	15	424号ビット断面	西から
7	31(左)・32号ビット全景	西から	P.L. 41	1区上墳1	
8	34号ビット全景	北東から	1	1号上墳全景	南から
9	35(右)・36号ビット全景	南から	2	2(右)・4号上墳全景	南から
10	37(右)～41号ビット全景	南西から	3	3号上墳断面	南から
11	42号ビット全景	南西から	4	5号上墳全景	南から
12	43号ビット全景	南西から	5	7号上墳全景	南から
13	44～47(右)号ビット全景	西から	6	7号上墳断面	南から
14	48号ビット全景	南西から	7	6号上墳全景	南西から
15	49号ビット全景	南西から	8	10号上墳断面	南から
P.L. 37	1区ビット4		9	11号上墳断面	南西から
1	50号ビット全景	南西から	10	8・9・12・13(右下)・15号上墳全景	北から
2	53号ビット全景	南から	11	13号上墳断面	南から
3	54号ビット全景	南から	12	9号上墳断面	南西から
4	55号ビット全景	南から	13	12号上墳断面	南から
5	57(左)～61号ビット全景	東から	14	14号上墳断面	南から
6	58(右)・329号ビット全景	南から	15	15号上墳断面	南西から
7	400(1号製鉄関連道橋)号ビット全景	南から	P.L. 42	1区上墳2	
8	405号ビット全景	西から	1	16(右)・17号上墳全景	北から
9	4号溝区画内北ビット群1	南から	2	16号上墳断面	西から
10	406号ビット全景	南西から	3	17号上墳断面	西から
11	406号ビット断面	南西から	4	18号上墳全景	南西から
12	407号ビット全景	南西から	5	19号上墳全景	南東から
13	407号ビット断面	南西から	6	20号上墳全景	西から
14	408号ビット全景	南西から	7	21号上墳全景	西から
15	408号ビット断面	南西から	8	22号上墳全景	北から
P.L. 38	1区ビット5、製鉄関連道橋		9	23号上墳全景	西から
1	4号溝区画内北ビット群2	南から	10	24号上墳全景	東から
2	4号溝区画内北ビット群3	南から	11	25号上墳全景	南から
3	4号溝区画内北ビット群4	南から	12	26号上墳全景	北から
4	4号溝区画内北ビット群5	南から	13	27号上墳全景	東から
5	1・2号製鉄関連道橋とその周辺	南から	14	28(左)・29(右)・31号上墳全景	東から
6	1号製鉄関連道橋(400号ビット)全景	北から	15	29号上墳全景	北から

P.L. 43	1区土坑3		2	104号土坑、496・500号ビット断面	南西から	
	1	30号土坑全景	西から	3	105号土坑全景	南東から
	2	32号土坑全景	南から	4	106号土坑全景	南東から
	3	33号土坑全景	東から	5	107号土坑全景	北から
	4	34号土坑全景	東から	6	108号土坑全景	南から
	5	36号土坑全景	北東から	7	109号土坑全景	南から
	6	38(右)・39号土坑全景	西から	8	111号土坑全景	東から
	7	40号土坑全景	南から	9	112号土坑全景	南から
	8	41号土坑全景	西から	10	113号土坑全景	南から
	9	43(右)・44号土坑全景	南から	11	115号土坑全景	東から
	10	45号土坑全景	南から	12	118号土坑全景	東から
	11	46号土坑全景	東から	13	122号土坑全景	北東から
	12	48(右)・49号土坑全景	西から	14	114号土坑全景と出土遺物(1)	南から
	13	48号土坑断面	南から	15	114号土坑断面	南から
	14	47号土坑全景	西から	P.L. 48	1区土坑8	
	15	50号土坑全景	東から	1	119号土坑全景	南から
P.L. 44	1区土坑4		2	119号土坑断面	南東から	
	1	51号土坑全景	東から	3	123号土坑全景	東から
	2	52号土坑全景	東から	4	124号土坑断面	南から
	3	53号土坑全景	東から	5	125号土坑断面	南から
	4	54号土坑全景	南東から	6	126・113号土坑全景	東から
	5	55号土坑全景	西から	7	120号土坑上面と断面	北から
	6	56号土坑全景	東から	8	120号土坑下面露出土状態	西から
	7	57号土坑全景	南から	9	120号土坑全景	北から
	8	58号土坑全景	東から	10	124・127・128号土坑全景	南から
	9	60号土坑全景	東から	11	129号土坑全景	南から
	10	61号土坑全景	西から	12	130号土坑全景	東から
	11	62号土坑全景	西から	13	130号土坑断面	南から
	12	65号土坑全景	西から	14	132号土坑全景	東から
	13	66号土坑全景	南から	15	132号土坑断面	南西から
	14	63号土坑全景	北西から	P.L. 49	1区土坑9	
	15	63号土坑断面	南から	1	131号土坑全景	東から
P.L. 45	1区土坑5		2	134号土坑全景	東から	
	1	63号土坑全景、79(13層P1)号ビット	東から	3	133号土坑全景	東から
	2	63号土坑断面	北から	4	133号土坑断面	西から
	3	69号土坑全景	北から	5	136号土坑全景	西から
	4	69号土坑断面	東から	6	136号土坑遺物出土状態(1)	南東から
	5	64・80(左)・110(右)号土坑全景	東から	7	137号土坑全景	南西から
	6	80号土坑断面	西から	8	138号土坑全景	南から
	7	67(右)・68号土坑全景	南から	9	139号土坑全景	北東から
	8	68(右)・135号土坑全景	南東から	10	140号土坑全景	西から
	9	71号土坑全景	南から	11	141号土坑全景	南から
	10	72号土坑断面	南から	12	142号土坑全景	北から
	11	73号土坑全景	東から	13	143号土坑全景	北西から
	12	74号土坑全景	西から	14	144号土坑全景	南から
	13	75号土坑全景	南から	15	146号土坑、236号ビット全景	北から
	14	76号土坑全景	南東から	P.L. 50	1区土坑10、2区土坑1	
	15	78・83(右)・84(左)号土坑全景	東から	1	145号土坑全景	西から
P.L. 46	1区土坑6		2	145号土坑断面	南から	
	1	78号土坑全景	北東から	3	147号土坑全景	南から
	2	78号土坑遺物出土状態	北東から	4	148号土坑全景	東から
	3	96号土坑全景	南から	5	149号土坑全景	東から
	4	96号土坑断面、7号溝	南から	6	150号土坑全景	南東から
	5	81号土坑断面	西から	7	157号土坑全景	南から
	6	82号土坑断面	南から	8	77号土坑全景	東から
	7	83号土坑断面	東から	9	77号土坑断面	南から
	8	98号土坑全景	南から	10	85号土坑全景	南から
	9	98号土坑断面	南から	11	85号土坑断面	南から
	10	99号土坑全景	東から	12	86号土坑全景	南から
	11	99号土坑断面	南から	13	86号土坑断面	南から
	12	97号土坑全景	南から	14	89号土坑全景	南から
	13	100号土坑全景	東から	15	89号土坑断面	南から
	14	101号土坑全景	西から	P.L. 51	2区土坑2	
	15	103号土坑全景	東から	1	87号土坑全景	南から
P.L. 47	1区土坑7		2	87号土坑断面	南から	
	1	104号土坑、496・500号ビット全景	南西から	3	88号土坑全景	南から

4	88号土坑断面	南から	6	179号土坑全景	南から
5	90号土坑全景	南から	7	178号土坑全景	南から
6	90号土坑断面	南から	8	178号土坑断面1	南から
7	91号土坑全景	南から	9	178号土坑断面2	南東から
8	91号土坑断面	南から	10	180号土坑焼土部分全景1	南東から
9	92号土坑全景	南から	11	180号土坑焼土部分全景2	北東から
10	92号土坑断面	南西から	12	180号土坑断面(東部分)	南東から
11	93号土坑全景	南から	13	174～177号土坑全景	南東から
12	93号土坑断面	南から	14	171号土坑全景	南から
13	95号土坑露出土状態	南から	15	171号土坑断面	南から
14	95号土坑断面	東から	P.L. 56	2区井戸	
15	95号土坑全景	南から	1	1号井戸全景	東から
P.L. 52	2区土坑3		2	1号井戸断面	南から
1	94号土坑全景	南から	3	2号井戸上面露出土状態全景	南から
2	94号土坑断面	南から	4	2号井戸全景	南から
3	102号土坑全景	南から	5	2号井戸断面	南から
4	102号土坑断面	南から	6	3号井戸全景	南から
5	160号土坑全景	南から	7	3号井戸断面	南西から
6	160号土坑断面	南から	8	1号井戸調査風景	
7	116号土坑露出土状態	東から	P.L. 57	1区溝1	
8	116号土坑断面	北から	1	2・4号溝D全景	南から
9	116号土坑全景	東から	2	2号溝断面(A-A')	南から
10	117号土坑露出土状態	東から	3	4号溝南西部隅全景	南西から
11	117号土坑断面	南から	4	4号溝遺物出土状態	南東から
12	117号土坑全景	南から	5	4号溝断面(G-G')	南から
13	121号土坑全景	東から	P.L. 58	1区溝2	
14	121号土坑断面	南から	1	4号溝断面(I-I')	南から
15	161号土坑全景	南から	2	4号溝断面(J-J')	南から
P.L. 53	2区土坑4		3	3号溝F全景	南西から
1	162号土坑炭化物出土状態	南から	4	3号溝断面(B-B')	南東から
2	162号土坑断面	南から	5	5号溝遺構確認面、25号ビット	北東から
3	163号土坑焼土出土状態全景	南西から	6	5号溝C全景	北から
4	163号土坑焼土断面	南西から	7	5号溝断面(B-B')	南西から
5	163号土坑焼土全景	南から	8	5号溝断面(C-C')	南西から
6	163号土坑焼土断面	南から	P.L. 59	1区溝3	
7	164号土坑全景	南から	1	5号溝断面(D-D')	南西から
8	164号土坑断面	南から	2	5号溝遺物出土状態1	南西から
9	166号土坑全景	南から	3	5号溝遺物出土状態2	南西から
10	166号土坑断面	南から	4	5号溝遺物出土状態(6)	南西から
11	167号土坑全景	南から	5	7号溝D全景	南東から
12	167号土坑断面	南から	6	7号溝全景	北東から
13	165号土坑露出土状態全景	南から	7	7号溝全景	北から
14	165号土坑断面	南から	8	7号溝断面(B-B')	西から
15	165号土坑全景	南から	P.L. 60	1区溝4	
P.L. 54	2区土坑5		1	10・11・13～15号溝D全景	西から
1	168号土坑全景	南から	2	10・11・13～15号溝D全景	東から
2	168号土坑断面	南から	P.L. 61	1区溝5	
3	169号土坑全景	南東から	1	10・11・13～15号溝全景	北東から
4	169号土坑断面	南東から	2	12・14号溝D全景	西から
5	170号土坑全景	南から	3	14号溝全景と周辺の溝	西から
6	170号土坑断面	南から	4	15・11号溝全景	西から
7	172号土坑全景	南西から	5	11号溝断面(E-E')	東から
8	172号土坑断面	南から	6	10・13号溝と周辺の溝	西から
9	173号土坑全景	南西から	7	13号溝断面(A-A')	東から
10	173号土坑断面	南西から	P.L. 62	2区溝1	
11	174号土坑全景	南から	1	1号溝E全景	南から
12	174号土坑断面	南から	2	1号溝E F全景	南から
13	175号土坑全景	南東から	3	1号溝A～D全景	南から
14	176号土坑全景	南東から	4	1号溝E断面(C-C')	南から
15	176号土坑断面	南東から	5	1号溝B～D全景	北から
P.L. 55	2区土坑6、3区土坑		6	1号溝B全景	北から
1	177号土坑全景	南東から	7	1号溝B断面(G-G')	南から
2	177号土坑断面	南東から	P.L. 63	2区溝2	
3	179号土坑焼土部分断面1	南から	1	6号溝B全景	西から
4	179号土坑焼土部分断面2	南から	2	9号溝A B全景	南から
5	179号土坑焼土部分全景	南から	3	9号溝断面(B-B')	南から

- 4 68号溝1(石組暗渠)全景 北東から  
 5 8号溝A B全景 南から  
 6 16号溝B全景 南から  
 7 16号溝断面(B-B') 南西から
- P.L. 64 2区溝3  
 1 17号溝A全景 南から  
 2 17号溝断面(B-B') 南から  
 3 24号溝断面(B-B') 南から  
 4 25号溝断面(B-B') 南から  
 5 36号溝E F全景 南から  
 6 36号溝断面(B-B') 東から  
 7 41・42号溝1全景 北から  
 8 41号溝断面(B-B') 南から
- P.L. 65 2区溝4  
 1 42(右)・41号溝1全景 南から  
 2 42号溝断面(B-B') 南西から  
 3 43号溝1全景 東から  
 4 43号溝断面(A-A') 西から  
 5 44号溝1全景 南から  
 6 44号溝断面(B-B') 南から  
 7 21号溝B全景 東から  
 8 21号溝断面(B-B') 東から
- P.L. 66 2区溝5  
 1 18・19号溝A全景 東から  
 2 18(左)・19号溝断面(B-B') 東から  
 3 18(左)・19号溝断面(C-C') 東から  
 4 20号溝A B全景 南から  
 5 20号溝断面(A-A') 南から  
 6 20号溝断面ベルト部分 南から
- P.L. 67 2区溝6  
 1 37号溝F E全景 北西から  
 2 37号溝断面(B-B') 南東から  
 3 48号溝1全景 東から  
 4 49号溝1全景 北から  
 5 50号溝1全景 西から  
 6 51号溝1全景 東から  
 7 28号溝B C全景 南から  
 8 28号溝断面(B-B') 南西から
- P.L. 68 2区溝7  
 1 26号溝E全景 南から  
 2 26号溝D全景 南から  
 3 26号溝C B全景 南から  
 4 26号溝B全景 南から  
 5 26号溝断面(C-C') 南から  
 6 26号溝断面(D-D') 南から  
 7 26号溝A全景 南から
- P.L. 69 2区溝8  
 1 27号溝B全景 南から  
 2 27号溝A全景 南から  
 3 29号溝F G全景 南から  
 4 29号溝断面(B-B') 南から  
 5 30号溝C全景 南から  
 6 30号溝断面(A-A') 南から  
 7 31号溝C全景 南から  
 8 31号溝断面(A-A') 南から
- P.L. 70 2区溝9  
 1 32号溝C全景 南から  
 2 32号溝断面(A-A') 南から  
 3 33号溝F G全景 北から  
 4 33号溝F G全景 南から  
 5 33(右)・46号溝E F全景 南から  
 6 33号溝F 遺物出土状態1  
 7 33号溝F 遺物出土状態2  
 8 33号溝F 遺物出土状態3
- P.L. 71 2区溝10  
 1 46号溝断面(F-F') 北から
- 2 33号溝断面(F-F') 南から  
 3 46・33号溝断面(H-I) 南から  
 4 46・33号溝断面(H-I') 南から  
 5 34号溝F全景 南から  
 6 34号溝断面(B-B') 南から  
 7 35号溝E F全景 南から  
 8 35号溝断面(B-B') 南西から
- P.L. 72 2区溝11  
 1 45号溝E F全景 南から  
 2 45号溝断面(D-D') 南から  
 3 56(右)・57号溝1全景 南東から  
 4 57号溝断面(A-A') 東から  
 5 55～58号溝1全景 南東から  
 6 55(右)～57号溝断面(C-C') 南東から  
 7 58号溝断面(E-E') 南東から
- P.L. 73 2区溝12  
 1 61号溝, 173号土坑1全景 南西から  
 2 61号溝(左)、173号土坑断面(B-B') 南西から  
 3 62号溝1全景 西から  
 4 62号溝断面(B-B') 北東から  
 5 調査区F 5面全景 南から  
 6 調査区F-H 4面全景 南から
- P.L. 74 3区溝1  
 1 調査区E-G 1～3面 南から
- P.L. 75 3区溝2  
 1 38号溝G遺物出土状態 北西から  
 2 38号溝G全景 北東から  
 3 38号溝, 4面60号溝北壁断面 南から  
 4 38号溝断面(A-A') 南西から  
 5 39号溝F北半部全景 南から  
 6 39号溝E南寄り全景 南東から  
 7 40号溝F全景 南から  
 8 47号溝E全景 南から
- P.L. 76 3区溝3  
 1 63号溝B C全景 南から  
 2 63号溝B南端部全景 南から  
 3 63号溝断面(B-B') 南から  
 4 63号溝断面(D-D') 北から  
 5 52・53・65号溝G F全景 北東から  
 6 52号溝断面(A-A') 南から  
 7 52号溝断面(C-C') 南から  
 8 53号溝F全景 東から
- P.L. 77 3区溝4  
 1 65号溝G全景 北東から  
 2 65号溝断面(B-B') 南西から  
 3 65号溝遺物出土状態(1) 南から  
 4 60号溝G F全景 北東から  
 5 60号溝断面(B-B') 南から  
 6 60号溝遺物出土状態1  
 7 60号溝遺物出土状態2 南から  
 8 60号溝遺物出土状態3
- P.L. 78 3区溝5  
 1 54号溝F C全景と断面(A-A') 南から  
 2 54号溝E全景 南から  
 3 54号溝遺物出土状態 南から  
 4 54号溝遺物出土状態(種子)  
 5 64号溝C全景 南から  
 6 64号溝C B全景 北から  
 7 64号溝断面(B-B') 南から  
 8 64号溝断面(C-C') 南から
- P.L. 79 2区耕作痕群1  
 1 1号耕作痕群A～D 南から
- P.L. 80 2区耕作痕群2  
 1 1号耕作痕群A部分 北東から  
 2 1号耕作痕群A近景 北東から  
 3 2号耕作痕群D西寄り 北から

- 4 2号耕作痕群E 南から  
 5 4号耕作痕群I北寄り 西から  
 6 4号耕作痕群I南部分 南から  
 7 5号耕作痕群I全景 西から  
 8 5号耕作痕群I全景 東から  
 P.L. 81 2区耕作痕群3、3区耕作痕群  
 1 6号耕作痕群G全景 東から  
 2 7号耕作痕群H全景 東から  
 3 8号耕作痕群A全景 南から  
 4 8号耕作痕群A西寄り 南から  
 5 8号耕作痕群A東寄り 南から  
 6 9号耕作痕群H全景 南から  
 7 10号耕作痕群G全景 南西から  
 8 11号耕作痕群B全景 南から  
 P.L. 82 2区畑1  
 1 1号畑①～④ 東から  
 2 1号畑断面① 東から  
 3 1号畑断面② 東から  
 4 1号畑断面③ 東から  
 5 1号畑断面④ 東から  
 6 1号畑⑤～⑧ 東から  
 7 1号畑断面⑤ 東から  
 8 1号畑断面⑥ 東から  
 9 1号畑①～⑧全景 南から  
 10 1号畑F全景 南西から  
 11 2号畑全景 南から  
 12 2号畑断面① 南から  
 13 2号畑断面② 南から  
 14 2号畑断面③ 南から  
 15 2号畑断面④ 南から  
 P.L. 83 2区畑2  
 1 3号畑E全景 南から  
 2 4号畑I全景 北から  
 P.L. 84 2区畑3  
 1 4号畑①～④ 東から  
 2 4号畑断面① 東から  
 3 4号畑断面② 東から  
 4 4号畑断面③ 東から  
 5 4号畑断面④ 東から  
 6 4号畑⑤～⑧ 東から  
 7 4号畑断面⑤ 東から  
 8 4号畑断面⑥ 東から  
 9 4号畑断面⑦ 東から  
 10 4号畑断面⑧ 東から  
 11 4号畑⑨～⑫ 東から  
 12 4号畑断面⑨ 東から  
 13 4号畑断面⑩ 東から  
 14 4号畑断面⑪ 東から  
 15 4号畑断面⑫ 東から  
 P.L. 85 2区畑4  
 1 4号畑断面⑬ 東から  
 2 4号畑断面⑭ 東から  
 3 4号畑⑯～⑳ 東から  
 4 4号畑断面⑮ 東から  
 5 4号畑断面⑰ 東から  
 6 4号畑断面⑱ 東から  
 7 4号畑断面㉑ 東から  
 8 4号畑断面㉒ 東から  
 9 4号畑断面㉓ 東から  
 10 4号畑㉔～㉖ 東から  
 11 4号畑断面㉕ 東から  
 12 4号畑断面㉖ 東から  
 14 4号畑断面㉗ 東から  
 15 4号畑断面㉘ 東から  
 P.L. 86 2区畑5  
 1 調査区F～H5～7号畑、3・6・7号耕作痕群  
 2 調査区EF東寄り 南東から  
 3 調査区EF2・3号畑 南から  
 P.L. 87 2区畦畔、水田面  
 1 B～D1面 畦畔、水田面西半部 南から  
 P.L. 88 1区弥生時代1  
 1 28号住居全景 南西から  
 2 28号住居炉 北から  
 3 28号住居遺物出土状態(1・3・9・10) 北から  
 4 1号埋設土器出土状態(1) 南西から  
 5 1号埋設土器断面 南から  
 P.L. 89 1区弥生時代2、縄文時代1  
 1 調査区D 南から  
 2 1号縄文土器包含層 西から  
 3 1号縄文土器包含層 南から  
 P.L. 90 1区縄文時代2  
 1 調査区A～C1号縄文土器包含層 南から  
 P.L. 91 トレンチ断面  
 1 1区C旧石器トレンチ1 西から  
 2 1区C旧石器トレンチ2 東から  
 3 1区C旧石器トレンチ3 南から  
 4 1区D旧石器トレンチ4 南から  
 5 1区D旧石器トレンチ5 南から  
 6 1区トレンチ調査状態 南西から  
 7 2区A B境トレンチ全景 南東から  
 8 2区A B境トレンチ断面 南から  
 9 2区C D境トレンチ全景 南東から  
 10 2区C D境トレンチ断面1 南から  
 11 2区C D境トレンチ断面2 南から  
 12 2区D 5号トレンチ先端南壁断面 北東から  
 13 3区G 3号トレンチ断面 南から  
 14 3区F 5号トレンチ断面 南から  
 15 3区F 7号トレンチ断面 南から  
 P.L. 92 1区1～6、8・9号住居出土遺物  
 P.L. 93 1区9～13号住居出土遺物  
 P.L. 94 1区13・16～19号住居出土遺物  
 P.L. 95 1区21～23・29号住居出土遺物  
 P.L. 96 1区23・25・27号住居出土遺物  
 P.L. 97 1区27号住居、1号竪穴式遺構、1号製鉄関連遺構、48・114・135号土坑、4号溝 2区21・33号溝 3区60・65号溝出土遺物  
 P.L. 98 1区5号溝出土遺物  
 P.L. 99 表層 1区・2区・3区遺構外出土遺物  
 P.L. 100 弥生時代28号住居、1号埋設土器、遺構外 縄文時代1号縄文土器包含層、遺構外出土遺物1  
 P.L. 101 縄文時代遺構外出土遺物2  
 P.L. 102 縄文時代遺構外出土遺物3



## 第1章 発掘調査の経過

### 第1節 発掘調査に至る経緯

#### 1 事業実施に至る経緯

宮久保遺跡の発掘調査は、平成24・25年度社会資本総合整備事業に伴い実施されたものである。

本事業は、平成13(2001)年に策定された『石田川圏域整備計画』に基づき、『はばたけ群馬・県土整備プラン2008-2017』および『はばたけ群馬・県土整備プラン2013-2022』において示された4つの基本計画のうち「もっと暮らしに安心・安全を」に該当する。

本事業の対象となる石田川圏域は、群馬県の東部に位置し、みどり市・太田市・埼玉県熊谷市の3市で構成される石田川流域からなる面積約125km<sup>2</sup>の地域である。圏域内の幹川である石田川は、利根川の一次支流であり、石田川の支流に八瀬川・蛇川・聖川・高寺川・大川、八

瀬川の支流に八瀬川放水路・壘川、高寺川の支流に弁天沼川がある。石田川圏域の地形は、大間々扇状地が大部分を占めている。大間々扇状地の扇央部は、地下水位が低く水資源の確保が困難であり、近世以降に新田堀用水・岡登用水が渡良瀬川から開削され開削が進められた。用水路の整備はその後も行われ、現在ではこれら用水路の一部が高寺川・壘川・蛇川・八瀬川の上流に接続している。

石田川圏域における治水事業は、昭和16(1941)年に石田川本川の河川改修が始まるが、昭和22(1947)年のカスリン台風などによる洪水被害を契機に、昭和29(1954)年に計画変更が行われた。各支川の河川改修については昭和37(1962)年に八瀬川から始められ、河川改修以外の治水事業では昭和42(1967)年度に八瀬川放水路が完成し、現在に至るまで断続的に整備が続けられている。このような治水施設の整備により大きな洪水被害は減少したが、流域の都市化が進展する中で、河川の流下能力の不



第1図 周辺の地勢(国土地理院『宇都宮』平成23年6月1日発行20万分の1地形図を使用)



足や地域の排水対策の遅れ等から、いまだに浸水被害が発生しているのが現状である。また、流域の上流部は、北関東自動車道の整備や住宅地等の開発により、流域からの流出量の変化が生じている。このように石田川圏域のさらなる発展が見込まれる中で、洪水被害軽減のために圏域全体を見据えた治水対策が必要となった。

以上のことから、整備計画では、石田川圏域の河川において沿川の人口・資産の状況、現況の流下能力、災害の発生状況等や群馬県の他河川とのバランスを考慮し、約30年に1回程度と予想される洪水による氾濫を防止することが目標とされた。大川・高寺川・聖川・蛇川などの支川が流入する石田川本川中下流部については、築堤区間であることから、越水破堤した場合に想定される被害の発生状況を考慮して、約60年に1回程度と予想される洪水による氾濫を防止することが目標とされることとなった。そのため、石田川・蛇川・大川の上流域には調節池を整備し、豪雨時に河川への流出量の軽減を行うとともに、調節池周辺の排水路不足による浸水被害の軽減を図ることとなった。調節池はA池・B1～B4池・C池・D池・E池の8カ所が計画され、平成24(2012)年度末までにB1池・C池・E池をのぞく5カ所が整備された。本事業はこのうちのC池にあたる。また、大川、石田川上流部など河川の断面不足や線形不良の区間においては、河道の拡幅、線形は正などの河川改修を行い、石田川中下流部では、堤防の天端幅の不足する箇所への腹付け補強を行うとともに側帯(桜づつみ)の整備を行うこととなった。

## 2 発掘調査に至る経緯

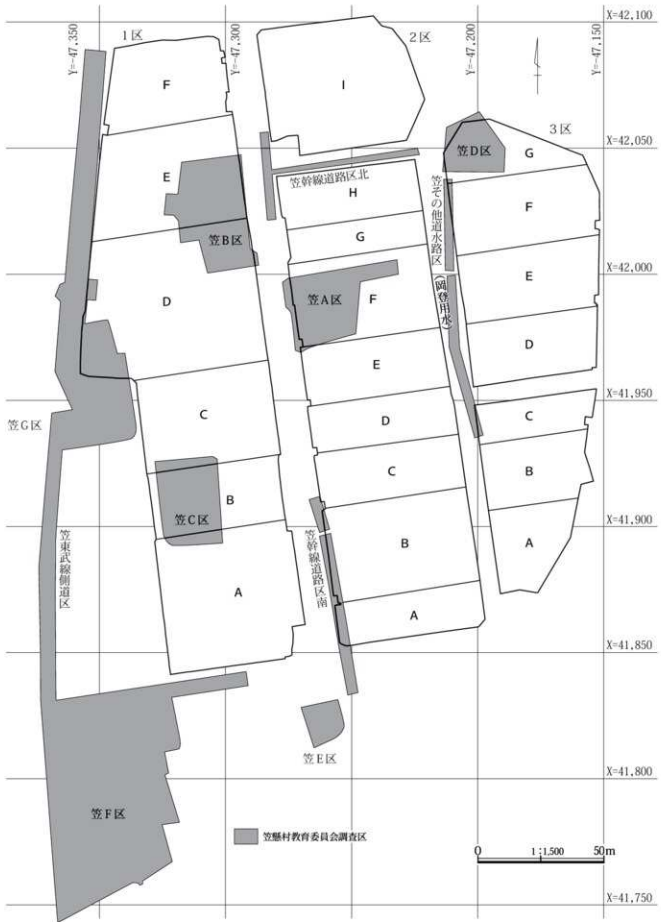
本遺跡の発掘調査は、平成24(2012)年度における群馬県桐生土木事務所と群馬県教育委員会文化財保護課との協議を踏まえ、平成25(2013)年7月2～3日、11月13～15・18・19・21日に文化財保護課による試掘調査の結果、As-Bの縄文積層、古代・縄文時代の遺物包含層、竪穴住居、土坑等が確認されたため本調査が必要と判断された。調査は、平成25(2013)年12月～平成26(2014)年9月の10ヶ月間、桐生土木事務所の委託を受けて公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団がこれにあたることが決せられた。なお、今回の調査区については、昭和62(1987)年に笠懸村教育委員会により、県営圃場整備事業岡登中部地区土地改良事業に伴う発掘調査(第1次調査)が行われた区画と一部重複する(第3図)。

### 参考文献

- 笠懸村教育委員会1989『笠懸村宮久保遺跡』
- 群馬県2001『石田川圏域河川整備計画』
- 群馬県2007『はばたけ群馬・県上整備プラン2008～2017』
- 群馬県2013『はばたけ群馬・県上整備プラン2013～2022』
- 群馬県2014『はばたけ群馬プラン・第14次群馬県総合計画・重点プロジェクト(平成26年4月1日改訂)』



第2図 宮久保遺跡の調査区位置図(国土地理院「桐生」平成21年4月1日発行2万5千分の1地形図を使用)



第3図 宮久保道跡と笠懸村教育委員会の調査区

## 第2節 発掘調査の経過

発掘調査は、平成25(2013)年度に12月から3月にかけての4ヶ月間で20,536㎡、翌平成26(2014)年度に4月から9月にかけての6ヶ月間で24,962㎡(平成25年度分と一部重複)、合計39,759㎡を対象として実施した。

## 【平成25年度】

平成25年度の調査は、12月1日から3月31日までの4ヶ月間、実施した。調査対象地は40,000㎡に迫る広大な面積を有することから、調査地内を南北に縦断する市道および岡登用水を境界として調査区を設定した。東武鉄道桐生線から市道までの間を1区、市道から岡登用水までの間を2区、岡登用水から八王子丘陵までの間を3区とし、さらに調査前の水田区画により1区A～F、2区A～1、3区A～Gに細分した。なお、調査時は、1区および2区F～Hを「宮久保遺跡2班」、2区A～Dを「宮久保遺跡2班」の担当調査区とした。

調査は1区Aから着手し、12月3日より重機(バックホー等)による表土除去を行い、縄文時代～近世の遺構面を確認、調査を行い、調査終了後に埋戻した。1区の調査は本年度で終了した。2区は2区A～Dから着手し、1面(中・近世面)終了後、下層の2面(中世面)以下で同様の調査を行った。

遺構確認面については、試掘調査および2区A～Dの調査から、1面(中・近世面)、2面(中世面)、3面(平安時代末面(As-B下、天仁元(1108)年)、4面(古墳時代～平安時代面)、5面(縄文時代～弥生時代面)とし、次年度の調査においてはこれに統一する方針とした。なお、同一面上に複数の時期にわたる遺構が存在する場合は「1～3面」のように表記することとした(凡例 調査面対応表)。

## 【平成26年度】

平成26年度の調査は、4月1日から9月30日までの6ヶ月間、調査を実施した。調査は、前年度からの継続である2区と新たに3区を対象として行い、9月で調査終了となった。

詳細は以下、調査日誌抄に記す。

## 【調査日誌抄】

## 平成25年度

- 12月2日(月) 調査事務所設置。  
12月3日(火) 1区A表土除去開始。  
12月4日(水) 1区A遺構確認開始。  
12月13日(金) 1区A表土除去終了。遺構調査開始。  
12月17日(火) 1区A遺構確認終了。  
12月18日(水) 1区B表土除去開始・遺構確認開始。  
12月24日(火) 1区B表土除去終了。  
1月7日(火) 1区B遺構確認終了・遺構調査開始。1区F表土除去開始。調査事務所増設。(「宮久保遺跡2」班用)  
1月8日(水) 1区F遺構確認開始。2区A～D表土除去開始・遺構確認開始。  
1月10日(金) 1区A B F空中写真撮影。2区A～D 1面遺構調査開始。  
1月14日(火) 1区C表土除去開始。  
1月15日(水) 1区C遺構確認開始。  
1月16日(木) 1区A B遺構調査終了。1区E表土除去開始・遺構確認開始。遺構調査開始。1区F遺構調査開始。  
1月17日(金) 1区E表土除去終了・遺構確認終了。  
1月21日(火) 1区C表土除去終了・遺構調査開始。1区F表土除去終了。  
1月22日(水) 1区C遺構確認終了。  
1月27日(月) 1区D表土除去開始。2区A～D表土除去終了・1面遺構確認終了。  
1月28日(火) 2区A～D 1面遺構調査終了・空中写真撮影。  
1月29日(水) 2区A～D 2面遺構確認開始。  
1月30日(木) 1区D表土除去終了。1区F遺構確認終了。2区H表土除去開始・遺構確認開始。  
1月31日(金) 1区D遺構確認開始。  
2月5日(水) 1区C空中写真撮影。1区E遺構調査終了。2区G表土除去開始・遺構確認開始。  
2月6日(木) 2区A～D 2面遺構確認終了。1区F遺構調査終了。  
2月7日(金) 1区D遺構確認終了。  
2月10日(月) 大雪被害復旧作業。  
2月11日(火) 2区F北表土除去・遺構確認開始。  
2月12日(水) 1区D遺構調査開始。2区A～D 2面遺構調査開始。  
2月13日(木) 2区F北・C・H表土除去終了。1面遺構確認終了。(1面なし)  
2月17日(月) 記録の大雪被害復旧作業開始。  
2月19日(水) 記録の大雪被害復旧作業終了。  
2月21日(金) 1区C遺構調査終了。  
2月27日(木) 2区A～D 2面空中写真撮影。3面遺構確認開始・3面遺構調査開始。  
2月28日(金) 2区A～D 2面遺構調査終了。3面遺構確認終了。  
3月3日(月) 2区D 4面遺構確認開始。  
3月4日(火) 2区A～D 3面遺構調査終了。2区C 4面遺構確認開始。2区G H 2面遺構確認・遺構調査開始。  
3月7日(金) 2区B 4面遺構確認開始。  
3月10日(月) 2区A 4面遺構確認開始。  
3月12日(水) 1区D E空中写真撮影。  
3月14日(金) 2区F北 2面遺構確認・遺構調査開始。  
3月17日(月) 2区A～D 4面遺構確認終了。2区F北・G H 2面空中写真撮影。  
3月18日(火) 2区F北・G H 2面遺構調査終了。  
3月19日(水) 1区D遺構調査終了。  
3月20日(木) 遺構面保護処置。  
3月21日(金) 調査事務所移転準備開始。  
3月31日(月) 25年度調査終了。

## 平成26年度

4月1日(火)	調査事務所移転、調査再開準備。	7月29日(火)	2区I 4面遺構確認終了・遺構調査開始。3区G 4面遺構確認終了。
4月7日(月)	2区A～D 4面遺構確認開始。2区F北・G H 3面遺構確認・遺構調査開始。	8月7日(木)	2区I 4面、3区G 4面空中写真撮影。
4月8日(火)	2区G H 3面全景写真撮影・遺構調査終了。(F北3面遺構なし)	8月8日(金)	2区I 4面遺構調査終了。(5面なし) 3区B C 4面遺構調査開始。
4月9日(水)	2区G H 4面遺構確認・遺構調査開始。	8月11日(月)	3区G 4面遺構調査終了。(5面なし)
4月11日(金)	2区F北 4面遺構確認・遺構調査開始。	8月28日(木)	3区A表土除去開始。3区B C 4面遺構調査終了(5面なし)・全景写真撮影。
4月14日(月)	2区F北・G H 4面遺構確認終了。	8月29日(金)	3区A表土除去終了。
4月15日(火)	2区A～D 4面調査終了。	9月1日(月)	3区E 4面遺構確認開始。
4月16日(水)	2区A～D・F北・G H 4面空中写真撮影。	9月2日(火)	3区E 4面遺構確認終了・遺構調査開始。3区F 4面遺構確認終了。
4月17日(木)	2区A～D 5面遺構確認開始。	9月3日(水)	3区A 3～4面遺構確認・遺構調査開始・全景写真撮影。(1～2面なし) 3区E～F 4面調査終了。(5面なし)
4月22日(火)	2区A～D 5面遺構確認終了・遺構調査開始。2区F北・G H 5面遺構確認。(遺構なし) 全景写真撮影。	9月4日(木)	3区A 3～4面遺構調査終了。(5面なし)
4月23日(水)	2区A～D 5面遺構調査終了。	9月5日(金)	調査区周辺器材撤収作業開始。
4月24日(木)	3区G表土除去・遺構確認開始。	9月17日(水)	調査区周辺器材撤収作業終了。
4月28日(月)	3区F表土除去・遺構確認開始。	9月18日(木)	調査事務所撤収準備開始。
5月1日(日)	2区E・F南表土除去・遺構確認開始。	9月26日(金)	調査事務所撤収完了。
5月8日(日)	3区F G 1～3面遺構調査開始。	9月30日(火)	調査終了。
5月9日(金)	3区E表土除去・遺構確認。1～3面遺構調査開始。		
5月12日(月)	2区E・F南表土除去終了・遺構調査開始。3区F G表土除去終了。		
5月13日(火)	2区E・F南1面遺構確認終了。		
5月16日(金)	2区E・F南1面遺構調査終了。		
5月19日(月)	2区E・F南1面空中写真撮影。2面遺構確認開始。2区I表土除去開始。		
5月23日(金)	2区I 1面遺構確認開始。		
5月27日(火)	2区E・F南2面遺構確認終了・遺構調査開始。		
5月28日(水)	2区E・F南2面全景写真撮影。3区F 1～3面遺構調査開始。		
5月29日(木)	2区E・F南2面遺構調査終了。		
5月30日(水)	2区I 1面遺構確認終了・遺構調査・全景写真撮影。		
6月2日(月)	2区E・F南3面遺構確認・遺構調査開始。2区I 2面遺構確認開始。		
6月9日(月)	2区E・F南3面、3区F G 1～3面空中写真撮影。		
6月10日(火)	2区E・F南3面遺構調査終了。4面遺構確認開始。		
6月17日(火)	2区I 2面遺構調査開始。		
6月18日(水)	3区G 1～3面調査終了。		
6月19日(木)	2区E・F南4面遺構確認終了・遺構調査開始。2区I 2面遺構確認終了。		
6月24日(火)	2区I 2面遺構調査終了。		
6月26日(木)	2区E・F南4面、2区I 2面空中写真撮影。		
6月27日(金)	2区E・F南4面遺構調査終了。(5面なし) 3区F 1～3面調査終了。		
6月30日(月)	2区I 3面遺構確認開始・遺構調査開始。		
7月8日(火)	2区I 3面遺構確認終了。		
7月9日(水)	3区D表土除去・遺構確認開始。		
7月14日(月)	3区D表土除去・遺構確認終了。4面遺構調査開始。(1～3面なし)		
7月15日(火)	3区D 4面遺構調査終了。		
7月16日(水)	2区I 3面、3区E 1～3面空中写真撮影。3区B C表土除去開始・遺構確認開始。		
7月17日(木)	2区I 3面遺構調査終了。3区B C表土除去終了。3区E 1～3面遺構調査終了。		
7月22日(火)	2区I 4面遺構確認開始。3区C 4面遺構確認終了。(1～3面なし) 3区G 4面遺構確認開始。		
7月23日(水)	3区B 4面遺構確認終了。(1～3面なし)		
7月24日(木)	3区F 4面遺構確認開始。		
7月25日(金)	3区F G 4面遺構調査開始。		

## 第3節 発掘調査の方法

### 1 座標の設定

発掘調査に用いた座標・グリッドは世界測地系(日本測地系2000平面直角座標第IX系)を用い、10m×10mを基本として設定した。なお、第IX系の原点は、北緯36°00′00″、東経139°50′00″(千葉県野田市)であり、本遺跡はX=41841～42103、Y=-47151～-47357に位置する。遺構図中の座標については、座標値の下3桁を「X軸-Y軸」の順で記し、「X=42000、Y=-47300」の場合、「000-300」のように表記した。

### 2 調査の方法

調査の方法はごく標準的な方法を用いた。表土除去は基本的に重機(バックホー等)を用いて行った。表土除去後、平面精査を行い、遺構確認を行った。確認された遺構は、埋没土層確認用ベルトを任意に設定した後、移植鍬等で掘削し、測量・写真等で記録した(遺構測量・遺構写真撮影については後述)。遺構番号は、通し番号とした。埋め戻しは基本的に重機(バックホー等)を用いて行った。

### 3 遺構測量

遺構図は断面図・平面図とも縮尺1/20を基本とし、遺構の状況に応じて縮尺1/10・1/40とした。平面図は測量会社にデジタル測量を委託し、断面図は発掘作業員によるアナログ測量を行ったものを測量会社にデジタル化を委託した。

### 4 遺構写真撮影

遺構写真は、調査担当者が撮影した。Iso400プロローニー版モノクロフィルムを6×7cm判サイズで撮影し、デジタルカメラでも撮影した(DVDに記録データを保存)。遺構ごとに土層断面、遺物出土状態、全景等を撮影し、さらに必要に応じて接写を行った。また、調査区全景写真については、空中写真撮影を測量会社に委託した。

## 第4節 整理作業の経過と方法

整理作業は、平成26(2014)年度に11月から3月までの5ヶ月間、平成27(2015)年度に4月から3月までの12ヶ月間、実施した。詳細は以下、年度ごとに記す。

### 【平成26年度】

平成26年度の整理作業は、11月1日から3月31日までの5ヶ月間、桐生土木事務所の委託を受けて、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団がこれにあたることとなった。遺構図は、点検・修正・編集を行い、掲載図をデジタルデータとして作成した。遺物は、土器の接合・復元を行った。遺構写真は、デジタル写真から編集を行った。また、これらの作業と並行して、本文原稿等を執筆した。

### 【平成27年度】

平成27年度の整理作業は、4月1日から3月31日までの12ヶ月間、前年度に引き続き桐生土木事務所の委託を受けて、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団がこれにあたることとなった。前年度からの継続作業から着手し、遺構図の修正・編集、遺物の接合・復元・実測・トレース・写真撮影を行い、並行して本文原稿・遺物観察表等を執筆した。その後、遺構図・遺物図・遺構写真・遺物写真・本文原稿等のレイアウトを作成してデジタル編集を行い、本報告書を作成した。遺物・図面・写真等の記録資料については、群馬県埋蔵文化財調査センターに収納、保管した。なお、整理作業において、遺構名等の変更が生じたが、これに伴う遺物注記について書きかえを行っていない。

## 第2章 周辺の環境

### 第1節 地理的環境

#### 1 地理的現況

宮久保遺跡は、みどり市の南東部、J R 両毛線岩宿駅から東に約2 km、東武鉄道桐生線阿左美駅から南東に約0.8 km、みどり市笠懸町阿左美に所在し、太田市藪塚町(旧新田郡藪塚本町)に隣接する。みどり市は、平成の大合併で平成18(2006)年3月に新田郡笠懸町・山田郡大間々町・勢多郡東村の3郡にまたがる3町村が合併して成立した。群馬県内で13番目に誕生した最も新しい市である。「平成26年度群馬県市町村要覧」によると、みどり市の産業別就業人口では第三次産業が最も多く、約6割を占める。第一次産業のうち農業就業人口・出荷額が県内市部では上位にあるが、年々減少傾向にある。第二次産業では金属機械加工組立業・衣服業が比較的多い。交通網に着目すると、鉄道ではJ R 東日本・東武鉄道・上毛電気鉄道・わたらせ渓谷鐵道の4社線が通り、道路では国道50号が南部を走り、国道122号はほぼ渡良瀬川沿いに走り、国道353号が分岐している。なお、国道50号と県道前橋大間々桐生線沿いには大型店舗が多く展開し、郊外型の商業地域を形成している。

#### 2 地形的環境

みどり市周辺の地形を概観すると、もっとも顕著な地形は渡良瀬川および渡良瀬川により形成された大間々扇状地、そして八王子丘陵である(第4図)。

渡良瀬川は、皇海山に源を発し赤城火山斜面と足尾山地との境を南西方向に流れる。みどり市大間々町上神梅付近で南東方向へと転じると、太田市吉沢町・栃木県足利市小俣町～太田市市場町・足利市五十町の間は群馬県・栃木県の県境を流れ、埼玉県加須市本郷付近で利根川に合流する。

大間々扇状地は、渡良瀬川が更新世に形成した関東有数の大型扇状地で、谷口のみどり市大間々町大間々付近から南方に発達し、太田市北西部から伊勢崎市中央部へ

至る標高50～60mを扇端とする、南北約18km、扇端幅約13kmの扇形の範囲に発達する。大間々扇状地は、形成時期を異にする5つの地形面構成される合成扇状地であり、中でも西側の桐原面と、その東側の藪塚面が最も広く主体をなしている。藪塚面は、みどり市笠懸町鹿・笠懸町阿左美・笠懸町久宮および太田市藪塚町・大原町付近を扇尖とし、太田市北西部から伊勢崎市東部にいたる標高60m付近を扇端とする。扇状地面は桐原面のように谷が発達しておらず、扇形の整った等高線配列を示す。大間々扇状地の南方にはほぼ群馬・埼玉県境に沿って利根川が流れており、大間々扇状地扇端と利根川の間には洪積台地が分布している。

八王子丘陵は、渡良瀬川構造線により足尾山地から分離された分離丘陵であり、長楕円形を呈し北西-南東方向に伸び渡良瀬川にほぼ並行する。丘陵の長さ約7 km、幅約2.8 km、主軸線の標高約300 m、最高点は320 mであり、みどり市・桐生市・太田市の3市に跨がる。八王子丘陵の地質は、概ね主軸線の東側が足尾層群、西側が古第三系の金山溶結凝灰岩と新第三系中新統の藪塚累層から成り、その成因も複雑であると考えられる。

#### 3 本遺跡周辺の環境

本遺跡は、前記の大間々扇状地藪塚面と八王子丘陵荒神山とに挟まれた谷底平野に位置する。この低地の谷頭は阿左美沼(旧沼)にあり、表土層下には藪塚面礫層が伏在する。本遺跡周辺の標高は約108 mである。

本遺跡周辺においては、藪塚面と谷底平野の境界に沿うように東武鉄道桐生線が走り、東武鉄道の北東側は昭和56(1981)～62(1987)年にかけての県営圃場整備事業開発中部地区土地改良事業により整然とした水田地帯となっている。なお、当該事業の結果として新田郡笠懸村(現みどり市)と新田郡藪塚本町(現太田市)の町村境に変更が生じている(本遺跡南端部)。東武鉄道の南西側には県道太田大間々線が並行し、県道沿いに住宅や商店などが展開している。なお、本遺跡の南南東約1.8 kmには藪塚温泉があり、周辺には宿泊施設のほかにジャパンス



第4図 周辺の地形分類図

(地形分類は群馬県「土地分類基本調査・深谷」(1991)、「土地分類基本調査・桐生及足利」による。国土地理院「桐生及足利」平成11年6月1日発行5万分の1、「深谷」平成10年9月1日発行5万分の1地形図を使用)

ネークセンターや三日月村などの観光施設も所在する。

#### 参考文献

- 太田市1996『太田市史』通史編・自然  
 大間々扇状地研究会2010『共同研究群馬県大間々扇状地の地域と景観  
 自然・考古・歴史・地理』  
 大間々町誌刊行委員会1996『大間々町誌「基礎資料Ⅴ」大間々町の地形・  
 地質』  
 笠懸村教育委員会1988『宮久保遺跡』  
 笠懸村教育委員会1989『笠懸村宮久保遺跡』  
 桐生市史編纂委員会1958『桐生市史』上  
 群馬県総務部市町村課2013『平成26年度群馬県市町村要覧』  
 群馬県農政部土地改良課1992『土地分類基本調査深谷』  
 群馬県農政部土地改良課1997『土地分類基本調査桐生及足利』  
 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2015a『石神遺跡』  
 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2015b『田谷遺跡』  
 群馬県史編纂委員会1991『群馬県史』上

## 第2節 歴史的環境

本遺跡周辺の遺跡分布を概観すると、次の①～③の地域に集中して分布することが観察される(第5図)。

①八王子丘陵南西麓丘陵斜面から大間々扇状地藪塚面の北東縁にかけての谷底平野を中心とした地域(1～4・25～81・85)。

②阿左美沼周辺から東方にかけての大間々扇状地相生面と火山斜面の地域(5～9・14～24)。未調査の遺跡が多く詳細は不明。

③琴平山丘陵・稲荷山丘陵から鹿田山丘陵にかけてとその周辺地域(10～13、琴平山丘陵南半以外は範囲外)。

このような集中分布域に比べ、本遺跡の西側に広がる大間々扇状地藪塚面の扇央部は遺跡分布が希薄である。これは、藪塚面がAs-BP降下以前は渡良瀬川の流路であり、渡良瀬川流路変更後は地下水水位が低く近世以前において水資源の確保が困難であったことによると考えられる。

### 1 旧石器時代

本遺跡周辺における旧石器時代の遺跡としては、第一に国史跡岩宿遺跡(13)があげられる。岩宿遺跡は、昭和21(1946)年に相澤忠洋により発見され、昭和24(1949)年には明治大学考古学研究室による発掘調査が行われ、日本列島に旧石器時代が存在したことを証明した遺跡である。北山遺跡(6)においては、As-BP上位から石器ブロックが確認され、As-BP下位および暗色帯上面から土坑状

の落ち込みも確認されている。その他に、元屋敷遺跡(2)においてAs-BPから暗色帯にかけて石器ブロックが確認され、藪塚遺跡台山地点(36)において暗色帯からナイフ形石器、つづじ山遺跡(37)において暗色帯からナイフ形石器・石核・剥片等が出土しているが、本遺跡周辺においては旧石器時代遺跡の分布は希薄である。

### 2 縄文時代

縄文時代に入ると遺跡数は増加する。草創期の遺跡としては、国史跡西鹿田中島遺跡(範囲外)があげられる。西鹿田中島遺跡は、草創期の重複する竪穴住居が初めて確認された遺跡である。鹿の川遺跡(11)からも爪形文土器が出土している。早期については、鹿の川遺跡から押型文土器・撚糸文土器が多量に出土しているほか、西鹿田中島遺跡からも集落が確認されている。前期には北山遺跡(6)・藪塚遺跡台山地点(36)などから集落が確認されている。中期～後期の遺跡は多く、阿左美遺跡(3)・石之塔遺跡(26)・中原遺跡(31)・滝之入前遺跡(52)などから集落が確認されている。阿左美遺跡の竪穴住居2軒(うち1軒は敷石住居)は、県史跡に指定されている。しかし、晩期には遺跡数は減少に転じ、本遺跡周辺において晩期の遺構が確認されたのは、本遺跡の南に隣接する石之塔遺跡のみである。

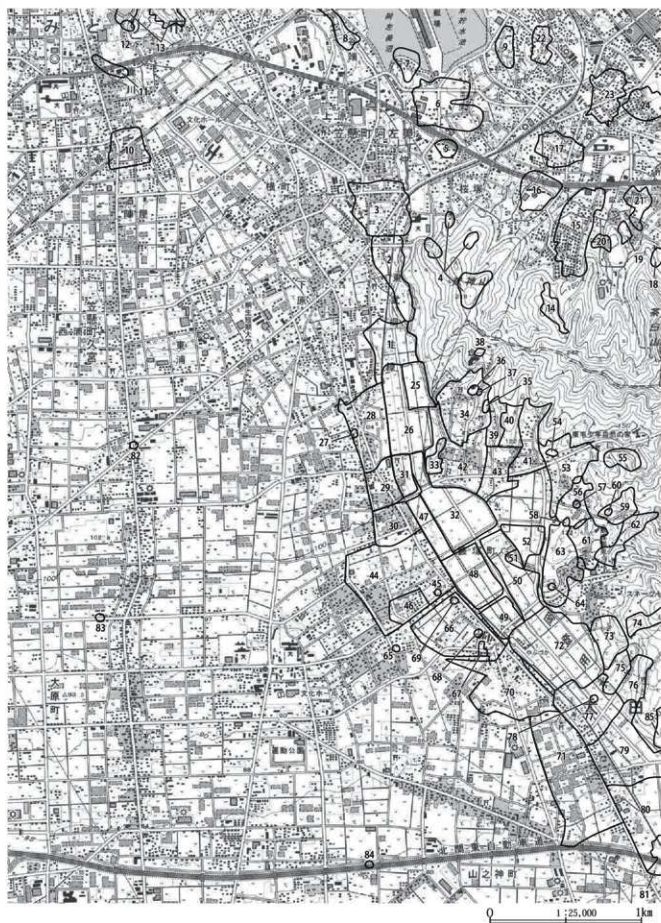
### 3 弥生時代

東毛地域において弥生時代の遺跡分布はきわめて希薄である。本遺跡周辺も例外ではなく、遺構については、鹿田山丘陵周辺の清水山遺跡・和田遺跡(いずれも範囲外)で中期の竪穴住居、向山遺跡(範囲外)で後期の竪穴住居などが確認されているのみである。遺物については、石之塔遺跡(26)・中原遺跡(31)・元屋敷遺跡(48)・滝之入前遺跡(52)などから弥生土器が出土している。

### 4 古墳時代

古墳時代に入ると、遺跡数は再び増加に転じる。本遺跡の北に隣接する元屋敷遺跡(2)からは前期の方形周溝墓が確認されている。また、石之塔遺跡(26)から前期、中原遺跡(31)から前期・後期、台之原廃寺跡(46)・榎木八幡遺跡(69)から後期の集落が確認されている。





第5図 周辺の遺跡(国土地理院「桐生」平成21年4月1日発行2万5千分の1地形図を使用)

古墳に目を向けると、東毛地域においては前期に主軸全長124mの前方後円墳である朝子塚古墳(範囲外)、中期には主軸全長210mの東日本最大の前方後円墳である太田天神山古墳(範囲外)と主軸全長106mの帆立貝形古墳の女体山古墳(範囲外)が築造されるが、本遺跡周辺において古墳が築造されるようになるのは後期のことである。八王子丘陵南西麓斜面を中心に諏訪山古墳群(56)・北山古墳群(59)・北山古墳(60)・湯之入古墳群(61)・西山古墳(64)・釜影山古墳群(74)・笠懸天神山古墳群(範囲外)などが築造されている。北山古墳・西山古墳は県史跡に指定されている。

## 5 奈良・平安時代

律令制下において、群馬県域はほぼ上毛国(和銅6(713)年までに上野国と改称)にあたり、『倭名類聚抄』によると、国内には当初、「碓氷・片岡・甘楽・緑野・那波・群馬・吾妻・利根・勢多・佐位・新田・山田・邑楽」の13郡が置かれ(和銅4(711)年)に多胡郡設置で14郡、みどり市域に相当する新田郡の項目には「新田・津野・石西・淡甘・祝人・駅家」の6郷、山田郡の項目には「山田・大野・園田・真張」の4郷、勢多郡の項目には「深田・田邑・芳賀・桂萱・真壁・深渠・深澤・時澤・藤澤」の9郷が確認できる。本遺跡周辺は新田郡にあたり、祝人郷または淡甘郷に属したとの2説がある。

本遺跡周辺において奈良時代に入ると遺跡数は減少し、平安時代に再び増加する。稲荷山遺跡(範囲外)から奈良時代～平安時代の集落、阿左美遺跡(3)・石之塔遺跡(26)・中原遺跡(31)・薬師前遺跡(49)などから平安時代の集落が確認されている。また、本遺跡の南南東約5.5kmの天良七堂遺跡(範囲外)は新田郡衝推定地(国史跡上野国新田郡庁跡)であり、南側には東山道駅路が通っている。

生産遺跡に着目すると、奈良時代に鹿の川瓦窯跡(12)・山際窯跡(範囲外)で瓦窯、馬見岡遺跡(範囲外)で須恵器窯、元屋敷遺跡(48)で鍛冶場が確認されている。鹿の川瓦窯跡・山際窯跡の瓦は、上野国分寺のほか台之原廣寺跡(46)・寺井庵寺跡(範囲外)など多くの寺院跡等から出土している。平安時代には、和田遺跡・稲荷山遺跡・馬見岡遺跡(いずれも範囲外)などで炭窯、元屋敷遺跡(2)・

阿左美沼北遺跡(範囲外)などで製鉄炉が確認されている。これら生産遺跡は主に鹿田山丘陵周辺に分布している。

## 6 中・近世

天仁元(1108)年のAs-B降下後に上野国内では荘園開発への動きが活発になり、新田郡を中心に新田氏による新田荘の開発が進められる。新田荘は保元2(1157)年に新田義重が私領を花山院忠雅に寄進し成立する荘園であり、主な遺跡は現在、国史跡新田荘遺跡に指定されている。享徳4(1455)年書写の嘉応2(1170)年「新田荘田畠在家注文」には「阿左見郷」の記述が見えることから、この頃本遺跡周辺は新田荘阿左見郷に含まれていたと考えられる。なお、旧笠懸町地域を指す「笠懸野」は、『吾妻鏡』巻十三建久4(1193)年4月28日条の源頼朝の新田館滞留に由来し、史料上の初見は『太平記』第十巻三節義貞叛逆の事(元弘3(1333)年5月8日)である。

南北朝動乱後、新田郡においては岩松氏が勢力を保ち、応永11(1404)年の「新田荘内総領知行分注文」には岩松氏知行分として「上阿佐美郷」の記述が見え、作成年不明(岩松持国の頃)の「新田荘内岩松方底子方寺領等注文」には田中民部大輔知行分として「下阿左美郷」の記述が見えることから、この頃には本遺跡周辺は新田荘下阿左見郷に含まれていたと考えられる。岩松氏は永享12(1440)年の結城合戦で京兆家と礼部家に分裂、文明元(1469)年に礼部家に統一されるも、家臣から横瀬氏(由良氏)が台頭し明応4(1495)年に岩松尚純が横瀬(由良)成繁により隠居させられ実権を奪われた。由良氏は東毛地域に勢力を伸張するが、天正13(1585)年、由良氏は北条氏に敗れ桐生城(範囲外)に退去した。由良氏の重臣藤生氏は阿左見・藪塚を所領としており、本遺跡に隣接する元屋敷遺跡(2)の城館跡は藤生氏のものと考えられる。

徳川家康江戸入府後、本遺跡をふくむ阿左美村は、代官支配となり、慶応3(1867)年に前橋藩領となった。本遺跡2・3区間を流れる岡登用水(笠懸野御用水、笠懸野古堀)は、代官岡上景能により寛文12(1672)年竣工するが数年で廃絶となり、文久2(1862)年に山田郡内2カ村部分が再興、明治6(1873)年の古用水再興・新用水開削により現在の流路となった。また、本遺跡西方約1.6kmを南北に走る県道大間々世良田線は慶安2(1649)年間

## 第2章 周辺の環境

設の足尾銅山街道(あかがね街道)の新道である(新道は寛文9(1669)年までに開通)。

なお、遺跡名および遺跡範囲(第5図)は「マッピングぐんま」による。

### 参考文献

- 阿左美道上地改良区50年史編集委員会2008『阿左美沼用永史』  
 太田市1996『太田市史』通史編・原始古代  
 大間々扇状地研究会2010『共同研究群馬県大間々扇状地の地域と景観  
 自然・考古・歴史・地理』  
 大間々町誌編さん室1998『大間々町誌』通史編上  
 笠懸村教育委員会1988『宮久保遺跡』  
 笠懸村教育委員会1989『笠懸村宮久保遺跡』  
 笠懸村誌編集室1983『笠懸村誌』別巻1

- 笠懸村誌編集室1985『笠懸村誌』上  
 京都大学文学部国語学国文学研究室編1968『諸本集成倭名類聚抄』本文  
 篇 龍川書店  
 福生市史編纂委員会1958『福生市史』上  
 黒板勝美編1932『新訂増補同史大系巻録』2 吉川弘文館  
 群馬県文化事業振興会1986『上野国郡村誌』15  
 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2012『北山遺跡』  
 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2015a『石神遺跡』  
 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2015b『田谷遺跡』  
 兵藤裕巳校注2014『太平記』2 岩波文庫  
 みどり市教育委員会2013『みどり市遺跡地図』  
 森田保2003『尾崎喜左衛門博士調査集考古遺物目録』 群馬大学教育学  
 部  
 群馬県教育委員会1987『石之塔遺跡』  
 群馬県教育委員会1991『群馬県教育委員会1991『マッピングぐんま』  
<http://mapping-gunma.pref-gunma.jp/pref-gunma/top>

第1表 周辺の遺跡一覧表

	遺跡	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平	中・近世	近代	種別	文献
1	宮久保遺跡(宮ノ窪遺跡)		○	○		○			散布地、集落、生産遺跡	本報告書、12、13、36、37。
2	元屋敷遺跡(阿左美遺跡元屋敷地区)	○		○	○	○			散布地、集落、城館、古墳、墓その他、生産遺跡	14、15、36、37、38。
3	阿左美遺跡(阿左美遺跡仲地区、阿左美石部時代住居跡)		○			○	○		集落	9、11、14、15、24、34、35、36、37。
4	荒神山岩跡						○		城館	9、22。
5	桜塚遺跡		○				○		集落、墓その他	2、4。
6	北山遺跡	○	○			○			散布地、集落	3、8、9、20、24、29、34、35、36。
7	浅海八幡遺跡		○						散布地、城館	1、37。
8	谷塚遺跡		○			○			散布地、集落	9、14、15、36、37。
9	北遺跡					○			散布地	9、34。
10	岡上陣屋跡						○		城館	24。
11	鹿の川遺跡		○	○					散布地、墓その他	9、32、37。
12	鹿の川反窟跡					○			生産遺跡	9、23。
13	岩宿遺跡	○	○			○	○		散布地、城館、生産遺跡	9、10、24、30、31、33、36、39。
14	寺ノ入遺跡		○						散布地	16。
15	岡ノ上遺跡		○	○		○			散布地、集落	16。
16	神明山遺跡		○	○	○				集落	16。
17	神明遺跡		○			○			散布地	16。
18	三堂ノ入遺跡					○			散布地、生産遺跡	16。
19	古庭ノ入1遺跡		○						散布地	16。
20	古庭ノ入2遺跡		○	○		○			散布地	16。
21	古庭遺跡		○			○			散布地	16。
22	愛宕山遺跡		○						散布地	16。
23	富士見ヶ丘1遺跡		○			○			散布地	18、19。
24	富士見ヶ丘2遺跡					○			散布地	17。
25	堂ノ下遺跡		○						散布地、生産遺跡、不明	51。
26	石之塔遺跡		○	○	○	○			散布地、集落、墓その他、生産遺跡	12、13、49、52。
27	牛之塔遺跡						○		墓その他	52。
28	中原上遺跡						○		墓その他	5、6、7。
29	中原中遺跡				○		○		古墳、墓その他、その他	21。
30	中原下遺跡				○	○	○		散布地	
31	中原遺跡(生品神社敷石住居跡)		○	○	○	○			散布地、集落、生産遺跡	48、52。
32	新井前遺跡		○		○				散布地	
33	不動山遺跡				○		○		散布地、古墳	7、21。

	遺跡	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平	中・近世	近代	種別	文献
34	台山遺跡(愛宕神社西遺跡)	○	○		○	○	○		散布地、集落、社寺、古墳	21、52。
35	台山Ⅰ遺跡		○						集落	
36	藪塚遺跡台山地点(台山遺跡)	○	○		○				集落、生産遺跡	40、52。
37	つつじ山遺跡(藪塚遺跡)	○	○						散布地、集落	24、52。
38	つつじ山Ⅱ遺跡		○						集落	
39	京之入遺跡						○		社寺	
40	東台山遺跡		○						散布地	
41	滝之入遺跡		○		○				散布地、古墳	21。
42	台遺跡				○				古墳	7。
43	台東遺跡				○		○		社寺、古墳	21、52。
44	萩林遺跡		○		○	○			散布地、集落、古墳	21、52。
45	長上手遺跡		○						散布地	
46	台之原摩寺跡(台之原遺跡)				○	○			散布地、集落、墓その他	46、47、52。
47	六地藏遺跡				○	○			集落、墓その他	43、52。
48	元塚敷遺跡		○	○	○	○	○		集落、墓その他	50、52。
49	薬師前遺跡				○	○	○		集落、墓その他	41、44、52。
50	三島前遺跡		○		○				散布地	
51	三島神社境内遺跡		○		○				散布地、集落	52。
52	滝之入前遺跡		○	○		○			集落、生産遺跡	45。
53	滝之入東遺跡				○				散布地	
54	地蔵山下遺跡				○				散布地	
55	アキヤタナ遺跡						○		古墳、その他	21。
56	諏訪山古墳群				○				古墳	21。
57	諏訪山遺跡		○		○				散布地	52。
58	向山古墳				○				散布地、古墳	42、52。
59	北山古墳群(園之入古墳群)				○				古墳	21。
60	北山古墳				○				古墳	52。
61	園之入古墳群				○				古墳	21。
62	湯ノ入前遺跡		○						散布地	52。
63	湯取遺跡(西山遺跡)		○		○				散布地	52。
64	西山古墳				○				古墳	52。
65	十輪寺跡遺跡						○		社寺、墓その他	
66	木戸海道遺跡		○		○	○	○		散布地、集落	5、52。
67	木戸海道Ⅰ遺跡		○			○			散布地、集落	52。
68	木戸海道Ⅱ遺跡				○	○			散布地、集落、墓その他	52。
69	榎木八幡遺跡(榎八幡遺跡)				○				散布地、集落	52。
70	三島遺跡						○		墓その他	
71	西野西遺跡		○						散布地	6。
72	八石遺跡(園ノ入遺跡)		○	○	○	○			散布地、古墳	6、52。
73	湯ノ入東遺跡						○		散布地、墓その他、生産遺跡	
74	菰影山古墳群				○				古墳	
75	岩崎遺跡		○						散布地	52。
76	谷遺跡		○						散布地	
77	西野東上遺跡		○	○	○	○			散布地、古墳	21。
78	街道橋古墳		○	○	○				散布地、古墳	21、52。
79	西野東中遺跡		○	○	○				散布地、古墳	7、21。
80	西野東下遺跡		○	○	○				散布地、古墳	7、21。
81	西野原遺跡		○	○	○	○	○		散布地、古墳、生産遺跡	21、25、26、27、28。
82	別次遺跡		○						散布地	
83	三区西浦遺跡		○						散布地	
84	野田遺跡		○						散布地	
85	西長岡天神山古墳群				○				古墳	21。

第2表 周辺の遺跡で使用した文献一覧表

1	岩澤正作1925「三山園臨時陳列会目録」『上毛及上毛人』96
2	岩澤正作1925「大間々町(中)」『上毛及上毛人』101
3	岩澤正作1939「石器時代の笠懸村(下)」『毛野』31
4	岩澤正作1940「上毛電気鉄道沿線に於ける先史時代文化相の鳥瞰」『毛野』37
5	太田市教育委員会2009「太田市内遺跡」4
6	太田市教育委員会2010「太田市内遺跡」5
7	太田市教育委員会2014「太田市内遺跡」9
8	奥山園1924「笠懸村にて古代瓦発見」『上毛及上毛人』92
9	笠懸村村誌編纂室1983「笠懸村誌(別巻)」
10	笠懸村教育委員会1971「群馬県笠懸村岩宿遺跡緊急発掘調査概報」
11	笠懸村教育委員会1983「阿左美遺跡調査概報」
12	笠懸村教育委員会1988「宮久保遺跡」
13	笠懸村教育委員会1989「笠懸村宮久保遺跡」
14	笠懸町教育委員会1993「笠懸町内遺跡」1
15	笠懸町教育委員会1995「笠懸町内遺跡」II
16	桐生市教育委員会1994「桐生市埋蔵文化財分布地図・地名表」
17	桐生市教育委員会2004「平成14年度発掘調査概報」
18	桐生市教育委員会2008「平成17・18年度発掘調査概報」
19	桐生市教育委員会2014「桐生市内遺跡発掘調査報告」
20	桐生市バイパス建設区域埋蔵文化財調査委員会1974「桐生市バイパス建設区域埋蔵文化財調査報告書」
21	群馬県1938「上毛古墳綜覧」
22	群馬県教育委員会1988「群馬県の中世城跡群」
23	群馬県史編さん委員会1986「群馬県史」資料編2
24	群馬県史編さん委員会1988「群馬県史」資料編1
25	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2006「西野原遺跡(1)(2)」
26	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2008「西野原遺跡(3)(4)・島谷戸遺跡」
27	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2009「西野原遺跡(5)(7)」第1分冊
28	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2010「西野原遺跡(5)(7)」第2・3分冊
29	(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2012「北山遺跡」
30	杉原荘介1955「群馬県新田郡岩宿遺跡」『日本考古学年報』2
31	杉原荘介1956「群馬県新田郡岩宿遺跡」『日本考古学年報』3
32	鎌田芳雄1969「桐生市および周辺の弥生文化」
33	みどり市教育委員会2010「史跡岩宿遺跡保存整備報告書」
34	みどり市教育委員会2010「みどり市内遺跡」1
35	みどり市教育委員会2012「みどり市内遺跡」3
36	みどり市教育委員会2013「みどり市内遺跡」4
37	みどり市教育委員会2014「みどり市内遺跡」5
38	みどり市教育委員会2015「みどり市内遺跡」6
39	明治大学文学部考古学研究室1956「群馬県岩宿発見の石器文化」
40	萩塚遺跡台山地点発掘調査団1991「萩塚遺跡台山地点発掘調査報告書」
41	萩塚本町教育委員会1982「薬師前遺跡」
42	萩塚本町教育委員会1983「南山古墳」
43	萩塚本町教育委員会1984「六地藏遺跡概報」
44	萩塚本町教育委員会1984「薬師前遺跡」
45	萩塚本町教育委員会1985「滝之入前遺跡」
46	萩塚本町教育委員会1985「台之原虎寺跡概報Ⅰ」
47	萩塚本町教育委員会1986「台之原虎寺跡概報Ⅱ」
48	萩塚本町教育委員会1986「中原遺跡概報」
49	萩塚本町教育委員会1987「石之塔遺跡」
50	萩塚本町教育委員会1988「元屋敷遺跡」
51	萩塚本町教育委員会1988「堂之下遺跡概報」
52	萩塚本町誌編纂委員会1991「萩塚本町誌」上

## 第3節 基本土層

現表土以下の基本土層(柱状図)は第6図に示した。土層は昭和56(1981)～62(1987)年にかけての県営圃場整備事業開墾中部地区土地改良事業により削平されているものの、調査区によっては比較的良好な状態で残存していた。

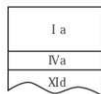
本遺跡における本調査着手以前の地形は、1～3区とも前述の圃場整備による整然とした水田区画をなしていたが、調査の結果、1区が低地(谷底平野)および低地中に島状に残る低台地、2区が低地、3区は低地および八王子丘陵からのびる台地の縁辺部であり、2区が最も標高の低い谷地形をなすことが確認された。そのような地形の影響からか、各区における堆積の状況は異なる。1区では、II・IV・V層は薄くかつ断片的で細分は困難であり、III層も確認されていないが、VI～IX層が低台地部分において良好な状態で堆積している。2区では、II～V層が厚く細分が可能であるが、VII～X層がきわめて断片的である。3区は2区に似るが、全体的に層が薄い。



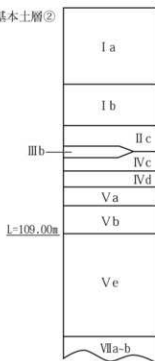
基本土層計測地点

L=109.00m

基本土層①

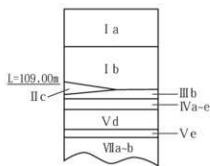


基本土層②



L=109.00m

基本土層③



L=109.00m

0 1:20 1m

## 【基本土層】

- I層 表土層。  
 I a層 圃場整備後の耕作土。  
 I b層 圃場整備前の耕作土。  
 II層 As-B混土層。  
 II a層 にぶい黄褐色土 As-B含む。  
 II b層 黒褐色～褐灰色土 As-B含む。  
 II c層 黒褐色～褐灰色粘質土 As-B含む。  
 III層 As-B層。  
 III a層 As-B(二次堆積)。  
 III b層 As-B(一次堆積)。  
 IV層 Hr-FA・As-C混土層。  
 IV a層 黒色～暗褐色粘質土 As-C・Hr-FA僅か含む。  
 IV b層 黒色～暗褐色粘質土 As-C・Hr-FA少し含む。  
 IV c層 黒色～暗褐色粘質土 As-C・Hr-FA含む。  
 IV d層 黒色～暗褐色粘質土 As-C・Hr-FA多く含む。  
 IV e層 黒色～暗褐色粘質土 As-C含む。  
 V層 粘質土層。  
 V a層 黒色～暗褐色粘質土。  
 V b層 黒褐色～暗褐色粘質土。  
 V c層 黒褐色～にぶい黄褐色粘質土 軽石含む。  
 V d層 褐灰色～赤褐色粘質土 軽石含む。  
 V e層 黒褐色～褐灰色粘質土。  
 VI層 ローム層。暗褐色～褐色土。  
 VII層 ローム層(二次堆積)。  
 VII a層 黄褐色ローム As-YP含み、軟質。  
 VII b層 明褐色ローム As-YP含み、硬質。  
 VIII層 As-YP層。  
 IX層 ローム層。灰褐色ローム。砂質。  
 X層 As-B層。  
 XI層 砂礫層(軟弱礫層?)。  
 XI a層 灰褐色砂礫 粘土粒含む。  
 XI b層 淡黄色砂礫 ラミナ状。  
 XI c層 黒褐色～灰褐色砂礫。  
 XI d層 礫層。

第6図 基本土層

## 第3章 確認された遺構と遺物

### 第1節 古墳時代以降の遺構と遺物

#### 1 概要(第7図 PL. 1)

宮久保遺跡から検出した古墳時代以降の遺構は、竪穴住居27軒、竪穴状遺構4基、掘立柱建物15棟・柵8基、ピット336基、土坑178基、製鉄関連遺構2基、溝69条、井戸3基、耕作痕群11基・畑7群、畦畔・水田面等で、居住関連の遺構から生産関連の遺構まで、実に多岐にわたる。

また、こうした遺構に伴って、土師器・須恵器・陶磁器・鉄製品・石製品・加工痕のある木材など、古墳時代から近世までの長期間にわたる遺物が出土している。また、1号竪穴状遺構からは馬歯、28号土坑からは人歯が出土するなど、多彩な出土遺物をほこる。

調査区ごとに概要を述べたい。

#### 1区

1区は、自然堤防状の微高地にあたり、居住関連を中心に遺構を検出している。調査区はA～Fに分けられるが、A～Dにかけての西南部およびE・Fの西北部は、広範囲に礫層面が広がり、削平が進んでいる可能性がある。また、D・Eの東辺部も擾乱が進んでいるため、遺構の全容把握には至っていない。

検出遺構は、竪穴住居・掘立柱建物・柵・ピット群・土坑・溝などがあり、竪穴住居はすべて1区から検出している。また、掘立柱建物も2区検出の1棟を除き14棟が検出された。各地点から検出した遺構は、以下の通りである。

- A 竪穴住居2軒(古墳時代1・平安時代1)、土坑6基、ピット10基。
- B 竪穴住居1軒(古墳時代)、掘立柱建物1棟、土坑1基、ピット9基。
- C 竪穴住居7軒(古墳時代2・平安時代5)、土坑10基、ピット31基、溝1条。
- D 竪穴住居11軒(平安時代)、掘立柱建物14棟・柵8基、土坑85基、ピット264基(掘立柱建物・柵の柱穴は除く)、溝9条、製鉄関連遺構2基。

E 竪穴住居6軒(平安時代)、竪穴状遺構1基、溝1条(Dと同一のもの)、土坑12基。

F 土坑9基、溝1条。

#### 2区

2区は、調査区の中で低地部分にあたり、1面から5面まで、生産関連の遺構を中心に検出している。畦畔・水田面、耕作痕群・畑、溝、井戸、土坑、掘立柱建物、竪穴状遺構などで、各面ごとに報告する。

1面 溝4条、井戸1基、畦畔・水田面1。

2面 溝13条、土坑2基、井戸2基、竪穴状遺構3基、耕作痕群5・畑7、ピット4基。

2・3面 溝1条、土坑16基、掘立柱建物1棟。

3面 溝8条、耕作痕群2、土坑11基、ピット2基。

4面 溝20条、耕作痕群3、土坑15基、ピット3基。

5面 ピット2基のほか、Hにおいて自然流路が確認された。

#### 3区

3区は、1・2区に比べ検出の遺構は少ない。とりわけ、東辺部は自然流路などの氾濫原であり、後背湿地的な要素が強かったことが想定され、土地利用上の難易度が高かったものと考えられる。調査は、1～5面までのものである。

検出した遺構は、11条の溝(54・64溝は同一の自然流路)のほか、耕作痕1、土坑1基、ピット1基が検出した。各面ごとに報告する。

1面 溝2条、土坑1基。

2面 該当する遺構はなかった。

3面 溝3条。

4面 溝4条(自然流路2条)、耕作痕群1。

5面 該当する遺構はなかったが、自然流路の存在が想定できる。



第7図 宮久保遺跡構造配置図



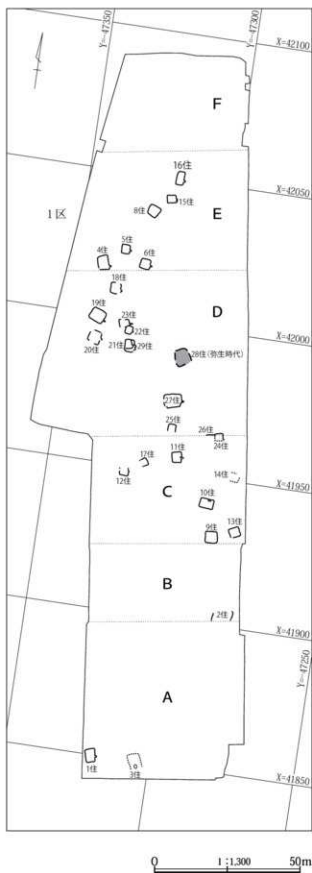
## 2 竪穴住居

本遺跡から検出された竪穴住居は、すべて1区から検出されている。1区A 2軒、B 1軒、C 7軒、D 11軒(21号住居は重複住居のため、新たな住居番号を付加し、29号住居との重複とした)、E 6軒の計27軒であった。1区C・D・Eに竪穴住居が集中する傾向にあるが、これらの地点は礫層上にローム層が堆積する地点であり、遺跡地の中でも微高地を形成している一帯でもある。これは、住環境を考へての居住域選定の結果と考えられるが、ローム層下は厚く礫層が堆積しており、床面をこの礫面としている住居も多く、住居掘削も容易でなかったと思われる。こうした要因と昭和62年度の土地改良事業等の削平もあって、残存する壁高が浅く、遺構全体の残存状態は決して良いとは言えない。また、出土遺物も少なく、カマドの残存状態も極めて悪いものが多かった。

調査時に欠番となった7号住居はそのまま欠番として扱っている。また、28号住居については、弥生時代の遺構ということで、弥生時代の項で扱う。ここで報告する竪穴住居は、27軒である。

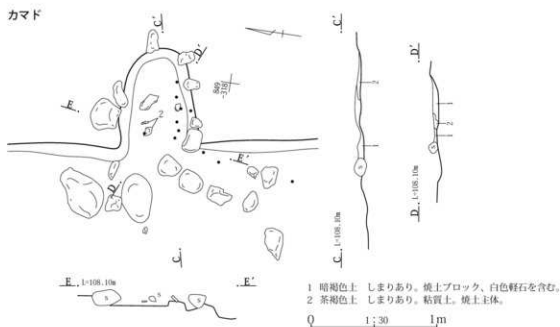
検出した竪穴住居の報告にあたって、以下の点に留意して記載した。

- ① 竪穴住居の付属施設については、貯蔵穴・柱穴・周溝など各住居で付属施設として存在しないものは、項立てせずに一括して「その他」の項で記載することにした。
- ② 計測した数値の単位については、長さはメートル、重さはkgで統一した。
- ③ 住居の主軸方位は、カマドのあるものはカマドのある辺に直する辺を、カマドのないものは長軸方向を主軸として計測した。
- ④ 住居の面積は、住居下端線をプランメータで計測し、重複や攪乱によって不確定な場合は、( )付けにした。
- ⑤ カマドの計測値は、残存する煙道方向・両袖方向の最大長を計測したものである。
- ⑥ 調査時に床面と掘り方がほぼ同一面と判断された住居については、平・断面図は掲載せず、床面と掘り方面はほぼ同一面である旨の記載をした。



第8図 1区竪穴住居位置図





第10図 1区A4面1号住居カマド

**2号住居(第11・12図、PL. 8・92)**

**位置** 1区B4面、X=41901～905、Y=-47278～285。

**重複** 9号ピットと重複。9号ピットが本遺構より新しい。

**平面形状** 遺構の残存状態は極めて悪く、生活面および掘り方の一部のみの確認であった。方形のプランを呈すると推定される。

**主軸方位** N-84°-E。掘り方の一部のみのため主軸は推定。

**規模** 長軸6.54m以上、短軸3.85m以上。残存壁高なし。

**面積** (34.58m<sup>2</sup>)以上。

**埋没土層** 掘り方のみのため不明。

**床面** 確認されなかった。

**炉** 確認されなかった。

**貯蔵穴** 北東隅に設置。円形、径0.78m、深さ0.45m。

**その他** 貯蔵穴付近でピット1基(P1)が確認された。

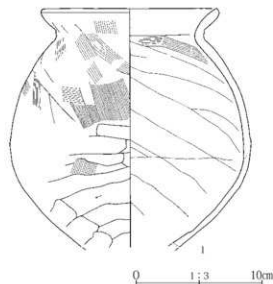
楕円形を呈し、長軸0.26m、短軸0.22m、深さ0.21mを計る。

**周溝** 西辺部と東辺部で確認された。幅0.09～0.23m、深さ0.02～0.09m。

**掘り方** 遺構確認面にて掘り方の一部を確認。

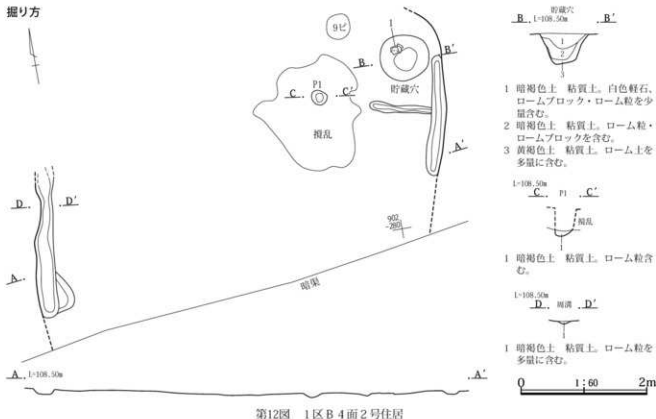
**遺物** わずかな土師器片と貯蔵穴内の底面付近で土師器甕1が出土した。内外面にハケ目を残す。

**所見** 削平され残存状態は不良である。規模や出土遺物から古墳時代(5世紀)と推定され、カマドを作わない時期の遺構と考えられる。



第11図 1区B4面2号住居出土遺物

掘り方



### 3号住居(第13・14図、PL. 8・92)

位置 1区A 4面、X=41847~852、Y=-47302~307。

重複 なし。

平面形状 遺構の残存状態は極めて悪い。掘り方のみ残存し、南北方向に長軸を持つ方形と推定される。

主軸方位 N-24°-W。

規模 長軸4.26m以上、短軸4.15m以上。残存壁高なし。

面積 (18.14m<sup>2</sup>)以上。

埋没土層 掘り方のため不明。

床面 確認されなかった。

炉 地床<sup>92</sup>。住居中央から南側に位置し、楕円状を呈す。長軸1.3m、短軸0.95m、深さ0.15mを計る。覆土上面に焼土ブロックが確認された。

貯蔵穴 確認されなかった。

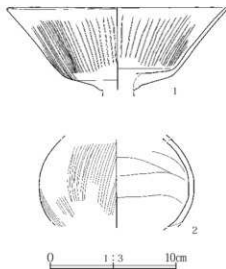
その他 柱穴および周溝などは確認されなかった。

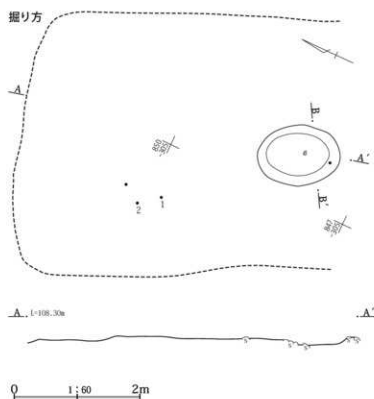
掘り方 遺構確認面に於て掘り方および床面範囲を確認。概ね平坦で、暗褐色土を主体としている。

遺物 少量の土師器片が出土している。土師器高杯1は

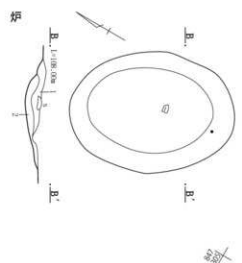
床面下、土師器小型壺2は覆土中の出土と考えられる。

所見 削平され遺構の残存状態は不良である。出土遺物は、5世紀前半の所産と考えられる。





第14図 1区A 4面3号住居



- 1 暗褐色土・粘質土。焼土ブロック・焼土粒を多量に、炭化物粒、白色軽石を少量含む。
- 2 暗褐色土・粘質土。焼土粒を少量含む。

## 4号住居(第15・16図、PL. 7・8・92)

**位置** 1区E 4面、X=42015～020、Y=-47337～342。

**重複** 14号土坑、22号ピットと重複。本遺構が古い。

**平面形状** カマドのある東辺部が西辺部より長い不整形な方形を呈す。

**主軸方位** N-73°-E。

**規模** 長軸4.94m、短軸3.68m。残存壁高0.02～0.05m。

**面積** 17.47㎡。

**埋没土層** 褐色土・黄褐色土主体。2層が観察された。遺構確認面から床面まで、浅く詳細不明。

**床面** 概ね平坦だが、大小の河床礫(XI層に由来)が北東隅からカマド付近にかけて散在する。小礫を含む面が床面を構成している。

**カマド** 残存状態は極めて悪い。東壁面南寄りにあり、2次堆積的な焼土面と掘り方の確認にとどまる。煙道方向0.58m、両袖方向0.57mを計る。

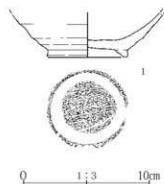
**貯蔵穴** 確認されなかった。

**その他** 柱穴・周溝等は確認されなかった。

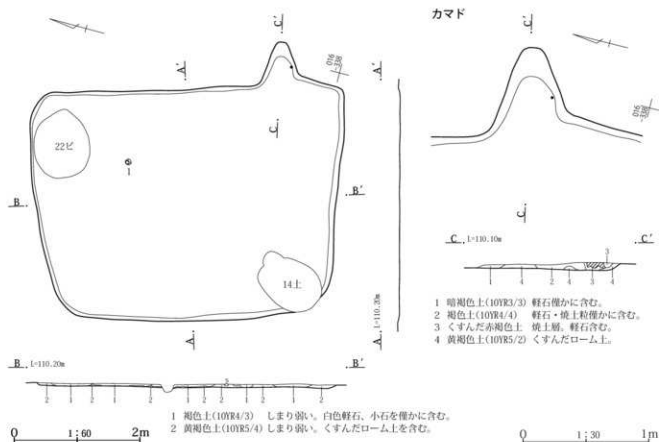
**掘り方** 床面とほぼ同一と考えられる。詳細は不明。

**遺物** 極めて少量の土師器片と須恵器高台付碗1が床面付近の覆土中から出土した。

**所見** 出土遺物は、10世紀前半の様相を示している。



第15図 1区E 4面4号住居出土遺物



第16図 1区E4面4号住居

### 5号住居(第17図、PL.9・92)

**位置** 1区E4面、X=42021～025、Y=-47331～335。

**重複** 2・4号溝と重複。本遺構が古い。

**平面形状** 西辺部が4号溝で掘削されているが、方形を呈すものと思われる。

**主軸方位** N-80°-E。

**規模** 長軸3.09m以上、短軸2.86m。残存壁高0.15m。

**面積** (8.70㎡)以上。

**埋没土層** 黒褐色土・暗褐色土主体。4層が観察された。人為的に埋め戻された痕跡はなく、廃棄後自然堆積したと考えられる。

**床面** 概ね平坦だが、大小の河床礫(XI層に由来)が全面に認められ、礫を含む面が床面を構成している。

**カマド** 東壁面に確認されるが、カマドの残存状態は悪く、使用面の痕跡は認められない。カマド内には、灰層が確認され、焼土ブロックが崩落していた。袖石等の痕跡は認められなかった。煙道方向0.57m、両袖方向0.54

mを計る。

**貯蔵穴** カマド右の南東隅に確認できた。楕円形を呈し、長軸0.86m、短軸0.60m、深さ0.07mと浅い。

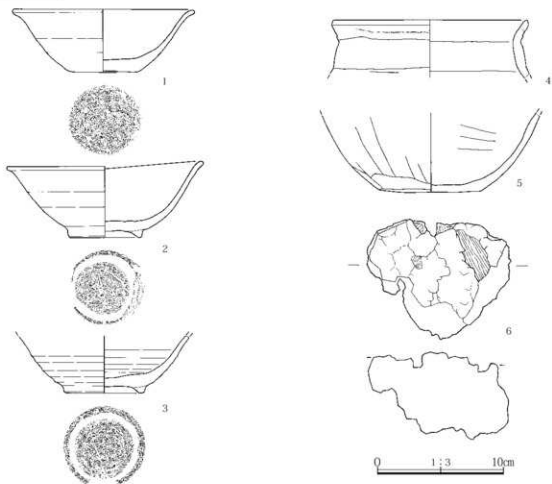
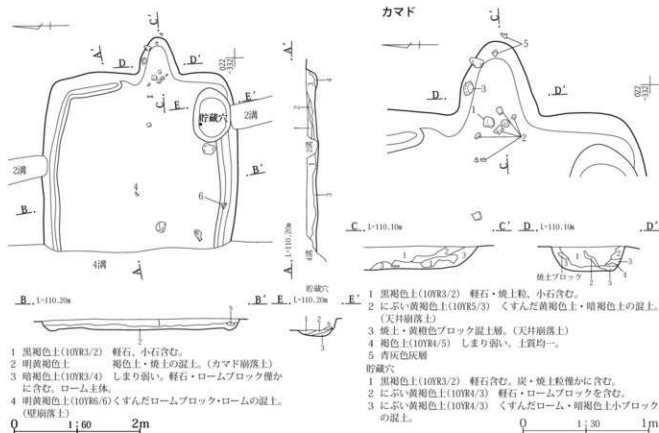
**その他** 柱穴等は確認されなかった。

**周溝** カマドおよび貯蔵穴付近を除いて、浅い掘り込みを確認できた。幅0.13～0.22m、深さ0.02m。

**掘り方** ほぼ床面と同一と考えられるが、詳細は不明。

**遺物** 須恵器・土師器片が総重量0.3kgと鉄滓が出土した。酸化焰焼成の椀1・2・3(2・3は高台付)、口縁部がコの字状を呈する土師器甕4、甕底部5、鉄滓6を図示した。1・2・3・5はカマド内底面または壁際、4と6は床面からの出土である。

**所見** 出土遺物は、本遺構にほぼ伴うと考えられることから、10世紀前半の住居とすることができる。



第17図 1区E4面5号住居と出土遺物

6号住居(第18・19図、PL.10・11・92)

位置 1区E4面、X=42017~021、Y=-47323~328。

重複 111号土坑と重複。111号土坑覆土中にAs-B軽石が含まれることから、本遺構が古いと推定される。

平面形状 長軸長と短軸長は大差がなく、方形を呈す。

主軸方位 N-84°-E。

規模 長軸3.47m、短軸3.36m。残存壁高0.3m。

面積 11.48㎡。

埋没土層 黒褐色土・にぶい黄褐色土主体。7層が観察された。概ねレンズ状に堆積しているため、廃棄後自然堆積したものと考えられる。

床面 概ね平坦だが、大小の河床礫(XI層に由来)が全面

に散在し、小礫を含む面が床面を構成している。

カマド 東壁面中央部からやや南側から検出された。袖石に河床礫を使い、袖が0.1m前後突き出ている構造と考えられる。煙道方向0.81m、両袖方向0.45m。

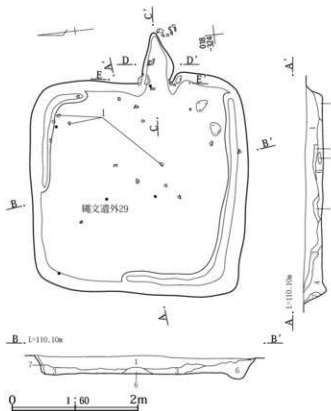
その他 貯蔵穴および柱穴は、確認されなかった。

周溝 カマド付近および北西隅を除いて確認された。幅0.12~0.21m、深さ0.01~0.05mと浅い。

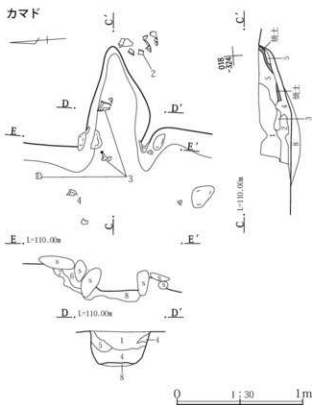
掘り方 床面とほぼ同一と考えられるが、詳細は不明。

遺物 総重量1.2kgの土師器・須恵器片と、石礫が出土した。須恵器高台付椀1、口縁部がコの字状を呈する土師器甕2・3・4を図示したが、カマド内や住居覆土中からの出土である。

所見 図示できた出土遺物は、いずれも9世紀後半のものと考えられる。



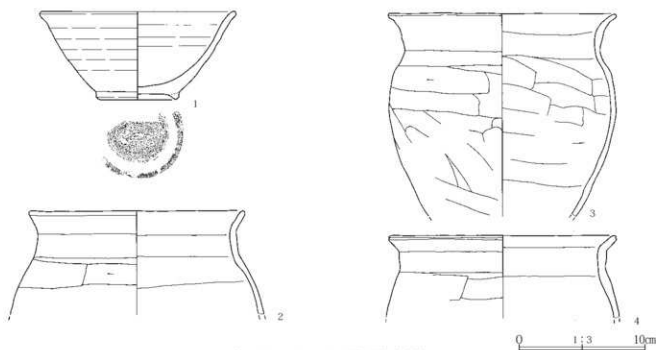
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石、小石含む。炭・焼土粒僅かに含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 1層に近似。黒色土ブロック含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) しまり弱い。軽石、小石、くすんだロームブロックを含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) 1層に近似。くすんだローム土やや多く含む。
- 5 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土。(カマド構築土)
- 6 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 5層に近似。ローム土。焼土粒を含む。
- 7 黄褐色土(10YR5/6) 褐色土含む。ローム主体。(壁崩落土)



- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石、小石含む。僅かに焼土粒含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 軽石、小石含む。焼土ブロック含む。
- 3 にぶい赤褐色土(5YR5/4) やや粘質土。焼土ブロック含む。
- 4 にぶい赤褐色土(5YR5/4) 焼土ブロック多量に含む。
- 5 黄褐色土 粘質土。白色軽石・焼土粒、小石を含む。(カマド構築土)
- 6 灰黄褐色土 粘質土。焼土、小石を含む。(カマド構築土)
- 7 にぶい黄褐色土 6層・ロームブロック・焼土ブロックを含む。
- 8 くすんだ赤褐色土 しまり弱い。焼土・灰質。

第18図 1区E4面6号住居





第19図 1区E 4面6号住居出土遺物

**8号住居(第20・21図、PL.11・92)**

**位置** 1区E 4面、X=42035～040、Y=-47323～328。

**重複** なし。

**平面形状** 北辺部が南辺部より長く、やや不整形な方形を呈す。

**主軸方位** N-59°-W。

**規模** 長軸3.92m、短軸3.66m。残存壁高0.07～0.15m。

**面積** 13.56㎡。

**埋没土層** 黒褐色土主体。2層が観察された。遺構確認面から床面まで浅く、埋没過程については詳細不明。

**床面** 概ね平坦だが、大小の河床礫(XI層に由来)が全面に散在し、礫を含む面が床面を構成している。

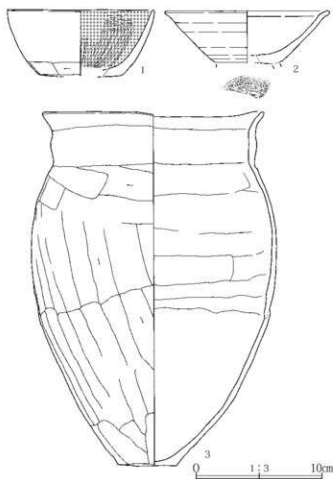
**カマド** 南東壁面の中央からやや南で確認された。残存状態は極めて悪く、カマド底面の一部が確認されたに過ぎない。両袖を構成したと思われる焼土ブロック・袖石が確認された。煙道方向0.25m、両袖方向0.48m。

**その他** 貯蔵穴・柱穴・周溝等は、確認されなかった。

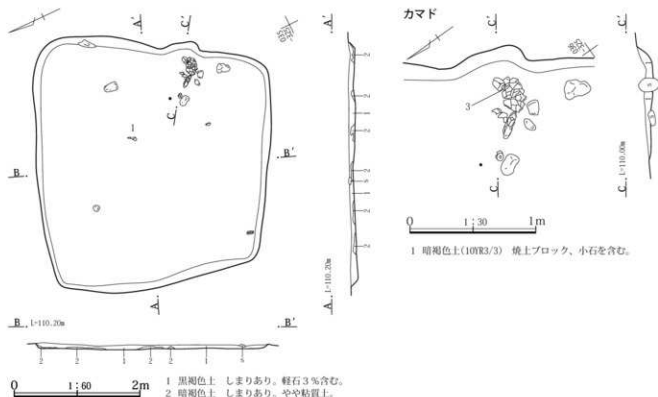
**掘り方** ほぼ床面を掘り方面とするが、詳細は不明。

**遺物** 出土遺物は少なく、土師器・須恵器を中心に総重量0.3kgであった。図示した黒色土器碗1は床面付近、コの字状の口縁部を持つ土師器甕3はカマド内、須恵器碗2は覆土中からの出土である。

**所見** 出土遺物から、9世紀の後半の遺構と考えられる。



第20図 1区E 4面8号住居出土遺物



第21図 1区E4面8号住居

9号住居(第22図、PL. 12・13・92・93)

**位置** 1区C4面、X=41927~932、Y=-47287~292。

**重複** 28・29・31号土坑と重複。本遺構が古い。

**平面形状** 東西方向に長軸を持つ、均整のとれた方形を呈す。

**主軸方位** N-89°-E。

**規模** 長軸4.26m、短軸3.95m。残存壁高0.15~0.2m。

**面積** 15.98㎡。

**埋没土層** 暗褐色土主体。5層が観察された。住居廃絶後、本遺構の埋没過程で炭化材が検出している(住居壁際で10cm、中央部で床面上2~3cm、貯蔵穴上面まで堆積した後に炭化材の分布が認められる)。住居の廃棄→一定の埋没土の堆積→炭化材の分布→完全な埋没→28・29・31号土坑の掘り込みという時間的な流れが想定できる。

**床面** 住居中央部に不整形円形状の高まりが認められた。比高差は0.02~0.1mあり、性格については不明。

**炉** 中央部北西寄りに確認された。楕円形を呈す地床炉で、焼土面を残す。長軸0.62m、短軸0.37m、深さ0.05m。

**貯蔵穴** 南西隅で確認された(P1)。楕円形、長軸0.80m、短軸0.69m、深さ0.45m。

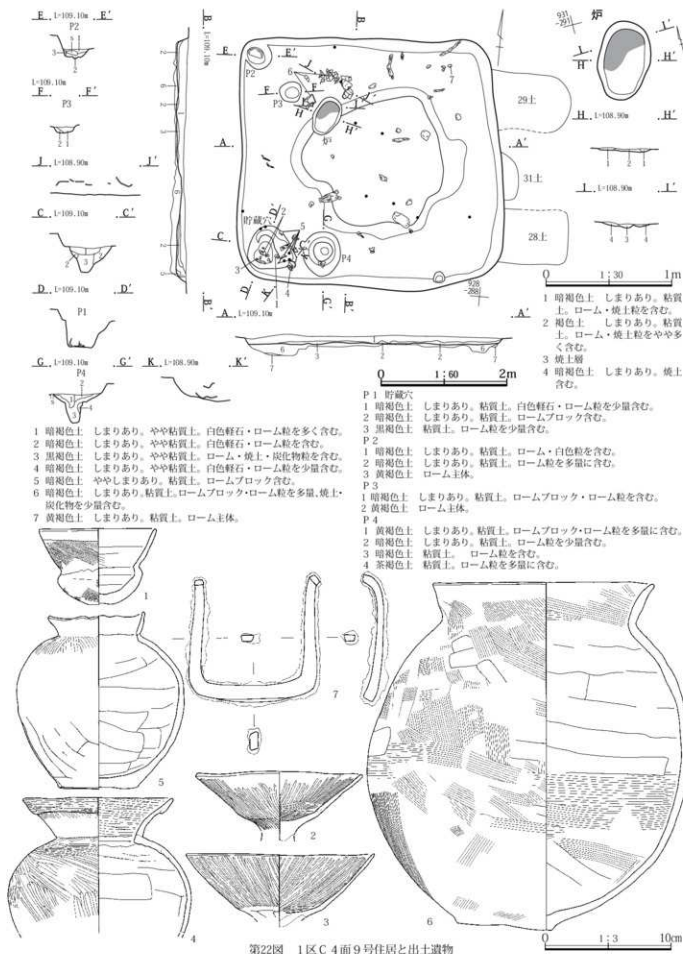
**その他** 3基のピットが確認された。P2：円形-径0.45m-深さ0.15m、P3：円形-径0.45m-深さ0.15m、P4：楕円形-長軸0.7m-短軸0.6m-深さ0.45m。

**周溝** 確認されなかった。

**掘り方** 暗褐色土・ローム土主体。2層が観察された。中央部では掘り込みがあまりなく、壁際は0.05~0.2m程掘り込まれ、凹凸も認められる。

**遺物** 土師器が総重量1.3kgほど出土した。出土遺物は、炭化材の分布とほぼ同時に遺棄された土器群と、住居廃絶直後に遺棄されたと考えられる貯蔵穴底面出土土器・床面直上の土器群に大別される。確実に後者の土器群と言えるのは、土師器埴1・土師器高杯2・3と小型甕4で、土師器壺5・甕6は、前者の可能性が高い。鉄製品取っ手7は北東隅床面から出土した。

**所見** 本住居からの出土炭化材は、床面より上層で検出されていることから、焼失住居とは考えにくい。出土遺物では、時間的な大きな差は認められない。古墳時代(4世紀後半~)の所産とすることができる。



第22図 1区C 4面9号住居と出土遺物

10号住居(第23・24図、PL.13・93)

位置 1区C4面、X=41939~942、Y=-47290~295。

重複 なし。

平面形状 東西方向に長軸を持つ、整った方形を呈す。

主軸方位 N-8°-E。

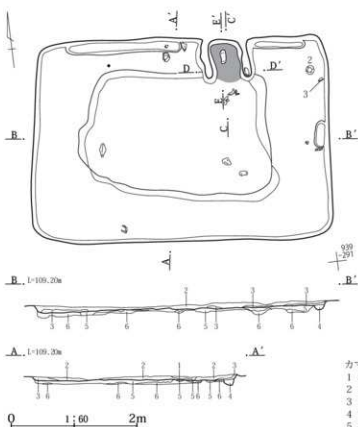
規模 長軸4.72m、短軸3.23m。残存壁高0.12m。

面積 15.01㎡。

埋没土層 暗褐色土主体。4層が観察された。人為的に埋め戻された痕跡はない。

床面 概ね平坦だが、カマド前がやや低く住居中央部に向かって床面の高まりが認められる。生活による床面の起伏と考えられる。

カマド カマドの残存状態は悪い。北壁面中央東寄りに確認されたが、煙道部はほとんど残存せず、詳細は不明。



- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。ロームブロック・ローム粒やや多く、白色軽石・炭化物を少量含む。
- 3 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。
- 4 茶褐色土 しまりあり。粘質土。(田溝覆土)
- 5 暗褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色土・ローム上の混土。
- 6 黄褐色土 しまりあり。ローム主体。

焼土ブロック等の残存状況により推定した。煙道方向0.61m、両袖方向0.62m。

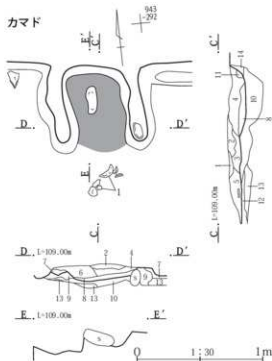
その他 貯蔵穴および柱穴は確認されなかった。

周溝 北辺部で確認された。幅0.16~0.23m、深さ0.02~0.09m。

掘り方 掘り方底面から0.05~0.15mで床面となる。中央部に鳥状の高まりがあり、全体に凹凸がある。暗褐色土・ローム主体。2層が観察された。

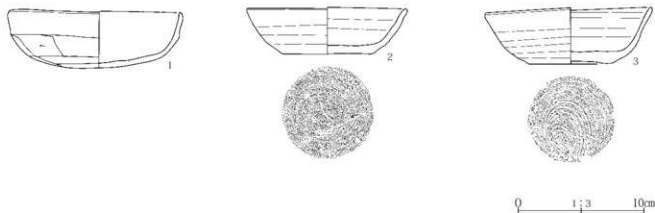
遺物 土師器・須恵器片がおよそ0.4kg出土した。土師器杯1はカマド前の床面付近、須恵器杯2・3は床面付近から出土。

所見 掘り方の調査では、カマドの煙道部や本体燃焼部分が住居壁を切り込んでいないことが確認された。少なくとも燃焼部は壁面の手前に構築されたと考えられる。出土遺物は、8世紀後半のものと考えられる。



- カマド
- 1 灰色土 しまりあり。粘質土。(カマド構築土)
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。灰色粘土ブロック含む。
  - 3 灰褐色土 しまりあり。粘質土。灰色粘土を多量、炭化物を少量含む。
  - 4 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック、ローム粒を含む。
  - 5 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。白色軽石・ローム粒を含む。
  - 6 灰色土 しまりあり。粘質土。焼土・ロームブロック、白色軽石を含む。(カマド構築土)
  - 7 赤褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック・炭化物を多量に含む。
  - 8 褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロックをやや多く含む。
  - 9 灰褐色土 しまりあり。粘質土。灰色粘土・焼土粒を含む。
  - 10 赤褐色土 しまりあり。焼土ブロック主体。
  - 11 黒褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック含む。
  - 12 暗褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色土・ローム上の混土。
  - 13 黄褐色土 しまりあり。ローム主体。
  - 14 褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック・ローム粒を含む。

第23図 1区C4面10号住居



第24図 1区C4面10号住居出土遺物

**11号住居(第25～27図、PL.14・93)**

**位置** 1区C4面、X=41953～957、Y=-47303～307。

**重複** なし。

**平面形状** 南北方向を長軸とする正方形に近い平面形。

**主軸方位** N-79°-E。

**規模** 長軸3.60m、短軸3.33m。残存壁高0.1～0.2m。

**面積** 11.61㎡。

**埋没土層** 暗褐色土主体。5層が観察された。人為的に埋め戻された痕跡はなく、住居廃絶後自然堆積した可能性が高い。

**床面** 遺構確認面から約0.1～0.2mで床面となる。概ね平坦だが、住居中央部が若干高い傾向にある。

**カマド** 東壁面の中央部からやや南側で確認された。残存状態は不良であるが、燃焼部の芯材または補強材と考えられる河床礫7石が残存している。また、焚き口部の天井石に想定できる石材2石もカマド前に散在する。煙道方向0.82m、両袖方向0.65m。

**貯蔵穴** カマドに向かって左手前に確認された。楕円形状を呈し、上端長軸1.0m、上端短軸0.6m、深さ0.25m。

**その他** 2基のピットが確認された。

**形状および規模**

P1：楕円形、長軸0.37m、短軸0.29m、深さ0.12m。

P2：楕円形、長軸0.42m、短軸0.36m、深さ0.07m。

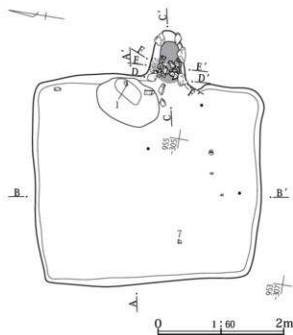
**周溝** 掘り方にて確認。貯蔵穴付近から北辺部にかけて認められた。幅0.08～0.15m、深さ0.04～0.07m。

**掘り方** 掘り方底面から0.05～0.15mで床面となる。

中央部～北東隅が高く、北辺に周溝が廻る。暗褐色土・黄褐色土主体。3層が観察された。床下土坑が2基確認された。形状はいずれも楕円形で、長軸0.85m、短軸0.65m、深さ0.3m前後を計る。

**遺物** 土師器・須恵器・灰軸陶器・砥石など、およそ1kgが出土した。灰軸陶器皿1は貯蔵穴上面、須恵器椀2・3はカマド内および覆土、土師器甕4・5・6・8はカマド内・カマド前、土師器甕7は床面付近からそれぞれ出土した。9の砥石は覆土中からの出土である。

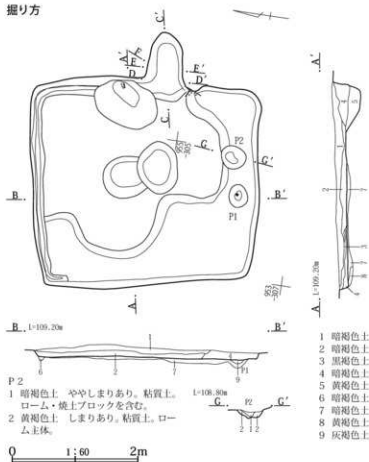
**所見** 灰軸陶器およびその他の出土土器から、本遺構は、10世紀前半の所産と考えられる。



第25図 1区C4面11号住居1

第3章 確認された遺構と遺物

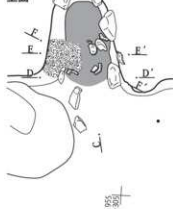
掘り方



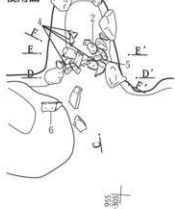
- 1 暗褐色土 しまりあり。白色軽石を多量、ローム・焼土粒を含む。
- 2 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ローム・焼土ブロックを含む。
- 3 黒褐色土 ややしりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を少量含む。
- 4 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・焼土粒を含む。
- 5 黄褐色土 粘質土。ローム・暗褐色土の混上。(P1覆上)
- 6 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック含む。(周溝覆上)
- 7 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム土含む。
- 8 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。
- 9 灰褐色土 しまりあり。粘質土。灰色粘土含む。

カマド

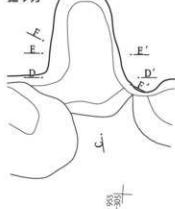
上面



使用面



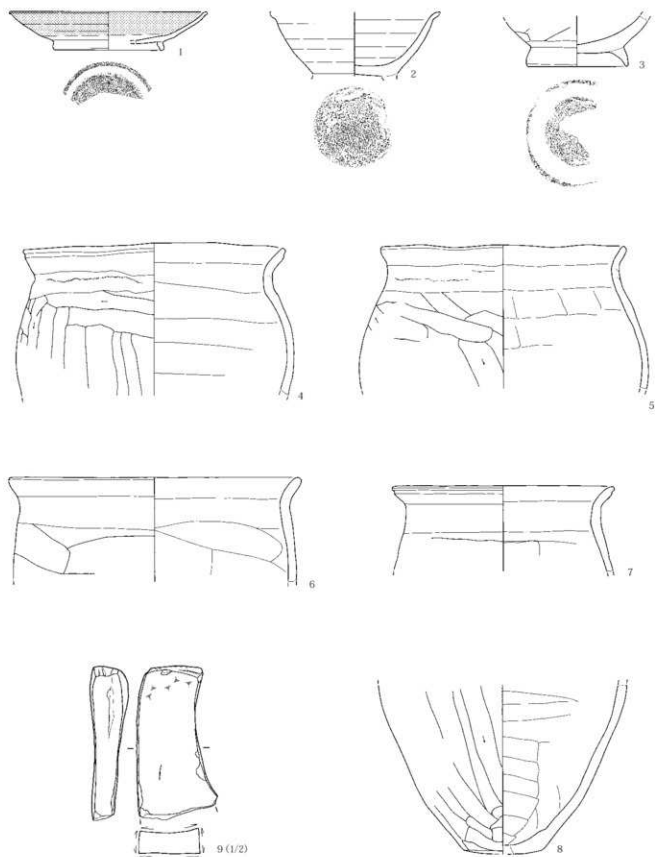
掘り方



- 1 褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石・焼土ブロックを含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック・炭化物を含む。
- 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石・焼土粒・ローム粒を含む。
- 4 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土・ローム粒を少量含む。
- 5 黄褐色土 黄褐色土粘土ブロック。
- 6 褐色土 しまりあり。粘質土。焼土・炭化物粒を含む。
- 7 赤褐色土 しまりあり。粘質土。ローム・焼土ブロックを含む。
- 8 焼土層

0 1:30 1m

第26図 1区C4面11号住居2



0 1:2 5cm

0 1:3 10cm

第27図 1区C 4面11号住居出土遺物

12号住居(第28図、PL.15・93)

位置 1区C4面、X=41946~949、Y=-47321~324。

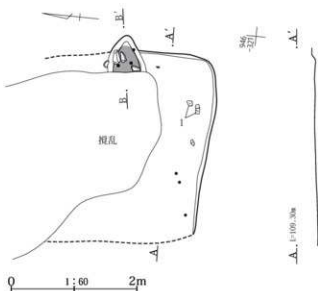
重複 なし。

平面形状 北側の大半が覆乱のため詳細不明。形状は方形と推定される。

主軸方位 N-89°-E。

規模 長軸3.03m以上、短軸2.65m以上。残存壁高0.02~0.04m。

面積 (8.59m<sup>2</sup>)以上。



カマド

- 1 暗褐色土 しまりあり。焼土ブロック・白色軽石を含む。
- 2 灰褐色土 しまりあり。粘質土。焼土粒含む。
- 3 赤褐色土 しまりあり。焼土主体。

埋没土層 不明。

床面 遺構確認面で、床面範囲を確認。概ね平坦。

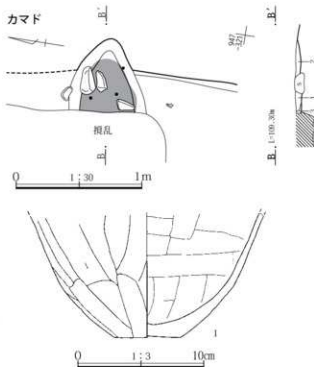
カマド 東壁面で確認されるが、残存状態は極めて悪い。カマド用材と考えられる河床礫が4石確認された。煙道方向0.59m、両袖方向0.61m。

その他 貯蔵穴・柱穴・周溝等、確認することができなかった。

掘り方 床面とほぼ同一と考えられるが、詳細は不明。

遺物 土師器・須恵器片が総重量0.3kg出土した。土師器裏1は、床面から出土した。

所見 出土遺物から、本遺構は、10世紀かと考えられる。



第28図 1区C4面12号住居と出土遺物

13号住居(第29・30図、PL.16・93・94)

位置 1区C4面、X=41930~934、Y=-47280~284。

重複 なし。

平面形状 東西方向に長軸を持ち、方形を呈する。

主軸方位 N-65°-E。

規模 長軸3.50m、短軸3.21m。残存壁高0.04~0.1m。

面積 11.38m<sup>2</sup>。

埋没土層 茶褐色土・暗褐色土主体。4層が観察された。

人為的に埋め戻された痕跡はなく、住居廃絶後自然堆積

した可能性が高い。

床面 概ね平坦であるが、西辺部がわずかに高い傾向にある。

炉 2基の炉が検出した。1号炉:中央部北寄りに設置。地床<sup>2</sup>。長軸0.58m、短軸0.44m、深さ0.13m。2号炉:中央部南寄りに設置。地床<sup>2</sup>。長軸0.40m、短軸0.23m、深さ0.09m。2基相互の関係性は不明。

貯蔵穴 東南隅で確認された。不整形。長軸1.10m、短軸0.85m、深さ0.33m。

その他 床面下の精査で、ピット1基が確認された。楕



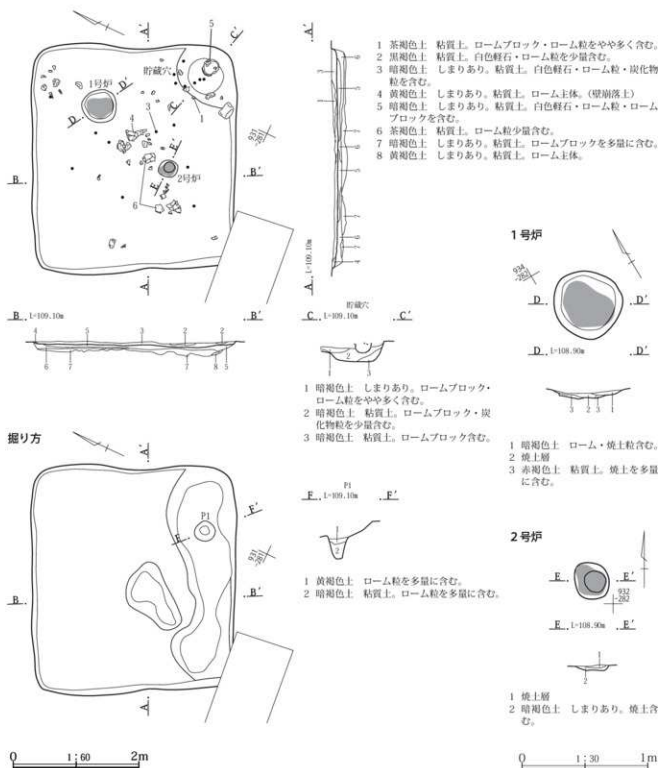
円形状を呈し、長軸0.33m、短軸0.3m、深さ0.32mを計る。

**周溝** 確認されなかった。

**掘り方** 南東辺沿いがやや低いが、他はやや凹凸あるが大きな差異はない。暗褐色土主体。4層が観察された。

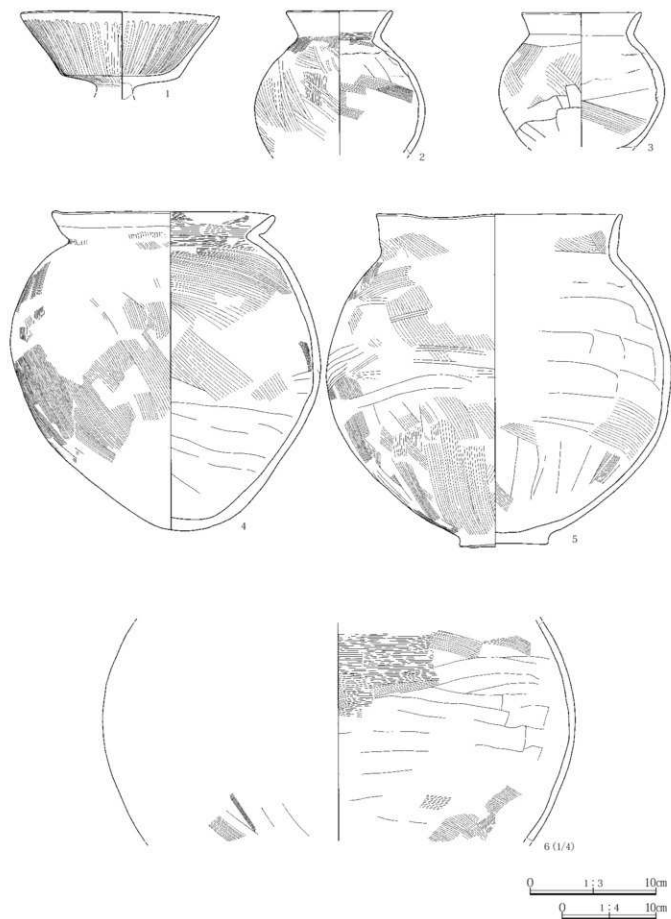
**遺物** 総重量1kgの土師器が出土した。土師器高杯1は覆土中、土師器小型甕2・3及び土師器甕4・6は床面付近、同甕5は貯蔵穴内からそれぞれ出土している。

**所見** 出土遺物から、本遺構は、5世紀前半の所産と考えられる。



第29図 1区C 4面13号住居

第3章 確認された遺構と遺物



第30図 1区C 4面13号住居出土遺物

## 14号住居(第31図、PL.18)

位置 1区C4面、X=41949~952、Y=-47283~286。

重複 なし。

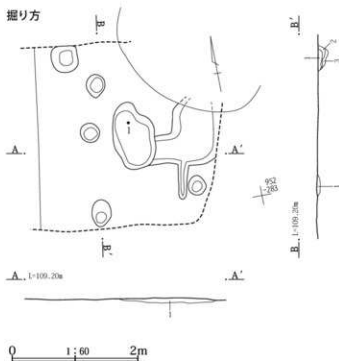
平面形状 削平され、掘り方の一部のみ残存。推定方形。

主軸方位 N-79°-W。掘り方の一部のための、主軸は推定。

規模 長軸2.90m以上、短軸2.86m以上。残存壁高なし。

面積 (9.13m<sup>2</sup>)以上。

掘り方



埋没土層 掘り方のみのため不明。

床面 確認されなかった。

カマド 確認されなかった。

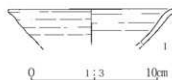
貯蔵穴 確認されなかった。

その他 柱穴・周溝等、確認されなかった。

掘り方 いずれも浅い土坑状の掘り込みとピット5基が確認された。暗褐色土主体。3層が確認された。

遺物 出土遺物は、床面下から須恵器杯1が出土した。

所見 出土遺物は、10世紀前半と推定される。



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを多く含む。
- 3 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。

第31図 1区C4面14号住居と出土遺物

## 15号住居(第32図、PL.15)

位置 1区E4面、X=42041~044、Y=-47318~322。

重複 なし。

平面形状 南東隅の貯蔵穴部が突出した方形形状を呈す。

主軸方位 N-77°-E。

規模 長軸3.06m、短軸2.56m。残存壁高0.02~0.09m。

面積 8.17m<sup>2</sup>。

埋没土層 黒褐色土主体。4層が観察された。遺構確認面から床面まで浅く、埋没過程は不明。

床面 概ね平坦だが、北辺部から南辺部に向かって若干

傾斜する。

カマド 東壁面南寄りて確認された。残存状態は極めて悪く、掘り方および燃焼部を構成する焼土ブロックのみの確認にとどまる。煙道方向0.36m、両袖方向0.63m。

貯蔵穴 南東隅に突出して確認された。楕円形を呈し、長軸0.53m、短軸0.35m、深さ0.11mを計る。

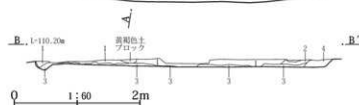
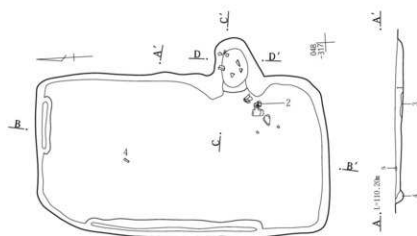
その他 柱穴・周溝等は、確認されなかった。

掘り方 ほぼ床面と同一と認められるが、詳細は不明。

遺物 総重量およそ1kgの土師器・須恵器が出土した。床面より須恵器碗1が出土した。

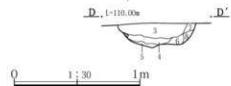
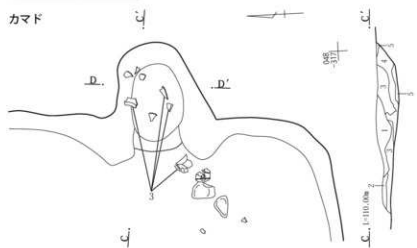
所見 出土遺物から、10世紀前半と推定される。



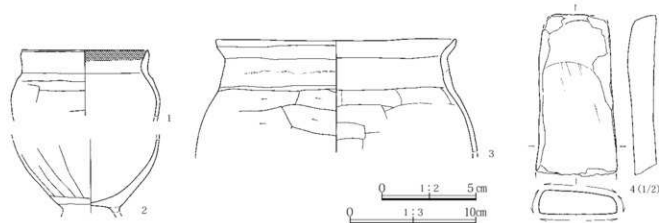


- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石7%・黄褐色ブロック3%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。軽石5%含む。
- 3 暗褐色土 粘質土。黄褐色粘土ブロック5%含む。
- 4 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。軽石含む。

カマド



- 1 暗褐色土 しまりあり。小礫5%含む。
- 2 褐色土 しまりあり。小礫3%含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 軽石・炭粒含む。
- 4 明黄褐色土(10YR7/6) やや砂質の粘質土。焼土粒含む。(カマド構築土)
- 5 焼土層
- 6 に近い黄褐色土(10YR6/4) ややしルト質土。焼土ブロック含む。
- 7 に近い黄褐色土(10YR4/3) 軽石・ローム土を含む。
- 8 黄褐色土(10YR5/6) ローム主体。



第33図 1区E 4面16号住居と出土遺物

17号住居(第34図、PL.15・94)

**位置** 1区C4面、X=41950~954、Y=-47315~318。

**重複** 36・37号土坑と重複。本遺構が古い。

**平面形状** 削平され掘り方の一部のみ残存。推定方形。

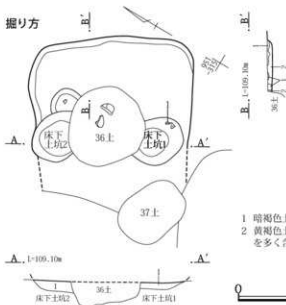
**主軸方位** N-30°-E。掘り方の一部のための、主軸は推定。

**規模** 長軸2.54m以上、短軸2.50m以上。残存壁最高値0.13m。

**面積** (6.75m<sup>2</sup>)以上。

**埋没土層** 掘り方のみのため不明。

**掘り方**



- 1 暗褐色土 粘質土。埴土・ローム粒含む。
- 2 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ロームを多く含む。

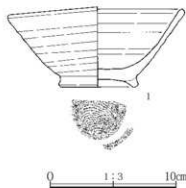
**床面** 確認されなかった。

**その他** 貯蔵穴・柱穴・周溝等は、確認されなかった。

**掘り方** 遺構確認面にて、掘り方の一部を確認。床下土坑1：楕円形、長軸0.84m、短軸0.73m、深さ0.08m。床下土坑2：楕円形、長軸1.18m、短軸0.38m、深さ0.18m。

**遺物** 出土遺物は極めて少なく、総重量0.07kgの土師器・須恵器片・灰陶陶器碗の口縁部片が出土した。須恵器高台付椀1は床下土坑1の出土。

**所見** 出土遺物から、10世紀前半かと推定される。



第34図 1区C4面17号住居と出土遺物

18号住居(第35図、PL.18・94)

**位置** 1区D4面、X=42007~011、Y=-47332~336。

**重複** 4号溝と重複。本遺構が古い。

**平面形状** 西側を4号溝に掘削されるが、長軸および短軸は、ほぼ同程度の長さの方形を呈す。

**主軸方位** N-89°-E。

**規模** 長軸3.41m、短軸3.39m。残存壁高0.25m前後。

**面積** (12.85m<sup>2</sup>)。

**埋没土層** 褐色土主体。6層が観察された。レンズ状に堆積することから、住居廃絶後に自然堆積したと考えられる。

**床面** 概ね平坦であるが、河床礫(XI層に由来)が全面に散在し、礫を含む面が床面を構成している。

**カマド** 東壁面の中央からやや南寄りに確認された。残存状態は極めて悪く、カマド燃烧部の用材1石と崩落した焼土ブロックの確認にとどまる。カマドの袖部分は、4号溝に破壊される。煙道方向0.54m以上、両袖方向0.91m以上。

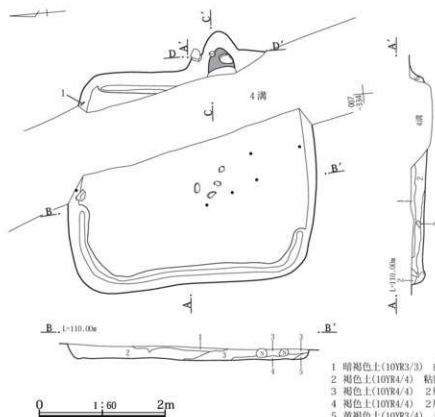
**その他** 貯蔵穴・柱穴は、確認されなかった。

**周溝** 東辺部の一部と北辺部から、西辺部を経て南辺部の一部にかけ確認できた。幅0.25~0.32m、深さ0.02~0.06m。

**掘り方** 床面とほぼ同一と考えられるが、詳細は不明。

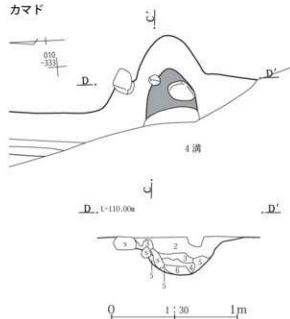
**遺物** 総重量およそ0.8kgの土師器・須恵器が出土した。須恵器耳皿1が覆土中から出土した。

**所見** 出土遺物から、10世紀と推定される。



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石・小石を含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) 粘質土。小石・礫堆かに含む。
- 3 褐色土(10YR4/4) 2層に近似。焼土・炭粒を含む。
- 4 褐色土(10YR4/4) 2層に近似。粘質土。焼土粒を多く含む。
- 5 黄褐色土(10YR3/4) くすんだローム土・褐色土の混上。
- 6 褐色土(10YR4/4) 粘質土。ロームブロック含む。

カマド



0 1:3 10cm

- 1 黒色土(10YR1.7/1) As-B軽石混じりの砂質土。
- 2 に近い褐色土(7.5YR5/4) やや粘質土。(カマド構築土)
- 3 に近い褐色土(7.5YR5/4) 2層に近似。(カマド構築土)
- 4 明赤褐色土(5YR5/6) 焼土ブロック。(カマド構築土の崩落)
- 5 焼土化した天井崩落土。
- 6 に近い褐色土(7.5YR5/4) 粘質土。

第35図 1区D4面18号住居と出土遺物

19号住居(第36～38図、PL.19・20・94)

位置 1区D4面、X=41996～42002、Y=-47336～342。

重複 209号ピットと重複。本遺構が古い。

平面形状 東西方向に長軸を持ち、方形状を呈す。

主軸方位 N-64°-W。

規模 長軸5.05m、短軸4.37m。残存壁高0.25～0.3m。

面積 21.46㎡。

埋没土層 黒褐色土主体。9層が観察された。レンズ状に堆積し、2層は、As-B軽石の灰・軽石の混土層で、3層下部に大小の礫を多量に含んでいる。本住居廃絶後に4～9層が堆積した後大量の河床礫(一部炭化材・焼土ブロックが混入)が人為的に遺棄され、3層が堆積した。その後、As-B軽石の降下があり、1層が堆積したと考えられる。

床面 概ね平坦だが、大小の河床礫(XI層に由来)が散在し、礫を含む面が床面を構成している。

カマド 南東壁面の中央から南寄りに確認できた。カマドの残存状態は悪いが、燃燒部の芯材と考えられる河床

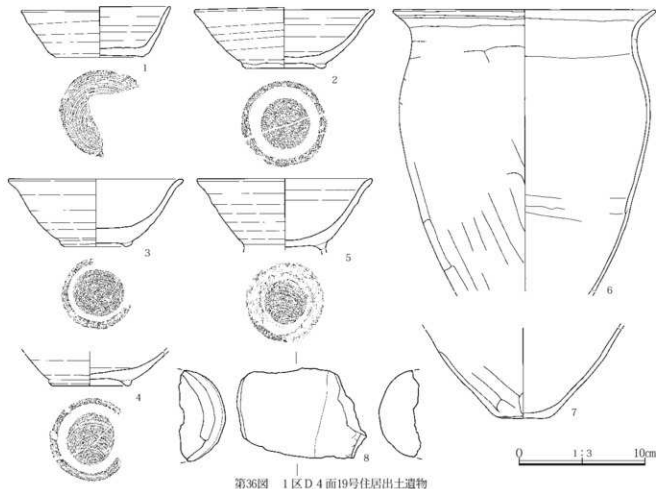
礫がほぼ原位置のまま確認できた。煙道方向1.58m、両袖方向0.64m。

その他 住居中央部に土坑状の掘り込みが確認できた。楕円形を呈し、長軸1.3m、短軸1.1m、深さ0.15mを計り、炭化物・焼土面を確認した。住居に伴う遺構と考えられる。貯蔵穴・柱穴・周溝等は、確認されなかった。

掘り方 床面とほぼ同一面と考えられるが、詳細は不明。

遺物 総重量0.8kgの土師器・須恵器が出土した。須恵器杯1は床面上、須恵器高台付碗2・3は床面付近、同4・5は覆土中、土師器甕6・7は床面付近から出土した。羽口8は覆土中からの出土であった。

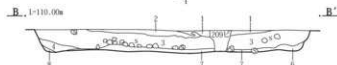
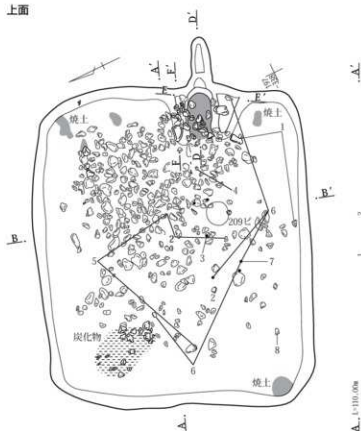
所見 本住居の埋没過程は、埋没土層の項でも述べたが、住居廃絶後に大量の河床礫とともに炭化材や焼土ブロック、遺物(須恵器碗・羽口)が人為的に遺棄され、本住居に伴う掘り込みでは、焼土面や炭化物が確認されている。また、本住居の南10mに鉄滓が出土した400・401号ピットがあり、製鉄関連遺構がまとまりをみせている。As-B軽石の堆積や出土土器から、本住居は、9世紀後半に比定される。



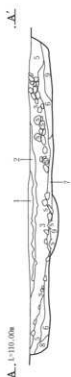
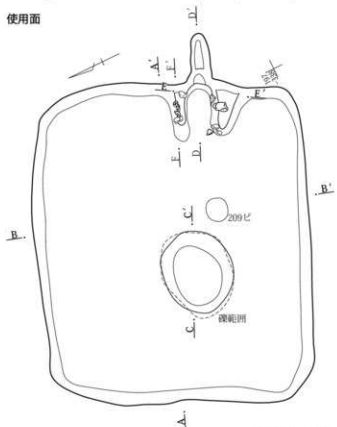
第36図 1区D4面19号住居出土遺物



上面



使用面



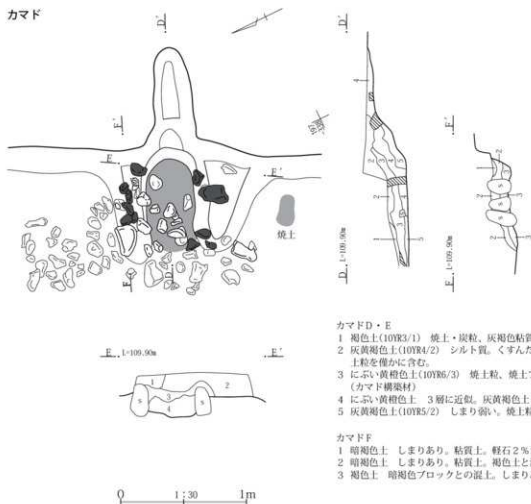
- 1 褐色土(10YR4/1) As-砂軽石混じりの砂質土。
- 2 As-砂の灰・軽石の混土層。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 大礫多量に含む。(北東部から投げ込まれた)
- 4 褐色土(10YR4/4) 炭化物・焼土粒、小石を含む。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) 軽石、小石含む。ロームブロックを僅かに含む。
- 6 黄褐色土(10YR5/6) しまり弱い。くすんだローム土・軽石、小石を含む。
- 7 黄褐色土(10YR5/8) しまりあり。軽石、小石を僅かに含む。
- 8 黄褐色土(10YR5/8) 7層に近似。しまり弱い。
- 9 灰黄褐色土 6層と似上。粘質土。(カマド崩落土)
- 10 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまり弱い。炭化物、小石を含む。上部に大礫。
- 11 黄褐色土(10YR5/8) しまり弱い。焼土・炭粒を僅かに、小石を含む。ローム主体。
- 12 黒褐色土(10YR3/2) しまり弱い。炭化物多く含む。
- 13 黄褐色土 2層に近似。小石含む。



0 1:60 2m

第37図 1区D 4面19号住居

カマド



カマドD・E

- 1 褐色土(10YR3/1) 焼土・炭粒、灰褐色粘質土を僅かに含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質。くすんだ灰褐色土と混土。焼土粒を僅かに含む。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR6/3) 焼土粒、焼土ブロックを混に含む。(カマド構築材)
- 4 にぶい黄褐色土 3層に近似。灰黄褐色土と混土。
- 5 灰黄褐色土(10YR5/2) しまり弱い。焼土粒含む。

カマドF

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。軽石2%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色土と混土。軽石2%含む。
- 3 褐色土 暗褐色ブロックとの混土。しまりあり。粘質土。

第38図 1区D4面19号住居カマド

20号住居(第39図、PL.20)

位置 1区D4面、X=41989～994、Y=-47337～342。

重複 14号掘立柱建物、78・83・84号土坑、356・449・455号ピットと重複。本遺構が14号掘立柱建物、78・83・84号土坑、356号ピットより古い。

平面形状 削平され掘り方のみ残存し、方形状を呈す。

主軸方位 N-76°-W。

規模 長軸4.47m、短軸4.09m。残存壁高0.07m。

面積 (17.66㎡)。

埋没土層 掘り方のみのため不明。

床面 確認されなかった。

カマド 残存状態は極めて悪い。南東壁面の中央部にあ

る。煙道方向0.60m、両袖方向0.85m。

その他 5基のピットが掘り方にて確認された。

P1：楕円形—長軸0.24m、短軸0.22m、深さ0.09m。

P2：楕円形—長軸0.32m、短軸0.21m、深さ0.14m。

P3：楕円形—長軸0.32m、短軸0.28m、深さ0.19m。

P4：楕円形—長軸0.29m、短軸0.25m、深さ0.27m。

P5：楕円形—長軸0.38m、短軸0.30m、深さ0.34m。

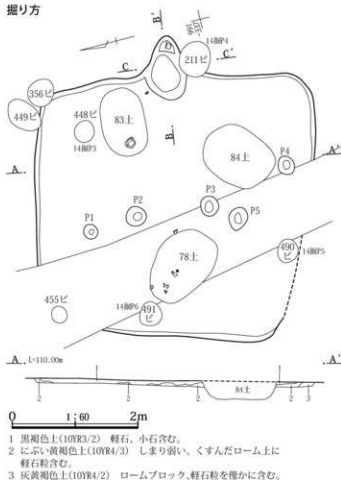
貯蔵穴・周溝等は、確認されなかった。

掘り方 遺構確認面で、掘り方を確認。概ね平坦。黒褐色土主体。3層が観察された。

遺物 出土遺物は極めて少なく、須恵器杯1を図示する。

所見 出土遺物から、10世紀と推定される。

## 掘り方



第398図 1区D 4面20号住居と出土遺物

## 21号住居(第40・41図、PL.21・95)

**位置** 1区D 4面、X=41989~993、Y=-47326~329。

**重複** 29号住居、4号溝と重複。本遺構が4号溝より古く、29号住居より新しい。

**平面形状** 長軸を南北に持つ方形状を呈す。

**主軸方位** N-73°-E。

**規模** 長軸3.21m、短軸2.33m以上。残存壁高0.2m。

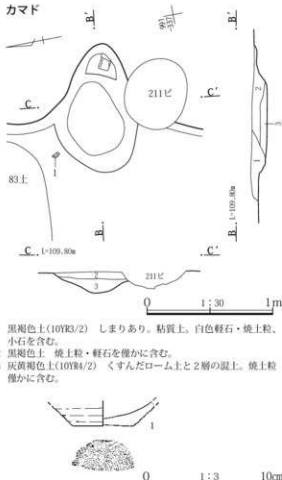
**面積** (7.29㎡)以上。

**埋没土層** 暗褐色土主体。6層が観察された。土層断面では、レンズ状の堆積は認められず、人為的に埋め戻された可能性がある。

**床面** 概ね平坦である。大小の河床礫(XI層に由来)が散在し、礫を含む面が床面を構成している。

**カマド** 東壁面の中央南寄りに確認された。残存状態は悪い。燃焼部の両袖石と支石がほぼ原位置で確認された。煙道方向0.45m、両袖方向0.54m。

## カマド

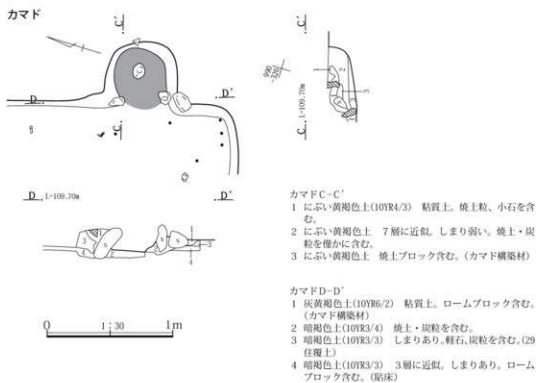
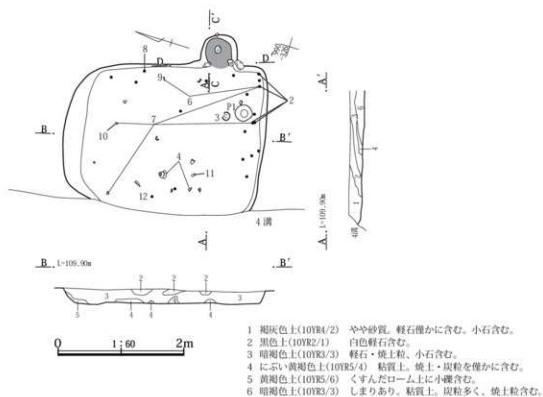


**その他** 南東隅にピット1基が確認された。円形状を呈し、径0.28m、深さ0.18mを計る。

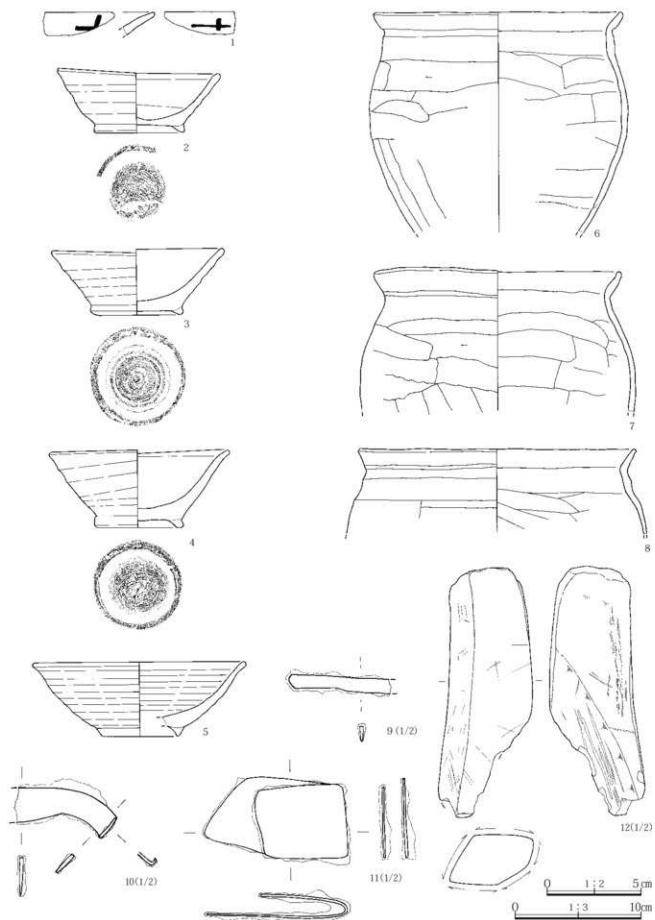
**掘り方** にぶい黄褐色土・暗褐色土を主体とし、床面とほぼ同一面。

**遺物** 土師器・須恵器・石製品・鉄製品を含め、総重量1.3kg(29号住居遺物も含む)の遺物が出土した。須恵器椀1は覆土中からの出土で、内外面に墨書が認められる。須恵器高台付椀2~5は、覆土中出土の5以外は、床面上または床面付近からの出土である。土師器甕6~8は、床面付近または覆土からの出土で、29号住居出土遺物といずれも接合関係にある。鉄製品刀子9・同鎌10はいずれも覆土中、板状鉄製品11は床面からそれぞれ出土している。砥石12は床面付近の出土である。

**所見** 本住居からは、鉄製品や砥石などが出土しているが、住居の性格を考える手立てと言える。出土遺物から本遺構は、9世紀後半の所産と考えられる。



第40図 1区D 4面21号住居



第41図 1区D4面21号住居出土遺物

29号住居(第42・43図、PL.21・95)

位置 1区D4面、X=41988~992、Y=-47325~328。

重複 21号住居、4号溝、405号ピットと重複。本遺構が他の遺構より古い。

平面形状 西~北西側大半が21号住居・4号溝に掘削される。推定方形。

主軸方位 N-87°-E。

規模 長軸4.23m、短軸2.72m以上。残存壁高0.2m。

面積 (12.91㎡)以上。

埋没土層 にぶい黄褐色土・灰黄褐色土主体。6層が観察された。埋没過程は不明。

床面 21号住居や4号溝の破壊により、床面の残存率は悪い。残存部では、概ね平坦。

カマド 東壁面の中央部から南に2基確認された。1号カマドの残存状態は悪い。カマド燃焼部は、焼土ブロック等とともに崩落しており、掘り方面と燃焼部の袖と側壁を構成させる芯材としての用石4石が残存していた。煙道方向0.53m、両袖方向0.74mを計る。2号カマドに

ついては残存状態は悪い。掘り方面と袖石が残存するにとどまる。煙道方向0.52m、両袖方向0.66mを計る。造り替えのカマドと考えられ、2号カマド廃絶後に1号カマドを構築している。

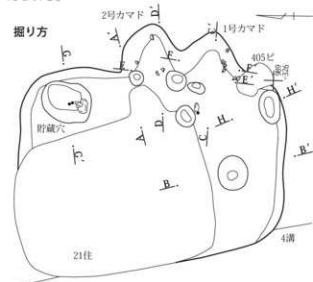
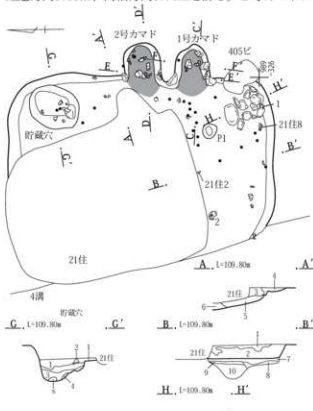
貯蔵穴 北東隅から検出した。楕円形を呈し、長軸0.83m、短軸0.67m、深さ0.21mを計る。

その他 1号カマド前からピット1基(P1)が確認された。楕円形状を呈し、長軸0.26m、短軸0.22m、深さ0.14mを計る。周溝・柱穴等は、確認されなかった。

掘り方 掘り方底面から0~0.25mで床面となる。南辺沿いが低く、カマド付近は若干高い傾向にあり、凹凸が認められた。21号住居との重複部分も高い。黒褐色土・にぶい黄褐色土主体。4層が観察された。

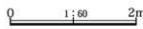
遺物 21号住居の遺物を含めて総重量1.3kgの土師器・須恵器が出土した。須恵器高台付椀1~3はいずれも床面・カマド内床面から出土した。羽釜4はカマド前の覆土中、混入したものと思われる。

所見 出土遺物から、本遺構は、9世紀後半の所産と考えられる。



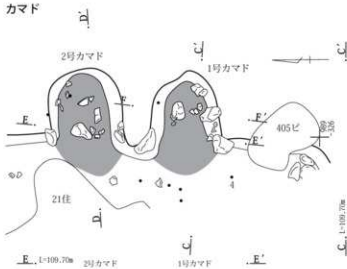
- 貯蔵穴
- 1 黒褐色土 やや粘質土。焼土3%含む。
  - 2 暗褐色土 やや粘質土。暗灰色土ブロックと混土。焼土ブロックを少量含む。
  - 3 黒褐色土 しまりあり。やや粘質土。礫含む。
  - 4 黒褐色土 やや粘質土。暗褐色土ブロックと混土。

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石・焼土粒、小石含む。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまりあり。粘質土。焼土・炭粒を僅かに含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 焼土粒、カマド構築土ブロックを僅かに含む。
- 4 黒色土(10B2/1) 白色軽石粒含む。
- 5 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり強い。くすんだローム土と褐色土の混土。
- 6 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまりあり。ロームブロック含む。(貼床)
- 7 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。ローム・焼土粒含む。炭化材を僅かに含む。(貼床)
- 8 黒褐色土(10YR3/3) 7層よりしまり強い。くすんだローム土含む。
- 9 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまりあり。くすんだローム土と褐色土の混土。
- 10 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 9層よりしまり強い。くすんだローム土を含む。

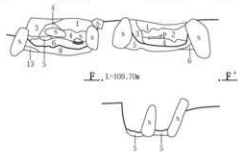


第42図 1区D4面29号住居

カマド

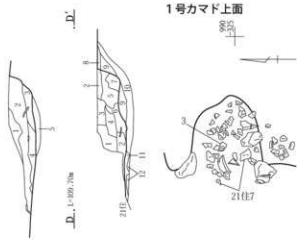


E., 1:109.70m 2号カマド C', 1:109.70m 1号カマド E', 1:109.70m



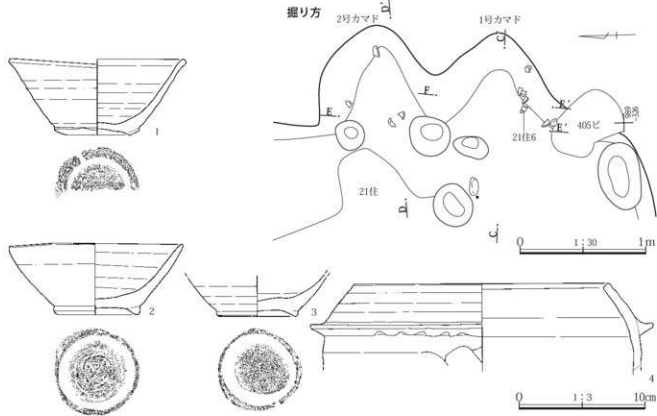
E., 1:109.70m E', 1:109.70m

1号カマド上面



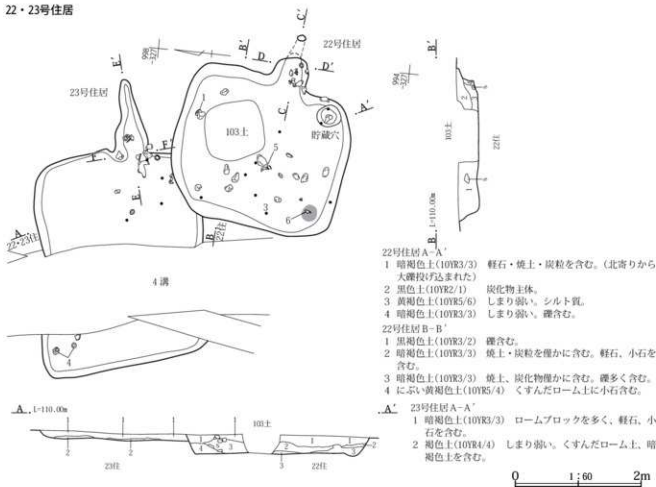
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 軽石・焼土粒含む。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR6/4) 焼土粒、小石含む。(カマド構築土)
- 3 褐色土(10YR4/6) 粘質土。焼土粒含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) 炭粒多量に、焼土粒僅かに含む。(灰層)
- 5 灰黄褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック含む。
- 6 暗褐色土 しまりあり。粘質土。
- 7 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。粘質土。灰黄色土と混土。
- 8 にぶい黄褐色土 しまりあり。焼土を少量、軽石1%含む。
- 9 暗褐色土 しまりあり。粘質土。軽石3%含む。
- 10 灰黄褐色土 しまりあり。粘質土。焼土を少量、軽石1%含む。
- 11 褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック15%、にぶい黄褐色土を10%含む。
- 12 灰黄褐色土 粘質土。焼土ブロック10%含む。
- 13 暗褐色土 しまりあり。粘質土。
- 14 暗褐色土 しまりあり。軽石、焼土ブロックを少量含む。
- 15 褐色土 粘質土。焼土ブロックを少量含む。
- 16 暗褐色土 粘質土。
- 17 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロックを少量含む。
- 18 黄褐色土 しまりあり。粘質土。

掘り方



第43図 1区D4面29号住居カマドと出土遺物

## 22・23号住居



第44図 1区D4面22・23号住居

## 22号住居(第44・45図、PL.22・95)

**位置** 1区D4面、X=41994~997、Y=-47326~329。

**重複** 23号住居、103号土坑と重複。本遺構が103号土坑より古く、23号住居より新しい。

**平面形状** 長軸方向を南北に持つ。長軸・短軸長の差が少ない方形。

**主軸方位** N-80°-W。

**規模** 長軸2.76m、短軸2.45m。残存壁高0.25m。

**面積** 6.35㎡。

**埋没土層** 黒褐色土・暗褐色土主体。4層が観察された。2層は、炭化物主体の黒色土層で、その後河床礫が人為的に遺棄されたと考えられる。遺構確認面から床面まで浅く詳細不明。

**床面** 概ね平坦だが、大小の河床礫(XI層に由来)が散在し、礫を含む面が床面を構成している。

**カマド** 東壁面の中央から南寄りで確認できた。カマドの残存状態は良くないが、燃焼部掘り方と煙道部がトンネル状に残存していた。煙道方向0.70m、両袖方向0.54mを計る。

**貯蔵穴** カマド横の南東隅で確認できた。ほぼ方形を呈し、長軸0.37m、短軸0.33m、深さ0.11mを計る。

**その他** 柱穴・周溝等は、確認されなかった。

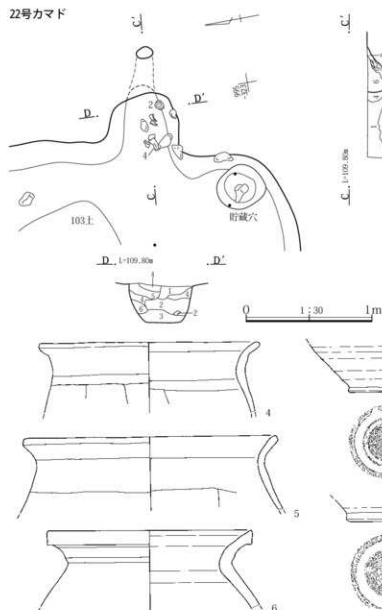
**掘り方** 床面と同一面と考えられるが詳細は不明。

**遺物** 土師器・須恵器が総重量1.2kg出土した。土師器杯1は床面、須恵器高台付椀2・3は覆土中から、土師器甕4~6はいずれも床面またはカマド内床面から出土している。

**所見** 調査時には、23号住居との重複関係を、本住居が新しいとした。出土遺物は、本遺構が古いことを示している。10世紀前半の様相を示す。



## 22号カマド



- 1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 軽石含む。くすんだローム土と黄褐色ブロックを混に含む。(カマド構築材)
- 2 暗褐色土(10YR3/3) しまり強い。軽石、小石堆かに含む。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまり強い。粘質土。焼土ブロック、焼土粒を含む。
- 4 灰黄褐色土 粘質土。褐色・ロームブロックの混上。
- 5 褐色土(10YR4/4) 粘質土。軽石含む。炭粒堆かに含む。
- 6 褐色土 5層に近似。粘質土。炭化物・焼土粒、焼土ブロックを含む。
- 7 黄褐色土 粘質土。小石含む。(カマド構築材)
- 8 褐色土 焼土ブロックを多く含む。
- 9 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまり強い。くすんだローム土、焼土粒を含む。

第45図 1区D 4面22号住居カマドと出土遺物

## 23号住居(第44・46図、PL.23・95・96)

**位置** 1区D 4面、X=41996~999、Y=-47327~332。

**重複** 22号住居・4号溝と重複。本遺構が22号住居より古く、4号溝より新しい。

**平面形状** 東西方向に長軸を持つ方形。

**主軸方位** N-75°-E。

**規模** 長軸3.43m、短軸2.58m。残存壁高0.15m。

**面積** (8.89m<sup>2</sup>)。

**埋没土層** 黒褐色土主体。2層が観察された。遺構確認面から床面まで浅いが、自然堆積と考えられる。

**床面** 概ね平坦。

**カマド** 東壁面の中央から南側で確認できた。残存状態は極めて悪く、掘り方と袖石と思われる河床礫1石の確認にとどまる。煙道部には、崩落した焼土ブロックが認められた。煙道方向1.10m、両袖方向0.56m。

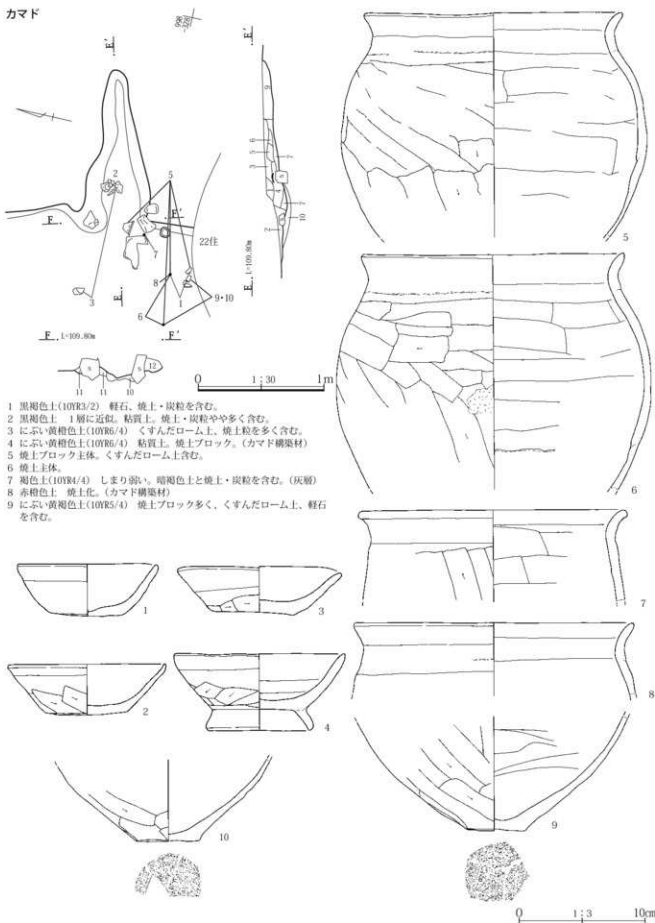
**その他** 貯蔵穴・周溝等は、確認されなかった。

**掘り方** 床面とほぼ同一の掘り方と考えられる。

**遺物** およそ1kgの土師器・須恵器が出土。土師器杯1は床面付近、2・3は覆土中、高台付椀4は床面付近から。土師器甕5~10は床面付近からの出土。

**所見** 調査時は22号住居との重複関係を、本住居が古いとした。出土遺物は、本遺構が新しいことを示し、10世紀前半に比定される。22号住居の後出的様相を示す。

カマド



- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石、焼土・炭粒を含む。
- 2 黒褐色土 1層に近似。粘質土。焼土・炭粒やや多く含む。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR6/4) くすんだローム土、焼土粒を多く含む。
- 4 にぶい黄褐色土(10YR6/4) 粘質土。焼土ブロック。(カマド構築材)
- 5 焼土ブロック主体。くすんだローム土含む。
- 6 焼土主体。
- 7 褐色土(10YR4/4) しまり強い。暗褐色土と焼土・炭粒を含む。(灰層)
- 8 赤褐色土 焼土化。(カマド構築材)
- 9 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 焼土ブロック多く、くすんだローム土、軽石を含む。

第46図 1区D4面23号住居カマドと出土遺物

## 24号住居(第47図、PL. 24)

位置 1区D4面、X=41963~965、Y=-47290~293。

重複 26号住居、10号溝と重複。本遺構が10号溝より古く、26号住居より新しい。

平面形状 南側が削平。東西方向に長軸を持つ方形。

主軸方位 N-82°-E。

規模 長軸2.77m、短軸2.40m以上。残存壁高0.20m。

面積 (5.06㎡)。

埋没土層 暗褐色土主体。4層が観察された。北辺部で、3層堆積時に焼土ブロックが流れ込んでいる。自然堆積の可能性が高い。

床面 概ね平坦。

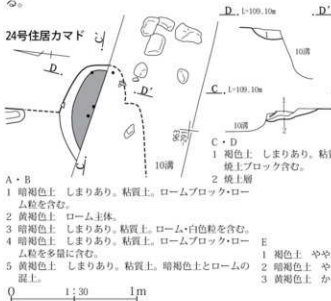
カマド 東壁面で確認。南側が10号溝に破壊されている。残存状態は極めて悪い。崩落した焼土ブロックと掘り方面のみ確認できた。煙道方向0.41m以上、両軸方向0.25m以上。

その他 北東部からピット1基が確認。覆土中に焼土ブロック・灰を多く含むことから、灰かきピットなどの性格が考えられる。貯蔵穴・柱穴等は確認されなかった。周溝 北辺部および東辺部・西辺部の一部で確認できた。幅0.12~0.25m、深さ0.01~0.06mを計る。

掘り方 床面とほぼ同一面と思われる。

遺物 出土遺物は少なく、総重量0.18kgの土師器・須恵器片が出土した。図示し得る遺物はない。

所見 平安時代(9世紀~10世紀代)の所産と考えられる。



## 26号住居(第47図、PL. 24)

位置 1区D4面、X=41963~964、Y=-47293~296。

重複 24号住居、10号溝と重複。本遺構が古い。

平面形状 削平され一辺のみ確認。推定方形。

主軸方位 N-84°-E。主軸は推定。

規模 長軸2.55m以上、短軸0.64m以上。残存壁高約0.05~0.20m。

面積 (1.29㎡)以上。

埋没土層 暗褐色土。1層が確認された。

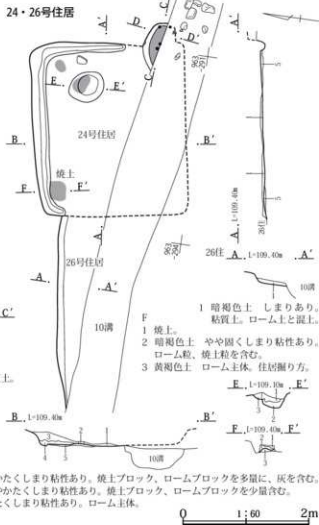
床面 遺構確認面よりで、床面となる。概ね平坦。

その他 カマド・柱穴・貯蔵穴・周溝等は、確認されなかった。

掘り方 床面と同一か。

遺物 土師器片が1片出土した。

所見 平安期(9世紀~10世紀代)の所産と考えられる。



第47図 1区D4面24・26号住居

25号住居(第48図、PL.25・96)

**位置** 1区D4面、X=41963~966、Y=-47307~310。

**重複** 10・13号溝と重複。本遺構が古い。

**平面形状** 南側が10号溝に掘削される。南北方向に長軸を持ち、方形を呈す。

**主軸方位** N-89°-E。

**規模** 長軸2.64m以上、短軸2.53m。残存壁高0.20m。

**面積** (6.48m<sup>2</sup>)以上。

**埋没土層** 暗褐色土主体。3層が観察された。人為的に埋め戻された痕跡はなく、住居廃絶後自然堆積した可能性が高い。

**床面** 概ね平坦であるが、住居中央部がやや高い傾向に

ある。

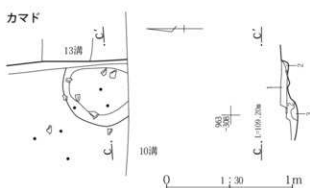
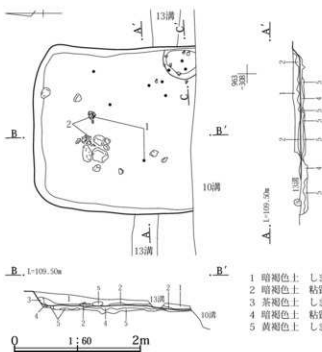
**カマド** 南東隅に焼土粒子を含む土坑状の掘り込みが確認された。楕円形状を呈し、長軸0.6m以上、短軸0.45m、深さ0.2mを計る。10・13号溝に破壊されたと思われる。

**その他** 柱穴・周溝等は確認されなかった。

**掘り方** 床面から0.1~0.15m程掘り込まれ、凹凸がある。暗褐色土・黄褐色土主体。

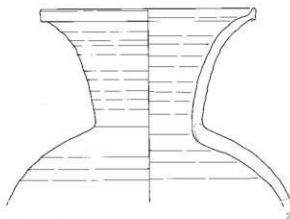
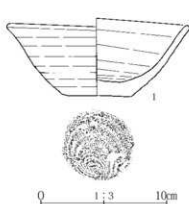
**遺物** 総重量0.5kgの土師器・須恵器が出土した。須恵器椀1は床面、須恵器長頸壺2はほぼ床面からの出土である。

**所見** 出土遺物から、本遺構は、10世紀の前半代の所産と考えられる。



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム・焼土粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 粘質土。ローム・炭化物粒含む。
- 3 黄褐色土 ローム主体。

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 粘質土。ローム・炭化物粒含む。
- 3 茶褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。
- 4 暗褐色土 粘質土。ロームアロックを多量に含む。
- 5 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。



第48図 1区D4面25号住居と出土遺物

## 27号住居(第49～51図、PL.25・26・96・97)

**位置** 1区D4面、X=41971～976、Y=-47306～312。

**重複** 11号溝、119・145・146号土坑、236・375・399号ピットと重複。本遺構が11号溝、119・145土坑、375号ピットより古い。また146号土坑、236・399号ピットより新しい。

**平面形状** 南東隅が11号溝に掘削されている。貯蔵穴のある北辺部東側が張り出した、平面プランを持つ。長軸を東西方向に持つ方形形状。

**主軸方位** N-83°-E。

**規模** 長軸4.59m、短軸3.45m、張り出し部3.82m。残存壁高0.4m。

**面積** 17.41㎡。

**埋没土層** 暗褐色土主体。7層が観察された。2層にAs-B層軽石(灰と軽石が混在)が純層堆積している。埋没土はレンズ状に堆積することから、自然堆積と考えられる。

**床面** 概ね平坦面を形成している。

**カマド** 東壁面の中央部で確認された。残存状態は悪く、カマド掘り方と、崩落した壁体の焼土ブロックおよび燃焼部を構成する袖石2石の確認にとどまる。煙道方向0.

74m、両袖方向0.54m。

**貯蔵穴** 北東隅の張り出し部で確認された。楕円形を呈し、長軸0.71m、短軸0.52m、深さ0.14mを計る。

**その他** ピット3基が確認された。形状および規模は以下のとおり。

P1：楕円形、長軸0.49m、短軸0.33m、深さ0.29m。

P2：楕円形、長軸0.31m、短軸0.28m、深さ0.11m。

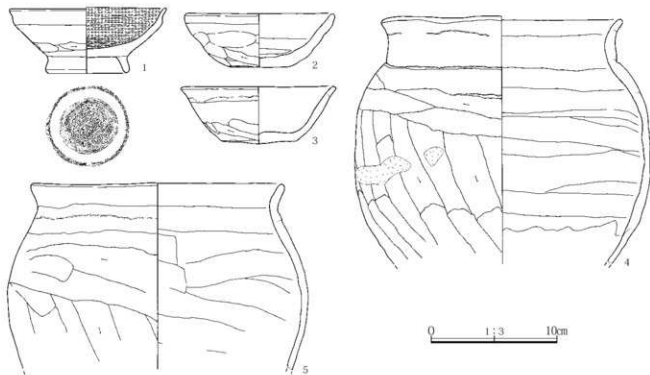
P3：楕円形、長軸0.33m、短軸0.30m、深さ0.32m。

**周溝** カマド付近と貯蔵穴のある張り出し部を除いて確認できた。幅0.14～0.29m、深さ0.03～0.10m。

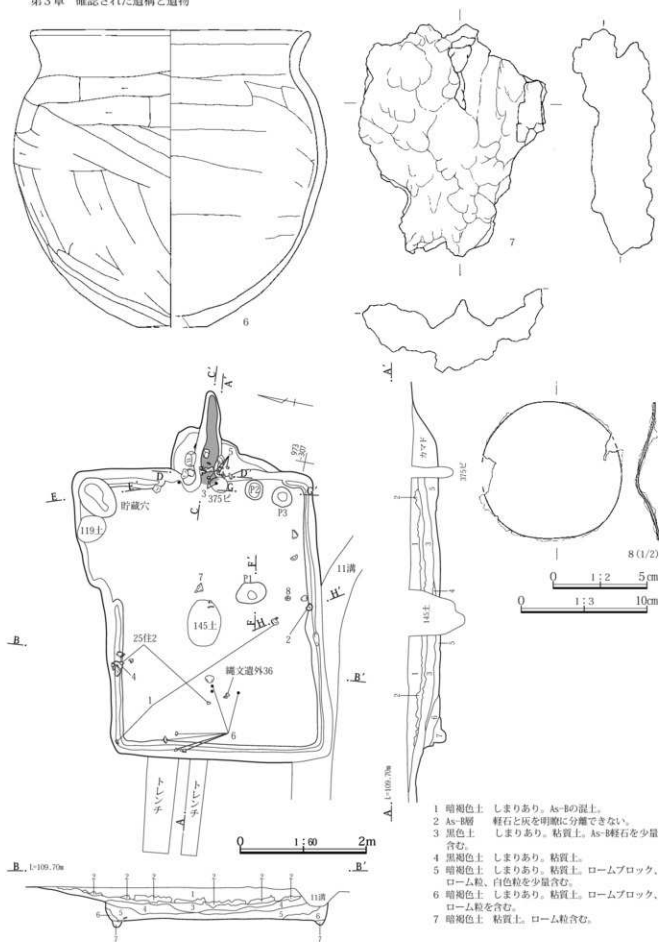
**掘り方** 多少の凹凸が認められるが、床面とはほぼ同一面である。

**遺物** 総重量1kgの土師器・須恵器の他、鉄滓が出土している。内黒高台付碗1は床面付近、土師器杯2は床面、同3はカマド内底面、土師器甕4・6は周溝内および床面、同5はカマド内、甕7は床面、南壁寄りから鉄製品8がそれぞれ出土した。

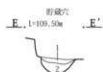
**所見** 北辺部に、張り出し部を持つ特異な形状の住居で、As-B層軽石の純層堆積が認められた。本住居からの出土土器は、10世紀前半代に比定される。



第49図 1区D4面27号住居出土遺物1



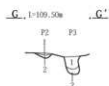
第50図 1区D4面27号住居1と出土遺物2



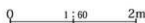
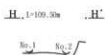
- 1 暗褐色土 粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 黄褐色土 粘質土。暗褐色土とローム土との混土。



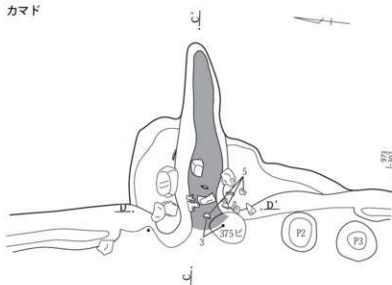
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。
- 2 黒褐色土 粘質土。ロームブロックを少量含む。



- P 2
- 1 褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。
  - 2 黄褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロック含む。
- P 3
- 1 黄褐色土 粘質土。ローム主体。
  - 2 暗褐色土 粘質土。ロームブロックを含む。



カマド



D, l=109.50m, D'



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土・炭化物・ローム粒を少量含む。
- 3 灰褐色土 しまりあり。粘質土。焼土粒を少量含む。
- 4 褐色土 しまりあり。粘質土。焼土ブロックを多量に含む。
- 5 茶褐色土 しまりあり。粘質土。
- 6 茶褐色土 粘質土。焼土を多量に含む。
- 7 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土粒を少量含む。
- 8 褐色土 粘質土。焼土ブロック含む。
- 9 暗褐色土 粘質土。焼土ブロック、ローム粒を含む。
- 10 暗褐色土 粘質土。焼土ブロックを少量含む。
- 11 暗褐色土 粘質土。ローム粒を含む。
- 12 灰褐色土 粘質土。焼土ブロック含む。
- 13 黄褐色土 ロームと焼土の混土。
- 14 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。

第51図 1区D 4面27号住居2

第3表 竪穴住居計測一覧表

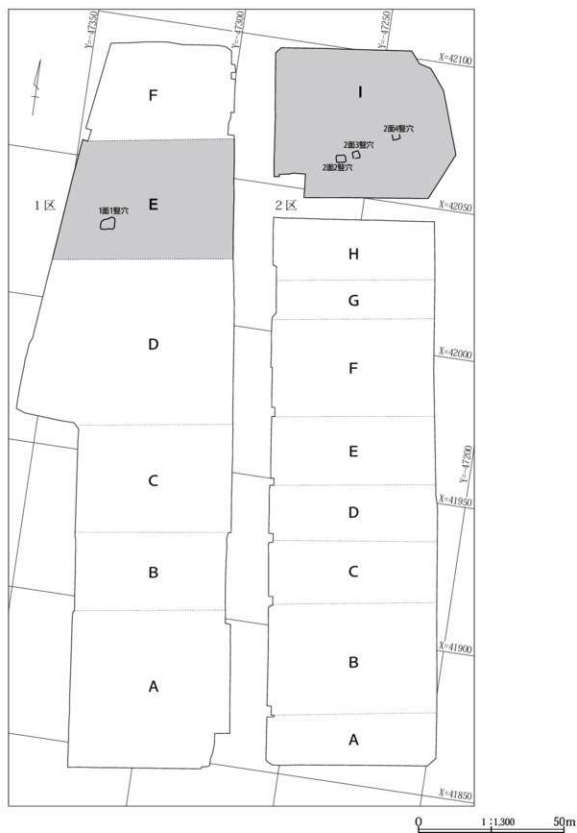
棟号	写真図版	区 区	前	X = 41+42+...	Y = - 47+...	主軸方位	面積(m <sup>2</sup> )	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	時期	各部の出土遺構		備考	
													本遺構の面	竪穴住居の面		
第9-1004	PL.7-92	1 1 A	4	41847 ~ 852	47317 ~ 322	N - 75° - E	14.87	方形	4.57	3.42	0.02 ~ 0.07	10世紀前半	3	4		
第11-1206	PL.8-92	2 1 B	4	41901 ~ 905	47278 ~ 285	N - 81° - E	34.58	方形か	6.54以上	3.83以上	不明	5世紀	古墳時代		古墳時代	
第13-1406	PL.9-92	3 1 A	4	41847 ~ 852	47302 ~ 307	N - 74° - W	18.14	方形か	4.26以上	4.13以上	不明	5世紀前半	古墳時代		古墳時代	
第15-1606	PL.7-8-92	4 1 E	4	42015 ~ 025	47337 ~ 342	N - 73° - E	17.47	方形か	4.94	3.68	0.02 ~ 0.05	10世紀前半	3	4		
第1706	PL.9-92	5 1 E	4	42021 ~ 023	47331 ~ 335	N - 80° - E	8.70	方形	3.09以上	2.86	0.15	10世紀前半	3	4		
第18-1906	PL.10-11-92	6 1 E	4	42017 ~ 021	47323 ~ 328	N - 84° - E	11.48	方形	3.47	3.36	0.30	9世紀後半	2	3		
	矢筈	7														
第20-2106	PL.11-92	8 1 E	4	42035 ~ 040	47323 ~ 328	N - 59° - W	13.56	方形	3.92	3.66	0.07 ~ 0.15	9世紀後半	2	3		
第2206	PL.12-13-92-93	9 1 C	4	41927 ~ 932	47287 ~ 292	N - 89° - E	15.98	方形	4.26	3.95	0.15 ~ 0.20	4世紀後半~	古墳時代		古墳時代	
第23-2406	PL.13-93	10 1 C	4	41939 ~ 942	47290 ~ 295	N - 8° - E	15.01	方形	4.72	3.23	0.12	8世紀後半	1	1		
第25-2706	PL.14-93	11 1 C	4	41953 ~ 957	47303 ~ 307	N - 79° - E	11.61	正方形か	3.60	3.33	0.10 ~ 0.20	10世紀前半	3	4		
第2806	PL.15-93	12 1 C	4	41946 ~ 949	47221 ~ 324	N - 89° - E	8.59以上	方形か	3.03以上	2.63以上	0.02 ~ 0.04	10世紀か	古代	5		
第29-3006	PL.16-93-94	13 1 C	4	41930 ~ 934	47280 ~ 284	N - 65° - E	11.38	方形	3.59	3.21	0.04 ~ 0.10	5世紀前半	古墳時代		古墳時代	
第3106	PL.18	14 1 C	4	41949 ~ 952	47283 ~ 286	N - 79° - W	9.13	方形か	2.90以上	2.86以上	不明	10世紀前半	3	4		
第3206	PL.15	15 1 C	4	42041 ~ 044	47318 ~ 322	N - 77° - E	8.17	方形	3.06	2.56	0.02 ~ 0.09	10世紀前半	3	4		
第3306	PL.17-94	16 1 C	4	42048 ~ 052	47316 ~ 320	N - 89° - E	11.83	方形	4.63	2.61	0.06 ~ 0.13	9世紀後半	2	3		
第3406	PL.15-94	17 1 C	4	41950 ~ 953	47315 ~ 318	N - 30° - E	6.73以上	方形か	2.54以上	2.50以上	0.13	10世紀前半か	3	4		
第3506	PL.18-94	18 1 D	4	42007 ~ 011	47332 ~ 336	N - 89° - E	12.85	方形	3.41	3.39	0.25	10世紀	古代	5		
第36-3806	PL.19-20-94	19 1 D	4	41996 ~ 42002	47336 ~ 342	N - 64° - W	21.46	方形	5.05	4.37	0.25 ~ 0.30	9世紀後半	2	3		
第3906	PL.20	20 1 D	4	41989 ~ 994	47337 ~ 342	N - 76° - W	17.66	方形	4.47	4.09	0.07	10世紀か	古代	5		
第40-4106	PL.21-95	21 1 D	4	41989 ~ 993	47326 ~ 329	N - 73° - E	7.29以上	方形	3.21	2.33以上	0.20	9世紀後半	2	3		
第44-4506	PL.22-95	22 1 D	4	41994 ~ 997	47326 ~ 329	N - 80° - W	6.35	方形	2.76	2.45	0.25	10世紀前半	3	4		
第44-4606	PL.23-95-96	23 1 D	4	41996 ~ 999	47327 ~ 332	N - 75° - E	8.89	方形	3.43	2.58	0.15	10世紀前半	3	4		
第4706	PL.24	24 1 D	4	41963 ~ 965	47290 ~ 293	N - 82° - E	5.06	方形	2.77	2.40以上	0.20	9世紀~10世紀代	古代		古代	
第4806	PL.25-96	25 1 D	4	41963 ~ 966	47307 ~ 310	N - 89° - E	6.48以上	方形	2.64以上	2.53	0.20	10世紀前半	3	4		
第4906	PL.24	26 1 D	4	41963 ~ 964	47293 ~ 296	N - 84° - E	1.29以上	方形か	2.55以上	0.64以上	0.05 ~ 0.20	9世紀~10世紀代	古代		古代	
第49-5106	PL.25-26-96-97	27 1 D	4	41971 ~ 976	47306 ~ 312	N - 88° - E	17.41	方形	4.59	3.45	0.40	10世紀前半	3	4		
		28 1 D	5	41986 ~ 992	47305 ~ 328	N - 87° - E	26.02以上	不整形	5.32以上	5.30	0.15 ~ 0.20	弥生中期後半			弥生時代	弥生時代
第2-4306	PL.21-95	29 1 D	4	41988 ~ 992	47325 ~ 328	N - 87° - E	12.91以上	方形か	4.23	2.72以上	0.20	9世紀後半	2	3		



## 3 竪穴状遺構(第52図 PL.4-4)

総計4基の竪穴状遺構が検出した。1区Eから1基、  
2区1から3基であり、1区の1号竪穴状遺構は、調査

開始当初、集石遺構と想定されたが、調査が進捗する中  
で竪穴状遺構と判断されるに至った。また、2区検出の  
3基の竪穴状遺構は、1区検出のものとは時期および遺  
構の性格を異にするものと考えられる。



第52図 1・2区竪穴状遺構位置図

1区1～5面

1号竪穴状遺構(第53図、PL.27・97)

位置 1区E1面、X=42026～030、Y=-47333～338。

重複 2・4号溝と重複。本遺構が新しい。

平面形状 不定形で歪な方形。

主軸方位 N-84°-E。

規模 長軸4.78m、短軸4.03m。

面積 16.02㎡以上。

埋没土層 多量に大小の河床礫を含む暗褐色土。ほぼ礫で充填されている。

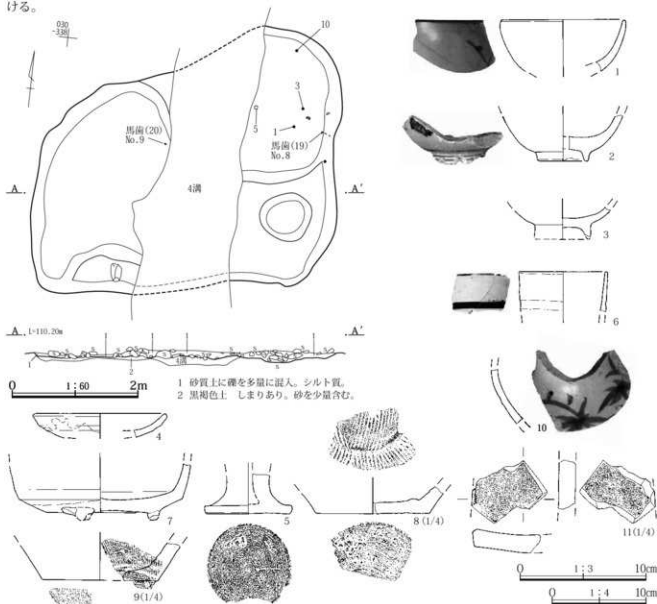
床面 遺構確認面から約0.05mで床面となる。いずれも浅い土坑・ピット状の掘り込みが認められ、平坦さに欠ける。

掘り方 床面と、ほぼ同一面と思われる。

その他の遺構 確認されなかった。

遺物 馬歯2点が確認されたほか、近世陶磁器等が47点出土した。備前焼の陶磁器1・2・3・6・10、瀬戸美濃陶器4・5・7、在地系・国産陶器8・9・11で、4は灯明皿、5は灯明台、1・2・3・6は碗類、8・9はすり鉢、11は平瓦、10は染め付けの徳利。近世後半の遺物である。

所見 遺構の平面形状と礫の分布範囲がほぼ同一であることから、遺構の掘削後に大量の礫と馬歯(馬1体か)が遺物とともに遺棄されたと考えられる。2・4号溝と重複関係や出土遺物などから、本遺構の時期は近世後半と推定される。



第53図 1区E1面1号竪穴状遺構と出土遺物

## 2区2面

## 2号竪穴状遺構(第54図、PL. 27)

位置 2区12面、X=42060～063、Y=-47258～261。

重複 なし。

平面形状 方形。

主軸方位 N-77°-E。

規模 長軸3.26m、短軸2.43m。

面積 7.61㎡。

埋没土層 暗褐色土主体。2層が観察された。1層はAs-B混土。

床面 遺構確認面から約0.15mで床面となる。概ね平坦。

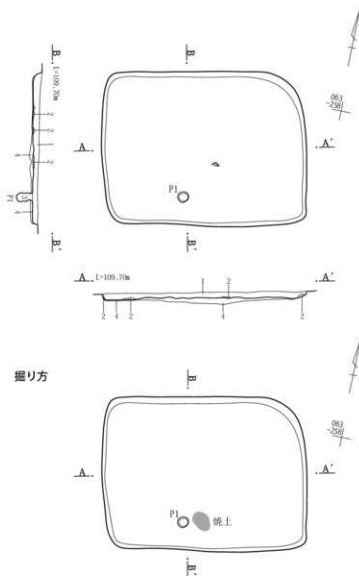
その他の遺構 1基のピットが確認された。形状は円形

を呈し、長軸0.17m、短軸0.15m、深さ0.13mを計る。その他、遺構は確認されなかった。

掘り方 床面から約0.05～0.1mで掘り方面となる。掘り方覆土中には、As-B軽石は含まれない。掘り方面はやや凹凸あるが概ね平坦であった。南辺部沿い中央部寄りで、焼土面が確認された。

遺物 図示し得る出土土器等の遺物はないが、土師器・須恵器片が覆土中から3片出土した。

所見 掘り方覆土中にAs-B軽石を含まず、床面までの埋没土がAs-B混土であることから、平安時代末のAs-B軽石降下前に掘削された可能性も考えられるが、埋没はAs-B軽石降下後と言える。



掘り方

第54図 2区12面2号竪穴状遺構

3号竪穴状遺構(第55図、PL.27)

位置 2区12面、X=42062~065、Y=-47253~256。

重複 なし。

平面形状 方形。

主軸方位 N-70°-E。

規模 長軸2.35m、短軸2.26m。

面積 5.16㎡。

埋没土層 暗褐色土主体。5層が観察された。1・2層はAs-B混土。

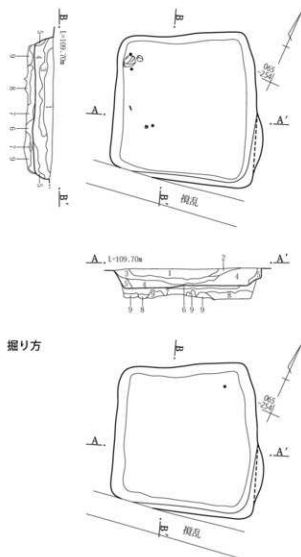
床面 遺構確認面から約0.30mで床面となる。概ね平坦。

その他の遺構 確認されなかった。

掘り方 床面から約0.10~0.15mで掘り方向となる。やや凹凸あるが概ね平坦。掘り方覆土にはAs-B軽石を含まない。

遺物 図示し得る出土土器等の遺物はないが、覆土中から須恵器片が0.16kg出土した。

所見 掘り方覆土にAs-B軽石を含まず、埋没土層がAs-B軽石混土であることから、平安時代末のAs-B軽石降下前に掘削された可能性も考えられるが、本遺構はAs-B軽石降下後に埋没したものと考えられる。



- 1 暗褐色土 しまりあり、粘質土。As-B軽石を多量に、白色軽石、炭化物粒、ロームブロックを少量含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり、粘質土。As-B軽石、白色軽石、ロームブロックを含む。
- 3 暗褐色土 しまりあり、非常に粘質土。ロームブロックを含む。
- 4 暗褐色土 しまりあり、非常に粘質土。ロームブロックを多量に含む。
- 5 黒色土 粘質土。しまりあり。
- 6 暗褐色土 ややしりあり、粘質土。白色軽石、ロームブロック・ローム粒を含む。
- 7 暗褐色土 ややしりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。
- 8 黒褐色土 しまりあり、非常に粘質土。ロームブロックを含む。
- 9 黄褐色土 軟質。非常に粘質土。ローム主体。黒色土を含む。

0 1:60 2m

第55図 2区12面3号竪穴状遺構

## 4号竪穴状遺構(第56図、PL.27)

位置 2区12面、X=42071~073、Y=-47240~243。

重複 なし。

平面形状 北側を試掘トレンチに掘削される。推定方形。

主軸方位 N-69°-E。

規模 長軸2.43m、短軸1.72m以上。

面積 4.24㎡以上。

埋没土層 暗褐色土主体。4層が観察された。As-B軽石を1・2層中に含む。

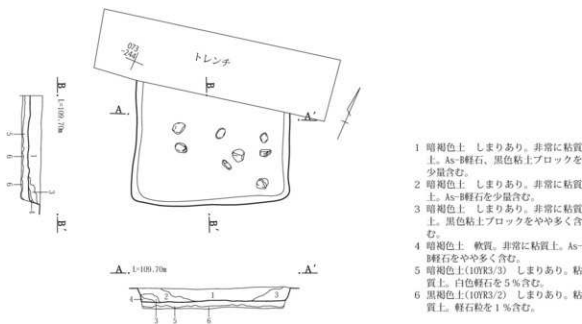
床面 遺構確認前から約0.20mで床面となる。概ね平坦。

その他の遺構 確認されなかった。

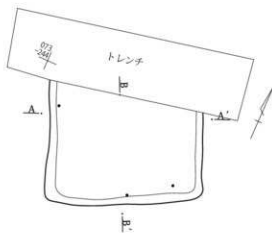
掘り方 床面から約0.10mで掘り方面となる。やや凹凸があるが概ね平坦。

遺物 図示し得る出土土器等の遺物はないが、覆土中から土師器片4片、床面および床面付近から、8点の河床礫が出土した。

所見 掘り方覆土にAs-B軽石を含まず、埋没土層がAs-B軽石混土であることから、平安時代末のAs-B軽石降下前に掘削された可能性も考えられるが、本遺構はAs-B軽石降下後に埋没したものと考えられる。



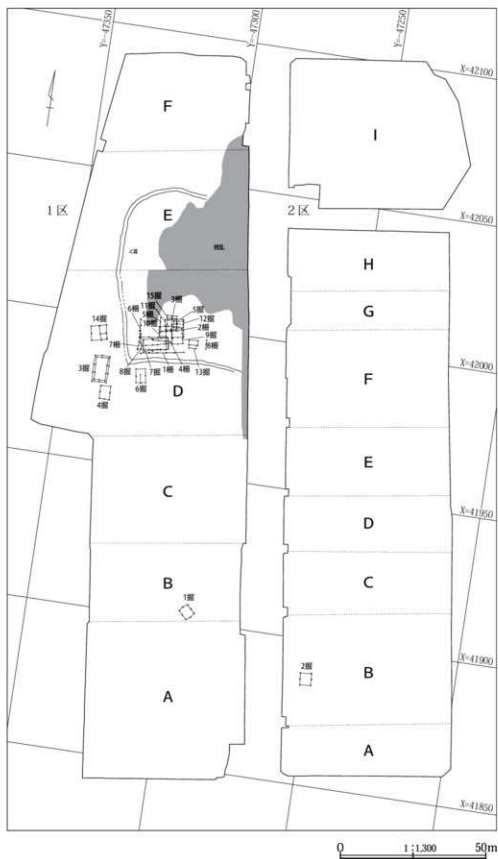
掘り方



第56図 2区12面4号竪穴状遺構

0 1:60 2m

4 掘立柱建物・柵



第57図 1・2区掘立柱建物・柵位置図

## (1)概要と基本的考え方(第57図、第4・5表)

発掘調査時には、合計6棟の掘立柱建物を確認できたが、本遺跡では総数515基のピットが検出された。とりわけ1区Dでは、コの字状に区画された4号溝内でピット群の集中が認められ、415基が検出している。そのため、4号溝区画内や周辺の掘立柱建物付近のピット群を再確認・検討する必要性が認められ、掘立柱建物や柵の成立について、再吟味することとした。そこで下記の基本的な考え方から、掘立柱建物および柵等の検証を調査時に認定した遺構を含め吟味した。その結果、掘立柱建物15棟、柵8基を確認・成立させるに至った。

- ① 掘立柱建物を認定する際、柱穴の並びが正方形または長方形を呈し、柱列が基本的に通るもので、一定の深さを持つ掘り込みであることに基づいた。
- ② 柱間の距離は、芯々間で測定し、柱列が大きく崩れていない限り、周辺状況を鑑みたと距離は一定程度の差異を認めた。また、数量計測表ではメートル法と尺方を用いて表記した。
- ③ 柵は、3つ以上のピットが近似値の柱間距離を維持するものを認定した。
- ④ 建物や柵と認定する際、他の遺構と同一の柱穴を使うことは避けた。(重複している場合は除く。)
- ⑤ 掘立柱建物等に関連する柱穴または建物に想定しようとするれば可能なものがあると考えられるが、各柱穴の詳細記録を提示し、今後の検討の資料としたい。
- ⑥ 柱穴からの出土遺物はほとんどないため、遺物の項は設けず、必要な場合は所見で述べることにした。

検出された掘立柱建物は、1区14棟、2区1棟であった。1区検出の14棟の掘立柱建物のうち、9棟がコの字状に区画された4号溝から検出された。4号溝区画内からは、9棟(5・7～13・15号掘立柱建物)の掘立柱建物のほかに、8基の柵を検出した。

この4号溝は、笠懸村教育委員会の調査時に確認された溝と同一の遺構で、南北幅60m、東西現存幅40mを計る区画溝で、総延長135m(笠懸調査分15m)以上の規模を持つ。東辺部は確認できなかったが、方形の区画であった可能性が高く、少なくとも現存する遺構面が東側に伸びるものと考えられる。この4号溝の方形区画内西南隅に掘立柱建物および柵が集中して検出されるが、区画の中央部や東辺部は掘乱のため、遺構を確認することはで

きなかった。また、遺構の存在の可能性がある4号溝区画内西辺部(掘立柱建物等の遺構が集中する北側)では、4号溝と関連する遺構を確認することができなかった。

1・2号掘立柱建物は、4号溝区画外の検出で、いずれも掘立柱建物としては単独検出である。1号掘立柱建物は1区B中央で2号住居(古墳時代に推定される)の西。2号掘立柱建物は2区Bに位置し、1号井戸が隣接している。

3・4・6・14号掘立柱建物は、4号溝区画の外側から検出された。位置的には、4号溝南西コーナー付近からの検出で、4棟ともに、主軸方位N-1°W-N-9°Wと近似値を示し、良好な位置関係にあるといえる。

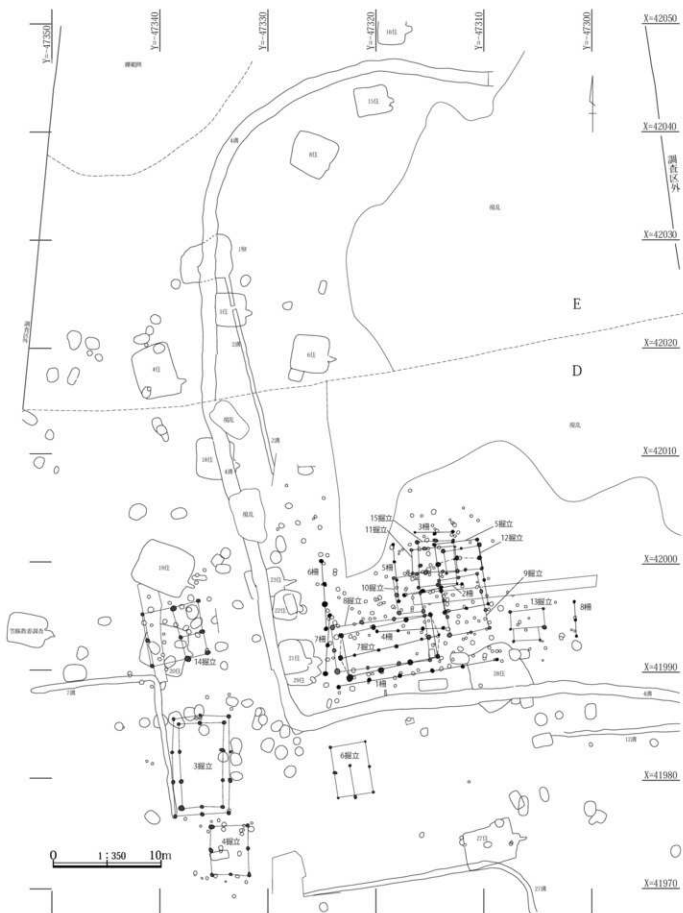
## (2)掘立柱建物の柱穴土層について

遺構の時期決定の大きな手がかりとなり得るものに、出土遺物と火山噴出物のテフラ等での確認がある。掘立柱建物の場合、柱穴等からの出土遺物がほとんど無いのが実情である。本遺跡においても、掘立柱建物からの出土遺物は無く、時期決定の根拠に乏しいといえる。

本遺跡では、As-B軽石を純層堆積として確認できているが、本遺跡の掘立柱建物の柱穴での確認には至っていない。

柱穴覆土中にAs-B軽石を含む掘立柱建物は、2・3・6・9・13・14号掘立柱建物の6棟のみで、他の掘立柱建物では確認できなかった。また、As-B軽石を含む覆土を持つ柱穴(ピット)は、1区D検出ピット415基のうちの21基で、およそその5%に過ぎない。As-B軽石が混入するものとししないものがあるが、これは、柱穴の埋没土が人為的に柱を立てるために埋め戻されることに起因するもので、堅穴住居のように廃棄後の自然堆積による埋没過程を経ないため、As-B軽石降下後の構造物であっても、軽石等が混入しないことが考えられ、両者の大きな時間的な差異を想定できるものではない。

後述の「第5章 まとめ」の項で詳述するが、柱穴の覆土中にAs-B軽石が含まれない1・4・5・7・8・10・11・12・15号掘立柱建物について、軽石降下以前の所産と決定づけるのではなく、位置関係および重複関係等を考察する中で総合的に判断していきたい。



第58図 1区DE4号溝区画内外掘立柱建物・細配置図



(3) 掘立柱建物 1区1～5面

## 1号掘立柱建物(第59図、PL.28)

位置 1区B2面、X=41900～905、Y=-47292～297。

重複 5号ピットと重複。新旧関係は不明。

平面形状 2間×2間の長方形。短軸の中央ピット(P4、P8)が線上より外側にずれる。南北に長軸方向を持ち、中央部が膨らむ、簡単な造りの建物構造を持つ掘立柱建物か。短軸方向の中央の柱穴(P4、P8)を棟持柱と考えると、梁間1間型の掘立柱建物といえる。また、5号ピットを本遺構の柱穴と想定すると、総柱の建物と想定できる。

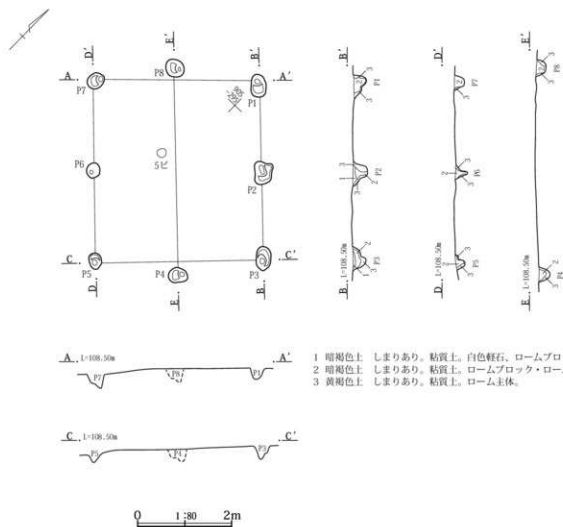
長軸方位 N-45°-W。

規模 長軸3.80m(12尺5寸)、短軸3.57m(12尺2寸)。

面積 13.57㎡(4.1坪)。

柱穴 8基が確認された。柱穴の平面形状は楕円・不整形で、P5の掘り込みが他のピットよりやや浅い。柱底は不明。柱間距離は長軸と短軸とでは、0.1～0.13m程度の差がある。

所見 柱穴埋没土にAs-B軽石を含まないが、本遺構の時期は中世以降の所産と考えられる。2区検出の2号掘立柱建物と位置関係が近いが、関連性は不明。



第59図 1区B2面1号掘立柱建物

2号掘立柱建物(第60図、PL. 28・29)

位置 2区B2面、X=41884~888、Y=-47248~253。

重複 94・102号土坑と重複。新旧関係は不明。

平面形状 東西1間×南北2間。ほぼ方形を呈す、梁間1間型掘立柱建物。

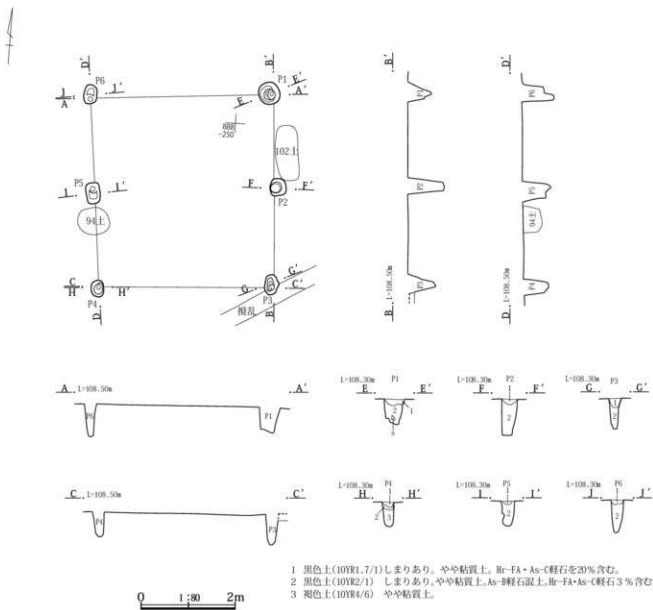
長軸方位 N-3°-W。

規模 短軸3.65m(12尺)、長軸3.97m(13尺1寸)。

面積 14.49㎡(4.39坪)。

柱穴 6基が確認された。平面形状は、長円形または円形で、柱穴深は0.5m以上あり、安定した掘り込みといえる。柱痕は確認できなかった。東西方向は1間のため、南北方向の柱間距離は1.6m以上長い。

所見 柱穴埋没土がAs-B混土であることから、本遺構の時期は中世と推定される。



第60図 2区B2面2号掘立柱建物

## 3号掘立柱建物(第61・62図、PL.30)

位置 1区D2面、X=41976~986、Y=-47333~339。

重複 104・113・114・124・125・126・127・128号土坑、440・441・437号ピット、7号溝と重複。本遺構が113号土坑より古く、104号土坑より新しい。また、7号溝との新旧関係は、本遺構が新しい。

平面形状 東西2間×南北3間の4面底付掘立柱建物。底回り柱穴P12・P18・P20は、外側に膨らみやや不明な位置にある。また、P15およびP20を棟持柱と考えると、4面下屋を持つ掘立柱建物と想定する考え方もあるが、下屋部分の幅が二尺程度で狭く機能的でない。

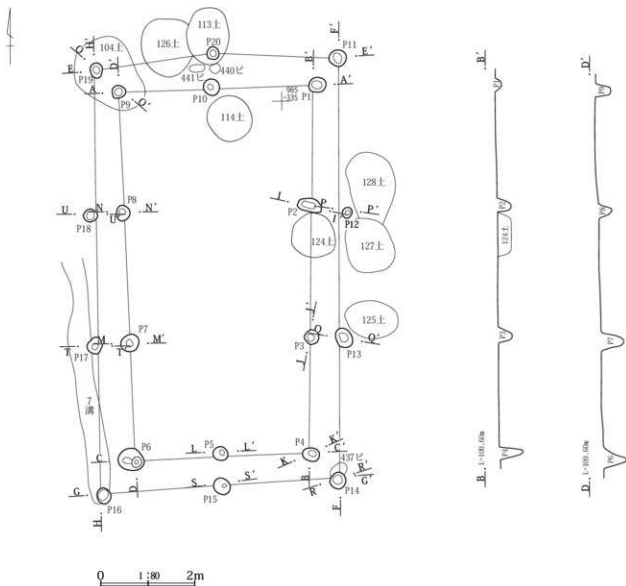
長軸方位 N-3°-W。

規模 短軸3.72m(12尺3寸)、長軸7.77m(25尺6寸)。

面積 28.90㎡(8.75坪)。

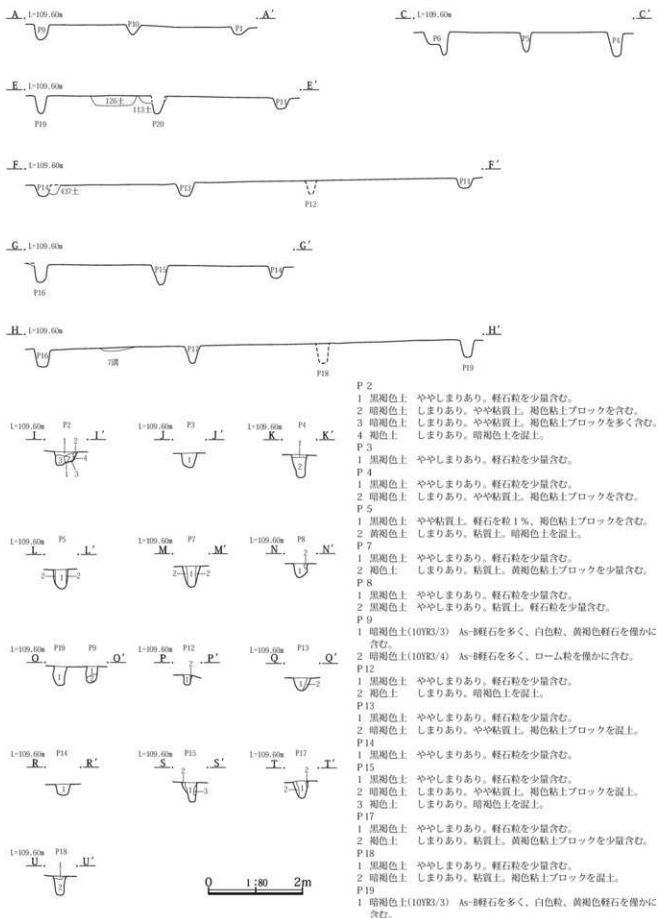
柱穴 20基が確認された。平面形状は小円形を基本とし、長円形や楕円形のものもある。P14は、重複の可能性もあるが、掘り直しのような形状をしている。柱穴の深さは、0.25~0.5m程でいずれもしっかりとした断面形状を持ち、柱痕を思わせる土層注記の柱穴もある。柱間距離は、主屋・庇回りともに南北方向が東西方向より長い。

所見 柱穴埋没土がAs-B混土であることから、本遺構の時期は中世以降の所産と推定される。



第61図 1区D2面3号掘立柱建物1

第3章 確認された遺構と遺物



第62図 1区D2面3号掘立柱建物2

## 4号掘立柱建物(第63図、PL.30)

位置 1区D2面、X=41971～975、Y=-47331～335。

重複 123号土坑、228～231・238・239・241・428・430～432号ピットと重複。新旧関係は不明。

平面形状 東西2間×南北2間の掘立柱建物であるが、北辺部の中央の柱穴がなく変則的な柱列と言える。長軸を南北方向に持つ。

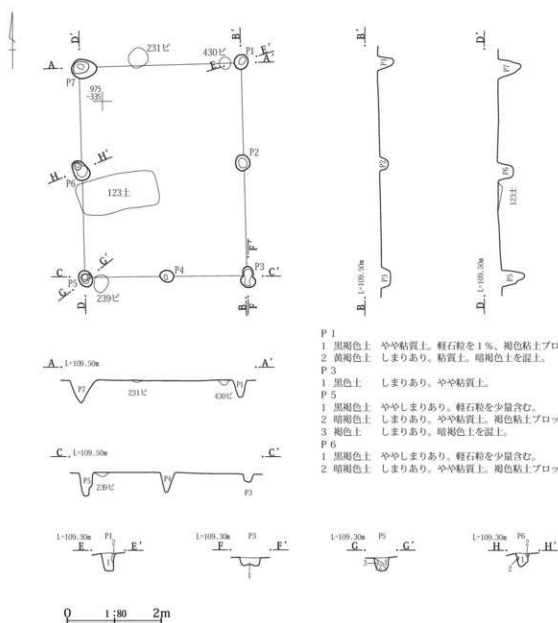
長軸方位 N-1°-W。

規模 短軸3.43m(11尺3寸)、長軸4.51m(14尺8寸)。

面積 15.46㎡(4.68坪)。

柱穴 7基が確認された。平面形状は楕円形もしくは円形で、深さ0.3m前後を計り、0.2m程度の浅い掘り込みの柱穴もある。柱間距離は、長軸方向が短軸方向より0.7m程度長い。

所見 本遺構の時期は中世と推定される。3号掘立柱建物に南接し、主軸方もほぼ同じであることから、両掘立柱建物は、同時期に併設する関連建物の可能性が高い。



P 1

- 1 黒褐色土 やや粘質土。軽石粒を1%、褐色粘土ブロックを含む。
- 2 黄褐色土 しまりあり、粘質土。暗褐色土を混土。

P 3

- 1 黒色土 しまりあり。やや粘質土。

P 5

- 1 黒褐色土 ややしりあり。軽石粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。褐色粘土ブロックを混土。
- 3 褐色土 しまりあり。暗褐色土を混土。

P 6

- 1 黒褐色土 ややしりあり。軽石粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。褐色粘土ブロックを混土。

第63図 1区D2面4号掘立柱建物

5号掘立柱建物(第64・65図、PL30)

位置 1区D2面、X=41995～42002、Y=-47309～314。

重複 9・11・12・15号掘立柱建物、2号櫓、98・99・110・116・117・138・139・141・149・150・151・160・164・166～168・175・255～257・276・288・289・291・343・348・372・374・376・380・398号ピットと重複。本遺構が2号櫓および166号ピットより新しく、15号掘立柱建物と275号ピットより古い。

平面形状 東西2間×南北3間の総柱掘立柱建物または、2間×2間の総柱建物に南北どちらかに庇が付く掘立柱建物と考えられる。南北方向の中央の柱穴の軸が西に1°程ずれている。

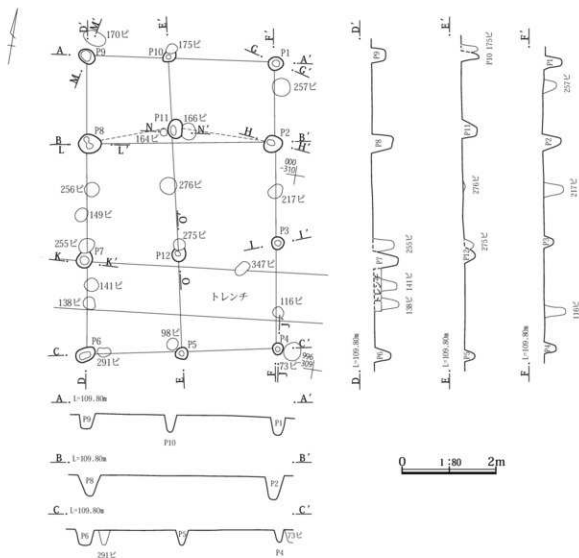
長軸方位 N-9°-W。

規模 短軸4.09m(13尺5寸)、長軸6.07m(20尺)。

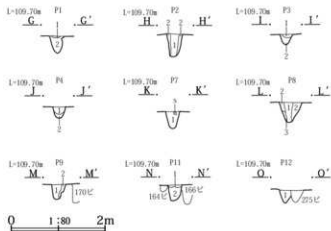
面積 24.82㎡(7.52坪)。

柱穴 12基が確認された。平面形状は、楕円もしくは円形を呈し、深さ0.4～0.5mを計るものを主体としているが、20cm程度の浅いものも認められる。東西方向の柱間距離は北側で差異が大きい。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にあり、4号溝の関連施設として問題はない。また、同じ4号溝区画内にある8・10号掘立柱建物の主軸方位は、本遺構の主軸方位とほぼ直角または平行関係にある。位置関係も良好であるため、時期的に併存している可能性が高い。4号溝区画内で、物理的に併存可能な建物は、7・13号掘立柱建物と考えられる。本遺構の時期は中世と推定される。



第64図 1区D2面5号掘立柱建物1



第65図 1区D 2面5号掘立柱建物2

## 6号掘立柱建物(第66図、PL.30)

位置 1区D 2面、X=41978～983、Y=-47320～324。

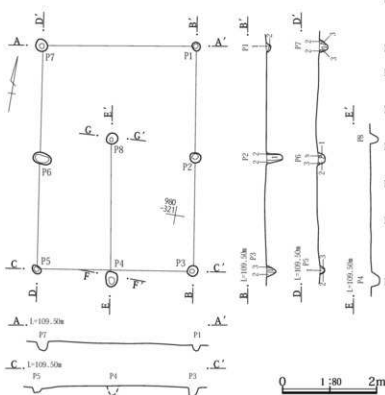
重複 なし。

平面形状 東西2間×南北2間の掘立柱建物。南側の東西柱列からややずれの生じているP 4・8を棟持柱と考え、梁間1間型の掘立柱建物に想定した。

長軸方位 N-9°-W。

規模 短軸3.32m(10尺9寸)、長軸4.26m(14尺1寸)。

面積 14.14㎡(4.3坪)。



第66図 1区D 2面6号掘立柱建物

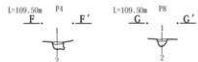
- P 1 1 茶褐色土 ややしりあり。粘質土。  
2 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ローム粒を含む。  
P 2 1 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。  
2 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ロームブロックを含む。  
P 3 1 暗褐色土 ややしりあり。ローム粒を少量含む。  
2 茶褐色土 ややしりあり。粘質土。  
P 4 1 暗褐色土 ややしりあり。ローム粒を少量含む。  
2 茶褐色土 ややしりあり。  
P 7 1 黒褐色土 しりあり。粘質土。炭化物粒少量、ロームブロック・ローム粒を含む。  
P 8 1 暗褐色土 しりあり。粘質土。白色粒、ロームブロックを含む。  
2 暗褐色土 しりあり。粘質土。炭土粒を少量、ロームブロックを含む。  
3 茶褐色土 しりあり。粘質土。  
P 9 1 暗褐色土 しりあり。粘質土。茶褐色粘土ブロックを含む。  
2 暗褐色土 しりあり。粘質土。白色粒、ロームブロックを含む。  
P 11 1 暗褐色土 軟質。粘質土。ロームブロックを含む。  
2 茶褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロックをやや多く含む。  
P 12 1 茶褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

柱穴 8基が確認された。平面形状は、円形または楕円形を呈す。断面はU字状で深さ0.2m程度のものが主体。P 4を棟持柱と考えることができる。

柱間 南北方向の柱列は、ほぼ均等間隔で並んでいる。

所見 本遺構は、3号掘立柱建物の西10mに位置し、4号掘立柱建物とともにその位置関係において、関連性の深い遺構と言える。柱穴埋没土がAs-B軽石混土であることから、本遺構の時期は中世と推定される。

- P 1 1 黒褐色土(10YR3/1) しりあり。As-B軽石2%、灰黄褐色土を5%含む。  
2 黒褐色土(10YR2/2) しりあり。黄褐色ローム粒を2%含む。  
P 2 1 黒褐色土(10YR3/1) As-B軽石僅かに含む。  
2 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色ローム粒を5%含む。  
P 3 1 黒褐色土(10YR3/1) As-B軽石を僅かに含む。  
2 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色ローム粒を5%含む。  
3 灰黄褐色土(10YR4/2) 軟質。黄褐色ローム粒を5%含む。  
P 4 1 黒褐色土(10YR3/1) しりあり。As-B軽石を2%、灰黄褐色土を5%含む。  
2 黒褐色土(10YR3/1) As-B軽石を僅かに含む。  
P 5 1 黒褐色土(10YR3/2) 灰黄褐色土を10%含む。  
2 黒褐色土(10YR3/2) しりあり。As-B軽石を2%含む。  
3 に近い黄褐色土(10YR4/3) しりあり。粘質土。  
P 6 1 黒褐色土(10YR3/2) 灰黄褐色土を10%含む。  
2 黒褐色土(10YR3/2) ややしりあり。  
3 黄褐色土(2.5Y4/4) しりあり。ローム主体。  
P 7 1 黄褐色土(20S Y3/2) 軟質。黄褐色土を10%含む。  
2 暗灰黄色土(20S Y4/2)粘質土。黄褐色粘土ブロックを30%含む。  
3 黒褐色土(10YR3/1) 軟質。黄褐色粘土ブロックを僅かに含む。  
P 8 1 黒褐色土(10YR3/2) しりあり。黄褐色土粒を5%含む。  
2 黒褐色土(10YR3/1) しりあり。黄褐色土粒を僅かに含む。



7号掘立柱建物(第67・68図、PL.31)

**位置** 1区D2面、X=41989～995、Y=-47314～323。

**重複** 8号掘立柱建物、4号柵、75号土坑、86・87・90・100・102・104・118・119・121・122・124・126・194・205・266・267・280・295～297・299～301・304～306・309・331・332・355・378・379・393号ピットと重複。本遺構が122号ピットより新しい。

**平面形状** 棟持柱を持つ梁間1間×桁行3間の掘立柱建物。短軸の2倍以上ある長軸を持つ横長の建物。屋内中央部の柱列P11～P14は、棟持柱または、高床を支える床柱と想定できる特殊構造建物。

**長軸方位** N-77°-E。

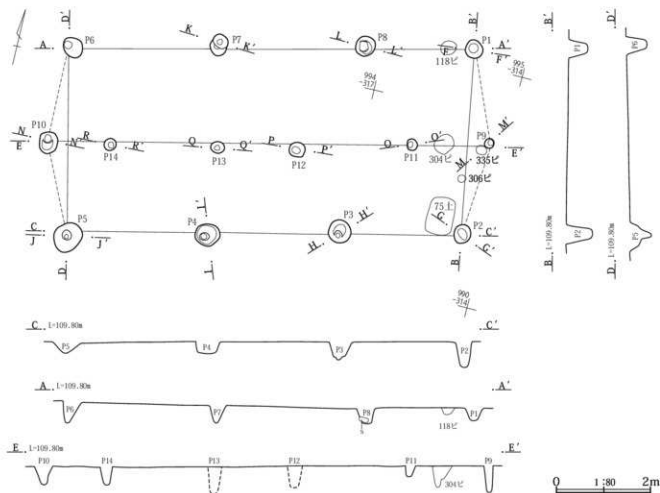
**規模** 短軸3.97m(13尺1寸)、長軸8.37m(27尺6寸)。

**面積** 33.23㎡(10.06坪)。

**柱穴** 14基が確認された。平面形状は、概ね円形や楕円形を呈し、深さ0.3～0.6mほど掘り込まれている。中央部の柱列(棟持柱)は他の柱穴に比べ形状が小ぶりであるが、深さは0.4～0.5mを計る。

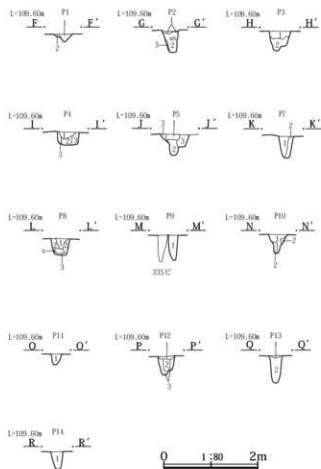
**柱間** 南北方向の柱間距離については、2.4～3.2mとばらつきがある。

**所見** 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にあり、4号溝の関連施設として問題はない。9号掘立柱建物、1号柵と主軸方向が直角または平行し、位置関係も良好であるため、时期的に併存している可能性が高い。10号掘立柱建物も主軸方向がほぼ同一であるが、位置的に近接しすぎているため、上家構造によっては併存できないと考えられる。主軸方向の誤差の許容範囲を広げた場合、8号掘立柱建物以外は、個別の建物同士ではすべて併存が可能と言える。8号掘立柱建物との新旧関係は不明であるが、位置や建物形状などから、どちらかが新たに建て直されたとすることができる。本遺構の時期は中世と推定される。



第67図 1区D2面7号掘立柱建物1





第68図 1区D2面7号掘立柱建物2

## 8号掘立柱建物(第69図、PL.31)

**位置** 1区D2面、X=41989～995、Y=-47315～324。

**重複** 7号掘立柱建物、4号欄、75号土坑、100・102・121・124～127・194・196・199・205・301～303・309・331・332・359・363・370・379・465・468号ピットと重複する。遺構の切り合い関係がなく、新旧関係は不明。

**平面形状** 南北2間×東西3間の短軸の2倍以上ある長軸を持つ東西方向に横長の建物。

**長軸方位** N-73°-E。

**規模** 短軸4.15m(13尺7寸)、長軸8.74m(28尺8寸)。

**面積** 36.27㎡(11坪)。

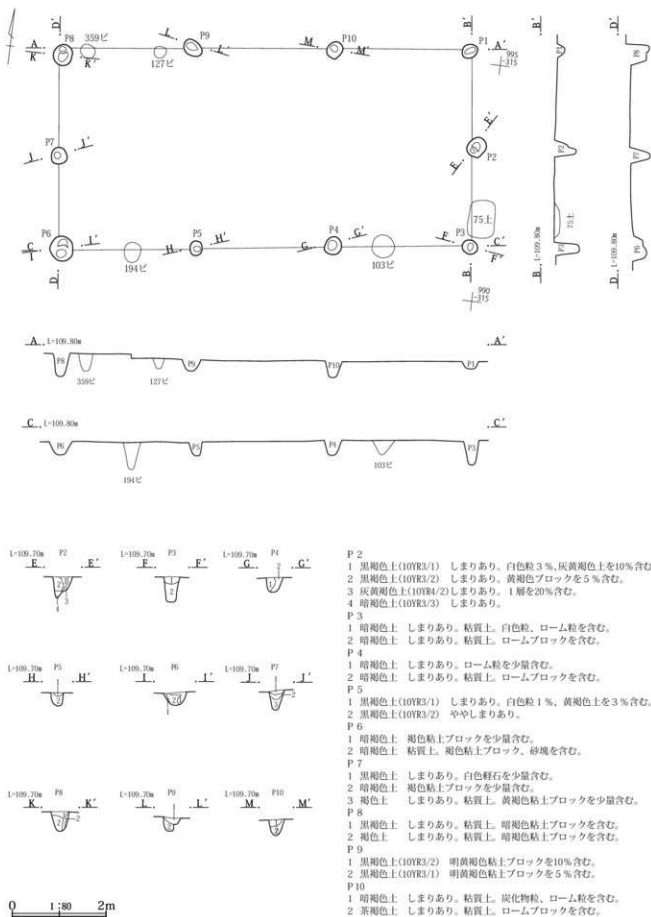
**柱穴** 10基が検出された。楕円もしくは円形の平面形状を持ち、深さ0.35～0.5mを計り、断面U字状に掘り込まれている。

- P 1 1 黒褐色土 しまりあり、白色粒2%、灰黄褐色ブロックを3%含む。  
 2 黒褐色土 しまりあり、白色粒1%、灰黄褐色ブロックを10%含む。  
 P 2 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒、炭化物粒、ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 3 茶褐色土 ややしまりあり。粘質土。  
 P 3 1 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。  
 P 4 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 2 ややしまりあり。粘質土。  
 3 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。  
 P 5 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石2%含む。  
 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色粘土ブロックを含む。  
 3 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。  
 P 7 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。焼上粒を少量、ロームブロックを多量に含む。  
 2 茶褐色土 ややしまりあり。粘質土。  
 P 8 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 2 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム主体。  
 3 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。砂質土。ローム粒を少量含む。  
 P 9 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒を含む。  
 P 10 1 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。  
 2 褐色土 しまりあり。粘質土。黄褐色粘土ブロックを少量含む。  
 P 11 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒、ローム粒を含む。  
 P 12 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。焼上ブロック、炭化物粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を含む。  
 3 茶褐色土 しまりあり。粘質土。  
 P 13 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒1%、灰黄褐色ブロックを10%含む。  
 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。1層に黄褐色ブロックを5%含む。  
 P 14 1 黒褐色土(10YR3/2) 灰黄褐色土とにふい黄褐色土の混入。

**柱間** 短軸はおよそ2.0m、長軸は2.9m前後で、長軸方向が長い。

**所見** 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にあるもので、4号溝の関連施設として問題はない。本遺構の主軸方向は、5・9・11・15号掘立柱建物の主軸方向と近似しており、位置関係も大きな矛盾はない。これらの建物が同時に存在することはないが、後節で検討したい。また、1号欄とも概ね主軸方位が近似し、関連遺構とすることができる。10号掘立柱建物との間では、位置関係に問題があり、上家構造によっては併存できない。主軸方向の誤差の許容範囲を広げた場合、7号掘立柱建物以外は、個別の建物同士ではすべて併存が可能と言える。7・8号掘立柱建物は、いずれかが後から建て直されたと考えられる。本遺構の時期は中世と推定される。

第3章 確認された遺構と遺物



第69図 1区D2面8号掘立柱建物

## 9号掘立柱建物(第70図、PL.30)

位置 1区D2面、X=41993~999、Y=-47309~314。

重複 5・15号掘立柱建物、2号柵、65~69・92~95・97~99・117・139・141・147・148・250・254・255・275・289・291・308・345・347・348・374・388・398号ピットと重複。切り合い関係がなく、新旧は不明。

平面形状 東西2間×南北3間の掘立柱建物。

長軸方位 N-13°-W。

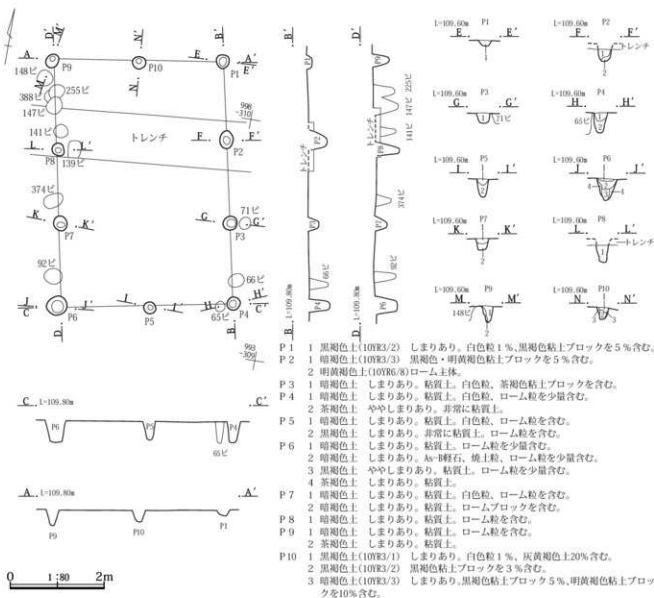
規模 短軸3.63m(12尺)、長軸5.11m(16尺9寸)。

面積 18.54㎡(5.6坪)。

柱穴 10基が検出された。概ね円形の平面形状で、深さ0.4mの断面U字状の掘り込みを持つ。P1は深さ0.15mと浅い掘り込みである。

柱間 短軸は1.75~1.85m、長軸は1.7~1.9mで、6尺前後の値といえ、短軸と長軸の比は、2:3に近似する。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にあり、4号溝の関連施設として問題はない。本遺構は、7・10号掘立柱建物と主軸方向がほぼ同一で、3者が併存する可能性は少ないが、どちらかの建物と同時併存した可能性が高い。主軸方向の誤差の許容範囲を広げた場合、10・12・13号掘立柱建物および7号または8号掘立柱建物のいずれかの建物同士で、併存が可能と言える。また、5号柵とも主軸方位がほぼ同一である。柱穴埋没土がAs-B混土であることから、本遺構の時期は中世と推定される。



第70図 1区D2面9号掘立柱建物

10号掘立柱建物(第71図、PL.32)

位置 1区D2面、X=41995~999、Y=-47315~318。

重複 11・15号掘立柱建物、2・5号柵、120・133・134・136・137・143・144・158・159・222・339・340・349・350・368・387・390・391号ピットと重複。本遺構より2号柵が新しい。7・8号掘立柱建物も上家構造によって、個別には併存することもできる。

平面形状 東西1間×南北2間の簡単な造りの掘立柱建物。

長軸方位 N-9°-W。

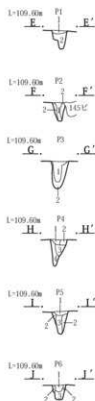
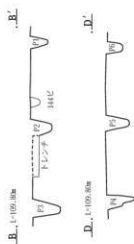
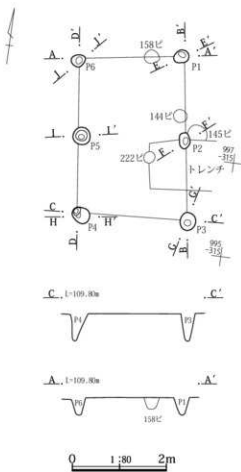
規模 短軸2.33m(7尺7寸)、長軸3.47m(11尺5寸)。

面積 8.08㎡(2.45坪)。

柱穴 6基が検出された。概ね楕円形の平面形状で、深さ0.3~0.6mの断面J字状の掘り込みを持つ。

柱間 短軸はおよそ2.3m、長軸は1.6~1.7mを計る。短軸方向の柱間距離が長い。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。5・9・12・13号掘立柱建物とほぼ同一の主軸方位を持ち、個別の建物同士では併存が可能である。本遺構の時期は中世と推定される。



- P1 1 黒褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。白色粒をやや多く含む。
- P2 1 暗褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を少量含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。
- P3 1 暗褐色土(10YR3/2) 軟質。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。
- 2 茶褐色土(10YR3/1) しまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。
- P4 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。白色粒1%、明黄褐色土を5%含む。
- 2 黄褐色土(2.5Y5/4) しまりあり。粘質土。黒褐色粘土ブロックを5%含む。
- 3 明黄褐色土(2.5Y6/6) しまりあり。粘質土。黒褐色粘土ブロックを20%含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。明黄褐色土を5%含む。
- P5 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。灰黄褐色土を3%含む。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまりあり。明黄褐色粘土ブロックを10%含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。明黄褐色土を5%含む。
- P6 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒1%、明黄褐色粘土を3%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色粒僅かに含む。明黄褐色土と混土。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。明黄褐色土を5%含む。

第71図 1区D2面10号掘立柱建物

## 11号掘立柱建物(第72図、PL.32)

位置 1区D2面、X=41999～42001、Y=-47312～317。

重複 5・10・12・15号掘立柱建物、151・153・156・158・166・168・216・256・333・334・339・340・342・344・373・385号ピットと重複。切り合い関係がなく、新旧は不明。

平面形状 南北1間×東西3間の小規模な掘立柱建物。165号ピットが棟持柱の可能性ある。

長軸方位 N-86°-E。

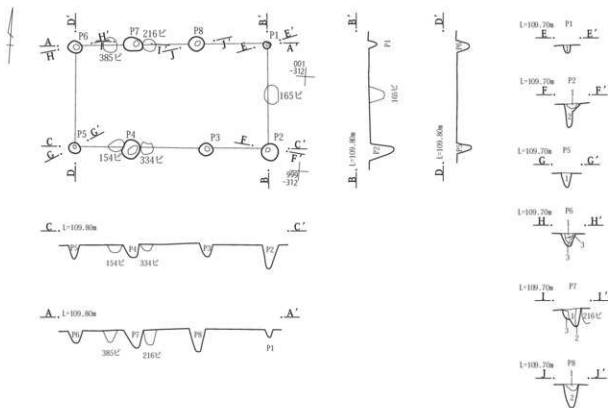
規模 短軸2.24m(7尺4寸)、長軸4.10m(13尺5寸)。

面積 9.18㎡(2.8坪)。

柱穴 8基が検出された。平面形状は、円形もしくは楕円形を呈し、深さは一様でなく0.2～0.5mの断面U字状の掘り込みである。

柱間 南北方向は、2.2m前後、東西方向は、1.3～1.5mを計る。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。9・13号掘立柱建物および7・8号掘立柱建物のいずれかと併存する可能性がある。本遺構の時期は中世と推定される。



- P 1 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。灰黄褐色土3%含む。  
 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土、白色粒、ロームブロックを含む。  
 3 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を含む。  
 P 5 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 P 6 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。黄土粒、ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。  
 3 茶褐色土 しまりあり。粘質土。  
 P 7 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色粒、焼土粒、明黄褐色粘土ブロックを20%含む。  
 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。白色粒1%、明黄褐色土を5%含む。  
 3 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒を僅かに含む。  
 P 8 1 暗褐色土 しまりあり。炭化物、ロームブロックを含む。  
 2 茶褐色土 しまりあり。

第72図 1区D2面11号掘立柱建物

12号掘立柱建物(第73図、PL.32)

位置 1区D2面、X=41999~42001、Y=-47310~314。

重複 5・11・15号掘立柱建物、166号ピットと重複する。切り合いがないので新旧関係は不明。

平面形状 南北1間×東西2間の簡単な造りの掘立柱建物。

長軸方位 N-81°-E。

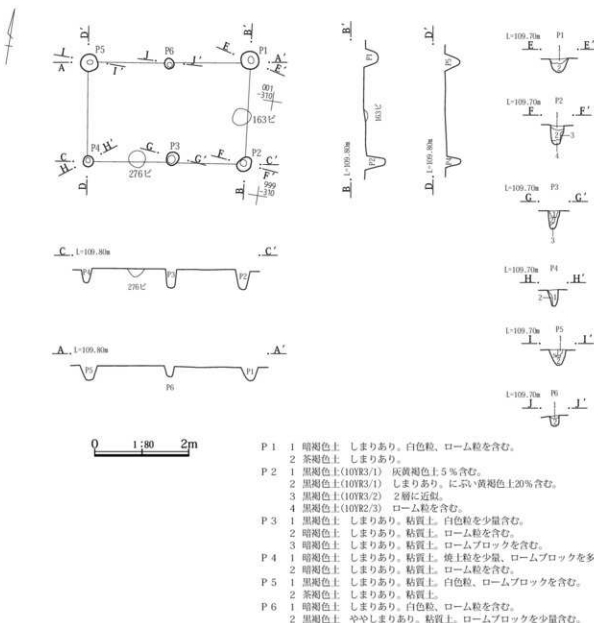
規模 短軸2.14m(7尺1寸)、長軸3.35m(11尺1寸)。

面積 7.17㎡(2.2坪)。

柱穴 6基が検出された。円形または楕円形を呈し、深さ0.23~0.4mのU字状の掘り込みである。

柱間 短軸はおよそ2.1m、長軸は1.6~1.7m前後で、短軸方向の柱間距離が長い。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。9・10・13号掘立柱建物および7・8号掘立柱建物のいずれかと併存する可能性がある。本遺構の時期は中世と推定される。



第73図 1区D2面12号掘立柱建物

## 13号掘立柱建物(第74図、PL.32)

位置 1区D2面、X=41992～995、Y=-47304～307。

重複 75・80～82・107・285・311号ピットと重複。新旧関係は不明。

平面形状 南北1間×東西1間の簡単な造りと考えられる建物に付属する東西方向に平行する柱穴列を伴う。

長軸方位 N-84°-E。

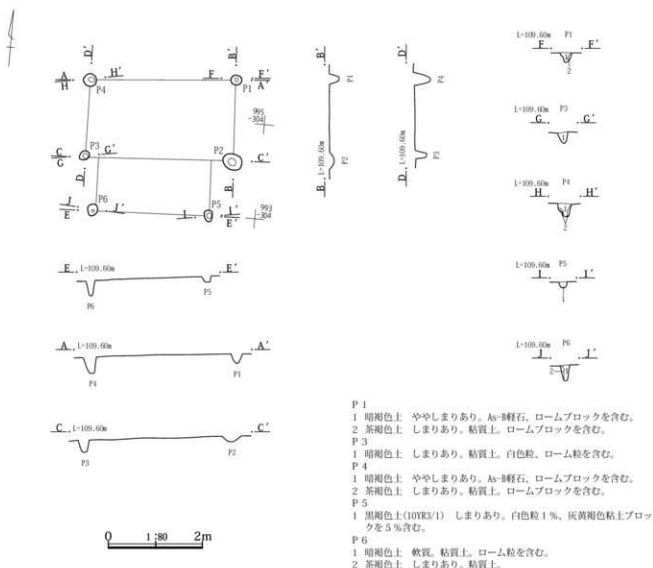
規模 短軸1.75m(5尺8寸)、長軸3.10m(10尺2寸)。

面積 5.42㎡(1.6坪)。

柱間 短軸は1.75m、長軸は3.1mを計る。付属柱穴間は2.46m。

柱穴 6基が検出された。円形もしくは楕円形の小ピット。深さ0.1～0.3m程度で、浅いものもある。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。4号溝区画内のどの掘立柱建物とも併存する可能性がある。柱穴埋没土がAs-B混土であることから、本遺構の時期は中世と推定される。



第74図 1区D2面13号掘立柱建物

14号掘立柱建物(第75図、PL.32)

位置 1区D2面、X=41990~996、Y=-47335~341。

重複 20号住居、63・78・79・83・84号土坑、210・351・353・355・356・447・449~451・454~456・458号ピットと重複。新旧関係は不明。

平面形状 南北2間×東西2間。中央の南北柱列が東にずれる形状を呈し、変則的なプラン。

長軸方位 N-77°-E。

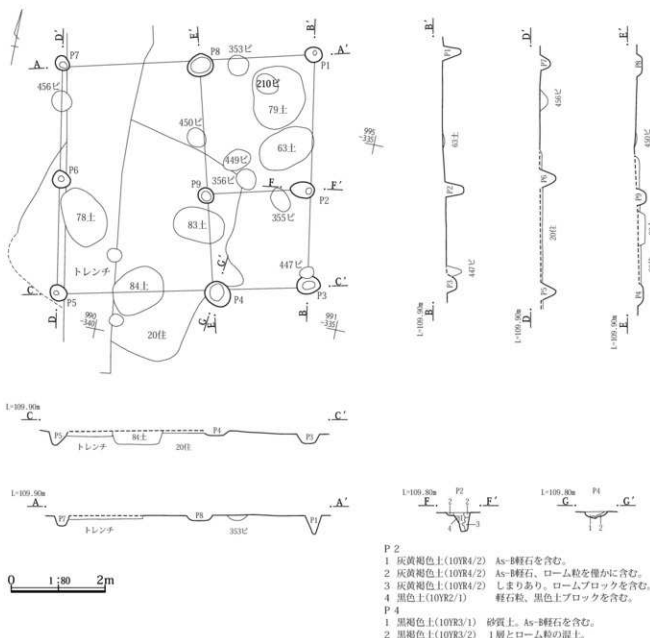
規模 短軸2.14m(7尺)、長軸3.35m(11尺1寸)。

面積 7.17㎡(2.2坪)。

柱穴 9基が検出された。楕円形もしくは円形を呈し、深さ0.1~0.4mのU字状の掘り込み。南北方向の中央柱列は、掘り込みが浅く補助的な柱穴の可能性が高い。

柱間 南北方向の中央柱列がずれているため、柱間距離に大きなばらつきがある。

所見 3号掘立柱建物の北側に近接し、3・4号掘立柱建物との関連性が考えられる。柱穴埋没土がAs-B混土であることから、本遺構の時期は中世と推定される。



第75図 1区D2面14号掘立柱建物



## 15号掘立柱建物(第76図、PL.32)

位置 1区D2面、X=41997~42003、Y=-47312~316。

重複 5・9・10・11・12号掘立柱建物、2号柵、110・150・153・154・172・176~179・216・256・259・334・341・342・344・368・373・385・389号ピットと重複。新旧関係は、切り合い関係がなく不明だが、5号掘立柱建物より新しい可能性が柱穴同士の平面形状から推測できる。

平面形状 東西2間×南北2間の南北に長軸を持つ掘立柱建物で、北側に庇または柵(3号柵)を伴うと考えられる。

長軸方位 N-4°-W。

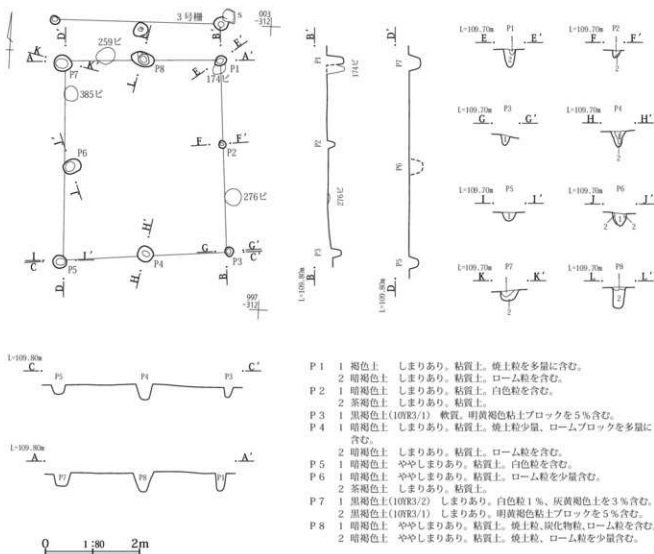
規模 短軸3.49m(12尺5寸)、長軸4.10m(13尺5寸)。

面積 14.31㎡(4.3坪)。

柱穴 8基が検出された。円形もしくは楕円形を呈し、深さ0.2~0.4mの掘り込み。南北方向の中間柱穴P2・P6は、掘り込みが浅く補助的な柱穴の可能性が高い。

柱間 短軸はおよそ1.8m、長軸は2.3m前後で、長軸方向の柱間距離が長い。

所見 4号溝区画内に所在し、南北・東西方向ともに4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。13号掘立柱建物および7・8号掘立柱建物のいずれかと併存した可能性が高い。本遺構の時期は中世と推定される。



第76図 1区D2面15号掘立柱建物

(3) 柵 1区1～5面

1号柵(第77図、PL.32・33)

位置 1区D2面、X=41988～991、Y=-47308～323。

重複 28号住居、73号土坑、84・85・321・323～325・329・361号ピットと重複。本遺構が28号住居より新しく、323号ピットより古い。

平面形状 5間。

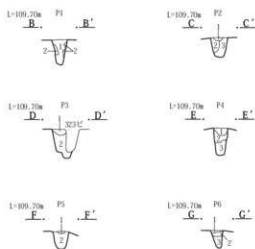
長軸方位 N-80°-E。

規模 14.90m。

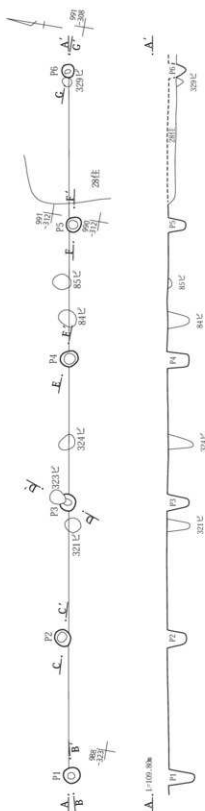
柱穴 6基が確認された。円形もしくは楕円形を呈し、深さ0.4～0.5mの断面U字状の掘り込み。

柱間 柱間距離は2.88～3m前後で、およそ10尺。

所見 4号溝区画内に所在。4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。本遺構の長軸方位は4号溝区画内にある建物群の東西方向の方位とほぼ近似し、併存できるといえる。本遺構の時期は中世と推定される。



- P 1 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石を2%含む。  
2 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。
- P 2 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色粒1%含む。暗褐色土と混す。  
2 暗褐色土(10YR3/3) 軟質。ややしまりあり。  
3 黒褐色土(10YR2/3) しまりあり。白色粒1%含む。
- P 3 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒を少量含む。  
2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。
- P 4 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒を多量に、ローム粒を含む。  
2 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。  
3 茶褐色土 ややしまりあり。粘質土。
- P 5 1 黒褐色土 しまりあり。白色粒を多量に含む。  
2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。
- P 6 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒を含む。  
2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を含む。  
3 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒を多量に含む。



第77図 1区D2面1号柵

## 2号柵(第78図、PL.33)

位置 1区D2面、X=41996~998、Y=-47312~317。

重複 5・10号掘立柱建物、136・146~148・213・214・255・289・289・345・388号ピットと重複。本遺構が5・10号掘立柱建物、136号ピットより新しく、147号ピットより古い。

平面形状 3間。

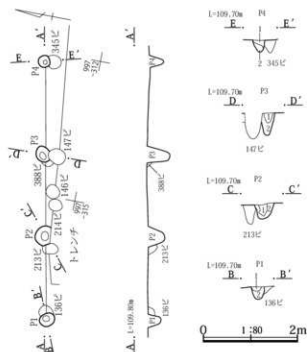
長軸方位 N-79°-E。

規模 5.46m。

柱穴 4基が確認された。平面形状は、円形もしくは楕円形を呈し、深さ0.3~0.5mの断面U字状の掘り込み。

柱間 柱間距離は1.71~1.99mで、6尺前後。

所見 4号溝区画内に所在。1号柵と平行し、4号溝の走行と矛盾せず、良好な位置関係にある。7・8号掘立柱建物および11・12号掘立柱建物のいずれかの一方と併存することができ、7号掘立柱建物の主軸方位とほぼ同一の主軸方位を持っている。柱穴埋没土がAs-B混土であることから、本遺構の時期は中世と推定される。



- P1 1 暗褐色土 ややしまりあり、白色粘、ロームブロックを含む。  
2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを少量含む。
- P2 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粘、ローム粒を少量含む。  
2 黒褐色土 粘質土。ロームブロックを含む。
- P3 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。  
2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。
- P4 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。  
2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。黒色土を含む。

第78図 1区D2面2号柵

## 3号柵(第79図、PL.33)

位置 1区D2面、X=42002~003、Y=-47312~316。

重複 172・173・176・179号ピットと重複。新旧関係は不明。

平面形状 2間。

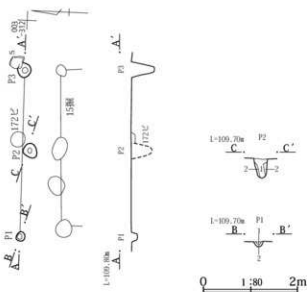
長軸方位 N-88°-E。

規模 3.53m。

柱穴 3基が確認された。平面形状は、円形もしくは楕円形を呈し、深さ0.2~0.5mの断面U字状の掘り込み。P1は浅く安定感がない。

柱間 柱間距離は1.8m前後である。

所見 4号溝区画内に所在し、15号掘立柱建物に付随する柵または庇と考えられる。本遺構の時期は中世と推定される。



- P1 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粘を含む。  
2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。
- P2 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を含む。  
2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

第79図 1区D2面3号柵

4号槽(第80図、PL.33)

位置 1区D2面、X=41993・994、Y=-47313～320。

重複 7・8号掘立柱建物、92・379号ピットと重複。  
新旧関係は不明。

平面形状 3間。

長軸方位 N-87°-E。

規模 3.53m。

柱穴 4基が確認された。平面形状は、円形を呈し、深さ0.5m以上を計る。

柱間 柱間距離は2.0～2.3m前後である。

所見 4号溝区画内に所在し、4号溝との位置関係に問題は無い。15号掘立柱建物の東西方向の軸に平行し、10号掘立柱建物とともに関連性が考えられる。本遺構の時期は中世と推定される。



第80図 1区D2面4号槽

5号槽(第81図、PL.33)

位置 1区D2面、X=41996～42001、Y=-47317・318。

重複 10号掘立柱建物、143・220・265・364号ピットと重複する。

平面形状 3間。

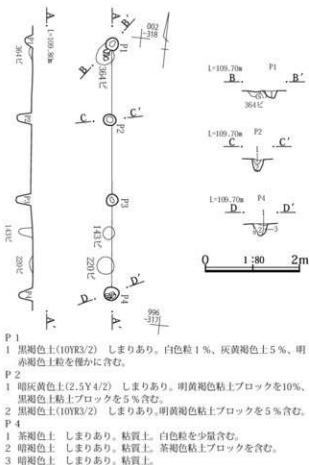
長軸方位 N-6°-W。

規模 5.34m。

柱穴 4基が確認された。平面形状は円形を呈し、深さ0.2～0.3mのU字状の掘り込みを持つ。

柱間 柱間距離は1.6～2.0mとばらつきがある。

所見 4号溝区画内に所在し、5・9・11・12・15号掘立柱建物の南北方向の軸にほぼ並行する。位置関係から、11・15号掘立柱建物との関連性が考えられる。本遺構の時期は中世と推定される。



第81図 1区D2面5号槽

## 6号柵(第82図、PL.32・33)

**位置** 1区D2面、X=41993～42000、Y=-47324・325。

**重複** 360・469・473・476・473号ピットと重複する。いずれも新旧関係は不明。7号柵とは、その位置関係から、並存する可能性は少ない。

**平面形状** 3間。

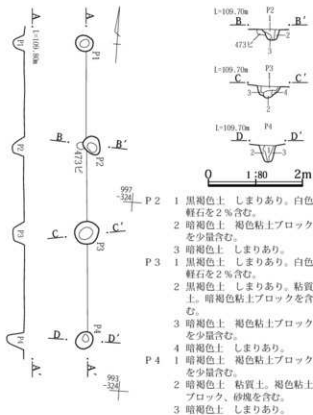
**長軸方位** N-4°-W。

**規模** 6.26m。

**柱穴** 4基が確認された。平面形状は、楕円もしくは円形を呈し、深さ0.22～0.36mの断面U字状の掘り込みを持つ。

**柱間** 柱間距離は1.8～2.2mとばらつきがある。

**所見** 4号溝区画内の南西隅に所在し、本遺構の主軸は4号溝の南北方向とほぼ一致する。直接的に関連する建物はなく、10・11・15号掘立柱建物の主軸方位と近似し、関連性が考えられる。本遺構の時期は中世と推定される。



第82図 1区D2面6号柵

## 7号柵(第83図、PL.33)

**位置** 1区D2面、X=41989～42000、Y=-47324・325。

**重複** 198・199・200・206・358・469号ピットと重複。新旧関係は不明。8号柵とは、その位置関係から、並存する可能性は少ない。

**平面形状** 2間。

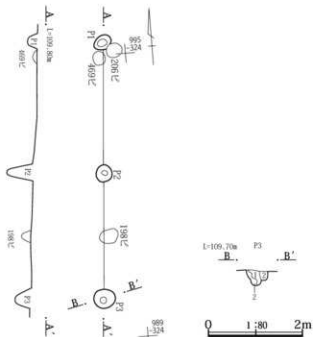
**長軸方位** N-4°-E。

**規模** 5.43m。

**柱穴** 3基が確認された。平面形状は円形もしくは楕円形を呈し、深さ0.2～0.5mとばらつきがある。

**柱間** 柱間距離は2.7m前後である。

**所見** 4号溝区画内に所在し、4号溝の主軸方向とややずれがあるが、4号溝との関連性は認められる。直接的に関連する建物はなく、4号溝区画内のどの建物とも、主軸方位に若干のずれが認められる。本遺構の時期は中世と推定される。



第83図 1区D2面7号柵

第83図 1区D2面7号柵

## 8号槽(第84図、PL.33)

位置 1区D2面、X=41993~996、Y=-47301。

重複 78・312号ピットと重複。新旧関係は不明。

平面形状 2間。

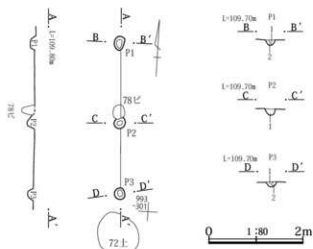
長軸方位 N-4°-W。

規模 3.2m。

柱穴 3基が確認された。平面形状は、円形または楕円形を呈し、深さは0.1~0.15mと浅い。

柱間 柱間距離は1.6m前後でばらつきがある。

所見 4号溝区画内に所在し、13号掘立柱建物の東側にあり、その位置関係から、13号掘立柱建物の関連遺構と考えられる。4号溝の主軸方向とややずれがあるが、4号溝との関連性は認められる。本遺構の時期は中世と推定される。



- P 1 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒2%、灰黄褐色土粒を5%含む。  
 2 黒褐色土(10YR3/2) 1層に黄褐色粘土ブロックを10%含む。
- P 2 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒1%、灰黄褐色土粒を3%含む。
- P 3 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を少量含む。  
 2 茶褐色土 ややしりあり。非常に粘質土。

第84図 1区D2面8号槽

## 第4表 掘立柱建物計測一覧表

1号掘立柱建物(位置 X=41900~905 Y=-47292~297)

建物全体規模		2間×2間		棟方向		南北棟			
主軸方向		N-45°-W		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱穴の間隔		ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ		(m)	(尺)		
東辺 3.80	P 1	0.48	0.32	0.24, 0.13	楕円形	1.90	6.27	508	
	P 2	0.49	0.34	0.29, 0.12	楕円形	1.90	6.27	509	
南辺 3.57	P 3	0.51	0.30	0.29, 0.17	楕円形	1.82	6.00	510	
	P 4	0.41	0.31	0.27, 0.19	楕円形	1.75	5.77	511	
西辺 3.89	P 5	0.34	0.26	0.20, 0.08	楕円形	1.92	6.34	512	
	P 6	0.32	0.30	0.27	円形	1.97	6.50	513	
北辺 3.52	P 7	0.38	0.31	0.32, 0.21	楕円形	1.72	5.68	514	
	P 8	0.38	0.36	0.39, 0.20	楕円形	1.80	5.94	515	
	P 4-8					4.37	14.42		

2号掘立柱建物(位置 X=41884~888 Y=-47248~253)

建物全体規模		1間×2間		棟方向		南北棟			
主軸方向		N-3°-W		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱穴の間隔		ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ		(m)	(尺)		
東辺 3.97	P 1	0.47	0.44	0.54, 0.50	円形	1.95	6.44	187	2段底状。
	P 2	0.36	0.35	0.76	方形	2.02	6.67	188	
南辺 3.65	P 3	0.44	0.30	0.66	楕円形	3.65	12.05	189	
西辺 3.98	P 4	0.35	0.26	0.53	楕円形	2.06	6.80	184	
	P 5	0.44	0.30	0.59, 0.48	楕円形	1.92	6.34	185	2段底状。
北辺 3.75	P 6	0.40	0.27	0.67, 0.46	楕円形	3.75	12.38	186	2段底状。
	P 2-5					3.85	12.71		

3号掘立柱建物(位置 X=41976~986 Y=-47333~339)

建物全体規模		2間×3間		棟方向		南北棟			
主軸方向		N-3°-W		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱穴の間隔		ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ		(m)	(尺)		
東辺 7.77	P 1	0.36	0.31	0.13	円形	2.55	8.42	495	
	P 2	0.51	0.27	0.33	楕円形	2.77	9.14	272	
	P 3	0.30	0.30	0.28	円形	2.45	8.09	246	

## 第1節 古墳時代以降の遺構と遺物

南辺	3.72	P 4	0.36	0.28	0.50	楕円形	1.90	6.27	233	
		P 5	0.32	0.29	0.45	円形	1.82	6.00	268	
西辺	7.80	P 6	0.56	0.47	0.48, 0.25	楕円形	2.50	8.25	243	2段底状。
		P 7	0.39	0.35	0.46	円形	2.78	9.17	244	
		P 8	0.32	0.28	0.29	円形	2.52	8.31	245	
北辺	4.18	P 9	0.29	0.26	0.09	円形	1.93	6.37	496	104土坑内。
		P 10	0.35	0.33	0.22	円形	2.25	7.42	497	
東辺	8.89	P 11	0.35	0.35	0.22	円形	3.26	10.76	498	
		P 12	0.23	0.20	0.27	円形	2.63	8.68	273	
		P 13	0.43	0.33	0.29	楕円形	2.98	9.83	271	
南辺	4.96	P 14	0.35	0.34	0.24	円形	2.40	7.92	232	
		P 15	0.36	0.32	0.41	円形	2.56	8.45	234	
西辺	8.94	P 16	0.34	0.30	0.37	円形	3.12	10.30	499	
		P 17	0.34	0.30	0.37	円形	2.76	9.10	269	
		P 18	0.30	0.27	0.41	円形	3.06	10.10	270	
北辺	5.13	P 19	0.32	0.25	0.25	円形	2.48	8.18	500	104土坑内。
		P 20	0.27	0.25	0.25	円形	2.65	8.74	488	113土坑内。

4号掘立柱建物(位置 X=41971~975 Y=-47331~335)

建物全体規模		2間×2間		棟方向		南北棟				
主軸方向		N-1°-W		施設		なし				
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要	
		長径	短径	深さ						
東辺	4.51	P 1	0.31	0.29	0.36	円形	2.12	7.00	242	
		P 2	0.33	0.31	0.17	円形	2.39	7.88	492	
南辺	3.43	P 3	0.45	0.20	0.17	不整形	1.72	5.67	237	
		P 4	0.29	0.24	0.42	円形	1.71	5.64	493	
西辺	4.43	P 5	0.35	0.28	0.49, 0.31	円形	2.37	7.82	226	2段底状。
		P 6	0.45	0.29	0.39, 0.33	楕円形	2.06	6.80	227	2段底状。
北辺	3.43	P 7	0.53	0.41	0.47	楕円形	3.43	11.32	494	

5号掘立柱建物(位置 X=41995~42002 Y=-47309~314)

建物全体規模		2間×3間		棟方向		南北棟				
主軸方向		N-9°-W		施設		なし				
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要	
		長径	短径	深さ						
東辺	6.07	P 1	0.31	0.28	0.35	1.70	13.10	258		
		P 2	0.40	0.36	0.50	2.12	8.64	163		
		P 3	0.26	0.26	0.20	2.25	9.34	161		
南辺	4.09	P 4	0.26	0.22	0.25	2.06	9.63	310		
		P 5	0.27	0.25	0.32	2.03	13.26	97		
西辺	6.37	P 6	0.43	0.27	0.34	2.00	10.56	374		
		P 7	0.37	0.31	0.53	2.52	10.23	147	255 P と重複。	
		P 8	0.48	0.40	0.45	1.85	7.65	152		
北辺	4.00	P 9	0.36	0.28	0.33	1.75	5.61	169		
		P 10	0.32	0.23	0.38	2.25	7.98	174	175 P と重複。	
南北中央	6.25	P 11	0.41	0.29	0.34	2.63	8.68	165	166 P と重複。	
		P 12	0.30	0.29	0.33	2.10	6.93	345	275 P と重複。	
		P 10-11				1.52	5.01			

6号掘立柱建物(位置 X=41978~983 Y=-47320~324)

建物全体規模		2間×3間		棟方向		南北棟				
主軸方向		N-9°-W		施設		なし				
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要	
		長径	短径	深さ						
東辺	4.26	P 1	0.19	0.17	0.12	円形	2.34	7.72	501	
		P 2	0.23	0.21	0.35	円形	2.42	7.98	502	
南辺	3.32	P 3	0.22	0.22	0.20	円形	1.76	5.80	503	
		P 4	0.32	0.24	0.17	楕円形	1.56	5.14	504	
西辺	4.71	P 5	0.22	0.15	0.11	楕円形	2.33	7.69	505	
		P 6	0.38	0.24	0.16	楕円形	2.38	7.85	506	
北辺	3.25	P 7	0.26	0.24	0.20	円形	3.25	10.72	507	
南北中央	2.95	P 8	0.25	0.22	0.17	円形	2.95	9.73	404	

### 第3章 確認された遺構と遺物

7号独立柱建物(位置 X=41989~995 Y=-47314~323)

建物全体規模		2間×3間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-77°-E		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 3.97	P 1	0.40	0.36	0.28	円形	3.97	13.10	392	
南辺 8.37	P 2	0.40	0.35	0.88	円形	2.62	8.64	88	
	P 3	0.48	0.46	0.39、0.32	円形	2.83	9.34	103	2段底状。
	P 4	0.53	0.45	0.44、0.27	円形	2.92	9.63	123	2段底状。
西辺 4.02	P 5	0.65	0.55	0.46	楕円形	4.02	13.26	193	
北辺 8.61	P 6	0.46	0.39	0.46	楕円形	3.20	10.56	467	
	P 7	0.46	0.32	0.54、0.37	楕円形	3.10	10.23	125	2段底状。
	P 8	0.43	0.40	0.36	円形	2.32	7.65	142	中位に平石。
	P 9	0.20	0.19	0.55	円形			336	
	P 10	0.46	0.38	0.40、0.24	楕円形			196	2段底状。
	P 11	0.24	0.21	0.22	円形			101	
	P 12	0.33	0.30	0.41	円形			105	
	P 13	0.30	0.25	0.57	楕円形			298	
	P 14	0.25	0.25	0.37	円形			363	
東西中央 9.44	P 9-10								
	P 9-11					1.70	5.61		
	P 11-12					2.42	7.98		
	P 12-13					1.70	5.61		
	P 13-14					2.25	7.42		
	P 14-10					1.37	4.52		

8号独立柱建物(位置 X=41989~995 Y=-47315~324)

建物全体規模		2間×3間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-73°-E		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 4.15	P 1	0.35	0.28	0.16	楕円形	2.12	7.00	118	
	P 2	0.43	0.35	0.45、0.28	楕円形	2.03	6.70	304	2段底状。
南辺 8.74	P 3	0.33	0.29	0.53	円形	2.95	9.73	90	
	P 4	0.39	0.34	0.31	円形	2.87	9.47	104	
	P 5	0.31	0.25	0.28	円形	2.92	9.63	297	
西辺 4.28	P 6	0.53	0.48	0.28、0.22	楕円形	2.04	6.73	195	2段底状。
	P 7	0.35	0.32	0.40	円形	2.24	7.39	197	
北辺 8.71	P 8	0.44	0.39	0.48、0.42	楕円形	2.79	9.20	358	2段底状。
	P 9	0.42	0.31	0.24	楕円形	3.02	9.96	371	
	P 10	0.36	0.30	0.34	楕円形	2.90	9.57	267	

9号独立柱建物(位置 X=41993~999 Y=-47309~314)

建物全体規模		2間×3間		棟方向		南北棟			
主軸方向		N-13°-W		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 5.11	P 1	0.29	0.26	0.11	円形	1.65	5.44	376	
	P 2	0.37	0.28	0.38	楕円形	1.75	5.77	288	トレンチ内。
	P 3	0.30	0.29	0.23	円形	1.71	5.64	70	
南辺 3.63	P 4	0.28	0.26	0.44	円形	1.75	5.77	64	
	P 5	0.25	0.24	0.38	円形	1.88	6.20	251	
西辺 5.24	P 6	0.44	0.39	0.47	円形	1.74	5.74	253	
	P 7	0.32	0.28	0.25	楕円形	1.57	5.18	96	
	P 8	0.28	0.25	0.49	円形	1.93	6.37	138	トレンチ内。
北辺 3.58	P 9	0.30	0.25	0.34	楕円形	1.80	5.94	149	
	P 10	0.28	0.26	0.26	円形	1.78	5.87	372	



## 第1節 古墳時代以降の遺構と遺物

10号独立柱建物(位置 X=41995~999 Y=-47315~318)

建物全体規模		1間×2間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-9°-W		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 3.47	P 1	0.38	0.27	0.37	楕円形	1.79	5.09	156	
	P 2	0.34	0.22	0.44	楕円形	1.68	5.54	213	145 Pと重複。
南辺 2.33	P 3	0.37	0.33	0.59	楕円形	2.33	7.69	119	
西辺 3.26	P 4	0.38	0.31	0.57, 0.32	楕円形	1.63	5.37	369	2段底状。
	P 5	0.37	0.36	0.50	円形	1.63	5.37	220	
北辺 2.22	P 6	0.30	0.25	0.32	楕円形	2.22	7.32	265	

11号独立柱建物(位置 X=41999~42001 Y=-47312~317)

建物全体規模		1間×3間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-86°-E		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 2.24	P 1	0.16	0.15	0.17	円形	2.24	7.39	380	
南辺 4.10	P 2	0.36	0.35	0.50	円形	1.30	4.29	276	
	P 3	0.30	0.26	0.29	楕円形	1.52	5.01	110	
	P 4	0.39	0.35	0.30	楕円形	1.28	4.22	389	
西辺 2.15	P 5	0.25	0.22	0.31	円形	2.15	7.09	157	
北辺 4.06	P 6	0.30	0.25	0.28	楕円形	1.30	4.29	260	
	P 7	0.41	0.26	0.36	楕円形	1.30	4.29	215	
	P 8	0.33	0.30	0.50	円形	1.46	4.81	343	

12号独立柱建物(位置 X=41999~42001 Y=-47310~314)

建物全体規模		1間×2間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-77°-E		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 2.14	P 1	0.39	0.38	0.29	円形	2.14	7.06	257	
南辺 3.35	P 2	0.34	0.26	0.42	楕円形	1.58	5.21	217	
	P 3	0.30	0.25	0.40	楕円形	1.77	5.84	160	
西辺 2.10	P 4	0.22	0.21	0.32	円形	2.10	6.93	151	
北辺 3.44	P 5	0.37	0.36	0.32	円形	1.73	5.71	168	
	P 6	0.22	0.20	0.23	円形	1.71	5.64	167	

13号独立柱建物(位置 X=41992~995 Y=-47304~307)

建物全体規模		1間×2間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-84°-E		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 1.75	P 1	0.23	0.20	0.21	円形	1.72	5.67	79	
南辺 3.10	P 2	0.42	0.33	0.09	楕円形	3.13	10.33	114	
西辺 1.60	P 3	0.23	0.18	0.22	楕円形	1.65	5.44	63	
北辺 3.07	P 4	0.28	0.26	0.33	円形	3.07	10.13	74	
南張出 2.46	P 5	0.24	0.16	0.11	楕円形			284	
	P 6	0.26	0.20	0.30	楕円形			106	
	P 5-6					2.47	8.15		

14号独立柱建物(位置 X=41990~996 Y=-47335~341)

建物全体規模		2間×2間		棟方向		東西棟			
主軸方向		N-77°-E		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	(尺)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 4.92	P 1	0.37	0.31	0.39	楕円形	2.85	9.40	452	
	P 2	0.51	0.32	0.39	楕円形	2.07	6.83	354	
南辺 5.32	P 3	0.49	0.37	0.20	楕円形	2.01	6.63	448	
	P 4	0.55	0.49	0.11	楕円形	3.31	10.92	211	20住と重複。
西辺 4.79	P 5	0.38	0.31	0.30	楕円形	2.42	7.98	490	20住居内。
	P 6	0.38	0.35	0.35	円形	2.37	7.82	491	20住居内。
北辺 5.34	P 7	0.33	0.28	0.20	円形	2.91	9.60	457	
	P 8	0.55	0.46	0.12	楕円形			453	
	P 9	0.34	0.31	0.20	円形			480	20住居内。
南北中央4.85	P 8-9					2.84	9.37		
	P 9-4					2.01	6.63		

### 第3章 確認された遺構と遺物

15号掘立柱建物(位置 X=41997~42003 Y=-47312~316)

建物全体規模		2間×2間		棟方向		南北棟			
主軸方向		N-4°-W		施設		なし			
桁・梁行の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱との間隔(m)	次柱間の間隔(m)	ビット番号	摘要
		長径	短径	深さ					
東辺 4.10	P 1	0.26	0.20	0.36	楕円形	1.79	5.90	175	5掘立-P10と重複。
	P 2	0.17	0.15	0.15	円形	2.31	7.62	164	
南辺 3.49	P 3	0.20	0.18	0.21	円形	1.72	5.67	289	
	P 4	0.32	0.31	0.33	円形	1.77	5.84	148	
西辺 4.25	P 5	0.29	0.27	0.20	円形	2.01	6.63	144	
	P 6	0.38	0.29	0.29	楕円形	2.24	7.39	155	
北辺 3.40	P 7	0.38	0.35	0.25	円形	1.76	5.80	394	
	P 8	0.49	0.29	0.44	楕円形	1.64	5.41	170	

第5表 櫛計測一覧表(PL.33)

1号櫛

主軸方向		N-80°-E		位置		X=41988~991 Y=-47308~323	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
14.90	P 1	0.35	0.32	0.54	円形	2.90	9.57
	P 2	0.37	0.32	0.41	楕円形	2.88	9.50
P 3	P 3	0.37	0.34	0.47	円形	3.05	10.06
	P 4	0.37	0.32	0.47	楕円形	2.84	9.37
P 5	P 5	0.33	0.30	0.39	円形	3.23	10.66
	P 6	0.28	0.25	0.39	円形		58

5号櫛

主軸方向		N-5°-W		位置		X=41996~42001 Y=-47317~318	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
5.34	P 1	0.28	0.26	0.17	円形	1.62	5.34
	P 2	0.27	0.23	0.30	円形	1.72	5.67
P 3	P 3	0.26	0.24	0.34	円形	2.00	6.60
	P 4	0.32	0.30	0.29	円形		135

2号櫛

主軸方向		N-79°-E		位置		X=41996~998 Y=-47312~317	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
5.46	P 1	0.33	0.27	0.28	楕円形	1.76	5.80
	P 2	0.43	0.42	0.35	円形	1.71	5.64
P 3	P 3	0.35	0.29	0.46	楕円形	1.99	6.56
	P 4	0.25	0.25	0.28	円形		275

6号櫛

主軸方向		N-4°-W		位置		X=41993~42000 Y=-47324~325	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
6.26	P 1	0.38	0.34	0.22	円形	2.19	7.22
	P 2	0.41	0.31	0.26	楕円形	1.84	6.07
P 3	P 3	0.52	0.49	0.24	円形	2.23	7.35
	P 4	0.39	0.33	0.36	楕円形		200

3号櫛

主軸方向		N-88°-E		位置		X=42002~003 Y=-47312~316	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
3.53	P 1	0.20	0.17	0.11	円形	1.84	6.07
	P 2	0.32	0.27	0.44	楕円形	1.69	5.57
P 3	P 3	0.30	0.28	0.52	円形		326

7号櫛

主軸方向		N-4°-E		位置		X=41989~995 Y=-47324~325	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
5.43	P 1	0.39	0.30	0.21	楕円形	2.76	9.10
	P 2	0.36	0.33	0.54	円形	2.67	8.81
P 3	P 3	0.45	0.40	0.34	円形		397

4号櫛

主軸方向		N-87°-E		位置		X=41993~994 Y=-47313~320	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
6.22	P 1	0.30	0.26	0.55	円形	2.00	6.60
	P 2	0.25	0.25	0.57	円形	2.27	7.49
P 3	P 3	0.35	0.28	0.52	楕円形	1.95	6.43
	P 4	0.33	0.30	0.74, 0.50	円形		93

8号櫛

主軸方向		N-4°-W		位置		X=41993~996 Y=-47301	
櫛列の規模(m)	柱穴No	規模(m)			形状	次柱間の間隔(m)	ビット番号
		長径	短径	深さ			
3.2	P 1	0.30	0.21	0.11	楕円形	1.70	5.61
	P 2	0.26	0.23	0.15	円形	1.50	4.95
P 3	P 3	0.25	0.23	0.11	円形		76

5 ビット



第85図 1～3区ビット位置図

### 第3章 確認された遺構と遺物

総数515基のピットが検出された。そのうち、掘立柱建物および柵の柱穴として、169基があてられ、欠番7基。また400・401号ピットの2基は製鉄関連遺構として報告(第118図、PL.38)。ピットとしては、337基をここで報告したい。これは、検出されたピットの66%にあたる。

調査1区・2区・3区のうち、1区からの検出総数が全体の約96%を占め、490基と最も多い。2区約4%で18基、3区はわずかに1基で1%に満たない。検出量の濃淡は、土坑でもそのような傾向があるように、地形的特質やそこから派生する土地利用のあり様に起因するものと考えられ、必然的な結果と言えよう(第85図)。

ピットは、地面に人為的に穿たれたものであり、極めて目的的な人の営為である。しかしながら、ここで報告する多くのピットは、柱穴として建物や構造物への平面的理解がなされない結果としての遺構である。むしろ、単体・単独の遺構として成立しないわけではないが、検出されたピットの持つ情報量の乏しさも相まって、建物や構造物として成立させることができないことは残念である。建物等の構造物としてピットが取り上げられるのは、全検出量の34%に過ぎない。

ここでは、そうした理解のもとに、将来的に再吟味できるよう調査時に得られた詳細を、各区・各面ごとに報告するものとする。なお、計測値等の数量データは、第6表を参照されたい。

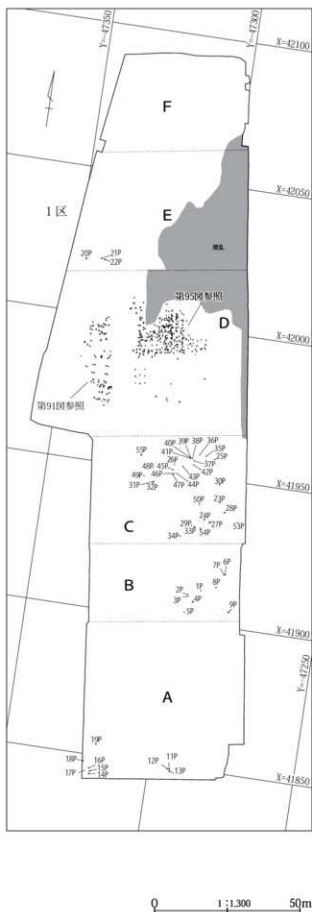
#### 1区

先述したように、検出されたピットが多い1区では、その分布に一定の傾向が認められる。ピットは、掘立柱建物周辺からの検出が圧倒的に多いが、1区A～Eの地点ごとに分割して報告する。

**A** 総計9基のピットが確認された。3号土坑北に3基(11～13号ピット)、1号住居周辺に6基(14～19号ピット)が認められた。それぞれ、近接する遺構との関連性を否定できるものはない。

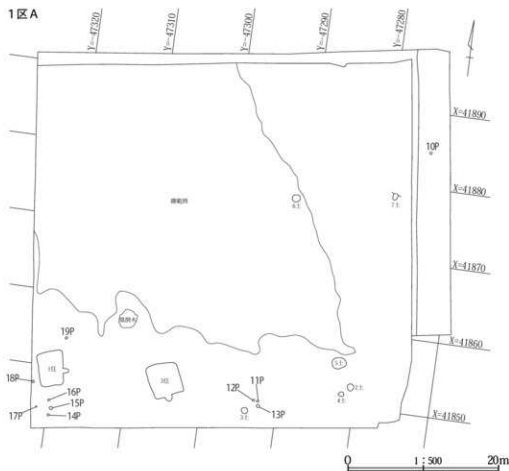
**B** 総計9基(1～9号ピット)が確認された。1号掘立柱建物内1基とその北側から北西に帯状に連なる7基、2号住居と重複する1基からなる。1号掘立柱建物内の5号ピットは、関連遺構の可能性が高い。

**C** 総計31基のピットが確認された。5号溝周辺からの検出で、5号溝南東部からは11基、北西部からは20基が



第86図 1区ピット位置図

1区A



10号ピット



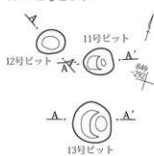
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。
- 3 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。

14号ピット



- 1 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を含む。

11～13号ピット



- 11号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
  - 2 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を多量に含む。
- 12号ピット
- 1 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を含む。
- 13号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
  - 2 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を多量に含む。

11号ピット



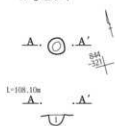
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を多量に含む。

12号ピット



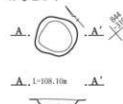
- 1 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を含む。

17号ピット



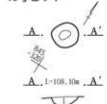
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

15号ピット



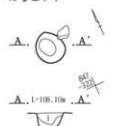
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

16号ピット



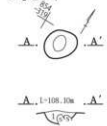
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

18号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石。ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

19号ピット

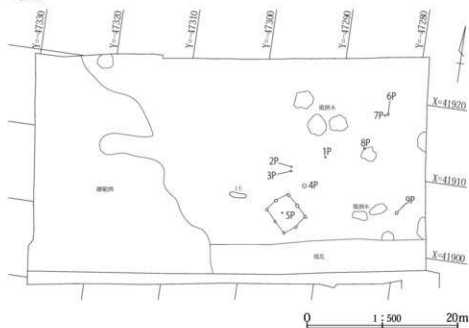


- 1 黄褐色土 軟質。粘質土。ローム粒を少量含む。



第87図 1区A位置図とピット

1区B



2・3号ピット

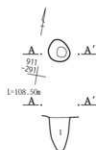


1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。



1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

1号ピット



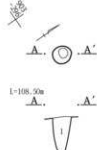
1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

4号ピット



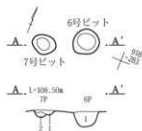
1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。  
2 茶褐色土 ややしまりあり、粘質土。ローム主体。

5号ピット



1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

6・7号ピット



6号ピット  
1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

7号ピット

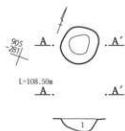
1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。  
2 茶褐色土 ややしまりあり、粘質土。ローム主体。

8号ピット

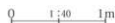


1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

9号ピット

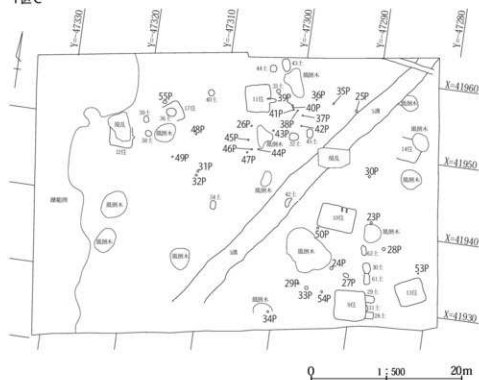


1 暗褐色土 ややしまりあり、粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。



第88図 1区B位置図とピット

## 1区C



## 23号ピット



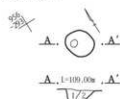
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

## 24号ピット



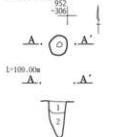
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。
- 3 茶褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。

## 25号ピット



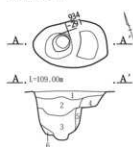
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。1層よりローム多く含む。

## 26号ピット



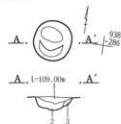
- 1 暗褐色土 軟質。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

## 27号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石多く、ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を少量含む。
- 3 黒色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック僅かに含む。
- 4 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。白色軽石、ローム粒を少量含む。
- 5 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームと混上。
- 6 黄褐色土 軟質。ローム主体。

## 28号ピット



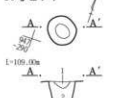
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。
- 3 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。

## 29号ピット



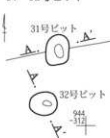
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。ローム粒を含む。

## 30号ピット



- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。As-軽石を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。

## 31・32号ピット



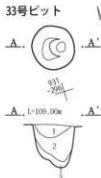
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

0 1:40 1m

第89図 1区C位置図とピット1

第3章 確認された遺構と遺物

33号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石多量に、ロームブロック・ローム粒を含む。  
2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを少量含む。  
3 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

34号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ローム粒、焼土粒を少量含む。

35号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

36号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

37号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

38～41号ビット



38～41号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

38号ビット



39号ビット



41号ビット

42号ビット



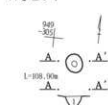
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

43号ビット



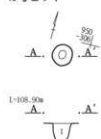
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。  
2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。

44号ビット



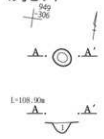
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

45号ビット



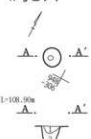
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。

46号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を含む。

47号ビット



- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。  
2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を少量含む。

48号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

49号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒、炭化物粒を含む。

50号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に、炭化物粒を含む。  
2 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。

53号ビット



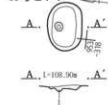
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。

54号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

55号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒、焼土粒を含む。

0 1:40 1m

第90図 1区Cビット2



確認された。近隣に掘立柱建物等の構造物はなく、住居7軒・土坑18基が点在する。30号ピットは覆土中にAS-B軽石を含み、34・55号ピットは焼土粒子、49・50号ピットは炭化物粒子が含まれていた。

D 総計約422基のピットが確認され、掘立柱建物等の柱穴としたもの以外の259基を報告する。これらのピットは、4号溝で画された区画内・外から検出し(PL. 2)、区画内・外ともに掘立柱建物等の構造物が確認されている。そのため、掘立柱建物等との関連性も考慮し、区画内・外に分割して報告したい。

#### 【4号溝区画外】(第91図)

4号溝の区画外のピットの総数は53基を数える。これらのピットは、3・4・6・14号掘立柱建物、19・20号住居のほか、およそ40基の土坑周辺にある。ピット群は、3・4・14号掘立柱建物近辺に集中する傾向があ

り、住居や土坑との関連性は低いと思われる。3号掘立柱建物は、440・441・437号ピットと重複し、南に隣接する4号掘立柱建物との間にも関連遺構になり得る数基のピットがある。228～231・238・239・241・428・430～432号ピットは、4号掘立柱建物と重複し、210・351・353・355・356・447・449～451・454～456・458号ピットは、14号掘立柱建物と重複する。

#### 【4号溝区画内】(第95図)

4号溝区画内でも掘立柱建物や櫛などの構造物周辺から検出され、211基を数える。9棟の5・7～13・15号掘立柱建物、8基(1～8号櫛)の櫛のほとんどが調査後の整理の際の検討で確認されたものである。これらの遺構に関連している可能性が高い遺構と言える。再吟味できるよう提示しておく。また、掘立柱建物および櫛との重複関係が多く、以下に掲げておく。

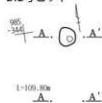
### 1区D



第91図 1区D 4号溝区画外ピット位置図

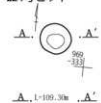
第3章 確認された遺構と遺物

212号ビット



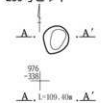
- 1 暗褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。

224号ビット



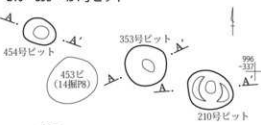
- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。  
2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックを含む。

235号ビット



- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。  
2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックを含む。

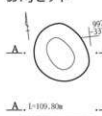
210・353・454号ビット



- 454P  
A, L-109.80m
- 353P  
A, L-109.80m
- 210P  
A, L-109.80m

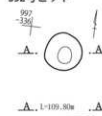
- 210号ビット
- 1 黒褐色土(10YR2/2) As-B軽石含む。
  - 2 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒、ローム粒を含む。
  - 3 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒を多く含む。
  - 4 褐色土(10YR4/4) ロームブロックと混土。
- 353号ビット
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり強い。As-B軽石含む。
  - 2 灰黄褐色土(10YR4/2) ややしまりあり。ロームブロックを含む。

351号ビット



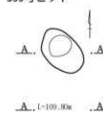
- 1 黄褐色土(10YR5/6) ローム主体。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) しまり弱い。確認人。
- 3 褐色土(10YR4/4) くすんだローム土・ロームブロックと暗褐色土の混土。

352号ビット



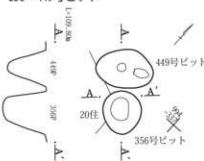
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。As-B軽石含む。(柱状)
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。As-B軽石含む。僅かにローム粒含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。ロームブロックを含む。

355号ビット



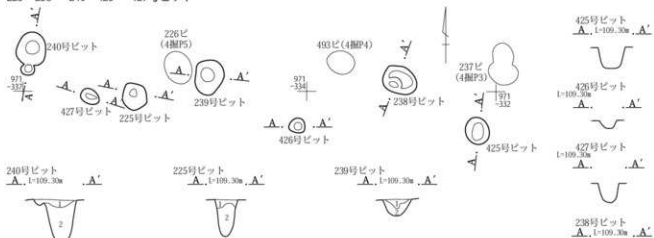
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。As-B軽石含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。As-B軽石。ローム粒を僅かに含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。ロームブロックを含む。

356・449号ビット



- 356号ビット
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。As-B軽石含む。
  - 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。ロームブロックを含む。
- 449号ビット
- 20住
- 356号ビット
- A, L-109.80m

225・238 ~ 240・425 ~ 427号ビット



- 240号ビット
- A, L-109.30m
- 225号ビット
- A, L-109.30m
- 239号ビット
- A, L-109.30m
- 427号ビット
- A, L-109.30m
- 426号ビット
- A, L-109.30m
- 425号ビット
- A, L-109.30m
- 426号ビット
- A, L-109.30m
- 427号ビット
- A, L-109.30m
- 238号ビット
- A, L-109.30m

- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックを含む。
- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックを含む。
- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックを含む。



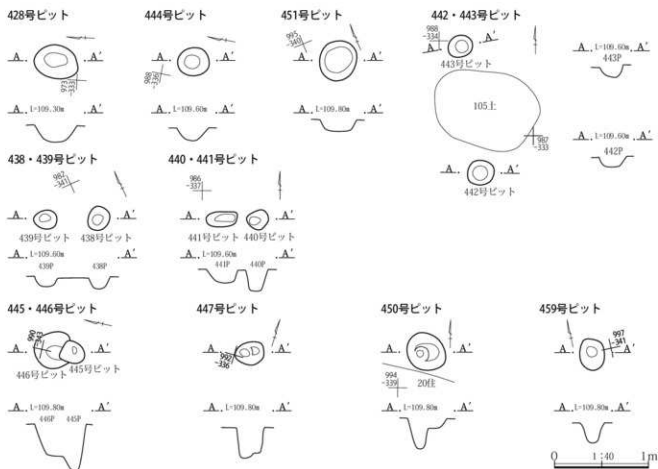
第92図 I区DビットI

98・99・110・116・117・138・139・141・149・150・151・160・164・166～168・175・255～257・276・288・289・291・343・348・372・374・376・380・398号ピットは5号掘立柱建物、86・87・90・100・102・104・118・119・121・122・124・126・194・205・266・267・280・295～297・299～301・304～306・309・331・332・355・378・379・393号ピットは7号掘立柱建物、100・102・121・124～127・194・196・199・205・301～303・309・331・332・359・363・370・379・465・468号ピットは8号掘立柱建物、65～69・92～95・97～99・117・139・141・147・148・250・254・255・275・289・291・308・345・347・348・374・388・398号ピットは9号掘立柱建物、120・133・134・136・137・143・144・158・159・222・339・340・349・350・368・387・390・391号ピットは10号掘立柱建物、51・153・156・158・166・168・216・256・333・334・339・340・342・344・373・385号ピットは11号掘立柱建物、166号ピットは12号掘立柱建物、75・80～82・107・285・311号ピット

は13号掘立柱建物、110・150・153・154・172・176～179・216・256・259・334・341・342・344・368・373・385・389号ピットは15号掘立柱建物と重複する。掘立柱建物との新旧関係が明らかになったものは、5号掘立柱建物より275号ピットが古く、166・388号ピットが新しい。122・125号ピットは7号掘立柱建物より古い。

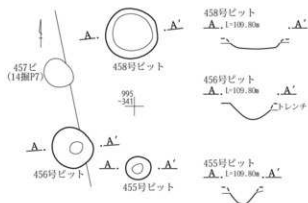
柵との重複関係は、84・85・321・323～325・329・361号ピットが1号柵、136・146～148・213・214・255・289・289・345・388号ピットは2号柵、172・173・176・179号ピットは3号柵、92・379号ピットは4号柵、143・220・265・364号ピットは5号柵、360・469・473・476・473号ピットは6号柵、198・199・200・206・358・469号ピットは7号柵、78・312号ピットは8号柵とそれぞれ重複する。新旧関係は、323号ピット1号柵が古く、2号柵は147号ピットより古く、388号ピットより新しい。

E 総数3基のピットが検出された。4号溝区画外に位置するもので、周囲に掘立柱建物はなく、4号住居および土坑が散在する地点からである。

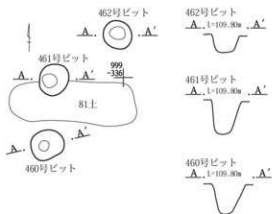


第93図 I区Dピット2

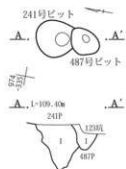
455・456・458号ビット



460～462号ビット



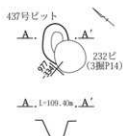
241・487号ビット



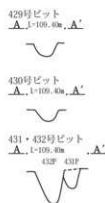
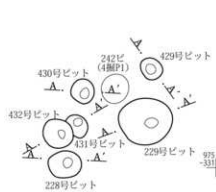
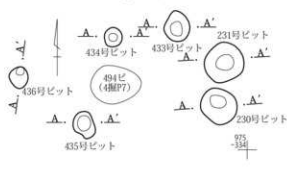
241号ビット  
1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。  
褐色粘土ブロックを含む。

487号ビット  
1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。  
褐色粘質ブロック7%含む。

437号ビット



228～231・429～436号ビット



230号ビット  
A, 1:100.40m

231号ビット  
A, 1:100.40m

433号ビット  
A, 1:100.40m

228号ビット  
A, 1:100.40m

434号ビット  
A, 1:100.40m

435号ビット  
A, 1:100.40m

436号ビット  
A, 1:100.40m

229号ビット  
A, 1:100.40m

228号ビット  
1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックと混土。  
2 褐色土 しまりあり。粘土。暗褐色土と混土。

229号ビット  
1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を少量含む。  
2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックと混土。  
3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。2層より褐色粘土ブロック多い。



第94図 1区Dビット3



掘立柱建物・櫛に使用された番号を含む。

第95図 1区D4号溝区画内ビット位置図

第3章 確認された遺構と遺物

51号ピット



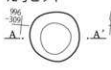
- 1 黒褐色土 しまりあり。やや粘質土。黒褐色土と混上。軽石粒2%含む。

52号ピット



- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒2%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。
- 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。黒褐色土と混上。
- 4 黄褐色土 しまりあり。粘質土。

72号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を少量含む。
- 2 茶褐色土 ややしまりあり。粘性非常に強い。

77号ピット



- 1 黒褐色土 ややしまりあり。粘性非常に強い。白色粒、ローム粒を含む。
- 2 茶褐色土 ややしまりあり。粘質土。

78号ピット



- 1 暗褐色土 ややしまりあり。As-B軽石、ロームブロックを含む。

84号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。

85号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒を含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム・炭化物粒を少量含む。
- 3 茶褐色土 しまりあり。粘質土。

86・87号ピット



86号ピット  
87号ピット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

86号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒を含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム・炭化物粒を少量含む。

91号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。

102号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒を含む。

109号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

89・366号ピット



89号ピット  
366号ピット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

89P



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

111号ピット



- 1 暗褐色土(10VR3/3) しまり強い。明黄褐色土と混上。
- 2 黒褐色土(10VR3/2) しまり強い。明黄褐色ブロック5%含む。
- 3 黒褐色土(10VR3/2) やわらかく。粘質土。灰黄褐色土20%含む。

112号ピット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。ローム粒を少量含む。

108・463号ピット



108号ピット  
463号ピット

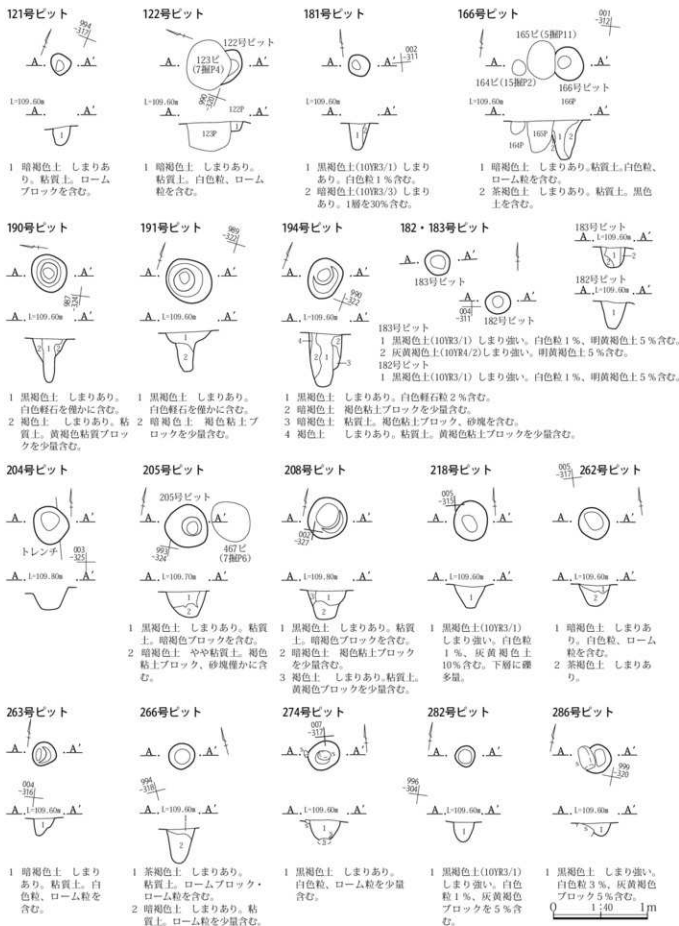
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。

108P  
463P



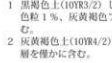
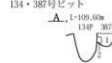
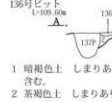
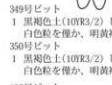
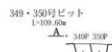
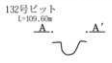
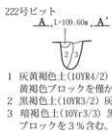
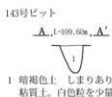
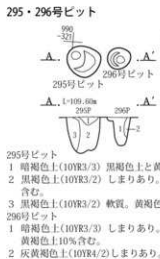
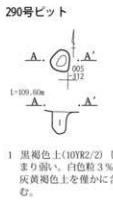
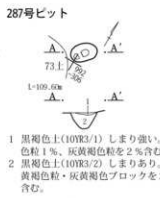
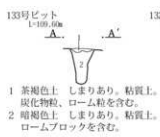
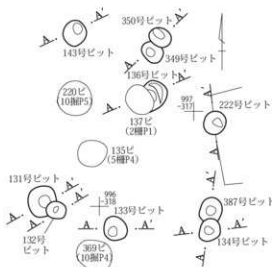
0 1:40 1m

第96図 1区Dピット4

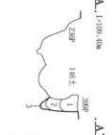


第97図 1区Dビット5

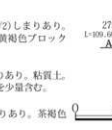
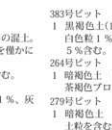
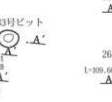
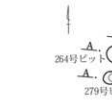
131～134・136・143・222・349・350・387号ビット



236・399号ビット



264・279・383号ビット

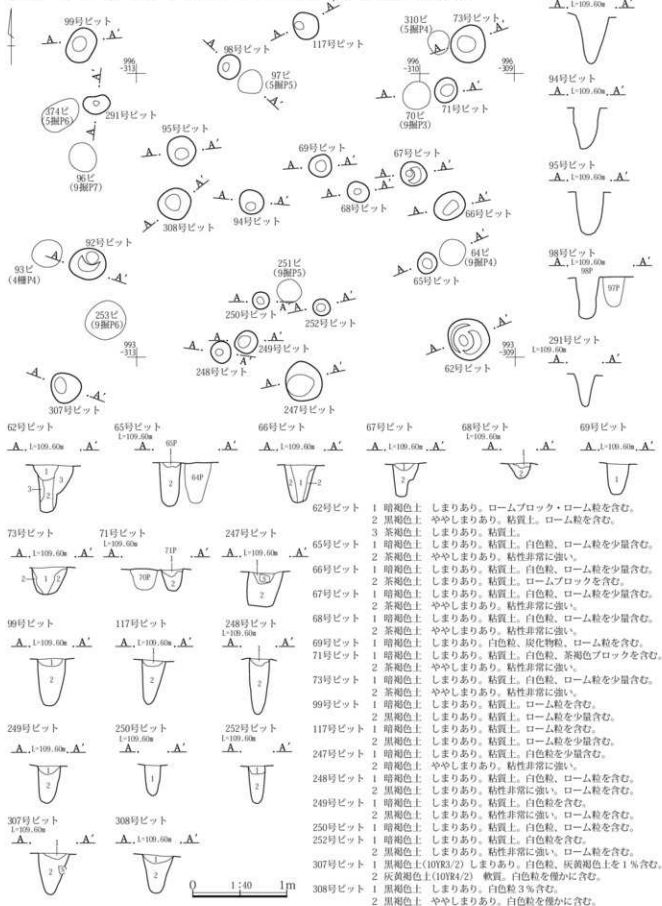


第98図 1区Dビット6



62・65～69・71・73・92・94・95・98・99・117・247～250・252・291・307・308号ビット

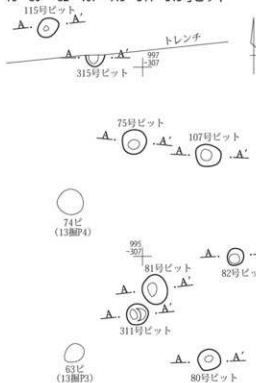
92号ビット



第99図 1区Dビット7

第3章 確認された遺構と遺物

75・80～82・107・115・311・315号ピット



75号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を少量含む。
- 2 茶褐色土 ややしまりあり。粘性非常に強い。

81号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 暗褐色土 軟質。粘質土。ローム粒含む。

107号ピット

A, l-109.60m, A'



311号ピット

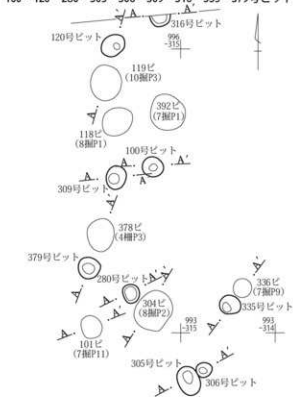
A, l-109.60m, A'



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 やわらかく粘質土。茶褐色ブロックを含む。

0 1:40 1m

100・120・280・305・306・309・316・335・379号ピット



100号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 暗褐色土 しまりあり。ロームブロック・ローム粒を含む。

309号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色粒2%、灰黄褐色土20%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。

120号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 茶褐色土 軟質。粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

335号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を含む。
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。明黄褐色土10%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。明黄褐色土3%含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。

280号ピット

l-109.60m, A'



- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒を5%含む。

316号ピット

A, l-109.60m, A'



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

305・306号ピット

l-109.60m, A'



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒5%、灰黄褐色土10%含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。白色粒1%、黒褐色土5%含む。

306号ピット

l-109.60m, A'



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒5%、灰黄褐色土10%含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。白色粒1%、黒褐色土5%含む。

379号ピット

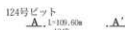
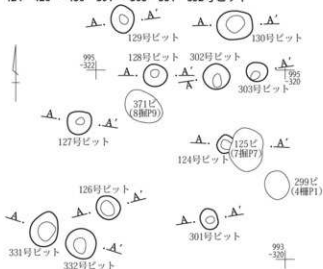
l-109.60m, A'



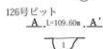
- 4 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。3層を10%含む。

第100図 1区Dピット8

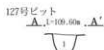
## 124・126～130・301～303・331・332号ビット



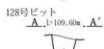
1 黒褐色土 しまりあり。白色粒、ロームブロックを含む。



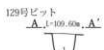
1 黒褐色土 しまりあり。白色粒、ロームブロックを含む。



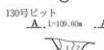
1 黒褐色土 しまりあり。ロームブロックを含む。



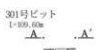
1 黒褐色土 しまりあり。ロームブロックを含む。



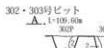
1 黒褐色土 しまりあり。白色粒、ロームブロックを含む。



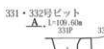
1 黒褐色土 しまりあり。白色粒、ロームブロックを含む。  
2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。



1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒1%、明黄褐色ブロック10%含む。  
2 に近い黄褐色土(10YR4/3) しまり強い。くすんだローム主体。



302号ビット  
1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色粒1%、灰黄褐色土2%含む。  
2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。白色粒1%、灰黄褐色土1%含む。  
303号ビット  
1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色粒1%、灰黄褐色土2%含む。  
2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。白色粒1%、灰黄褐色土1%含む。

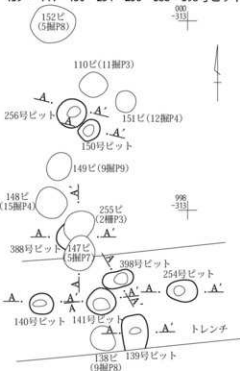


331号ビット  
1 暗褐色土 軟質。粘質土。ロームブロックを含む。



332号ビット  
1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを少量含む。

## 139～141・150・254・256・388・398号ビット



1 茶褐色土 軟質。ローム粒を多く含む。  
2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。  
3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。



1 暗褐色土 しまりあり。白色粒、ロームブロックを含む。



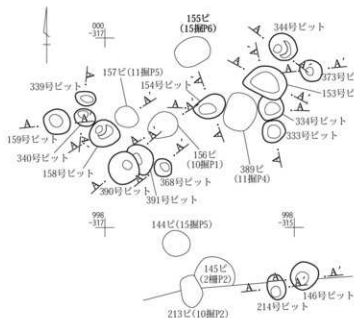
1 黒褐色土 しまり強い。黄褐色ブロック2%含む。  
2 黒褐色土 しまりあり。黄褐色ブロック10%含む。



1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色粒3%、灰黄褐色土10%含む。  
2 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色粒2%含む。  
3 黒褐色土(10YR2/3) 軟質。粘質土。

第101図 1区Dビット9

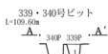
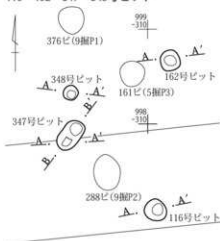
146・153・154・158・159・214・333・334・339・340・  
344・368・373・390・391号ピット



- 333号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。
  - 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 334号ピット
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。茶褐色ブロックを含む。



116・162・347・348号ピット



- 339・340号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を含む。



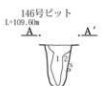
- 368号ピット
- 1 黒褐色土(2.5Y3/2) しまりあり。明黄褐色ブロック5%含む。
  - 2 オリーブ褐色土(2.5Y4/4) しまりあり。明黄褐色土20%含む。



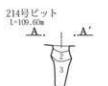
- 116号ピット
- 1 暗褐色土 軟質。As-B軽石、ロームブロックを含む。
  - 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。



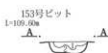
- 347号ピット
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒1%含む。



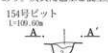
- 146号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を少量含む。



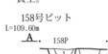
- 214号ピット
- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。黒褐色ブロック30%、明黄褐色ブロック5%含む。
  - 2 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒1%、灰黄褐色ブロック5%含む。
  - 3 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。灰黄褐色土と混上。



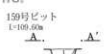
- 153号ピット
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、焼土粒を少量含む。
  - 2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。



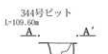
- 154号ピット
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。



- 158号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
  - 2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。



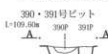
- 159号ピット
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。茶褐色ブロックを多量に含む。
  - 2 茶褐色土 軟質。粘質土。



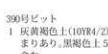
- 344号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒、ローム粒を少量含む。
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。



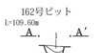
- 373号ピット
- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒1%、灰黄褐色土5%含む。



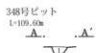
- 390・391号ピット
- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまり強い。明黄褐色ブロック2%含む。
  - 2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。明黄褐色土5%含む。



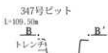
- 390号ピット
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。黒褐色土5%含む。
  - 2 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。明黄褐色土10%含む。
  - 3 黒褐色土(10YR3/1) しまり弱い。明黄褐色土5%含む。



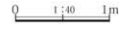
- 162号ピット
- 1 暗褐色土 しまりあり。ローム粒を少量含む。
  - 2 茶褐色土 ややしまりあり。粘質土。



- 348号ピット
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 白色粒1%含む。灰黄褐色土と混上。

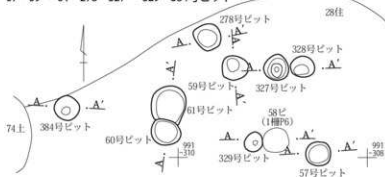


- 347号ピット
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒1%含む。



第102図 1区Dピット10

## 57・59～61・278・327～329・384号ビット



## 57号ビット

A, 1-109.60w, A'



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を含む。

## 60・61号ビット

A, 1-109.60w, A'



60号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を少量含む。

61号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を含む。  
2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

## 59号ビット

A, 1-109.60w, A'



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を含む。

- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

- 3 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を多量に含む。

## 327・328号ビット

A, 1-109.40w, A'



## 327・328号ビット

- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を多量に含む。

## 329号ビット

A, 1-109.40w, A'



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色粒を多量に含む。

## 278号ビット

A, 1-109.60w, A'



- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色軽石を3%含む。  
2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。黒褐色土と混上。

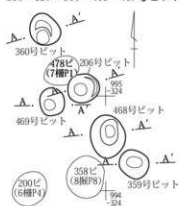
## 384号ビット

A, 1-109.60w, A'



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色粒5%、黒褐色土5%含む。  
2 黒褐色土(10YR3/1) しまり弱い。白色粒1%含む。

## 206・359・360・468・469号ビット



## 468号ビット

A, 1-109.70w, A'



## 469号ビット

A, 1-109.70w, A'



## 206号ビット

A, 1-109.70w, A'



- 1 黒褐色土 やや粘質土。軽石粒を少量、褐色粘土ブロックを含む。

- 2 褐色土 やや粘質土。暗褐色土と混上。

## 359号ビット

A, 1-109.70w, A'



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色ブロックを含む。

- 2 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。

- 3 褐色土 しまりあり。粘質土。黄褐色粘土ブロックを少量含む。

## 360号ビット

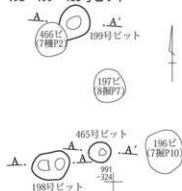
A, 1-109.70w, A'



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色ブロックを含む。

- 2 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。

## 198・199・465号ビット



## 198号ビット

A, 1-109.70w, A'



- 1 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。

- 2 暗褐色土 やや粘質土。褐色粘土ブロック。砂塊を含む。

- 3 褐色土 しまりあり。粘質土。黄褐色粘土ブロックを少量含む。

## 199号ビット

A, 1-109.70w, A'



- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石を2%含む。

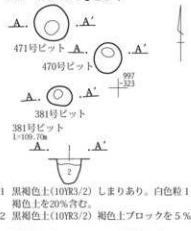
- 2 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。

## 465号ビット

A, 1-109.70w, A'



## 381・470・471号ビット



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色粒1%。褐色土を20%含む。

- 2 黒褐色土(10YR3/2) 褐色土ブロックを5%含む。

## 470号ビット

A, 1-109.70w, A'



## 471号ビット

A, 1-109.70w, A'



第103図 1区Dビット11

0 1:40 1m

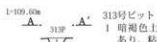
292・293号ビット



292・293号ビット

- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色粒2%。灰黄褐色ブロック5%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。灰黄褐色ブロック3%含む。

312・313号ビット



312号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒を含む。

313号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒を多量に含む。

314号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。茶褐色ブロックを含む。

317号ビット



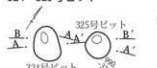
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒。ローム粒を少量含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

323号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ローム粒を少量含む。
- 2 黄褐色土 しまりあり。粘質上。ロームブロックを多量に含む。

324・325号ビット



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒を多量に含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ローム粒を含む。
- 3 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

321号ビット



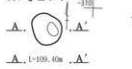
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒を含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

361号ビット



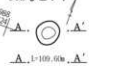
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり弱い。白色粒1%。灰黄褐色土1%含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。

357号ビット



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒を含む。

362号ビット



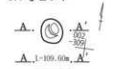
- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色粒1%。灰黄褐色土10%含む。

375号ビット



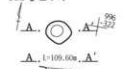
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 軟質。粘質上。明黄褐色粒を僅かに含む。

377号ビット



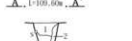
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり弱い。灰黄褐色土と混上。
- 2 暗灰黄色土(2.5Y4/2) しまり弱い。黒褐色土と明黄褐色土との混上。

382号ビット



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり弱い。白色粒1%。灰黄褐色ブロック5%含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) 黒褐色ブロックを僅かに含む。

370号ビット



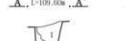
- 1 暗灰黄色土(2.5Y4/2) しまりあり。黒褐色ブロック2%。明黄褐色ブロック3%含む。
- 2 暗灰黄色土(2.5Y4/2) しまりあり。黒褐色ブロック5%。明暗褐色ブロック5%含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。明黄褐色大ブロックを含む。

367号ビット



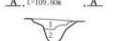
- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒1%。灰黄褐色土10%含む。

386号ビット



- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。明黄褐色ブロック2%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。明黄褐色ブロック30%含む。

396号ビット



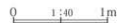
- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石を少量含む。
- 2 暗褐色土 褐色粘土ブロックを少量含む。

364号ビット

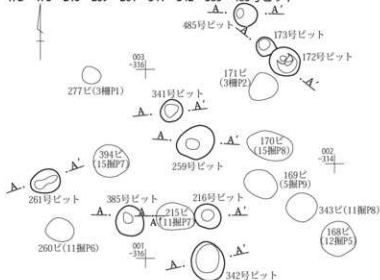


- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒1%。灰黄褐色土5%。明赤褐色粒を僅かに含む。

第104図 1区Dビット12



172・173・216・259・261・341・342・385・485号ビット

172・173号ビット  
A, l-109.70m

172号ビット

- 1 茶褐色土 しまりあり。粘質上。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

173号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ローム粒を少量含む。

259号ビット  
A, l-109.70m

- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ロームブロックを含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

342号ビット  
A, l-109.70m

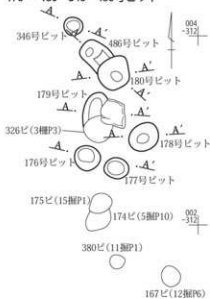
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質上。白色粒。ローム粒を含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

216号ビット  
A, l-109.70m

- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまり強い。白色粒。焼土粒1%。明黄褐色土20%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) しまり弱い。明黄褐色ブロック3%含む。

485号ビット  
A, l-109.70m

176～180・346・486号ビット

180・486号ビット  
A, l-109.70m176・177号ビット  
A, l-109.70m

176号ビット

- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質上。As-輝石、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ロームブロックを含む。

177号ビット

- 1 暗褐色土 しまりあり。ローム粒を含む。

178号ビット  
A, l-109.70m

- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまり強い。白色粒1%。黒褐色ブロック2%含む。

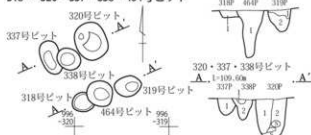
179号ビット  
A, l-109.70m

- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。白色粒2%。灰黄褐色土30%含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) 1層を5%含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 明黄褐色ブロック10%含む。

346号ビット  
A, l-109.70m

- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまり強い。灰黄褐色土10%含む。

318～320・337・338・464号ビット

318・319・464号ビット  
A, l-109.00m

318号ビット 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。ローム粒を含む。

319号ビット 1 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

464号ビット 1 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

320号ビット 1 暗褐色土 しまりあり。粘質上。炭化物粒、ローム粒を含む。

337号ビット 2 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

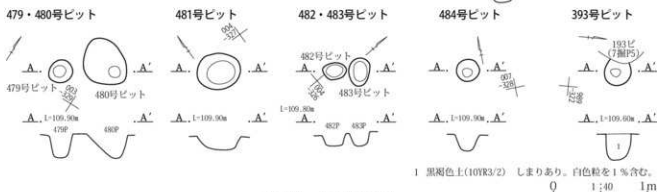
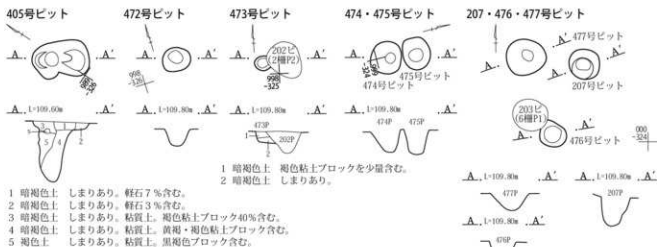
338号ビット 1 茶褐色土 しまりあり。粘質上。焼土粒、ローム粒を含む。

339号ビット 1 茶褐色土 しまりあり。粘質上。

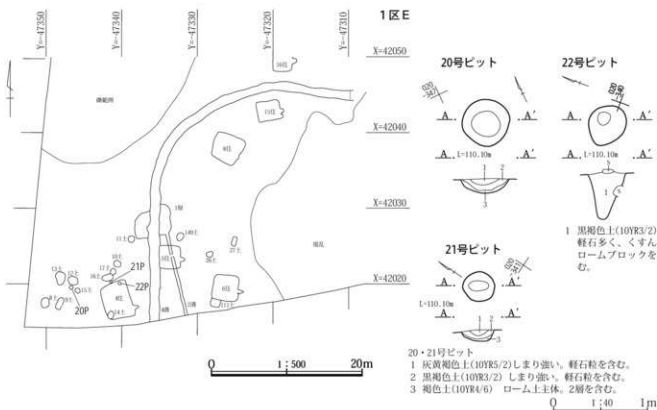
340号ビット 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質上。ロームブロックを含む。

第105図 1区Dビット13

第3章 確認された遺構と遺物



第106図 1区Dピット14



第107図 1区E位置図とピット



## 2区

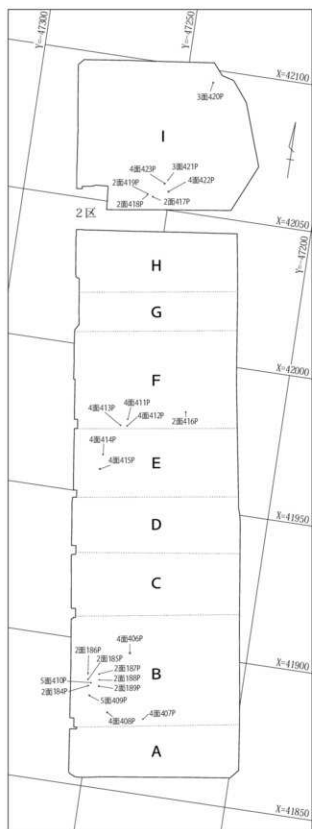
総数18基のピットが検出した。2面4基、3面2基、4面11基、5面2基があり、概して掘り込みが浅い。各面とも溝周辺での検出であった。

2面F・I検出のピットは、いずれも浅い掘り込みで、楕円または不整形形状を呈す。

3面I検出の2基は、不整形形状を呈し、浅い掘り込みである。

2区4面B検出の3基は、406号ピットは掘り込みが深いが他は浅い掘り込みである。また、2面2号掘立柱建物に184～189号ピットがある。4面Eの2基は掘り込みが浅いが、4面Fの3基は深く掘り込まれている。4面Iの2基は、不整形形状を呈し、掘り込みが浅い。

5面Bからは2基検出した。409号ピットは不整形で、掘り込みが浅く、410号ピットは円形で深く掘り込まれている。

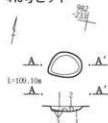


第108図 2区ピット位置図



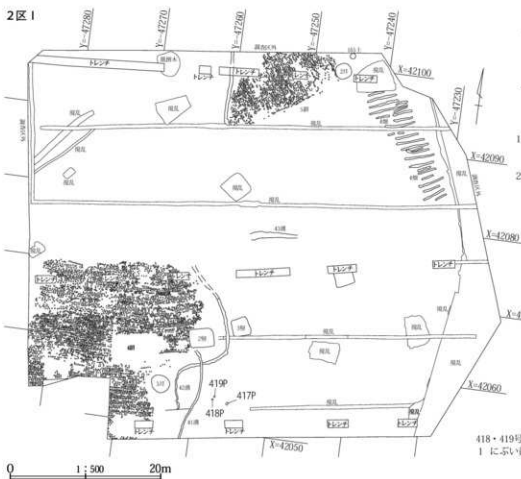
第109図 2区F 2面位置図とピット

416号ピット



- 1 褐色土(10YR4/4) しまりあり。As-B軽石15%含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。軽石粒を少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 粘質土。軽石粒を少量含む。

0 1:40 1m



第110図 2区I 2面位置図とピット

417号ピット



- 1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまり強い。As-B軽石、暗褐色土。粘土ブロックを多く含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。As-B軽石5%含む。

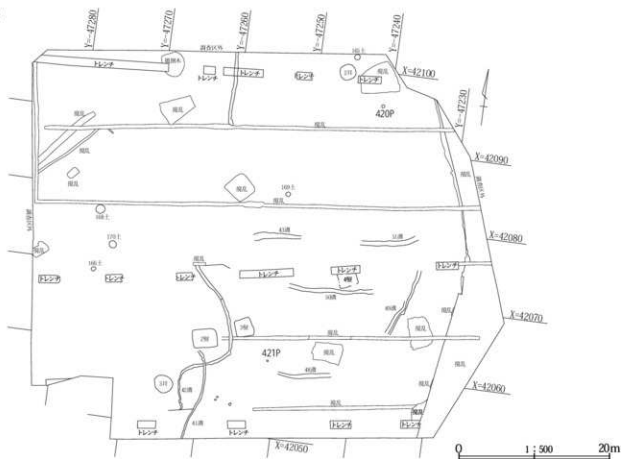
418・419号ピット



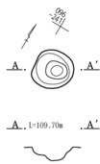
- 418・419号ピット
- 1 にぶい黄褐色土 As-B軽石層。もろい。

0 1:40 1m

## 2区1



420号ピット



421号ピット

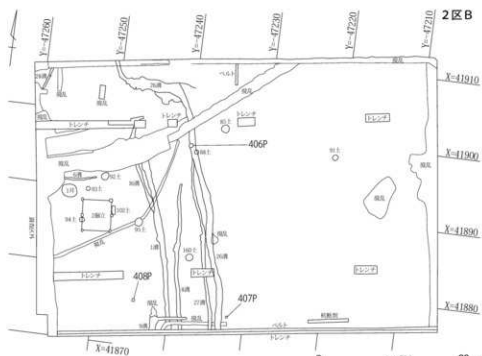


1 暗褐色土(10YR3/4)しまりあり。  
As-B軽石、暗褐色粘土ブロックを  
含む。

0 1:40 1m

第111図 2区13面位置図とピット

第3章 確認された遺構と遺物



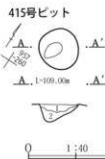
- 406号ピット
- 1 黒色土 しまりあり。粘質上。白色軽石を多量に含む。
  - 2 黒色土 しまりあり。粘性非常に強い。白色軽石を僅かに含む。
  - 3 黒色土 粘質上。
  - 4 暗褐色土 粘質上。ロームブロックを含む。
- 407号ピット
- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石5%含む。
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質上。褐色粘土を3%含む。
- 408号ピット
- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石5%含む。
  - 2 暗褐色土 しまりあり。粘質上。白色軽石3%含む。



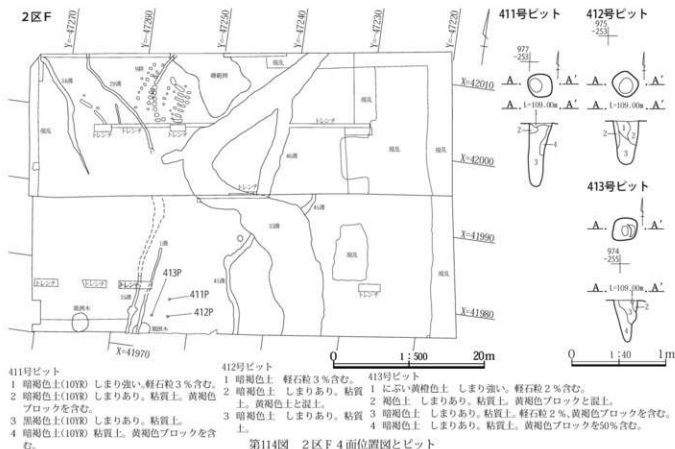
第112図 2区B 4面位置図とピット



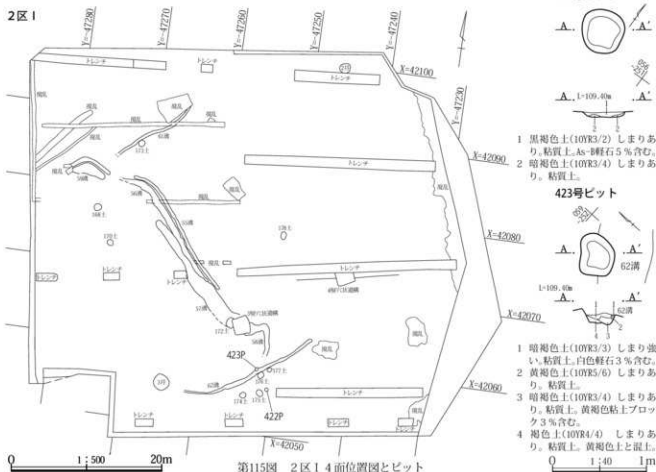
- 414号ピット
- 1 暗褐色土 しまり強い。白色軽石、ロームブロックを含む。
  - 2 黒褐色土 しまりあり。粘質上。白色軽石を少量含む。
  - 3 黄褐色土 しまりあり。粘性非常に強い。ロームブロックを多量に含む。
- 415号ピット
- 1 暗褐色土(10%) しまり強い。軽石粒7%、軽石3%含む。
  - 2 黒褐色土(10%) しまりあり。軽石粒5%含む。



第113図 2区E 4面位置図とピット

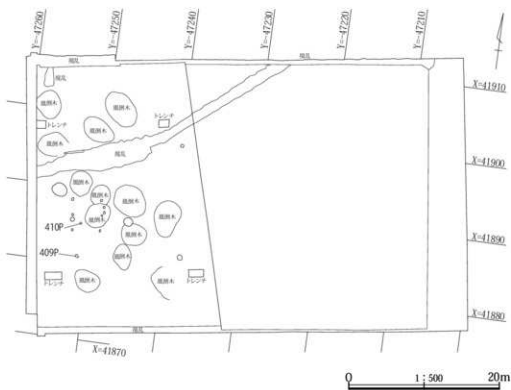


第114図 2区F 4面位置図とビット



第115図 2区I 4面位置図とビット

2区B

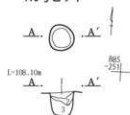


409号ピット



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。軽石粒、褐色粘土ブロックを少量含む。
- 2 黒褐色土 粘質土。黄褐色ブロックを含む。
- 3 黄褐色土 しまりあり。粘質土。黒褐色ブロックを含む。

410号ピット



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。軽石粒、褐色土を少量含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色土、褐色ブロックを含む。
- 3 褐色土 しまりあり。粘質土。黄褐色ブロック30%含む。

0 1:40 1m

第116図 2区B 5面位置図とピット

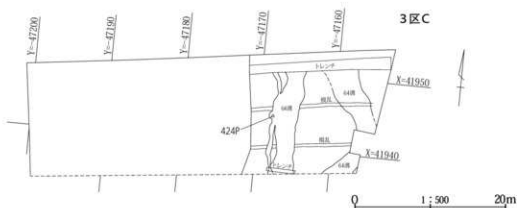
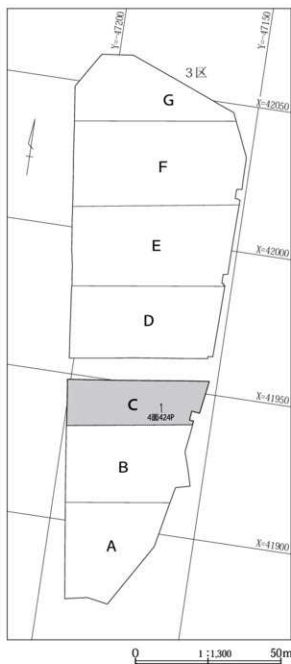
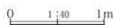
## 3区

3区からは、424号ピット1基を検出した。4面Cから検出し、不整形形状を呈すが、掘り込みは深い。

424号ピット



- 1 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。砂を少量含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 粘質土。砂を少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 2層より粘質土。砂を少量含む。
- 4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘土層。砂を少量含む。
- 5 暗褐色土(10YR3/4) 粘質土。水分を多く含む。



第117図 3区ピット位置図とC4面ピット

## 6 製鉄関連遺構

1区Dより製鉄関連遺構2基が隣接して検出された。調査時には、ビット(400・401号ビット)としていたが、整理の段階で製鉄関連遺構として扱うこととした(第6表)。

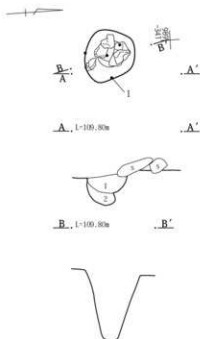
### 1号製鉄関連遺構(400号ビット、第118図、PL.37・38)

位置 1区D4面、X=41988、Y=-47340。

平面形状 楕円形。

規模 長軸0.29m、短軸0.27m、深さ0.38m。

埋没土層 2層が観察された。上層に多量の鉄滓が含まれ、底面に河床礫が確認された。底面から5cm程度上で、鉄滓1が出土している。



- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 軽石含む。鉄滓を多量に含む。
- 2 にふい黄褐色土(10YR4/3) しまり弱い。くすんだロームと暗褐色土の混上。

所見 本遺構の北10m、19号住居からは鍛冶遺構と考えられる土坑および羽口が確認され、本遺構との関連性が認められる。本遺構と2号製鉄関連遺構は、短時間の間に、前後して作られたと思われる。また、19号住居は、As-B軽石降下前の所産と推定されている。

### 2号製鉄関連遺構(401号ビット、第118図、PL.38)

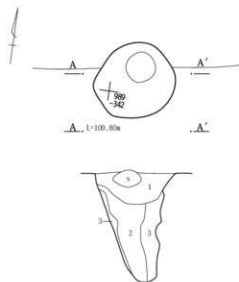
位置 1区D4面、X=41989、Y=-47341。

平面形状 楕円形。

規模 長軸0.43m、短軸0.4m、深さ0.54m。

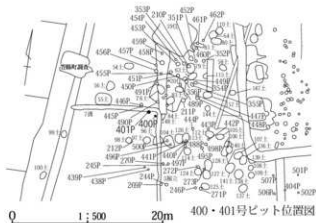
埋没土層 3層が観察された。上層に多量の鉄滓が含まれ、上面で河床礫が確認された。他の出土遺物はない。

所見 1号製鉄関連遺構と同様のことが考えられる。

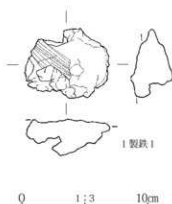


- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) 軽石含む。鉄滓を多く含む。
- 2 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱い。軽石、鉄滓含む。
- 3 にふい黄褐色土(10YR4/3) しまり弱い。くすんだロームと暗褐色土の混上。

0 1:20 1m



第118図 1区製鉄関連遺構位置図とD4面1・2号製鉄関連遺構と出土遺物





第6表 ビット計測一覧表

挿入 第 図	写真図版 PL	号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考
第888図	PL.34	1	B	1～5	41911	-47290	楕円形	0.29	0.20	0.38	砂質土。
第888図	PL.34	2	B	1～5	41909	-47295	楕円形	0.17	0.14	0.13	砂質土。
第888図	PL.34	3	B	1～5	41908	-47295	楕円形	0.24	0.20	0.15	砂質土。
第888図	PL.34	4	B	1～5	41907	-47293	不整形	0.53	0.50	0.04	
第888図	PL.34	5	B	1～5	41903	-47295	楕円形	0.20	0.18	0.41	砂質土。1個立の中央。
第888図	PL.34	6	B	1～5	41918	-47283	楕円形	0.29	0.26	0.15	
第888図	PL.34	7	B	1～5	41917	-47283	楕円形	0.26	0.20	0.08	
第888図	PL.34	8	B	1～5	41913	-47285	楕円形	0.26	0.22	0.28	砂質土。
第888図	PL.34	9	B	1～5	41905	-47280	楕円形	0.39	0.38	0.13	砂質土。
第878図	PL.34	10	A	1～5	41884	-47274	楕円形	0.35	0.32	0.32	
第878図	PL.35	11	A	1～5	41849	-47292	楕円形	0.31	0.28	0.13	底面に小礫。
第878図	PL.35	12	A	1～5	41849	-47293	楕円形	0.31	0.25	0.06	
第878図	PL.35	13	A	1～5	41848	-47292	楕円形	0.43	0.40	0.20	底面に礫。
第878図	PL.34	14	A	1～5	41843	-47319	円形	0.30	0.30	0.23	底面に大礫。
第878図	PL.35	15	A	1～5	41844	-47319	不整形	0.43	0.39	0.10	
第878図	PL.35	16	A	1～5	41845	-47319	楕円形	0.28	0.25	0.11	
第878図	PL.35	17	A	1～5	41844	-47321	円形	0.17	0.17	0.11	
第878図	PL.35	18	A	1～5	41847	-47322	楕円形	0.33	0.30	0.20	
第878図	PL.35	19	A	1～5	41853	-47318	楕円形	0.36	0.29	0.10	
第107図	PL.35	20	E	1～5	42019	-47346	円形	0.51	0.50	0.14	
第107図	PL.35	21	E	1～5	42020	-47251	楕円形	0.35	0.31	0.09	
第107図	PL.35	22	E	1～5	42020	-47250	楕円形	1.05	0.88	0.47	
第898図	PL.35	23	C	1～5	41941	-47288	楕円形	0.32	0.27	0.15	砂質土。
第898図	PL.36	24	C	1～5	41934	-47293	方形	0.39	0.37	0.28	砂質土。
第898図	PL.58	25	C	1～5	41955	-47292	楕円形	0.31	0.26	0.18	
第898図		26	C	1～5	41951	-47306	楕円形	0.21	0.18	0.39	
第898図	PL.36	27	C	1～5	41933	-47290	楕円形	0.78	0.50	0.50	
第898図	PL.36	28	C	1～5	41937	-47286	楕円形	0.42	0.39	0.21	砂質土。
第898図	PL.36	29	C	1～5	41931	-47297	楕円形	0.24	0.21	0.15	
第898図	PL.36	30	C	1～5	41947	-47289	円形	0.31	0.30	0.35	
第898図	PL.36	31	C	1～5	41944	-47312	楕円形	0.31	0.24	0.35	
第898図	PL.36	32	C	1～5	41944	-47312	楕円形	0.29	0.24	0.33	
第908図	PL.36	33	C	1～5	41931	-47295	楕円形	0.47	0.43	0.42	
第908図	PL.36	34	C	1～5	41927	-47300	方形	0.26	0.23	0.12	
第908図	PL.36	35	C	1～5	41956	-47295	円形	0.20	0.19	0.17	
第908図	PL.36	36	C	1～5	41956	-47298	楕円形	0.19	0.14	0.11	
第908図	PL.36	37	C	1～5	41954	-47299	楕円形	0.18	0.13	0.14	
第908図	PL.36	38	C	1～5	41954	-47300	楕円形	0.17	0.14	0.15	
第908図	PL.36	39	C	1～5	41955	-47301	楕円形	0.19	0.17	0.14	
第908図	PL.36	40	C	1～5	41954	-47301	楕円形	0.17	0.15	0.12	
第908図	PL.36	41	C	1～5	41954	-47300	楕円形	0.18	0.14	0.16	
第908図	PL.36	42	C	1～5	41952	-47299	楕円形	0.17	0.13	0.10	
第908図	PL.36	43	C	1～5	41951	-47303	楕円形	0.21	0.18	0.29	
第908図	PL.36	44	C	1～5	41948	-47304	楕円形	0.20	0.17	0.10	
第908図	PL.36	45	C	1～5	41949	-47306	楕円形	0.23	0.20	0.20	
第908図	PL.36	46	C	1～5	41948	-47305	楕円形	0.20	0.17	0.10	
第908図	PL.36	47	C	1～5	41948	-47306	楕円形	0.21	0.18	0.26	
第908図	PL.36	48	C	1～5	41949	-47313	円形	0.17	0.17	0.12	
第908図	PL.36	49	C	1～5	41946	-47315	楕円形	0.22	0.18	0.13	
第908図	PL.37	50	C	1～5	41939	-47295	不整形	0.28	0.27	0.14	
第968図		51	D	1～5	42006	-47325	楕円形	0.30	0.26	0.16	
第968図		52	D	1～5	42005	-47328	楕円形	0.66	0.52	0.28	
第908図	PL.37	53	C	1～5	41935	-47281	方形	0.15	0.14	0.11	
第908図	PL.37	54	C	1～5	41931	-47293	楕円形	0.29	0.26	0.15	
第908図	PL.37	55	C	1～5	41953	-47317	楕円形	0.51	0.36	0.05	
		56	欠番								
第103図	PL.37	57	D	1～5	41991	-47308	円形	0.26	0.26	0.05	
—	PL.37	58	D	1～5	41991	-47308	円形	0.28	0.28	0.36	1層—P6。28住床面で確認。
第103図	PL.37	59	D	1～5	41991	-47309	楕円形	0.28	0.25	0.41	
第103図	PL.37	60	D	1～5	41991	-47310	楕円形	0.32	0.28	0.06	
第103図	PL.37	61	D	1～5	41991	-47310	楕円形	0.40	0.36	0.11	
第998図		62	D	1～5	41993	-47309	円形	0.44	0.42	0.54	
—		63	D	1～5	41993	-47307	楕円形	0.23	0.17	0.23	13個立—P3。
—		64	D	1～5	41994	-47309	円形	0.28	0.27	0.44	9個立—P4。

第3章 確認された遺構と遺物

挿入 順	写真図版 PL.	号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考	
第97図		65	1	D	1～5	41994	-47309	円形	0.21	0.21	0.46	
第97図		66	1	D	1～5	41994	-47309	楕円形	0.34	0.28	0.41	
第97図		67	1	D	1～5	41994	-47310	楕円形	0.28	0.25	0.35	
第97図		68	1	D	1～5	41994	-47310	楕円形	0.24	0.20	0.13	
第97図		69	1	D	1～5	41995	-47311	円形	0.24	0.24	0.33	
—		70	1	D	1～5	41995	-47310	円形	0.30	0.30	0.21	9個立—P3。
第96図		71	1	D	1～5	41995	-47309	楕円形	0.26	0.23	0.24	
第96図		72	1	D	1～5	41995	-47308	円形	0.52	0.52	0.08	
第96図		73	1	D	1～5	41996	-47309	楕円形	0.40	0.36	0.27	
—		74	1	D	1～5	41995	-47307	円形	0.27	0.27	0.35	13個立—P4。
第100図		75	1	D	1～5	41996	-47307	円形	0.26	0.25	0.12	
—		76	1	D	1～5	41993	-47301	楕円形	0.24	0.20	0.11	8個立—P3。
第96図		77	1	D	1～5	41992	-47304	円形	0.27	0.26	0.35	
第96図		78	1	D	1～5	41995	-47301	楕円形	0.30	0.25	0.27	
—	PL.45	79	1	D	1～5	41995	-47304	円形	0.23	0.20	0.21	13個立—P1。
第100図		80	1	D	1～5	41993	-47306	円形	0.23	0.22	0.26	
第100図		81	1	D	1～5	41994	-47306	楕円形	0.31	0.25	0.14	
第100図		82	1	D	1～5	41995	-47306	円形	0.18	0.17	0.14	
—		83	1	D	1～5	41990	-47312	楕円形	0.35	0.32	0.36	1個—P5。
第96図		84	1	D	1～5	41990	-47314	楕円形	0.40	0.32	0.42	
第96図		85	1	D	1～5	41990	-47313	楕円形	0.39	0.33	0.48	
第96図		86	1	D	1～5	41991	-47314	楕円形	0.29	0.20	0.39	
第96図		87	1	D	1～5	41991	-47314	楕円形	0.39	0.30	0.56	中に石。
—		88	1	D	1～5	41991	-47314	楕円形	0.40	0.36	0.55	7個立—P2。
第96図		89	1	D	1～5	41991	-47313	楕円形	0.15	0.25	0.28	
—		90	1	D	1～5	41991	-47315	楕円形	0.33	0.29	0.53	8個立—P3。
第96図		91	1	D	1～5	41992	-47312	楕円形	0.53	0.42	0.26	
第99図		92	1	D	1～5	41994	-47313	楕円形	0.39	0.33	0.56	
—		93	1	D	1～5	41994	-47313	円形	0.30	0.30	0.74・0.50	4個—P4。二段底状。
第99図		94	1	D	1～5	41994	-47311	円形	0.25	0.25	0.44	
第99図		95	1	D	1～5	41995	-47312	円形	0.31	0.30	0.48	
—		96	1	D	1～5	41995	-47313	楕円形	0.32	0.28	0.26	9個立—P7。
—		97	1	D	1～5	41995	-47311	円形	0.25	0.25	0.47	5個立—P5。
第99図		98	1	D	1～5	41996	-47312	楕円形	0.26	0.23	0.47	
第99図		99	1	D	1～5	41996	-47313	楕円形	0.38	0.28	0.49	
第100図		100	1	D	1～5	41994	-47315	円形	0.22	0.21	0.26	
—		101	1	D	1～5	41993	-47315	楕円形	0.24	0.21	0.23	7個立—P11。
第96図		102	1	D	1～5	41991	-47316	楕円形	0.24	0.20	0.25	
—		103	1	D	1～5	41990	-47316	円形	0.48	0.48	0.39・0.32	7個立—P3。二段底状。
—		104	1	D	1～5	41990	-47318	楕円形	0.39	0.34	0.31	8個立—P4。
—		105	1	D	1～5	41992	-47318	方形	0.33	0.31	0.41	7個立—P12。
—		106	1	D	1～5	41992	-47307	楕円形	0.25	0.20	0.30	13個立—P6。
第100図		107	1	D	1～5	41996	-47306	楕円形	0.26	0.23	0.26	
第96図		108	1	D	1～5	41993	-47303	楕円形	0.52	0.38	0.16	
第96図		109	1	D	1～5	41983	-47300	楕円形	0.38	0.30	0.26	
—		110	1	D	1～5	41979	-47311	楕円形	0.25	0.20	0.46	11個立—P3。
第96図		111	1	D	1～5	41974	-47315	楕円形	0.53	0.38	0.33	
第96図		112	1	D	1～5	41979	-47311	楕円形	0.25	0.20	0.46	
—		113	1	D	1～5	41990	-47314	楕円形	0.37	0.31	0.47	1個—P4。
—		114	1	D	1～5	41994	-47304	楕円形	0.42	0.33	0.09	13個立—P2。
第100図		115	1	D	1～5	41997	-47308	楕円形	0.24	0.19	0.33	
第102図		116	1	D	1～5	41997	-47309	楕円形	0.24	0.21	0.33	
第99図		117	1	D	1～5	41996	-47311	楕円形	0.30	0.26	0.48	
—		118	1	D	1～5	41995	-47315	楕円形	0.35	0.29	0.15	8個立—P1。
—		119	1	D	1～5	41995	-47315	楕円形	0.38	0.32	0.59	10個立—P3。
第100図		120	1	D	1～5	41996	-47315	楕円形	0.27	0.21	0.53	
第97図		121	1	D	1～5	41993	-47317	楕円形	0.22	0.19	0.20	
第97図		122	1	D	1～5	41990	-47319	円形	0.31	0.30	0.08	123P之重複。
—		123	1	D	1～5	41990	-47319	楕円形	0.52	0.47	0.44	7個立—P4。
第101図		124	1	D	1～5	41994	-47320	不明	0.20	0.14	0.08	
—		125	1	D	1～5	41994	-47320	楕円形	0.45	0.34	0.53・0.36	7個立—P7。二段底状。
第101図		126	1	D	1～5	41993	-47321	円形	0.26	0.25	0.17	
第101図		127	1	D	1～5	41994	-47322	方形	0.25	0.25	0.22	
第101図		128	1	D	1～5	41994	-47321	円形	0.25	0.24	0.31	
第101図		129	1	D	1～5	41995	-47321	楕円形	0.30	0.24	0.41	

挿入 順	写真図版 PL.	号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考	
第101図		130	1	D	1～5	41995	-47320	楕円形	0.38	0.30	0.20	
第98図		131	1	D	1～5	41996	-47318	方形	0.32	0.30	0.13	
第98図		132	1	D	1～5	41996	-47318	楕円形	0.21	0.18	0.18	
第98図		133	1	D	1～5	41995	-47317	楕円形	0.26	0.25	0.36	
第98図		134	1	D	1～5	41995	-47316	楕円形	0.25	0.21	0.30	中に礎。
—		135	1	D	1～5	41996	-47318	楕円形	0.32	0.28	0.29	5掘-P4。
第98図		136	1	D	1～5	41997	-47317	楕円形	0.33	0.27	0.15	
—		137	1	D	1～5	41997	-47317	楕円形	0.33	0.26	0.28	2掘-P1。
—		138	1	D	1～5	41996	-47313	楕円形	0.28	0.25	0.36	9掘立-P8。
第101図		139	1	D	1～5	41996	-47313	楕円形	0.37	0.27	0.29	
第101図		140	1	D	1～5	41997	-47314	楕円形	0.25	0.21	0.25	
第101図		141	1	D	1～5	41997	-47313	円形	0.31	0.29	0.32	
—		142	1	D	1～5	41994	-47317	円形	0.42	0.41	0.36	7掘立-P8。底面に大礎。
第98図		143	1	D	1～5	41997	-47318	楕円形	0.27	0.24	0.29	
—		144	1	D	1～5	41997	-47316	円形	0.29	0.28	0.20	15掘立-P5。
—		145	1	D	1～5	41997	-47315	円形	0.43	0.42	0.35	2掘-P2。
第102図		146	1	D	1～5	41997	-47314	円形	0.29	0.29	0.47	
—		147	1	D	1～5	41997	-47314	楕円形	0.38	0.31	0.36	5掘立-P7。中に礎。
—		148	1	D	1～5	41998	-47314	方形	0.32	0.32	0.33	15掘立-P4。
—		149	1	D	1～5	41998	-47314	楕円形	0.30	0.25	0.34	9掘立-P9。
第101図		150	1	D	1～5	41998	-47314	楕円形	0.24	0.20	0.16	
—		151	1	D	1～5	41999	-47313	円形	0.23	0.22	0.32	12掘立-P4。
—		152	1	D	1～5	42000	-47314	楕円形	0.48	0.40	0.43	5掘立-P8。
第102図		153	1	D	1～5	41999	-47315	楕円形	0.42	0.32	0.11	
第102図		154	1	D	1～5	41999	-47315	楕円形	0.34	0.23	0.18	
—		155	1	D	1～5	41999	-47316	楕円形	0.38	0.29	0.28	15掘立-P6。
—		156	1	D	1～5	41999	-47316	楕円形	0.32	0.28	0.37	10掘立-P1。
—		157	1	D	1～5	41999	-47316	楕円形	0.26	0.22	0.31	11掘立-P5。
第102図		158	1	D	1～5	41999	-47317	楕円形	0.33	0.28	0.37	
第102図		159	1	D	1～5	41999	-47317	円形	0.27	0.27	0.31	
—		160	1	D	1～5	41999	-47311	楕円形	0.28	0.25	0.40	12掘立-P3。
—		161	1	D	1～5	41998	-47310	円形	0.27	0.27	0.19	5掘立-P3。
第102図		162	1	D	1～5	41998	-47309	方形	0.21	0.20	0.13	
—		163	1	D	1～5	42000	-47310	楕円形	0.40	0.35	0.50	5掘立-P2。
—		164	1	D	1～5	42000	-47312	楕円形	0.17	0.15	0.15	15掘立-P2。
—		165	1	D	1～5	42000	-47312	楕円形	0.41	0.29	0.34	5掘立-P11。
第97図		166	1	D	1～5	42000	-47312	楕円形	0.36	0.31	0.44	
—		167	1	D	1～5	42001	-47312	楕円形	0.23	0.20	0.23	12掘立-P6。
—		168	1	D	1～5	42001	-47314	円形	0.36	0.36	0.32	12掘立-P5。底面に礎。
—		169	1	D	1～5	42001	-47314	楕円形	0.36	0.28	0.33	5掘立-P9。壁に礎。
—		170	1	D	1～5	42002	-47314	楕円形	0.49	0.30	0.42・0.30	15掘立-P8。二段底状。
—		171	1	D	1～5	42002	-47314	楕円形	0.32	0.27	0.44	3掘-P2。
第105図		172	1	D	1～5	42003	-47314	円形	0.32	0.31	0.41	覆上に大礎。
第105図	PL.73	173	1	D	1～5	42003	-47314	円形	0.19	0.19	0.41	
—		174	1	D	1～5	42002	-47313	楕円形	0.31	0.23	0.38	5掘立-P10。175Pと重複。
—		175	1	D	1～5	42002	-47313	楕円形	0.25	0.21	0.36	15掘立-P1。
第105図		176	1	D	1～5	42002	-47313	円形	0.27	0.27	0.34	
第105図		177	1	D	1～5	42002	-47312	楕円形	0.26	0.21	0.09	
第105図		178	1	D	1～5	42003	-47312	楕円形	0.33	0.28	0.26	
第105図		179	1	D	1～5	42003	-47313	楕円形	0.35	0.27	0.33	確認面に大礎。
第105図		180	1	D	1～5	42003	-47312	不整形	0.34	0.32	0.21	
第97図		181	1	D	1～5	42002	-47311	円形	0.22	0.22	0.36	
第97図		182	1	D	1～5	42004	-47310	楕円形	0.26	0.23	0.27	
第97図		183	1	D	1～5	42004	-47311	円形	0.25	0.25	0.20	
—		184	2	B	2	41884	-47252	楕円形	0.35	0.25	0.53	2掘立-P4。
—		185	2	B	2	41886	-47252	方形	0.45	0.30	0.59・0.48	2掘立-P5。二段底状。
—		186	2	B	2	41888	-47253	方形	0.40	0.28	0.67・0.46	2掘立-P6。二段底状。
—		187	2	B	2	41888	-47249	楕円形	0.48	0.43	0.54・0.50	2掘立-P1。二段底状。
—		188	2	B	2	41886	-47248	方形	0.35	0.35	0.77	2掘立-P2。
—		189	2	B	2	41884	-47248	楕円形	0.42	0.26	0.65・0.64	2掘立-P3。二段底状。
第97図		190	1	D	1～5	41987	-47323	楕円形	0.40	0.37	0.48	
第97図		191	1	D	1～5	41988	-47322	楕円形	0.50	0.43	0.42	
—		192	1	D	1～5	41988	-47323	楕円形	0.34	0.32	0.54	1掘-P1。
—		193	1	D	1～5	41989	-47322	円形	0.64	0.55	0.45	7掘立-P5。
第97図		194	1	D	1～5	41990	-47322	楕円形	0.43	0.35	0.56	壁に礎。

第3章 確認された遺構と遺物

挿入 順 号	写真図版 PL.	号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考			
—		195	I	D	1	~	5	41990	-47323	楕円形	0.53	0.48	0.28	8掘立-P 6。
—		196	I	D	1	~	5	41991	-47323	楕円形	0.46	0.38	0.40	7掘立-P 10。
—		197	I	D	1	~	5	41992	-47324	円形	0.35	0.33	0.41	8掘立-P 7。
第103図		198	I	D	1	~	5	41991	-47324	楕円形	0.40	0.29	0.33	
第103図		199	I	D	1	~	5	41992	-47324	楕円形	0.36	0.32	0.24	466Pと重複。
—		200	I	D	1	~	5	41993	-47324	楕円形	0.40	0.33	0.36	6掘-P 4。覆土に小礫。
—		201	I	D	1	~	5	41996	-47324	円形	0.50	0.49	0.24	6掘-P 3。底面に礫。
—		202	I	D	1	~	5	41998	-47324	不整形	0.41	0.33	0.26	6掘-P 2。底面に礫。
—		203	I	D	1	~	5	42000	-47325	楕円形	0.38	0.33	0.22	6掘-P 1。
第97図		204	I	D	1	~	5	42003	-47325	楕円形	0.40	0.36	0.18	
第97図		205	I	D	1	~	5	41993	-47323	円形	0.45	0.45	0.29	
第103図		206	I	D	1	~	5	41995	-47324	楕円形	0.34	0.30	0.35	
第106図		207	I	D	1	~	5	42000	-47324	円形	0.32	0.32	0.32	
第97図		208	I	D	1	~	5	42002	-47327	楕円形	0.44	0.40	0.31	
—		209	欠	番										
第92図		210	I	D	1	~	5	41995	-47337	楕円形	0.50	0.40	0.51	
—		211	I	D	1	~	5	41991	-47337	楕円形	0.56	0.49	0.10	14掘立-P 4。底面に礫。
第92図		212	I	D	1	~	5	41984	-47343	不整形	0.17	0.18	0.19	
—		213	I	D	1	~	5	41997	-47316	楕円形	0.33	0.23	0.44	10掘立-P 2。
第102図		214	I	D	1	~	5	41997	-47315	楕円形	0.30	0.25	0.46	
—		215	I	D	1	~	5	42001	-47315	楕円形	0.40	0.28	0.36	11掘立-P 7。
第105図		216	I	D	1	~	5	42001	-47315	楕円形	0.28	0.26	0.32	
—		217	I	D	1	~	5	41999	-47310	楕円形	0.34	0.26	0.42	12掘立-P 2。
第97図		218	I	D	1	~	5	42004	-47314	楕円形	0.49	0.40	0.24	
—		219	欠	番										
—		220	I	D	1	~	5	41997	-47318	円形	0.37	0.37	0.50	10掘立-P 5。
—		221	欠	番										
第98図		222	I	D	1	~	5	41996	-47316	楕円形	0.25	0.23	0.33	
—		223	欠	番										
第92図		224	I	D	1	~	5	41969	-47333	円形	0.33	0.32	0.25	
第92図		225	I	D	1	~	5	41970	-47335	楕円形	0.29	0.25	0.40	
—		226	I	D	1	~	5	41971	-47335	不整形	0.35	0.28	0.49・0.31	4掘立-P 5。二段底状。
—		227	I	D	1	~	5	41973	-47335	楕円形	0.45	0.30	0.39・0.33	4掘立-P 6。二段底状。
第94図		228	I	D	1	~	5	41975	-47332	楕円形	0.35	0.27	0.50	
第94図		229	I	D	1	~	5	41975	-47331	楕円形	0.56	0.50	0.38	
第94図		230	I	D	1	~	5	41975	-47334	楕円形	0.40	0.35	0.24	
第94図		231	I	D	1	~	5	41975	-47334	円形	0.41	0.40	0.31	
—		232	I	D	1	~	5	41976	-47333	円形	0.34	0.33	0.24	3掘立-P 14。
—		233	I	D	1	~	5	41977	-47334	楕円形	0.36	0.27	0.50	3掘立-P 4。
—		234	I	D	1	~	5	41976	-47336	楕円形	0.38	0.32	0.41	3掘立-P 15。
第92図		235	I	D	1	~	5	41976	-47337	楕円形	0.31	0.27	0.30	
第98図	PL.49	236	I	D	1	~	5	41974	-47312	楕円形	0.34	0.31	0.48	146上坑と重複。
—		237	I	D	1	~	5	41971	-47332	不整形	0.44	0.23	0.18	4掘立-P 3。
第92図		238	I	D	1	~	5	41971	-47333	楕円形	0.37	0.28	0.21	
第92図		239	I	D	1	~	5	41971	-47335	楕円形	0.38	0.29	0.19	
第92図		240	I	D	1	~	5	41971	-47336	不整形	0.46	0.31	0.46	
第94図		241	I	D	1	~	5	41973	-47334	楕円形	0.46	0.38	0.48	
—		242	I	D	1	~	5	41975	-47332	楕円形	0.32	0.28	0.36	4掘立-P 1。
—		243	I	D	1	~	5	41977	-47338	楕円形	0.56	0.45	0.48・0.25	3掘立-P 6。二段底状。
—		244	I	D	1	~	5	41979	-47338	楕円形	0.40	0.35	0.46	3掘立-P 7。
—		245	I	D	1	~	5	41982	-47342	楕円形	0.33	0.29	0.29	3掘立-P 8。
—		246	I	D	1	~	5	41979	-47334	円形	0.31	0.31	0.30	3掘立-P 3。
第99図		247	I	D	1	~	5	41992	-47311	楕円形	0.42	0.38	0.37	
第99図		248	I	D	1	~	5	41993	-47312	楕円形	0.23	0.21	0.57	
第99図		249	I	D	1	~	5	41993	-47311	円形	0.23	0.22	0.38	
第99図		250	I	D	1	~	5	41993	-47311	円形	0.17	0.17	0.34	
—		251	I	D	1	~	5	41993	-47311	円形	0.26	0.25	0.38	9掘立-P 5。
第99図		252	I	D	1	~	5	41993	-47311	円形	0.24	0.24	0.33	
—		253	I	D	1	~	5	41994	-47313	楕円形	0.39	0.33	0.56	9掘立-P 6。
第101図		254	I	D	1	~	5	41997	-47313	楕円形	0.32	0.23	0.37	
—		255	I	D	1	~	5	41997	-47314	楕円形	0.35	0.29	0.46	2掘-P 3。
第101図		256	I	D	1	~	5	41999	-47314	円形	0.30	0.30	0.49	
—		257	I	D	1	~	5	42001	-47310	円形	0.38	0.37	0.29	12掘立-P 1。
—		258	I	D	1	~	5	42002	-47310	楕円形	0.31	0.28	0.35	5掘立-P 1。
第105図		259	I	D	1	~	5	42002	-47315	楕円形	0.40	0.33	0.29	

## 第1節 古墳時代以降の遺構と遺物

挿入 順 号	写真図版 No.	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考		
—	260	I	D	1	5	42001	-47316	楕円形	0.20	0.24	0.28	11個立-P6。
第105図	261	I	D	1	5	42001	-47317	楕円形	0.32	0.24	0.16	
第97図	262	I	D	1	5	42004	-47316	楕円形	0.35	0.30	0.23	壁に礎少量。
第97図	263	I	D	1	5	42004	-47316	楕円形	0.26	0.23	0.17	
第98図	264	I	D	1	5	42001	-47318	円形	0.20	0.18	0.21	
—	265	I	D	1	5	41998	-47318	楕円形	0.30	0.25	0.32	10個立-P6。
第97図	266	I	D	1	5	41994	-47317	円形	0.27	0.26	0.36	
—	267	I	D	1	5	41995	-47318	楕円形	0.36	0.30	0.34	8個立-P10。
—	268	I	D	1	5	41977	-47336	楕円形	0.32	0.28	0.45	3個立-P5。
—	269	I	D	1	5	41979	-47339	楕円形	0.34	0.31	0.37	3個立-P17。
—	270	I	D	1	5	41979	-47342	楕円形	0.30	0.26	0.41	3個立-P18。
—	271	I	D	1	5	41979	-47333	楕円形	0.43	0.33	0.29	3個立-P13。
—	272	I	D	1	5	41982	-47334	楕円形	0.52	0.28	0.33	3個立-P2。
—	273	I	D	1	5	41982	-47333	楕円形	0.23	0.21	0.27	3個立-P12。
第97図	274	I	D	1	5	42006	-47317	楕円形	0.34	0.28	0.21	
—	275	I	D	1	5	41998	-47312	円形	0.26	0.25	0.29	2層-P4。
—	276	I	D	1	5	41997	-47312	楕円形	0.38	0.36	0.51	11個立-P2。
—	277	I	D	1	5	42003	-47316	楕円形	0.20	0.18	0.11	3層-P1。
第103図	278	I	D	1	5	41992	-47309	不整形	0.28	0.26	0.02	
第98図	279	I	D	1	5	42000	-47318	円形	0.16	0.14	0.33	
第100図	280	I	D	1	5	41998	-47315	不整形	0.20	0.17	0.08	
—	281	I	D	1	5	41996	-47301	不整形	0.29	0.21	0.11	8層-P1。
第97図	282	I	D	1	5	41996	-47302	楕円形	0.21	0.20	0.19	
—	283	I	D	1	5	41994	-47301	楕円形	0.24	0.23	0.15	8層-P2。
—	284	I	D	1	5	41993	-47304	楕円形	0.24	0.17	0.12	13個立-P5。
第98図	285	I	D	1	5	41993	-47304	円形	0.16	0.15	0.11	
第97図	286	I	D	1	5	41999	-47320	不整形	0.33	0.29	0.13	礎上に大礎。
第98図	287	I	D	1	5	41992	-47305	楕円形	0.29	0.19	0.22	
—	288	I	D	1	5	41997	-47310	楕円形	0.38	0.28	0.26	9個立-P2。
—	289	I	D	1	5	41998	-47312	楕円形	0.20	0.19	0.21	15個立-P3。
第98図	290	I	D	1	5	42005	-47312	楕円形	0.22	0.20	0.26	
第99図	291	I	D	1	5	41995	-47313	不整形	0.68	0.34	0.32	
第104図	292	I	D	1	5	41988	-47319	円形	0.23	0.22	0.18	
第104図	293	I	D	1	5	41988	-47319	楕円形	0.20	0.19	0.05	
—	294	I	D	1	5	41989	-47320	楕円形	0.35	0.32	0.39	1層-P2。
第98図	295	I	D	1	5	41989	-47320	楕円形	0.35	0.32	0.37	
第98図	296	I	D	1	5	41989	-47320	円形	0.25	0.22	0.29	
—	297	I	D	1	5	41990	-47320	楕円形	0.31	0.26	0.29	8個立-P5。
—	298	I	D	1	5	41992	-47319	楕円形	0.30	0.27	0.57	7個立-P13。
—	299	I	D	1	5	41993	-47320	楕円形	0.30	0.26	0.55	4層-P1。
—	300	I	D	1	5	41993	-47318	円形	0.26	0.25	0.57	4層-P2。
第101図	301	I	D	1	5	41993	-47320	楕円形	0.22	0.18	0.18	
第101図	302	I	D	1	5	41994	-47320	円形	0.29	0.27	0.30	
第101図	303	I	D	1	5	41994	-47320	円形	0.22	0.21	0.23	
—	304	I	D	1	5	41993	-47315	隅丸形	0.43	0.36	0.38	8個立-P2。
第100図	305	I	D	1	5	41992	-47314	楕円形	0.32	0.23	0.46	
第100図	306	I	D	1	5	41992	-47314	楕円形	0.17	0.16	0.14	
第99図	307	I	D	1	5	41992	-47313	楕円形	0.33	0.31	0.43	中位に礎。
第99図	308	I	D	1	5	41994	-47312	楕円形	0.35	0.33	0.40	
第100図	309	I	D	1	5	41994	-47315	楕円形	0.25	0.21	0.29	
—	310	I	D	1	5	41996	-47309	楕円形	0.25	0.22	0.24	5個立-P4。
第100図	311	I	D	1	5	41994	-47307	円形	0.23	0.22	0.14	
第104図	312	I	D	1	5	41993	-47302	円形	0.18	0.16	0.36	
第104図	313	I	D	1	5	41993	-47301	楕円形	0.22	0.20	0.10	
第104図	314	I	D	1	5	41991	-47304	円形	0.16	0.15	0.12	
第100図	315	I	D	1	5	41997	-47302	—	0.20	0.12	0.15	
第100図	316	I	D	1	5	41996	-47315	—	0.21	0.12	0.15	
第104図	317	I	D	1	5	41998	-47319	円形	0.26	0.25	0.24	底面に礎。
第105図	318	I	D	1	5	41996	-47319	円形	0.21	0.18	0.07	
第105図	319	I	D	1	5	41996	-47319	楕円形	0.29	0.21	0.21	壁に礎。
第105図	320	I	D	1	5	41996	-47319	楕円形	0.40	0.33	0.43	下位に礎。
第104図	321	I	D	1	5	41989	-47318	楕円形	0.34	0.30	0.49	
—	322	I	D	1	5	41989	-47317	楕円形	0.35	0.34	0.47	1層-P3、323Pと重複。
第104図	323	I	D	1	5	41989	-47317	楕円形	0.35	0.30	0.60	
第104図	324	I	D	1	5	41989	-47316	楕円形	0.37	0.27	0.57	

第3章 確認された遺構と遺物

挿図 番号	写真図版 PL.	号	区	面	X=41・42…	Y=—47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考	
第104図		325	1	D	1～5	41990	-47316	楕円形	0.28	0.26	0.58	
—		326	1	D	1～5	42003	-47313	楕円形	0.29	0.27	0.52	3層—P3。
第103図		327	1	D	1～5	41991	-47308	楕円形	0.28	0.27	0.10	
第103図		328	1	D	1～5	41991	-47308	楕円形	0.26	0.22	0.10	
第103図	PL.37	329	1	D	1～5	41991	-47309	楕円形	0.21	0.19	0.13	28住居内。
—		330	1	D	1～5	41998	-47318	楕円形	0.25	0.24	0.34	5層—P3。
第101図		331	1	D	1～5	41993	-47322	楕円形	0.38	0.30	0.28	
第101図		332	1	D	1～5	41993	-47322	楕円形	0.33	0.31	0.53	
第102図		333	1	D	1～5	41999	-47315	円形	0.25	0.24	0.15	
第102図		334	1	D	1～5	41999	-47315	楕円形	0.27	0.25	0.16	
第100図		335	1	D	1～5	41993	-47314	円形	0.23	0.20	0.56	
—		336	1	D	1～5	41993	-47314	円形	0.20	0.20	0.55	7層立—P9。
第105図		337	1	D	1～5	41996	-47320	楕円形	0.36	0.20	0.14	
第105図		338	1	D	1～5	41996	-47320	楕円形	0.26	0.22	0.20	
第102図		339	1	D	1～5	41999	-47317	楕円形	0.22	0.16	0.20	
第102図		340	1	D	1～5	41999	-47317	楕円形	0.23	0.18	0.28	確認面に隣。
第105図		341	1	D	1～5	42002	-47315	円形	0.24	0.22	0.36	
第105図		342	1	D	1～5	42001	-47315	楕円形	0.42	0.34	0.31	
—		343	1	D	1～5	42001	-47314	方形	0.31	0.30	0.50	11層立—P8。
第102図		344	1	D	1～5	41999	-47315	楕円形	0.31	0.27	0.31	
—		345	1	D	1～5	41997	-47312	楕円形	0.30	0.29	0.33	5層立—P12。275Pと重複。
第105図		346	1	D	1～5	42004	-47313	円形	0.20	0.19	0.12	
第102図		347	1	D	1～5	41997	-47310	方形	0.35	0.21	0.31	
第102図		348	1	D	1～5	41998	-47310	円形	0.16	0.15	0.11	
第98図		349	1	D	1～5	41997	-47317	不整形	0.25	0.21	0.22	
第98図		350	1	D	1～5	41997	-47317	楕円形	0.24	0.20	0.23	
第92図		351	1	D	1～5	41996	-47337	楕円形	0.63	0.55	0.35	中位に隣。
第92図		352	1	D	1～5	41996	-47335	円形	0.40	0.39	0.37	
第92図		353	1	D	1～5	41996	-47338	円形	0.45	0.44	0.40	
—		354	1	D	1～5	41993	-47336	楕円形	0.51	0.34	0.19	14層立—P2。底面に小礎。
第92図		355	1	D	1～5	41993	-47336	不整形	0.54	0.35	0.42	
第92図		356	1	D	1～5	41993	-47337	楕円形	0.46	0.41	0.40	確認面に大礎。
第104図		357	1	D	1～5	41988	-47310	楕円形	0.35	0.30	0.14	
—		358	1	D	1～5	41994	-47324	楕円形	0.45	0.39	0.48	8層立—P8。
第103図		359	1	D	1～5	41994	-47323	楕円形	0.32	0.28	0.36	
第103図		360	1	D	1～5	41995	-47324	楕円形	0.34	0.31	0.33	
第104図		361	1	D	1～5	41989	-47320	円形	0.18	0.16	0.38	
第104図		362	1	D	1～5	41988	-47323	円形	0.26	0.24	0.12	
—		363	1	D	1～5	41991	-47322	円形	0.26	0.25	0.37	7層立—P14。
第104図		364	1	D	1～5	42001	-47318	不整形	0.43	0.38	0.12	大礎。
—		365	1	D	1～5	42001	-47318	—	0.27	0.26	0.16	5層立—P1。
第96図		366	1	D	1～5	41991	-47313	楕円形	0.28	0.22	0.26	
第104図		367	1	D	1～5	41988	-47318	楕円形	0.28	0.23	0.43	
第102図		368	1	D	1～5	41998	-47316	円形	0.20	0.19	0.43	
—		369	1	D	1～5	41995	-47318	楕円形	0.39	0.32	0.31	10層立—P4。
第104図		370	1	D	1～5	41995	-47319	円形	0.27	0.26	0.34	
—		371	1	D	1～5	41994	-47321	楕円形	0.43	0.31	0.23	8層立—P9。
—		372	1	D	1～5	41998	-47312	円形	0.28	0.26	0.26	9層立—P10。
第102図		373	1	D	1～5	41999	-47314	円形	0.25	0.22	0.23	
—		374	1	D	1～5	41995	-47311	楕円形	0.43	0.29	0.34	5層立—P6。
第104図		375	1	D	1～5	41974	-47307	楕円形	0.29	0.24	0.22	
—		376	1	D	1～5	41999	-47310	楕円形	0.28	0.27	0.11	9層立—P1。
第104図		377	1	D	1～5	42002	-47309	楕円形	0.27	0.23	0.38	
—		378	1	D	1～5	41994	-47315	楕円形	0.35	0.27	0.52	4層—P3。
第100図		379	1	D	1～5	41993	-47316	円形	0.24	0.23	0.50	
—		380	1	D	1～5	42001	-47312	楕円形	0.17	0.16	0.17	11層立—P1。
第103図		381	1	D	1～5	41996	-47323	楕円形	0.26	0.20	0.28	
第104図		382	1	D	1～5	41995	-47322	楕円形	0.27	0.24	0.22	壁に隣。
第98図		383	1	D	1～5	42001	-47317	円形	0.21	0.18	0.21	
第103図		384	1	D	1～5	41991	-47311	円形	0.27	0.26	0.35	
第105図		385	1	D	1～5	42001	-47316	楕円形	0.32	0.29	0.23	
第104図		386	1	D	1～5	41996	-47321	楕円形	0.32	0.28	0.39	
第98図		387	1	D	1～5	41995	-47318	楕円形	0.26	0.23	0.14	
第101図		388	1	D	1～5	41997	-47314	不明	0.27	0.14	0.42	
—		389	1	D	1～5	41999	-47315	方形	0.40	0.35	0.29	11層立—P4。

## 第1節 古墳時代以降の遺構と遺物

挿入 順	写真図版 PL.	号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考	
第102図		390	1	D	1～5	41988	-47316	楕円形	0.34	0.33	0.32	
第102図		391	1	D	1～5	41988	-47316	楕円形	0.34	0.22	0.47	
—		392	1	D	1～5	41995	-47315	楕円形	0.38	0.33	0.28	7掘立-P1。
第106図		393	1	D	1～5	41989	-47322	楕円形	0.27	0.27	0.28	
—		394	1	D	1～5	42001	-47316	楕円形	0.39	0.33	0.25	15掘立-P7。
—		395	1	D	1～5	42000	-47318	円形	0.26	0.24	0.30	5掘立-P2。
第104図		396	1	D	1～5	41989	-47324	楕円形	0.49	0.43	0.24	
—		397	1	D	1～5	41988	-47324	円形	0.46	0.40	0.32	7掘立-P3。
第101図		398	1	D	1～5	41997	-47313	方形	0.33	0.18	0.17	
第98図		399	1	D	1～5	41974	-47312	楕円形	0.34	0.20	0.41	
第118図	PL.37・38	400	1	D	4	41988	-47340	不整形	0.29	0.27	0.38	製鉄関連遺構。底面に大礫。鉄滓出土。
第118図	PL.38	401	1	D	4	41989	-47341	不整形	0.43	0.40	0.54	製鉄関連遺構か。確認面に大礫。
—		402			欠番							
—		403			欠番							
—		404	1	D	1～5	41981	-47321	円形	0.25	0.23	0.17	6掘立-P8。
第106図	PL.37	405	1	D	1～5	41989	-47326	不整形	0.61	0.38	0.60	覆上に礫。
第112図	PL.37	406	2	B	4	41897	-47239	不整形	0.57	0.52	0.42	
第112図	PL.37	407	2	B	4	41875	-47232	楕円形	0.32	0.28	0.08	
第112図	PL.37	408	2	B	4	41876	-47244	不整形	0.45	0.36	0.10	
第116図	PL.39	409	2	B	5	41880	-47251	不整形	0.51	0.29	0.15	
第116図	PL.39	410	2	B	5	41885	-47251	楕円形	0.28	0.27	0.25	
第114図	PL.39	411	2	F	4	41976	-47252	方形	0.24	0.24	0.69	
第114図	PL.39	412	2	F	4	41974	-47254	方形	0.26	0.24	0.57	
第114図	PL.39	413	2	F	4	41974	-47252	方形	0.25	0.23	0.43	
第113図	PL.39	414	2	E	4	41962	-47259	不整形	0.39	0.34	0.10	
第113図	PL.39	415	2	E	4	41952	-47259	円形	0.44	0.41	0.18	
第109図	PL.39	416	2	F	2	41981	-47233	不整形	0.36	0.26	0.07	
第110図	PL.39	417	2	I	2	42053	-47225	不整形	0.37	0.29	0.11	
第110図	PL.39	418	2	I	2	42054	-47257	楕円形	0.22	0.19	0.04	
第110図	PL.39	419	2	I	2	42054	-47257	楕円形	0.23	0.19	0.03	
第111図	PL.39	420	2	I	3	42095	-47240	不整形	0.45	0.41	0.14	
第111図	PL.39	421	2	I	3	42060	-47251	不整形	0.24	0.23	0.10	
第115図	PL.39	422	2	I	4	42056	-47250	不整形	0.46	0.45	0.05	
第115図	PL.39	423	2	I	4	42058	-47252	不整形	0.44	0.36	0.14	
第117図	PL.39	424	3	C	4	41944	-47168	不整形	0.30	0.29	0.42	
第92図		425	1	D	1～5	41970	-47322	楕円形	0.29	0.25	0.23	
第92図		426	1	D	1～5	41970	-47334	楕円形	0.17	0.16	0.08	
第92図		427	1	D	1～5	41970	-47336	楕円形	0.21	0.15	0.10	
第93図		428	1	D	1～5	41973	-47332	楕円形	0.47	0.35	0.18	
第94図		429	1	D	1～5	41976	-47331	楕円形	0.25	0.21	0.13	
第94図		430	1	D	1～5	41975	-47332	楕円形	0.26	0.25	0.11	
第94図		431	1	D	1～5	41975	-47332	楕円形	0.26	0.19	0.21	432 Pと重複。
第94図		432	1	D	1～5	41975	-47332	楕円形	0.33	0.30	0.34	
第94図		433	1	D	1～5	41976	-47334	楕円形	0.33	0.28	0.20	
第94図		434	1	D	1～5	41976	-47335	円形	0.20	0.19	0.14	
第94図		435	1	D	1～5	41975	-47335	不整形	0.29	0.22	0.20	
第94図		436	1	D	1～5	41975	-47336	不整形	0.23	0.20	0.21	
第94図		437	1	D	1～5	41977	-47333	不整形	0.43	0.28	0.20	232 Pと重複。
第93図		438	1	D	1～5	41981	-47340	楕円形	0.26	0.25	0.11	
第93図		439	1	D	1～5	41981	-47341	楕円形	0.25	0.20	0.11	
第93図		440	1	D	1～5	41985	-47336	方形	0.21	0.20	0.27	
第93図		441	1	D	1～5	41985	-47336	方形	0.33	0.16	0.13	
第93図		442	1	D	1～5	41986	-47333	円形	0.29	0.27	0.11	
第93図		443	1	D	1～5	41987	-47333	楕円形	0.27	0.23	0.13	
第93図		444	1	D	1～5	41987	-47335	楕円形	0.33	0.30	0.13	
第93図		445	1	D	1～5	41989	-47343	隅丸形	0.25	0.22	0.50	446 Pと重複。
第93図		446	1	D	1～5	41989	-47343	楕円形	0.40	0.40	0.35	
第93図		447	1	D	1～5	41992	-47335	楕円形	0.31	0.25	0.33	448 Pと重複。
—		448	1	D	1～5	41991	-47335	楕円形	0.49	0.39	0.20	14掘立-P3。447 Pと重複。
第92図		449	1	D	1～5	41994	-47337	楕円形	0.61	0.41	0.40	
第93図		450	1	D	1～5	41994	-47338	楕円形	0.44	0.38	0.33	
第93図		451	1	D	1～5	41994	-47339	円形	0.42	0.39	0.13	
—		452	1	D	1～5	41996	-47336	楕円形	0.37	0.33	0.37	14掘立-P1。
—		453	1	D	1～5	41995	-47338	楕円形	0.55	0.47	0.11	14掘立-P8。

第3章 確認された遺構と遺物

挿入 順 号	写真図版 PL.	号	区	面	X=41・42…	Y=47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	備考	
第92図		454	I	D	1	5	41996	-47339	楕円形	0.35	0.27	0.35
第94図		455	I	D	1	5	41994	-47340	円形	0.27	0.25	0.12
第94図		456	I	D	1	5	41994	-47341	楕円形	0.44	0.41	0.09
—		457	I	D	1	5	41995	-47341	楕円形	0.34	0.27	0.13
第94図		458	I	D	1	5	41995	-47341	円形	0.55	0.54	0.07
第93図		459	I	D	1	5	41996	-47341	楕円形	0.34	0.26	0.22
第94図		460	I	D	1	5	41998	-47336	隅丸形	0.35	0.30	0.32
第94図		461	I	D	1	5	41999	-47336	楕円形	0.35	0.30	0.34
第94図		462	I	D	1	5	41999	-47336	楕円形	0.32	0.29	0.17
第96図		463	I	D	1	5	41993	-47303	楕円形	0.41	0.32	0.29
第105図		464	I	D	1	5	41996	-47319	楕円形	0.29	0.27	0.50
第103図		465	I	D	1	5	41991	-47324	円形	0.24	0.22	0.37
—		466	I	D	1	5	41992	-47324	円形	0.37	0.34	0.54
—		467	I	D	1	5	41980	-47323	楕円形	0.46	0.40	0.46
第103図		468	I	D	1	5	41994	-47324	楕円形	0.45	0.37	0.13
第103図		469	I	D	1	5	41994	-47324	楕円形	0.29	0.26	0.24
第103図		470	I	D	1	5	41997	-47323	楕円形	0.32	0.29	0.30
第103図		471	I	D	1	5	41997	-47324	円形	0.38	0.37	0.34
第106図		472	I	D	1	5	41998	-47325	楕円形	0.30	0.25	0.17
第106図		473	I	D	1	5	41998	-47325	楕円形	0.16	0.15	0.12
第106図		474	I	D	1	5	41999	-47324	楕円形	0.36	0.34	0.20
第106図		475	I	D	1	5	41999	-47324	楕円形	0.34	0.29	0.25
第106図		476	I	D	1	5	42000	-47325	不整形	0.28	0.25	0.14
第106図		477	I	D	1	5	42000	-47325	不整形	0.42	0.38	0.18
—		478	I	D	1	5	41995	-47324	楕円形	0.39	0.30	0.21
第106図		479	I	D	1	5	42003	-47329	円形	0.25	0.24	0.25
第106図		480	I	D	1	5	42003	-47328	不整形	0.55	0.43	0.25
第106図		481	I	D	1	5	42003	-47327	楕円形	0.45	0.37	0.14
第106図		482	I	D	1	5	42004	-47325	楕円形	0.25	0.17	0.13
第106図		483	I	D	1	5	42004	-47325	楕円形	0.30	0.22	0.13
第106図		484	I	D	1	5	42007	-47328	円形	0.24	0.23	0.17
第105図		485	I	D	1	5	42003	-47314	円形	0.25	0.24	0.23
第105図		486	I	D	1	5	42003	-47313	不整形	0.33	0.25	0.26
第94図		487	I	D	1	5	41973	-47334	楕円形	0.32	0.27	0.25
—		488	I	D	1	5	41985	-47336	円形	0.26	0.25	0.35
—		489	I	D	1	5	41993	-47338	楕円形	0.35	0.32	0.15
—		490	I	D	1	5	41990	-47340	楕円形	0.38	0.32	0.27
—		491	I	D	1	5	41992	-47341	楕円形	0.38	0.35	0.30
—		492	I	D	1	5	41973	-47331	楕円形	0.34	0.31	0.17
—		493	I	D	1	5	41971	-47333	楕円形	0.30	0.25	0.42
—		494	I	D	1	5	41975	-47335	楕円形	0.54	0.40	0.48
—		495	I	D	1	5	41985	-47334	楕円形	0.35	0.30	0.15
—	PL.47	496	I	D	1	5	41985	-47338	円形	0.29	0.28	0.10
—		497	I	D	1	5	41985	-47336	円形	0.34	0.33	0.22
—		498	I	D	1	5	41985	-47333	楕円形	0.37	0.34	0.22
—		499	I	D	1	5	41976	-47338	楕円形	0.34	0.30	0.37
—	PL.47	500	I	D	1	5	41985	-47338	楕円形	0.32	0.26	0.14
—		501	I	D	1	5	41983	-47321	楕円形	0.19	0.17	0.12
—		502	I	D	1	5	41981	-47320	楕円形	0.23	0.21	0.35
—		503	I	D	1	5	41978	-47320	楕円形	0.23	0.21	0.20
—		504	I	D	1	5	41978	-47322	楕円形	0.33	0.25	0.17
—		505	I	D	1	5	41978	-47323	楕円形	0.21	0.15	0.11
—		506	I	D	1	5	41980	-47323	楕円形	0.39	0.24	0.16
—		507	I	D	1	5	41983	-47324	楕円形	0.27	0.24	0.20
—		508	I	B	1	5	41905	-47294	楕円形	0.48	0.32	0.24・0.14
—		509	I	B	1	5	41904	-47293	不整形	0.49	0.35	0.29・0.12
—		510	I	B	1	5	41903	-47292	楕円形	0.51	0.30	0.29・0.17
—		511	I	B	1	5	41901	-47293	不整形	0.41	0.30	0.27・0.22
—		512	I	B	1	5	41900	-47294	楕円形	0.34	0.26	0.20・0.08
—		513	I	B	1	5	41901	-47296	楕円形	0.33	0.28	0.27
—		514	I	B	1	5	41903	-47297	楕円形	0.38	0.32	0.32・0.22
—		515	I	B	1	5	41904	-47296	楕円形	0.38	0.36	0.29・0.20



7 土坑



第119図 1～3区土坑位置図

### 第3章 確認された遺構と遺物

検出された土坑は、1区133基、2区44基、3区1基、合計178基であった。1区からの検出が最も多く、2区・3区と調査地の東側になるにしたがって減少する傾向にある。地形的な要因からくる土地利用のあり方に起因すると考えられ、3区は生産域として弥生時代以降は位置づけられてきたと考えられる(第119図)。

1区から検出した土坑は、すべて表土掘削後に遺構確認されたもので、面による把握がなされていない。それに対し、2区は、2面・2～3面・3面・4面から、3区では、1面からそれぞれ検出され、面によるおよその時期把握ができる。

土坑からの出土遺物は極めて少なく、遺構の性格を明らかにすることができる遺物はない。掲載遺物以外の出土遺物は、土坑一覧表に記載した。

ここでは、各区・地点・検出面に分けて整理し、報告することとした。各土坑の計測値等の詳細については、第7表の土坑一覧表を参照されたい。また、土坑の土層注記中に白色軽石とされたものについては、宮久保遺跡のテフラ分析結果を踏まえ、Hr-FA・As-C軽石とし、その他については注記通りとした。

#### 1区

##### A(第121図)

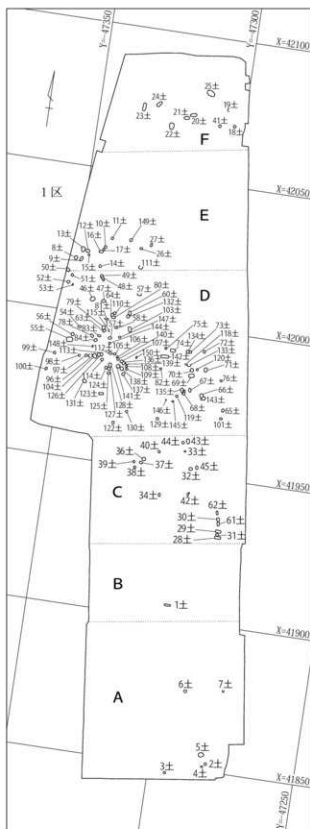
2～7号土坑の6基を検出した。いずれも楕円・円形を呈し、重複関係はない。2・4・5号土坑は、近接しているが、3・6・7号土坑は、単独で点在する。2号土坑は、深さ0.68mと深く掘り込まれ、井戸の可能性がある。覆土上層に多量の大小の河床礫を含み、人為的に礫が遺棄されたと考えられる。3・4・6・7号土坑は、掘り込みは浅い。3号土坑は、2段に掘り込まれている。5号土坑は、長軸1.75mを計り、断面箱状のしっかりした掘り込みを持ち、下層に大小の河床礫を多く含む。

##### B(第122図)

1号土坑1基を検出した。不定型な長円状を呈し、掘り込みは深くない。径0.25mの小ピットを伴う。

##### C(第123図)

合計18基の土坑が検出した。28・29・31号土坑は、長軸を東西方向に持ち、南北に並存する。28号土坑からは、人歯(第4章自然科学分析第1節馬歯・人歯の鑑定参照)が出土しており、遺構の性格を知る手がかりとな



第120図 1区土坑位置図

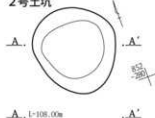
ろう。中央にある31号土坑は、不定形状を呈し、28・29号土坑に比して長軸が短い。いずれも確認面からの掘り込みは浅い。これら3基の土坑は、位置関係・形状から関連性の深い土坑群とすることができる。この土坑群の北側にある30・61・62号土坑も、主軸方位こそ違っているが、同様の土坑群とすることができる。南北に長軸を持ち、30・61号土坑は重複するとともに、62号土坑と3基が南北に並存する。61・62号土坑は、掘り込みが浅いが、30号土坑は、断面葉研状の掘り方を持つ。これらは、3基の土坑のまとまりと捉えられる。これら6基の土坑の形状や位置関係から、28・29・31号土坑のまとまりと30・61・62号土坑のまとまりを合わせ、一群と捉えるこ

とができる。28号土坑からの人歯の出土は、これらの土坑のいくつかが墓坑である可能性を示していると考えられる。

36～39号土坑4基は、形状や位置関係から一つのまとまりとすることができる。36号土坑は、17号住居と重複しているが、住居より新しい。これらの土坑は、いずれも楕円・円形状を呈す。36号土坑は、掘り込みが深いのに対し、37～39号土坑の3基は、掘り込みは浅く、いずれも覆土中に焼土粒子が含まれ、炭化物を含む土坑もある。これらの3基の土坑は、同一の特殊な性格を有するものと考えられる。

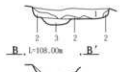
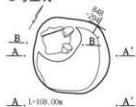
34・40号土坑は、単独検出で、いずれもHr-FA・As-C

## 2号土坑



- 1 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を少量、礫を多量に含む。
- 2 暗褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土 しりあり。粘質土。ローム粒を含む。
- 4 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ローム粒を多く含む。

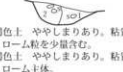
## 3号土坑



- 1 暗褐色土 ややしりあり。白色軽石。ロームブロックを少量含む。
- 2 黄褐色土 ややしりあり。粘質土。ローム主体。
- 3 暗褐色土 しりあり。白色軽石。ローム粒を少量含む。

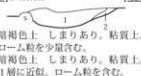
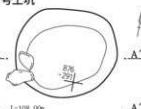
第121図 1区A土坑

## 4号土坑



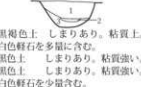
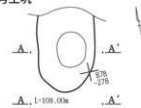
- 1 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 黄褐色土 ややしりあり。粘質土。ローム主体。

## 6号土坑



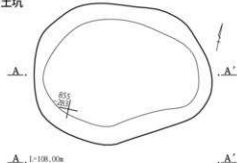
- 1 暗褐色土 しりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しりあり。粘質土。1層に近似。ローム粒を含む。

## 7号土坑



- 1 黒褐色土 しりあり。粘質土。白色軽石を多量に含む。
- 2 黒色土 しりあり。粘質強い。
- 3 黒色土 しりあり。粘質強い。白色軽石を少量含む。

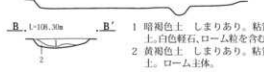
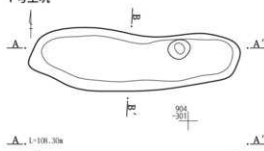
## 5号土坑



- 1 暗褐色土 ややしりあり。ローム粒。礫を少量含む。
- 2 暗褐色土 礫を多量に含む。

0 1:40 1m

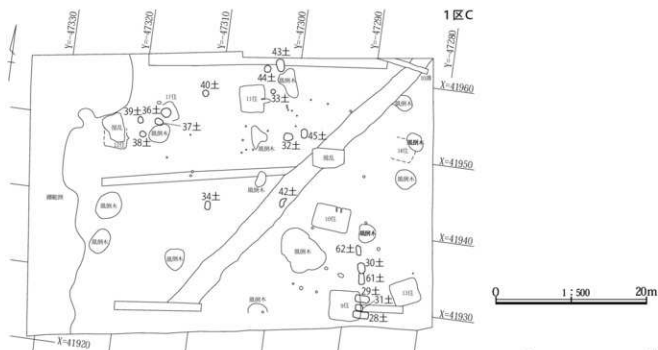
## 1号土坑



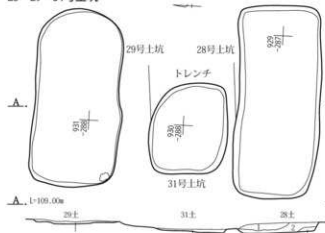
- 1 暗褐色土 しりあり。粘質土。白色軽石。ローム粒を含む。
- 2 黄褐色土 しりあり。粘質土。ローム主体。

0 1:40 1m

第122図 1区B土坑

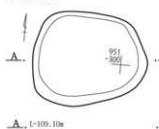


28・29・31号土坑



- 28号土坑 1 暗褐色土 ややしまりあり。白色軽石、ロームブロック・ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしまりあり。白色軽石を少量含む。  
 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。  
 29号土坑 1 暗褐色土 軟質。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 31号土坑 1 暗褐色土 軟質。ロームブロック・ローム粒を含む。

32号土坑



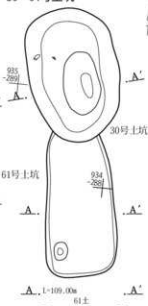
33号土坑

- 32号土坑 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。  
 33号土坑 1 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色軽石、ローム粒を含む。  
 2 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム主体。

34号土坑

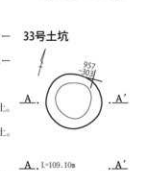
- 34号土坑 1 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色軽石を多量に含む。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

30・61号土坑



- 30号土坑 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色軽石、ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を少量含む。  
 3 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。

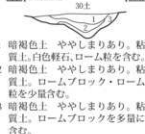
62号土坑



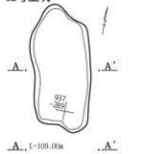
33号土坑

- 33号土坑 1 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色軽石を多量に含む。ロームブロック・ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

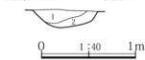
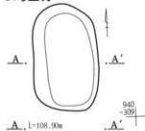
30号土坑



62号土坑

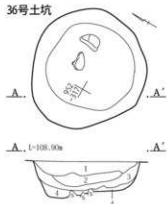


34号土坑



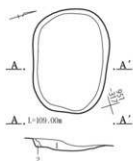
第123図 1区C土坑位置図と土坑1

36号土坑



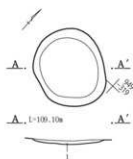
- 1 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒と暗褐色土の混土。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。
- 3 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 4 暗褐色土 粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。

37号土坑



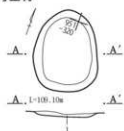
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。焼土粒・炭化物、ローム粒を含む。
- 2 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム主体。

38号土坑



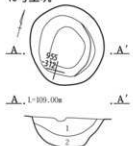
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土粒、ロームブロック・ローム粒を少量含む。

39号土坑



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。焼土粒、ロームブロック・ローム粒を少量含む。

40号土坑



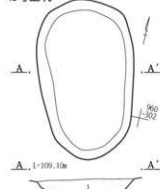
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を多量に含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。

42号土坑



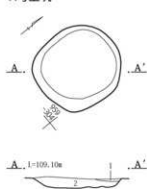
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ローム粒を含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。

43号土坑



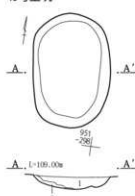
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。

44号土坑



- 1 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム主体。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ロームブロックを含む。

45号土坑



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。
- 2 黄褐色土 しまりあり。粘質土。ローム主体。



第124図 1区C土坑2

軽石を多量に含み、浅いU字状の断面を持つ。42号土坑も単独検出で、5号溝と重複、本遺構が新しい。覆土中にHr-FA・As-C軽石を含み、底面は河床礫で構成される。32・45号土坑は、隣接して検出した。長軸方向は異なるが、いずれも楕円形で丸底状の底面を持つ。33・43・44号土坑も隣接する。規模・形状はそれぞれ異なるが、33・44号土坑は、覆土中にHr-FA・As-C軽石を含む。いずれも底面は丸底状を呈す。

#### D・E (D第25～132図・E第133・134図)

1区D・Eの検出土坑は、土坑群のまとまりの様子から、D・Eで区分せずに合わせて報告したい。

1区D・Eからは、最も多くの土坑が検出している。1区Dから85基、1区Eから12基、総数97基を数える。当該区の土坑は、位置関係から大きく3つの群で捉えることができる。コの字状に区画域を持つ4号溝周辺にこれら土坑群のまとまりがあり、4号溝の南辺部の一群、4号溝南西隅の一群、4号溝西辺部の一群の三群におよそ分けられる。また、いずれの群からも位置的に離れる単独検出の土坑3基がある。

#### 【単独検出の土坑】

前述の単独検出の122・129・130号土坑は、円形または円形に近い楕円形を呈し、断面U字状の掘り込みで、覆土中にHr-FA・As-C軽石を含む。

#### 【4号溝の南辺部の一群】

24基が認められた。4号溝の区画内外に分布し、4号溝と重複関係にある土坑も2基ある。4号溝区画内には総計6基、他は区画外にある。この一群の南東部にある65・101号土坑は、先述の122・129・130号土坑と同様に単独検出の傾向にあるが、ここで扱うこととする。

形状は、極めて不定形なものもあるが、基本的には大きく2つに分けられる。円形・隅丸方形・円形に近い楕円形状のものと短軸と長軸の比が2：3以上の長円または長方形のもの2者がある。

143号土坑は、突出部を持つ不定形状を呈し、底面に3つの小ピットを伴うもので、66号土坑と重複し、66号土坑より古い。

円形・隅丸方形・楕円形の土坑には、65・66・70・72・73・76・82・101・118・119・120・133・134・145・146号土坑がある。平面形状・規模、断面形状、覆土(埋没土層)の構成などから考えてみたい。

掘り込みの深いものには、119・120・145号土坑がある。119・145号土坑は断面葉研状(底面は丸みを帯びる)の掘り方を持ち、位置的には隣接して、27号住居を破壊して穿たれている。119号土坑は覆土中にAs-B軽石およびHr-FA・As-C軽石、145号土坑は、As-B軽石を含んでいる。120号土坑は、深さ0.45mとやや浅いが、断面丸底の葉研状の掘り込みで、多量の河床礫が遺棄されている。これら3基の土坑は、水位との関係もあるが、井戸の可能性が十分にある。

覆土中に焼土・炭化物等を含む土坑としては、66・73・74・75・101号土坑がある。73号土坑では下層から骨片(骨粉状のもの)が認められ、墓坑の可能性が高い。また、73号土坑と東西方向に並列する74・75号土坑では、炭化物および白色粒子が覆土中に含まれており、その関連性が注目される。

覆土中に火山噴出物の軽石が含まれる土坑は、As-B軽石を含むものとしては70・76号土坑、Hr-FA・As-C軽石を含むものとしては72・82号土坑がある。65・118・133・146号土坑は、覆土中に火山噴出物は認められない。

重複関係にあるものとしては、73号土坑と134号土坑では134号土坑が新しく、118・133号土坑・4号溝では、28号住居も絡めて、28号住居→118号土坑→133号土坑→4号溝という時間軸の流れが認められた。146号土坑は27号住居と重複し、27号住居が新しい。

後者の短軸と長軸の比が2：3以上の土坑は、長円状のものが67・68号土坑、方形状のものが69・71・74・75・135・142号土坑である。

67・68号土坑は規模と形状に若干の違いがあるが、隣接している。いずれも断面は丸底状を呈し、覆土中にAs-B軽石が含まれる。68号土坑は135号土坑と重複し、68号土坑が新しい。135号土坑からは陶器小壺1が出土。

方形状の土坑のうち、69・135・142号土坑は、覆土中にAs-B軽石を含み、箱状の底面をなす。74・75号土坑は覆土中に炭化物を含むもので、75号土坑は規模が小さい。71号土坑は、丸底状の底面を有し、掘り込みも浅い。

#### 【4号溝南西隅の一群】

49基が認められた。4号溝と重複するものが1基あり、区画内には総計4基、他はすべて区画外であった。土坑の平面形状は、円形・隅丸方形・円形に近い楕円形状のものと4号溝西辺部の一群の2者がある。他に、不定形

なものの5基がある。4号溝南辺部の一帯と比べ、短軸と長軸の比が2:3以上の長円または長方形のもの5基と少なく、楕円形・隅丸方形・円形のものが多い傾向にある。

不定形な平面形を有すものには、56・100・104・105・139号土坑がある。底面は丸底状で、小ピットを伴う105号土坑や掘り込みの浅い100号土坑がある。

後者の長方形の81・103・123号土坑は、箱状の底面を有し、123号土坑は掘り込みが浅い。60・106・150号土坑は長円形の平面形を有し、106号土坑は2段に掘り込まれるが、60・106号土坑の深さは浅いものである。

前者の土坑のうち、55・64・84号土坑は、方形または隅丸方形を呈す土坑で、いずれも掘り込みは浅く、丸底を呈す。55号土坑は規模が大きく、覆土中にHr-FA・As-C軽石を含み、礫の混入が認められた。円形を呈すものには、96・97・98・108・109・110・114・124・126号土坑がある。97・98号土坑は覆土中にHr-FA・As-C軽石を含み、丸底を呈す。109・110・114号土坑は覆土中に軽石を含み、114号土坑は箱状の底面を有し、焼きしめのある大型裏片1と、土師器片が出土している。96・124号土坑はAs-B軽石混土を覆土とし、丸底・箱状の底面を有す。108・126号土坑は丸底の底面を有し、108号土坑からは土師器片が出土している。

最も多く検出されたのが楕円形状の土坑である。楕円形状の土坑のうち、覆土中にHr-FA・As-C軽石が認められたのは、54・112・131号土坑である。いずれも丸底。131号土坑の掘り込みは浅く、小ピットを伴う。

58・63・78・79・80・83・84・99・113・147・148・157号土坑は、覆土中に軽石が含まれる一帯で、掘り込みの浅いものは、58・80・83・99号土坑でいずれも丸底を呈す。78号土坑は底面が2段に掘り込まれ、土師器・須恵器片が多く出土している。63号土坑は小ピット3基を伴い、As-B軽石混土を覆土とするものは、107・125・127号土坑で、しっかりした掘り込みである。107・113号土坑からは土師器片が出土。

覆土中に火山噴出物の軽石等が確認されなかった土坑は、115・128・132・136・137・138・140・141号土坑である。128号土坑は小ピットを伴い、132号土坑では礫の混入が確認された。136・138・141号土坑からは土師器片等の出土があり、136号土坑からは土師器裏1が出土している。

重複関係のある遺構は、以下の通り。①64号土坑が80・110号土坑と重複し、110号土坑→64号土坑→80号土坑という新旧関係。②79号土坑が210号ピットと重複し、79号土坑が古い。③96号土坑・7号溝・3号掘立柱建物が重複し、96号土坑→7号溝→3号掘立柱建物の順に新しくなる。④98号土坑と212号ピットと重複し、98号土坑が古い。⑤104号土坑と3号掘立柱建物が重複し、104号土坑が古い。⑥106・140号土坑が重複し、106号土坑が古い。⑦107・136号土坑が重複し、107号土坑が新しい。⑧113・126号土坑、113号土坑と3号掘立柱建物が重複し、3号掘立柱建物→126号土坑→113号土坑の順に新しくなる。⑨127・128号土坑が重複し、127号土坑が新しい。⑩139号土坑と4号溝が重複し、139号土坑が古い。⑪148号土坑と7号溝が重複し、148号土坑が古い。

#### 【4号溝西辺部の一帯】

総計23基が検出された。このうち、4号溝区画内にあるものは5基で、4号溝と重複関係にあるものはなかった。他は4号溝区画外で確認された。

最も多い形状は、楕円形11基であった。他には、円形2基、隅丸方形2基、短軸と長軸の比が2:3以上の長円形3基、不定形5基がある。

楕円形状の土坑には、8・10・14・15・46・47・51・51・53・57・140号土坑がある。いずれも軽石・Hr-FA・As-C軽石を覆土中に含むもので、丸底状の底面を持つ。8・57号土坑は掘り込みが浅いのに対し、10・46・47・52号土坑は深く掘り込まれている。14号土坑からは須恵器片が出土している。8号土坑は礫の混入が認められ、46号土坑の底面は起伏が確認されている。

11・48号土坑は円形状の土坑で、覆土中に軽石を含み、48号土坑は深く掘り込まれている。

12・111号土坑は隅丸方形で、111号土坑はAs-B軽石混土を覆土とし、掘り込みは浅いが箱状の断面を持つ。

9・27・50号土坑は長円形の土坑で、覆土中にHr-FA・As-C軽石または軽石を含むもので、50号土坑は掘り込みが深く、人為的に埋め戻された可能性が高い。

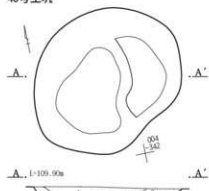
不定型な土坑としては、13・16・17・26・49号土坑がある。いずれも不規則な掘り込みの底面を持つ。

重複関係のある遺構は、以下の通り。①16・17号土坑が重複し、16号土坑が新しい。②48・49号土坑が重複し、16号土坑が新しい。③111号土坑と6号住居が重複し、111号土坑が新しい。

1区D



46号土坑



46号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石粒含む。
- 2 黄褐色土(10YR4/5) くすんだロームブロック。
- 3 褐色土(10YR4/4) 1層に近似。ローム粒多く含む。
- 4 褐色土(10YR4/4) 3層に近似。
- 5 黄褐色土(10YR5/6) 褐色土ブロック。くすんだローム主体。

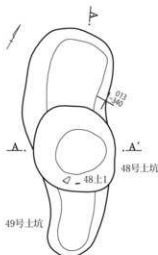
47号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石、ロームブロックを含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) ロームブロック多量を含む。

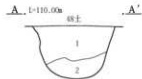
48号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 軽石粒、焼土粒含む。糞多量を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。軽石粒含む。

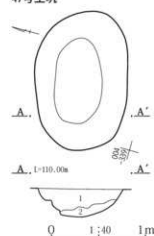
48・49号土坑



49号土坑



47号土坑



47号土坑



第125図 1区D土坑位置図と土坑1と出土遺物

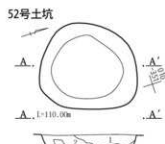




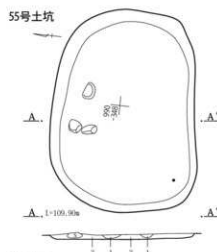
- 1 黒褐色土 ややしまりあり。粘質土。軽石粒を5%含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。軽石粒を2%含む。
- 3 暗褐色土 やや粘質土。黄褐色粘土ブロック主体。
- 4 暗褐色土 やや粘質土。褐色ブロックを3%含む。
- 5 黄褐色土 粘質土。暗褐色ブロックを含む。



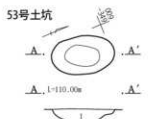
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石、くすんだロームブロックを含む。



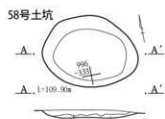
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石、くすんだロームブロックを含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) くすんだローム多量に含む。
- 3 にぶい暗褐色土(10YR4/3) 白色軽石、くすんだロームブロックを含む。



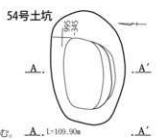
- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石を5%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。白色軽石を3%含む。



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石、くすんだロームブロックを含む。



- 1 暗褐色土 しまりあり。軽石粒を3%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。褐色粘土ブロックを少量含む。



54号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 白色軽石、くすんだロームブロックを混に含む。

- 2 黄褐色土(10YR5/6) ローム上に黄色・黒色ブロックを混に含む。

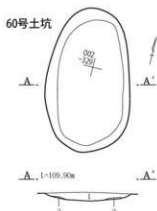
- 3 黄褐色土(10YR5/6) 1層に近似。



- 1 暗褐色土 やや粘質土。軽石粒を2%含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。黒色ブロックを含む。
- 3 褐色土 やや粘質土。軽石粒を少量含む。



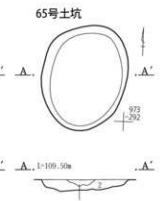
- 1 暗褐色土 しまりあり。軽石粒を3%含む。
- 2 褐色土 しまりあり。やや粘質土。暗褐色ブロックを含む。



- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を1%含む。褐色ブロックを含む。
- 2 褐色土 しまりあり。粘質土。



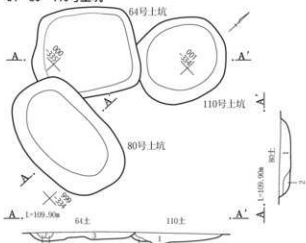
- 1 暗褐色土 しまりあり。軽石粒を2%含む。褐色粘土ブロック3%含む。



- 1 褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ロームブロックを含む。
- 3 黄褐色土 ローム主体。

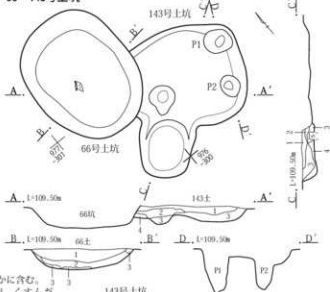
第126図 1区D土坑2

64・80・110号土坑



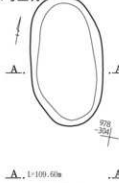
- 64号土坑  
 1 暗褐色土 やや粘質土。  
 2 暗褐色土 やや粘質土。褐色ブロックを少量含む。  
 3 黒褐色土 軽石粒を2%、褐色粘土ブロックを含む。
- 80号土坑  
 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒を僅かに含む。  
 2 褐色土(10YR4/4) 1層に近似。くすんだローム粒を含む。
- 110号土坑  
 1 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。白色軽石、炭化物粒を含む。  
 2 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ロームブロックを含む。

66・143号土坑



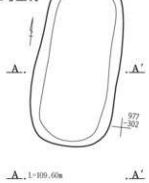
- 143号土坑  
 1 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。白色軽石を多量に、焼土粒、炭化物、ローム粒を含む。  
 2 赤褐色土 ややしりあり。粘質土。焼土、炭化物を含む。  
 3 暗褐色土 ややしりあり。粘質土。ロームブロックを含む。  
 4 黄褐色土(10YR5/6) しりあり。ローム主体。

67号土坑



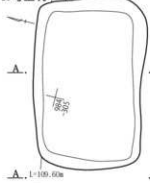
- 67号土坑  
 1 暗褐色土 しりあり。As-B 軽石、ローム粒を含む。  
 2 茶褐色土 しりあり。ロームブロックを含む。

68号土坑



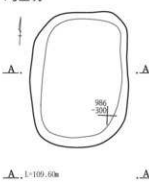
- 68号土坑  
 1 暗褐色土 しりあり。As-B 軽石、ローム粒を含む。  
 2 茶褐色土 しりあり。ロームブロックを含む。

69号土坑



- 69号土坑  
 1 暗褐色土 しりあり。As-B 軽石を含む。ロームブロックを多量に含む。  
 2 黒褐色土 しりあり。As-B 軽石を含む。  
 3 暗褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。

71号土坑



- 71号土坑  
 1 暗褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

70号土坑



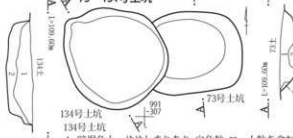
- 70号土坑  
 1 暗褐色土 ややしりあり。As-B 軽石を含む。  
 2 暗褐色土 ややしりあり。As-B 軽石を少量、ロームブロックを多量に含む。  
 3 暗褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。

72号土坑



- 72号土坑  
 1 黒褐色土 しりあり。白色軽石、ローム粒を含む。  
 2 茶褐色土 しりあり。粘質土。ローム粒を多量に含む。  
 3 黄褐色土 しりあり。ローム主体。

73・134号土坑

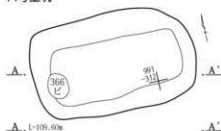


- 73号土坑  
 1 暗褐色土 しりあり。粘質土。白色軽石を含む。炭化物粒、焼土粒を少量含む。  
 2 暗褐色土 しりあり。粘質土。炭化物粒、骨片を含む。
- 134号土坑  
 1 暗褐色土 ややしりあり。白色軽石、ローム粒を含む。  
 2 暗褐色土 しりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。

第127図 1区D土坑3

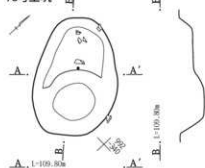
0 1:40 1m

74号土坑



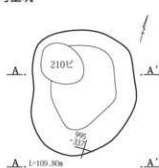
- 1 暗褐色土 ややしりあり、白色粒、炭化物粒、ロームブロックを含む。  
2 暗褐色土 しりあり。粘質土。ロームブロックを少量含む。

78号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒僅かに、土器片含む。  
2 褐色土(10YR4/4) 1層とくすんだローム上の混土。  
3 黄褐色土(10YR5/6) くすんだローム上。

79号土坑



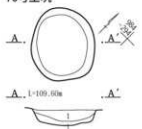
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒僅かに含む。

75号土坑

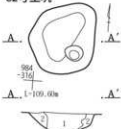


- 1 暗褐色土 ややしりあり。白色粒 1 暗褐色土 ややしりあり。As-B軽石、ローム粒を含む。を多量に、炭化物粒、ローム粒を含む。 2 茶褐色土 ややしりあり。ロームブロックを含む。

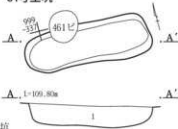
76号土坑



82号土坑

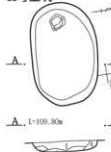


81号土坑

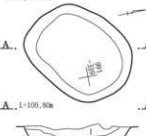


- 81号土坑  
1 暗褐色土 As-B軽石含む。くすんだロームブロックを混土。  
82号土坑  
1 暗褐色土 白色軽石、ロームブロックを含む。  
2 茶褐色土 しりあり。粘質土。

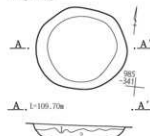
83号土坑



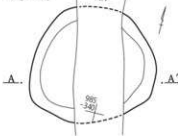
84号土坑



97号土坑



96号土坑



83号土坑

- 83号土坑  
1 暗褐色土 しりあり。軽石粒を5%含む。  
2 褐色土 しりあり。やや粘質土。軽石粒を3%含む。

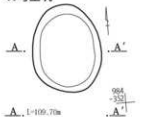
84号土坑

- 84号土坑  
1 灰黄褐色土(10YR4/2) 軽石粒を僅かに含む。ロームブロックを含む。  
2 黒褐色土(10YR3/2) 1層に近似。くすんだローム上。

97号土坑

- 97号土坑  
1 暗褐色土 白色軽石を少量、褐色ブロックを3%含む。  
2 暗褐色土 やや粘質土。褐色ローム土・黄褐色ブロックを含む。

99号土坑



100号土坑



96号土坑

- 96号土坑  
1 暗褐色土(10YR3/3) As-B軽石を多く、白色軽石を僅かに含む。  
2 暗褐色土(10YR3/4) As-B軽石を少量含む。ローム粒、褐色土粒を僅かに含む。

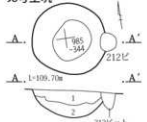
99号土坑

- 99号土坑  
1 黒褐色土 しりあり。軽石粒を2%含む。  
2 黄褐色土 ローム上。  
3 黒色土 粘質土。黒色ブロック含む。

100号土坑

- 100号土坑  
1 黒褐色土 しりあり。白色軽石を2%含む。  
2 にぶい黄褐色土 しりあり。粘質土。軽石粒を2%含む。  
3 暗褐色土 しりあり。やや粘質土。軽石粒を1%含む。  
4 黒褐色土 しりあり。黄褐色粘土を含む。

98号土坑

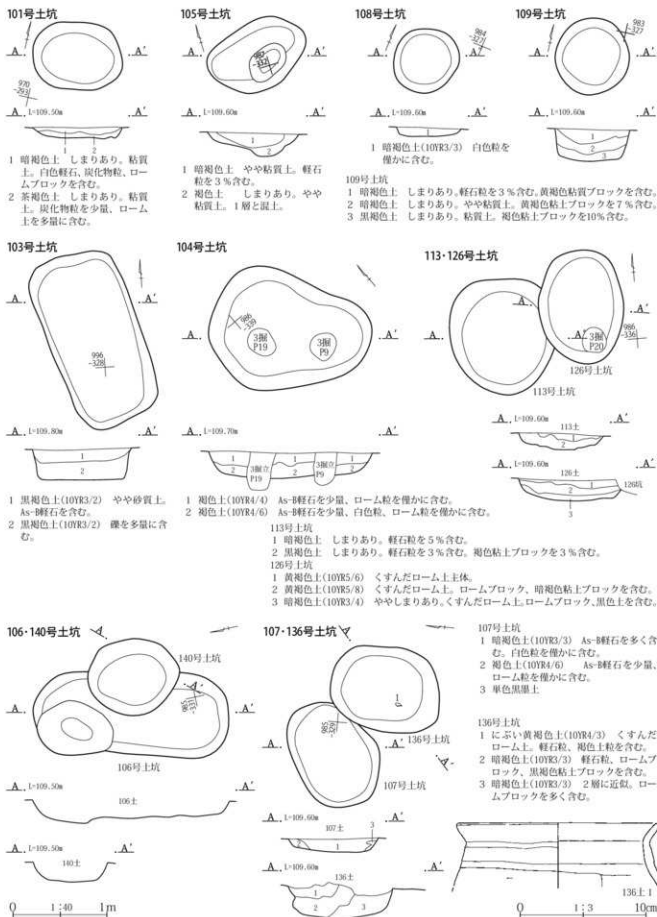


- 1 暗褐色土 白色軽石を少量含む。褐色ブロックを3%含む。  
2 暗褐色土 やや粘質土。褐色ロームブロック混土。

0 1:40 1m

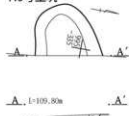
第128図 1区D土坑4

第3章 確認された遺構と遺物



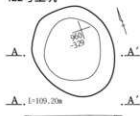
第129図 1区D土坑5と出土遺物

115号土坑



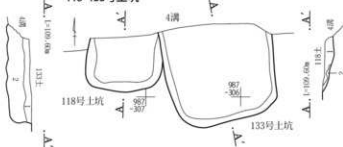
- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を5%含む。
- 2 黒褐色土 やや粘質土。軽石粒を3%含む。褐色粘土ブロックを30%含む。

122号土坑



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。軽石粒を2%含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。やや粘質土。暗褐色粘土ブロックを含む。

118・133号土坑



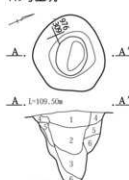
118号土坑

- 1 暗褐色土 ややしまりあり。白色粒、ロームブロックを多く含む。
- 2 茶褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム主体。

133号土坑

- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒含む。ローム粒を多量に含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。(10YR3/4)。ロームブロック、ローム粒を含む。

119号土坑



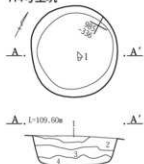
119号土坑

- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを含む。
- 2 黒褐色土 ややしまりあり。As-礫軽石。ローム粒を含む。
- 3 黒褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 4 暗褐色土 ややしまりあり。白色軽石、ロームブロックを含む。
- 5 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロックを多量含む。
- 6 暗褐色土 ややしまりあり。非常に粘質土。ロームブロックを少量含む。

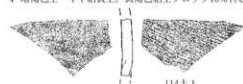
120号土坑

- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。礫を多く含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 3 暗褐色土 しまりあり。非常に粘質土。ロームブロックを含む。

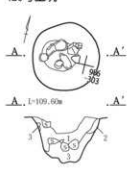
114号土坑



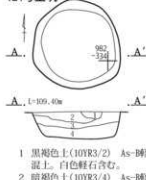
- 1 暗褐色土 しまりあり。軽石粒を1%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。褐色粘土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。褐色粘土ブロックを7%含む。
- 4 暗褐色土 やや粘質土。黄褐色粘土ブロック10%含む。



120号土坑



124号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-礫軽石混土。白色軽石含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) As-礫軽石混土。くすんだローム土と互層。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ロームブロックを含む。くすんだローム土主体。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土と褐色土の混土。

112号土坑



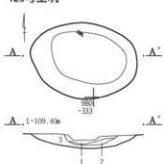
- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石を5%含む。
- 2 暗褐色土 やや粘質土。褐色粘土ブロックを含む。

123号土坑



- 1 暗褐色土 しまりあり。白色軽石を少量含む。褐灰色粘土ブロックを2%含む。

125号土坑



- 1 褐色土 褐灰色土と互層。
- 2 褐灰色土 しまりあり。砂と互層。
- 3 暗褐色土 As-礫軽石混土。軽石粒を含む。

0 1:4 10cm

114上1

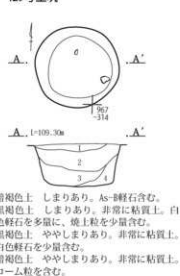
第130図 1区D土坑6と出土遺物

0 1:40 1m

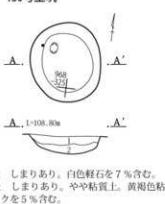
127・128号土坑



129号土坑



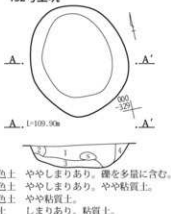
130号土坑



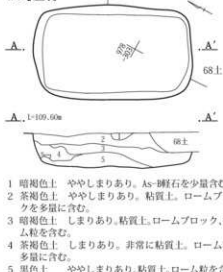
131号土坑



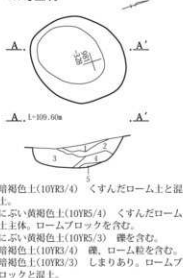
132号土坑



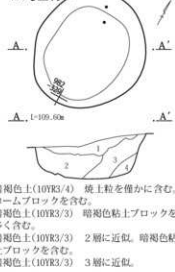
135号土坑



137号土坑

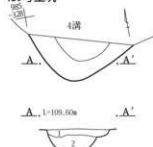


138号土坑



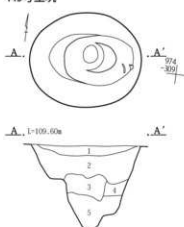
第131図 1区D土坑7と出土遺物

139号土坑



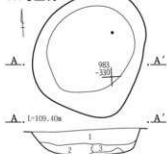
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石粒を多く含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) くすんだローム土と互層,ロームブロックを含む。

145号土坑



- 1 暗褐色土 ややしまりあり。As-B軽石、ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。As-B軽石、ロームブロックを少量含む。
- 3 黄褐色土 ややしまりあり。粘質土。暗褐色土と混上。
- 4 暗褐色土 しまりあり。ロームブロックを少量含む。
- 5 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を含む。

141号土坑



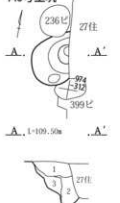
- 1 暗褐色土(10YR3/3) As-B軽石、ロームブロックを含む。
- 2 黄褐色土(10YR5/6) くすんだローム土。ロームブロック,黒褐色粘上ブロックを含む。
- 3 黄褐色土(10YR5/8) 2層に近似。ロームブロックを多く含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。ロームブロックを含む。

144号土坑



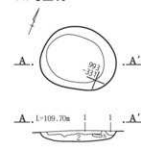
- 1 暗褐色土 しまりあり。白色軽石を7%含む。
- 2 褐色土 しまりあり。粘質土。
- 3 黄褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色粘上ブロックを含む。

146号土坑



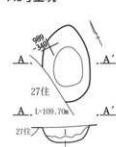
- 1 黄褐色土 粘質土。ロームブロック,暗褐色土と混上。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 3 暗褐色土 粘質土。ロームブロックを含む。

147号土坑



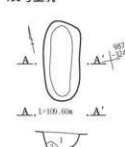
- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を5%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。軽石粒を1%、褐色粘上ブロックを含む。

148号土坑



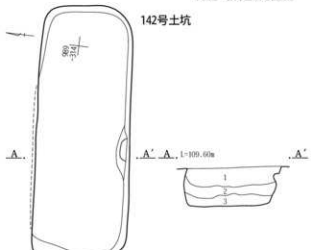
- 1 黒褐色土 しまりあり。白色軽石5%含む。
- 2 褐色土 やや粘質土。暗褐色粘上ブロックを含む。

150号土坑



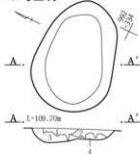
- 1 暗褐色土 しまりあり。軽石粒を1%含む。褐色粘上ブロックを含む。
- 2 褐色土 しまりあり。粘質土。暗褐色土を混上。

142号土坑



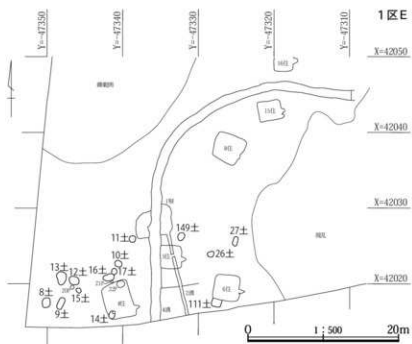
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。As-B軽石、白色粒、ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。白色粒を少量含む。ロームブロック・ローム粒を含む。
- 3 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

157号土坑



- 1 黒褐色土 しまりあり。軽石粒を3%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。軽石粒を1%、褐色粘上ブロックを含む。
- 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色土と混上。
- 4 褐色土 しまりあり。粘質土。

0 1:40 1m

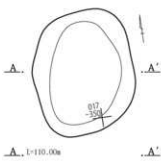


13号土坑



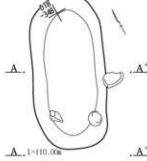
- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり、軽石粒を含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 1層に近似。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) くすんだローム土主体、軽石粒、ローム粒を含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを多く含む。
- 5 黄褐色土(10YR5/8) ローム土主体。

8号土坑



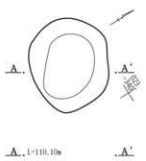
- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色軽石をやや多く含む。礫多量に混入。

9号土坑



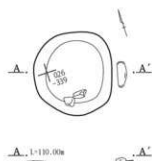
- 1 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。白色軽石をやや多く含む。礫多量に混入。

10号土坑



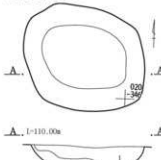
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒、ロームブロック、黒色土を含む。

11号土坑



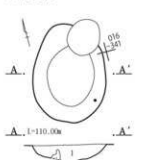
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒、ロームブロック、黒色土を含む。礫多量に混入。

12号土坑



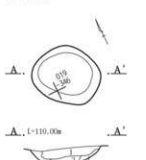
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒を僅かに含む。ロームブロック、黒色土、礫を含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) くすんだローム土主体、ロームブロック、礫を含む。

14号土坑



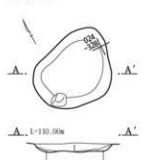
- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒、ローム粒を含む。

15号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒含む。炭化物片含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。軽石粒、ロームブロックを僅かに含む。
- 3 褐色土(10YR4/6) くすんだローム土主体。

26号土坑



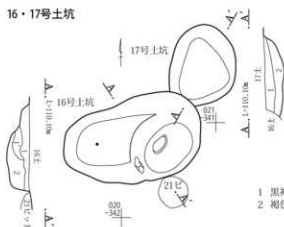
- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を2%含む。
- 2 褐色土 しまりあり。やや粘質土。ローム層。

0 1:40 1m

第133図 1区E土坑位置図と土坑1

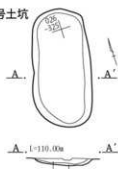


## 16・17号土坑



- 16号土坑  
 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。軽石粒を含む。  
 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。軽石粒を僅かに含む。  
 3 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒、ローム粒を含む。
- 17号土坑  
 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。軽石粒を含む。  
 2 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒、ローム粒を含む。

## 27号土坑



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を5%含む。  
 2 褐色土 シルト質。ローム層。

## 149号土坑



- 1 暗褐色土 しまりあり。やや粘質土。軽石粒を1%含む。  
 2 褐色土 しまりあり。やや粘質土。暗褐色土と混入。

## 111号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/4) As-8軽石を含む。白色粒を僅かに含む。礫多量に混入。

第134図 1区E土坑2

## F(第135・136図、PL.35)

1区Fからは、総計9基の土坑が検出された。河床礫の広がる範囲から5基の土坑が認められる。平面形状は、円形または円形に近い楕円形のもの3基と長軸が短軸の1.5倍以上の比を持つ長円状のもの6基がある。

18・19・41号土坑は円形・楕円形状を呈し、18・19号土坑は、軽石・炭化物を含み、丸底の底面を持つ。掘り

込みは浅いものの、調査時には燃焼施設との所見がもたれている。41号土坑も丸底の底面を持ち、覆土中に軽石が認められた。

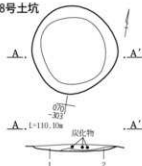
20～25号土坑の6基は、やや不定型な長円状を呈し、25号土坑は丸底の浅い掘り込みであるのに対し、他は逆台形状に深く掘り込まれ、多少の差はあるがいずれも礫の混入が認められる。

## 1区F

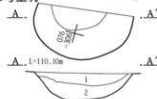


- 18号土坑  
 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒、炭化物含む。暗褐色粘土ブロックを含む。  
 2 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物を僅かに含む。
- 19号土坑  
 1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒を含む。  
 2 黒土(10YR2/1) 軽石粒を僅かに含む。炭化物を含む。

## 18号土坑

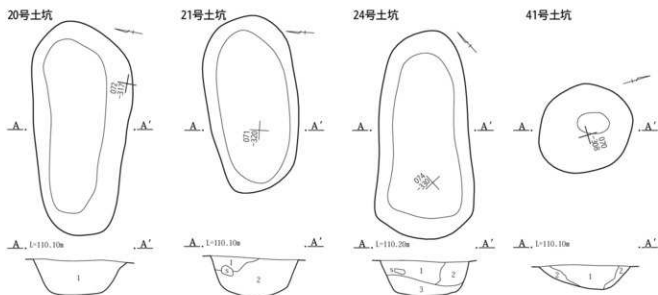


## 19号土坑



第135図 1区F土坑位置図と土坑1

第3章 確認された遺構と遺物

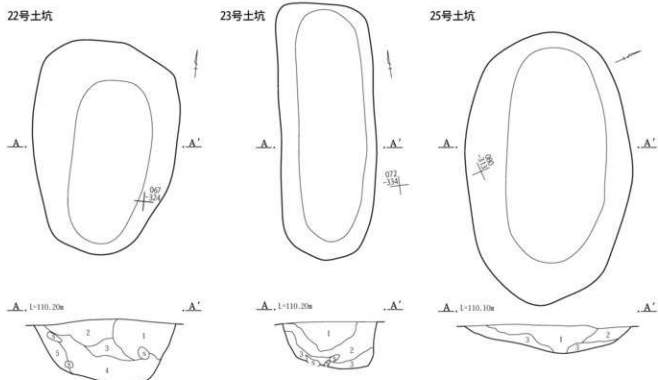


1 褐色土(10YR4/5) 礫多量に混入。

1 褐色土(10YR4/4) 軽石粒を僅かに含む。  
2 褐色土(10YR4/4) 礫多量に混入。

1 黒褐色土 しまりあり。礫を5%含む。  
2 褐色土 しまりあり。  
3 黄褐色土 礫を多量に混入。

1 黒褐色土 しまりあり。やや粘質土。軽石粒を1%含む。  
2 褐色土 しまりあり。やや粘質土。



1 黄褐色土(10YR5/6) 礫多量に混入。  
2 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒を含む。  
3 褐色土(10YR4/4) 2層に近似。  
4 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。やや粘質土。礫多量に混入。  
5 明黄褐色土(10YR6/6)くすんだローム土。礫を含む。

1 黒褐色土 しまりあり。やや粘質土。軽石粒を3%含む。  
2 褐色土 やや粘質土。軽石粒を1%含む。  
3 黄褐色土 礫を多量に含む。ローム層。

1 黒褐色土(10YR3/2) 軽石粒を僅かに含む。  
2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) くすんだローム土。  
3 灰黄褐色土(2.5Y4/2) くすんだローム土。暗褐色土、ロームブロックを含む。

0 1:40 1m

第136図 1区F土坑2

## 2区

2区からは総計44基検出している。ここでは、検出毎に整理し報告したい。

## 2面(第137図、PL.53)

2基の土坑が検出された。2区1に位置するが、いずれも単独で確認されている。165号土坑は円形状を呈し、覆土中にAs-B軽石を含み、断面U字状に深く掘り込まれている。166号土坑は不定形な形状で、底面は不規則な起伏があり、覆土中にAs-B軽石が含まれる。

## 2・3面(第138・139図、PL.50～53)

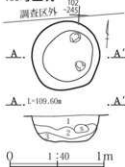
16基の土坑が検出された。これらの土坑は、2区Bに帯状に点在し、2面とも3面どちらとも確定できない一群であるが、精査の結果2面相当であると結論づけた。

116・117・121号土坑は、不定型な長円形状・円形状を呈し、他の土坑群とは趣を異にしている。隣接して検出され、多量の礫・As-B軽石混土・Hr-FA・As-C軽石を含み、規則性のない掘り方向を持つことを特徴としている。溜井状の遺構または礫を遺棄するための掘り込みと捉えることはできるが、限定できるものではない。

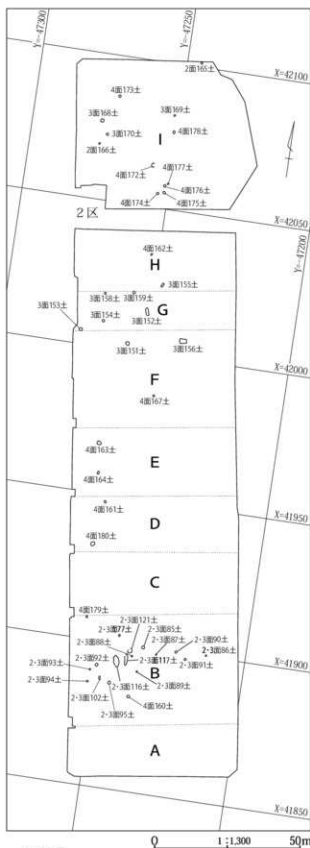
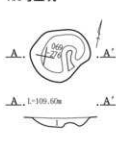
77・102号土坑は、いずれも方形形状を呈し、As-B混土を覆土とする。102号土坑は長軸が長く、底面に2つのピットが伴い、77号土坑は浅い丸底状底面。

他の85～95号土坑の11基は、いずれも円形もしくは円形に近い楕円形で、As-B軽石混土を基本的に覆土としている。89・92・93号土坑の掘り込みは浅く、他は逆台形または箱形の断面形状を呈する深めの掘り方向を持つ。85・88号土坑の覆土中には、As-B軽石の灰ブロックが混入し、86・87・88・89・91・92・93・94・95号土坑は、覆土中にHr-FA・As-C軽石が含まれている。これらの土坑は、規模の違いはあるものの、ある一定の期間内に掘削された、同様の性格を持つ遺構と考えられる。

## 165号土坑



## 166号土坑



## 165号土坑

1 暗褐色土(10R3/3) As-B軽石を5%含む。しまりあり。

2 暗褐色土(10R3/3) しまりあり。

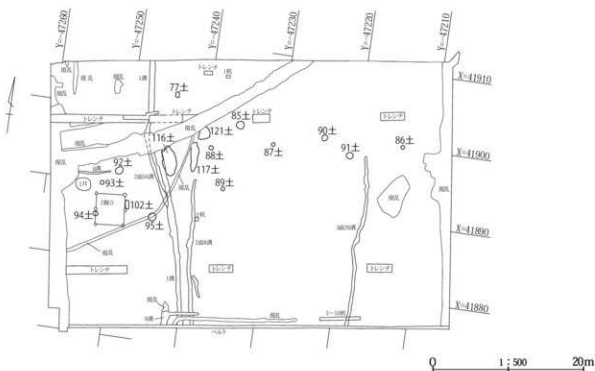
3 黒褐色土(10R3/2) しまりあり。粘質土。

## 166号土坑

1 暗褐色土(10R3/3) As-B軽石を5%含む。しまりあり。粘質土。

第137図 2区土坑位置図と12面土坑

2区B

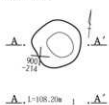


77号土坑



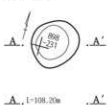
1 黒褐色土(10YR2/2) As-B輝石を含む,シルト質,粘質土。

86号土坑



1 暗褐色土(10YR3/4) As-B輝石混上。砂質土。  
2 暗褐色土(10YR3/4) Hr-FA・As-C軽石を少量含む。粘質土。黒色土ブロックを含む。

87号土坑



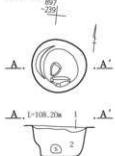
1 暗褐色土(10YR3/4) As-B輝石混上。砂質土。黒色土ブロックを含む。

85号土坑



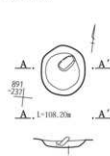
1 黒褐色土(10YR3/2) As-B輝石混上。Hr-FA・As-C軽石を少量含む。しまりあり。  
2 暗褐色土(10YR3/4) As-B輝石混上。シルト質。As-C軽石を含む。黒色土ブロックを含む。

88号土坑



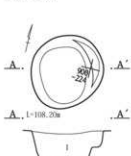
1 褐色土(10YR4/4) As-B軽石混上。Hr-FA・As-C軽石を少量含む。しまりあり。  
2 暗褐色土(10YR3/4) As-B軽石僅かに含む。シルト質。やや粘質土。

89号土坑



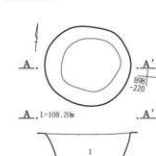
1 暗褐色土(10YR3/4) As-B輝石混上。Hr-FAかAs-C軽石を含む。シルト質。やや粘質土。

90号土坑



1 暗褐色土(10YR3/3) As-B輝石を僅かに含む,黒色土ブロック少量含む。シルト質。やや粘質土。

91号土坑



1 暗褐色土(10YR3/4) As-B輝石混上。Hr-FA・As-C軽石を少量含む。やや粘質土。

0 1:40 1m

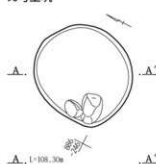
第138図 2区B 2・3面土坑位置図と土坑1

92号土坑



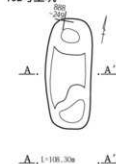
- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石を少量含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) As-B軽石混土。As-C軽石含む。黒褐色土ブロックを含む。シルト質。

95号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石、ロームブロックを少量含む。しまりあり。

102号土坑



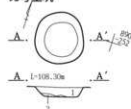
102号土坑

- 1 黒褐色土(10YR2/2) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石、ロームブロックを少量含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) やや粘質土。

121号土坑

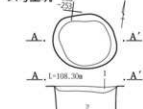
- 1 暗褐色土(10YR3/4) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石を少量含む。砂質土。シルト質。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石、ロームブロックを含む。

93号土坑



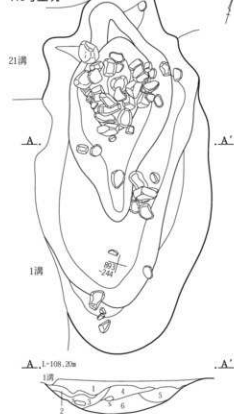
- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石、ロームブロックを少量含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) やや粘質土。

94号土坑

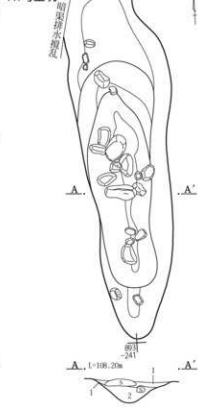


- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-B軽石混土。Hr-FA・As-C軽石、ロームブロックを少量含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) やや粘質土。

116号土坑



117号土坑



116号土坑

- 1 黒褐色土(10YR3/2) As-B軽石混土。しまりあり。砂質土。Hr-FA・As-C軽石僅かに含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) As-B軽石混土。やや粘質、シルト質土。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。砂質土。
- 4 灰黄褐色土(10YR4/2) As-B混土層を僅かに含む。粘質土。
- 5 黒褐色土(10YR3/2) Hr-FA・As-B軽石、ロームブロックを少量含む。シルト質。
- 6 褐色土(10YR4/4) As-B軽石、ロームブロックを少量含む。粘質土。

117号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/4) As-B軽石混土。シルト質。Hr-FA・As-C軽石を少量含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 1層に近似。軽石含む砂質土。

0 1:40 1m

第139図 2区B 2・3面土坑2

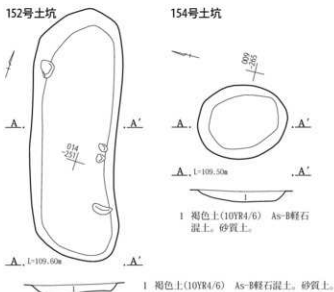
3面(第140～143図、PL.54)

総計11基が検出された。2区F 3基、2区G 4基、2区H 1基、2区I 3基である。平面形状は、円形・楕円形状のものが6基と多く、方形状3基、長円形状・不定形状のものがそれぞれ1基であった。これらの土坑は、いずれもAs-B軽石混土を覆土とする。

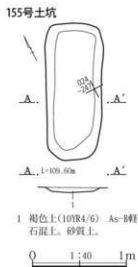
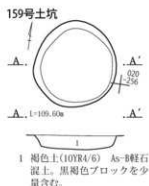
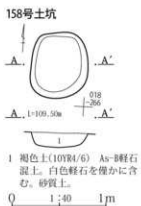
楕円形状の153・154号土坑は、丸底を呈し、153号土坑は礫が混入する。159・168～170号土坑は円形状を呈し、159号土坑は逆台形の断面を有し、他は丸底状の底面であった。168号土坑は底面に炭化物の面が確認された。

155・156・158号土坑は方形形状を呈し、155・156号土坑は短軸の2倍程度の長軸を有し、いずれも浅い掘り込みであった。158号土坑は、Hr-FA・As-C軽石を含み丸底状の底面を持つ。

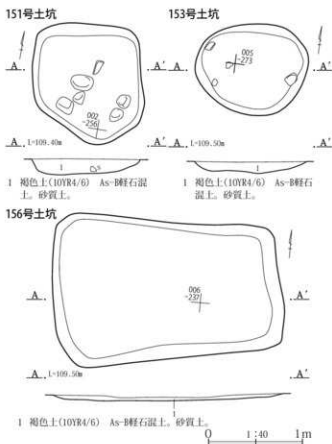
長円形状の152号土坑と不定形状の151号土坑は、覆土中に礫の混入が認められ、丸底を呈す。



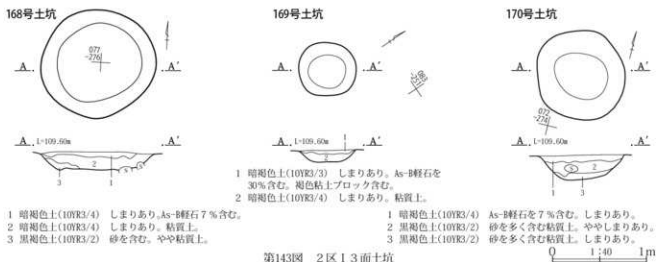
第141図 2区G 3面土坑



第142図 2区H 3面土坑



第140図 2区F 3面土坑



## 4面(第144～150図、PL52・55)

総計15基の土坑が検出された。2区B・C・F・Hで各1基、2区D・Eで各2基、2区Iで7基であった。円形もしくは楕円形のもの10基、不定形状のものが4基、方形のもの1基である。それぞれの平・断面形状や依存状況、検出位置などから、いくつかのまとまりが考えられる。

土坑底面や壁面に焼土面が確認されたものとして、163・178～180号土坑がある。それぞれ平面形状は、方形・楕円形・不定形状と異なるが、火の使用という共通項があり、掘り込みはいずれも浅いものである。163号土坑はピットを3基併い、やや不規則な掘り込みであった。

174～177号土坑4基は隣接した位置関係にあり、174～176号土坑の3基は、覆土中にHr-FA-As-C軽石を含み、断面逆台形を呈すもので、平面形状とともに類似傾向に

## 160号土坑



ある。

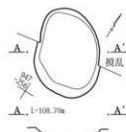
近隣に土坑が無く、単独で検出された土坑は、160・161・162・167・173号土坑で、形状はいずれも円形または楕円形を呈す。詳細不明の161号土坑以外は、覆土中にHr-FA-As-C軽石を含み、そのうち160号土坑は丸底状の深い掘り込みで、多量の礫が遺棄されていた。162号土坑についても礫の混入が認められた。167号土坑は、丸底状の底面を有し、人為的に埋め戻された可能性が高い覆土の状況であった。

164・172号土坑は、不定形状を呈し、重複関係を持つ。164号土坑は、415号ピットと重複し、415号ピットが新しい。凹凸のある底面を有し、覆土中に軽石を含む。172号土坑は、3号竪穴状遺構と重複し、3号竪穴状遺構が新しい。Hr-FA-As-C軽石を覆土中に含み、丸底状の底面を有す。180号土坑は26号溝と重複し、180号土坑が新しい。

## 179号土坑



161号土坑

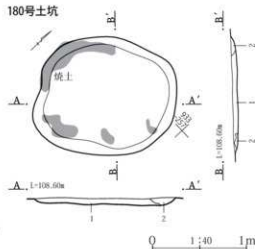


180号土坑

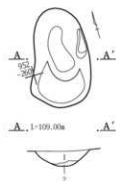
- 1 暗褐色土 砂やしまりあり。焼土粒を少量含む。
- 2 赤褐色土 砂やしまりあり。粘質土。焼土を多量に含む。

第146図 2区D4面土坑

180号土坑

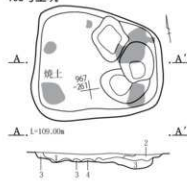


164号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/3) 軽石を少量含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 軽石を僅かに含む。褐色粘土含む。砂やしまりあり。

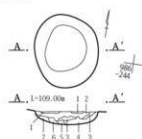
163号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/4) 軽石を5%含む。黄褐色土粒含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 軽石を2%含む。黄褐色土粒含む。しまりあり。やや粘質土。
- 3 褐色土(10YR4/6) 黄褐色土粒含む。しまりあり。粘質土。
- 4 黄褐色土(10YR5/6) しまりあり。粘質土。

第147図 2区E4面土坑

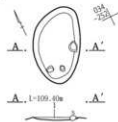
167号土坑



- 1 黒褐色土(10YR3/2) 白色軽石を5%含む。しまりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 白色軽石を1%含む。しまりあり。粘質土。
- 3 灰黄褐色土(10YR5/2) 砂を含む。しまりあり。粘質土。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。黄褐色粘土ブロック含む。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。灰黄褐色土を混土。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。
- 7 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。

第148図 2区F4面土坑

162号土坑

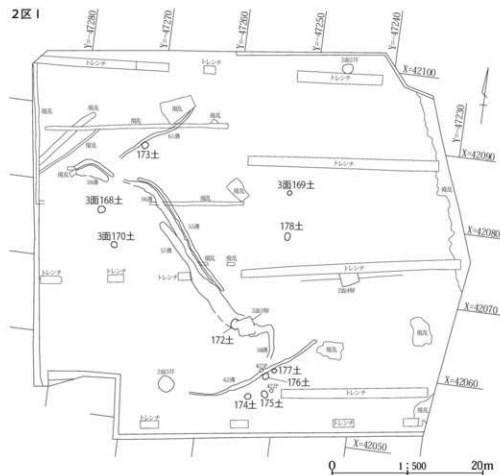


- 1 黒褐色土(10YR3/2) Hr-FA-As-C軽石、炭化物を含む。しまりあり。粘質土。

第149図 2区H4面土坑



## 2区1

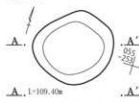


## 173号土坑



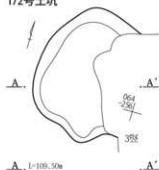
- 1 暗褐色土 しまりあり。白色軽石含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。ローム粒を少量含む。
- 3 暗褐色土 さらさら、軟質土。ローム粒を少量含む。

## 174号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。白色軽石3%含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。にぶい黄褐色粘土ブロック含む。

## 172号土坑



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ロームブロック・ローム粒を含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒含む。

## 176号土坑

- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。白色軽石3%、褐色粘土ブロック7%含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。白色軽石1%、褐色粘土ブロック10%含む。
- 3 褐色土(10YR4/4) 暗褐色土と混上。しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロック5%含む。

## 178号土坑

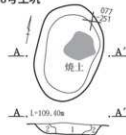
- 1 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 ややしまりあり。粘質土。焼土ブロックを多量に含む。

## 177号土坑

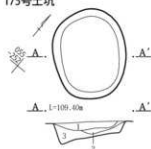


- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。やや粘質土。軽石粒を3%含む。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。粘質土。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。やや粘質土。軽石粒を10%含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。やや粘質土。軽石粒を1%含む。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。やや粘質土。軽石粒を3%含む。
- 6 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロック20%含む。

## 178号土坑

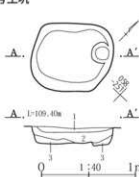


## 175号土坑



- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。白色軽石・黄色軽石を3%含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。褐色粘土ブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。褐色粘土を含む。

## 176号土坑

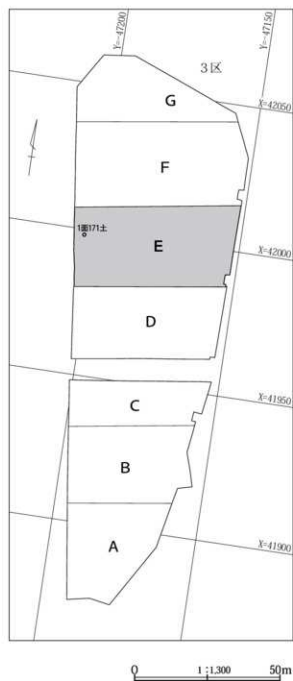
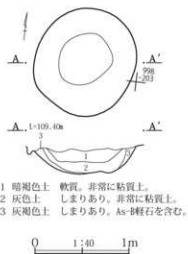


第150図 2区14面土坑位置図と土坑

3区(第151図、PL. 55)

3区は1面から、1基の土坑(171号土坑)が単独で検出されたのみである。3区E1面からの検出で、平面形状は円形で、丸底状の底面を有し、As-B軽石が覆土中に含まれる。

171号土坑



第151図 3区土坑位置図とE1面土坑

第7表 土坑計測一覧表

種別 図号	写真図版 PL	号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	主軸方位	備考
第1228	PL.41	1	B	4	X=41904	Y=-47300~302	不定形	2.18	0.58	0.10	N-89°-W	
第1210	PL.41	2	A	1~5	X=41852	Y=-47280~281	楕円形	0.86	0.78	0.68	N-3°-W	礎石入。井戸か。
第1210	PL.41	3	A	4	X=41847	Y=-47293~294	ほぼ円形	0.83	0.80	0.19	N-9°-E	二段底状。
第1210	PL.41	4	A	1~5	X=41851	Y=-47281~282	楕円形	0.70	0.56	0.20	N-88°-E	
第1218	PL.41	5	A	1~5	X=41854~856	Y=-47281~283	楕円形	1.75	1.35	0.34	N-78°-E	礎石入。
第1218	PL.41	6	A	1~5	X=41875~876	Y=-47290~291	楕円形	1.08	0.93	0.19	N-80°-E	礎石入。
第1218	PL.41	7	A	4	X=41877~878	Y=-47277~278	楕円形	0.90	0.60	0.27	N-15°-E	
第1338	PL.41	8	E	4	X=42016~018	Y=-47349~350	楕円形	1.30	1.05	0.08	N-5°-E	礎石入。
第1338	PL.41	9	E	4	X=42016~018	Y=-47347~348	長円形	1.62	0.77	0.08	N-24°-E	礎石入。
第1338	PL.41	10	E	1~5	X=42022~023	Y=-47340~341	楕円形	0.99	0.80	0.25	N-53°-W	礎石入。
第1338	PL.41	11	E	1~5	X=42025~026	Y=-47338~339	ほぼ円形	0.90	0.85	0.12	N-10°-W	礎石入。
第1338	PL.41	12	E	1~5	X=42019~020	Y=-47345~347	隅丸方形	1.30	1.10	0.24	N-84°-W	
第1338	PL.41	13	E	1~5	X=42019~021	Y=-47347~348	不定形	1.75	1.13	0.25	N-6°-E	
第1338	PL.41	14	E	1~5	X=42015~016	Y=-47341	楕円形	1.00	0.77	0.18	N-19°-E	土器含む。
第1338	PL.41	15	E	1~5	X=42018~019	Y=-47345~346	楕円形	0.73	0.58	0.18	N-47°-W	
第1348	PL.42	16	E	1~5	X=42020~021	Y=-47341~342	不定形	1.48	0.85	0.35	N-80°-E	礎石入。
第1348	PL.42	17	E	1~5	X=42021~022	Y=-47340~341	不定形	0.77	0.69	0.23	N-30°-E	底面に礎。
第1358	PL.42	18	F	1~5	X=42070~071	Y=-47302~303	円形	0.90	0.90	0.06	N-0°	底面に小礎。
第1358	PL.42	19	F	1~5	X=42075~076	Y=-47305~306	不明	1.03	0.53	0.37	N-16°-W	底面に小礎。
第1368	PL.42	20	F	1~5	X=42071~073	Y=-47316~318	楕円形	2.25	0.98	0.34	N-78°-E	礎石多い。
第1368	PL.42	21	F	1~5	X=42070~071	Y=-47319~321	楕円形	1.84	0.95	0.42	N-80°-E	礎石多い。
第1368	PL.42	22	F	1~5	X=42066~068	Y=-47323~325	不定形	2.23	1.50	0.70	N-5°-E	礎石多い。
第1368	PL.42	23	F	1~5	X=42071~074	Y=-47334~335	隅丸方形	2.70	1.00	0.50	N-7°-E	礎石多い。
第1368	PL.42	24	F	1~5	X=42073~075	Y=-47328~330	不定形	2.20	0.95	0.36	N-45°-E	礎石多い。
第1368	PL.42	25	F	1~5	X=42079~081	Y=-47311~314	楕円形	2.88	1.75	0.45	N-62°-W	
第1338	PL.42	26	E	4	X=42025~024	Y=-47327~328	不定形	0.92	0.73	0.10	N-51°-E	礎石入。
第1348	PL.42	27	E	4	X=42024~026	Y=-47324~325	長円形	1.25	0.60	0.08	N-15°-E	礎石多い。
第1238	PL.42	28	C	4	X=41928~929	Y=-47286~288	方形	2.03	0.85	0.15	N-87°-W	土器出土。
第1238	PL.42	29	C	1~5	X=41930~931	Y=-47286~288	隅丸方形	1.88	0.88	0.07	N-88°-W	
第1238	PL.43	30	C	4	X=41934~935	Y=-47287~288	楕円形	1.42	0.96	0.25	N-20°-W	土器含む。
第1238	PL.42	31	C	1~5	X=41929~930	Y=-47287~288	不定形	0.96	0.82	0.07	N-88°-W	
第1238	PL.43	32	C	1~5	X=41930~931	Y=-47299~300	楕円形	1.21	0.97	0.10	N-86°-E	
第1238	PL.43	33	C	4	X=41936	Y=-47302~303	ほぼ円形	0.59	0.57	0.09	N-80°-W	
第1238	PL.43	34	C	4	X=41940~941	Y=-47309~310	隅丸方形	1.13	0.68	0.20	N-3°-W	土器含む。
		35	次番									
第1248	PL.43	36	C	1~5	X=41951~952	Y=-47316~317	ほぼ円形	1.28	1.19	0.35	N-74°-W	礎石入。
第1248	PL.43	37	C	1~5	X=41950~951	Y=-47317~318	楕円形	1.09	0.79	0.16	N-49°-W	
第1248	PL.43	38	C	1~5	X=41948~949	Y=-47319	楕円形	0.84	0.71	0.07	N-66°-W	
第1248	PL.43	39	C	1~5	X=41950~951	Y=-47319~320	楕円形	0.87	0.67	0.05	N-19°-W	
第1248	PL.43	40	C	4	X=41954~955	Y=-47311~312	ほぼ円形	0.84	0.80	0.36	N-34°-W	
第1368	PL.43	41	F	1~5	X=42069~070	Y=-47307~308	ほぼ円形	1.04	0.91	0.25	N-5°-W	底面に礎。
第1248	PL.43	42	C	4	X=41941~942	Y=-47299~300	不定形	1.36	0.54	0.10	N-24°-E	
第1248	PL.43	43	C	1~5	X=41959~961	Y=-47302~303	楕円形	1.70	1.00	0.14	N-17°-W	
第1248	PL.43	44	C	4	X=41959~960	Y=-47303~304	ほぼ円形	0.90	0.85	0.14	N-1°-W	
第1248	PL.43	45	C	1~5	X=41951~952	Y=-47297~298	楕円形	1.21	0.82	0.13	N-8°-W	土器含む。
第1258	PL.43	46	D	4	X=42004~005	Y=-47341~343	楕円形	1.69	1.36	0.41	N-63°-E	
第1258	PL.43	47	D	4	X=42004~005	Y=-47337~339	楕円形	1.47	0.98	0.32	N-74°-E	
第1258	PL.43	48	D	1~5	X=42011~012	Y=-47339~340	ほぼ円形	0.90	0.86	0.72	N-30°-W	礎石入。刀子1出土。
第1258	PL.43	49	D	1~5	X=42011~013	Y=-47339~340	不定形	2.38	0.88	0.30	N-24°-W	
第1268	PL.43	50	D	1~5	X=42012~014	Y=-47351~352	隅丸方形	1.57	0.96	0.44	N-55°-W	
第1268	PL.44	51	D	4	X=42011~012	Y=-47350	楕円形	0.93	0.79	0.17	N-13°-W	
第1268	PL.44	52	D	4	X=42008~009	Y=-47350~351	楕円形	1.05	0.90	0.33	N-40°-E	
第1268	PL.44	53	D	4	X=42008~009	Y=-47348	楕円形	0.66	0.40	0.15	N-18°-E	
第1268	PL.44	54	D	4	X=41994~995	Y=-47344~345	楕円形	1.20	0.78	0.26	N-86°-E	
第1268	PL.44	55	D	4	X=41989~990	Y=-47346~348	隅丸方形	2.14	1.50	0.06	N-86°-E	大礎石入。
第1268	PL.44	56	D	1~5	X=41991~992	Y=-47346~347	不定形	1.20	0.98	0.13	N-37°-E	大礎石入。
第1268	PL.44	57	D	1~5	X=42008~009	Y=-47326~327	楕円形	1.40	0.75	0.10	N-88°-W	礎石入。
第1268	PL.44	58	D	1~5	X=41995~996	Y=-47332~333	楕円形	1.00	0.74	0.08	N-65°-W	礎石入。
		59	次番									
第1268	PL.44	60	D	1~5	X=42001~002	Y=-47328~329	楕円形	1.55	0.90	0.09	N-9°-W	
第1238	PL.44	61	C	1~5	X=41933~934	Y=-47287~288	方形	1.54	0.71	0.02	N-9°-W	
第1238	PL.44	62	C	1~5	X=41936~937	Y=-47288~289	不定形	1.35	0.60	0.03	N-16°-W	
第1268	PL.44-45	63	D	1~5	X=41994~995	Y=-47336~337	楕円形	1.23	0.76	0.33	N-51°-E	大礎石入。
第1278	PL.45	64	D	1~5	X=41999~42000	Y=-47334~335	方形	1.12	0.94	0.06	N-35°-E	礎石入。

第3章 確認された遺構と遺物

探検 第 号	写真図版 凡 号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	主軸方位	備考	
第1268号	PL.44	65	1 D	1~5	X=41972・973	Y=-47291・292	楕円形	1.13	0.89	0.14	N-6°-E	
第1278号	PL.44	66	1 D	4	X=41976・977	Y=-47299・300	楕円形	1.40	1.10	0.20	N-1°-W	土器、焼土、炭化物 粒含む。
第1279号	PL.45	67	1 D	2	X=41978・979	Y=-47304・305	楕円形	1.37	0.77	0.09	N-15°-W	
第1279号	PL.45	68	1 D	2	X=41976・978	Y=-47302・303	楕円方形	1.80	0.89	0.17	N-2°-E	
第1279号	PL.45	69	1 D	2	X=41982・984	Y=-47303・305	方形	1.81	1.13	0.22	N-7°-E	
第1279号	PL.45	70	1 D	2	X=41985・986	Y=-47304・305	ほぼ円形	1.20	1.14	0.25	N-32°-W	
第1279号	PL.45	71	1 D	1~5	X=41985・987	Y=-47299・300	楕円方形	1.43	1.03	0.04	N-2°-E	底面に小ビット。
第1279号	PL.45	72	1 D	4	X=41992	Y=-47301・302	ほぼ円形	0.95	0.83	0.27	N-47°-W	
第1279号	PL.45	73	1 D	1~5	X=41991・992	Y=-47305・306	ほぼ円形	0.78	0.86	0.19	N-86°-E	骨片出土。
第1288号	PL.45	74	1 D	1~5	X=41990・991	Y=-47311・313	楕円方形	1.74	1.06	0.30	N-88°-W	炭化物粒、白色粒子 含む。
第1288号	PL.45	75	1 D	1~5	X=41991・992	Y=-47314・315	楕円方形	0.81	0.55	0.11	N-3°-E	炭化物粒、白色粒子 含む。
第1289号	PL.45	76	1 D	2	X=41983	Y=-47294	ほぼ円形	0.77	0.67	0.16	N-48°-W	
第1389号	PL.50	77	2 B	2	X=41902・903	Y=-47244	方形	0.75	0.50	0.10	N-4°-W	
第1289号	PL.45-46	78	1 D	1~5	X=41991・992	Y=-47340・341	楕円形	1.25	0.88	0.30	N-39°-W	土器含む。二段底状。
第1289号	PL.45	79	1 D	1~5	X=41991・996	Y=-47336・337	楕円形	1.33	1.10	0.21	N-11°-W	
第1279号	PL.45	80	1 D	1~5	X=41999	Y=-47333・335	楕円形	1.36	0.83	0.13	N-87°-W	
第1289号	PL.46	81	1 D	2	X=41998	Y=-47335・337	楕円方形	1.34	0.43	0.22	N-88°-W	
第1289号	PL.46	82	1 D	1~5	X=41984	Y=-47315・316	楕円形	0.83	0.71	0.19	N-34°-E	
第1289号	PL.45-46	83	1 D	1~5	X=41992	Y=-47337・338	楕円形	1.09	0.69	0.11	N-85°-W	
第1289号	PL.45	84	1 D	1~5	X=41990・991	Y=-47338・339	楕円方形	1.13	0.87	0.22	N-52°-E	
第1389号	PL.50	85	2 B	2	X=41899・900	Y=-47235・236	円形	1.03	1.02	0.40	N-85°-W	
第1389号	PL.50	86	2 B	2	X=41899・900	Y=-47213・214	円形	0.51	0.51	0.23	N-0°	
第1389号	PL.51	87	2 B	2	X=41897・898	Y=-47230・231	ほぼ円形	0.51	0.47	0.30	N-41°-E	
第1389号	PL.51	88	2 B	2	X=41896	Y=-47238・239	ほぼ円形	0.58	0.55	0.34	N-73°-W	下位に礫。
第1389号	PL.50	89	2 B	2	X=41891	Y=-47236	ほぼ円形	0.52	0.47	0.09	N-6°-W	確認面に礫。
第1389号	PL.51	90	2 B	2	X=41899・900	Y=-47223・224	ほぼ円形	0.78	0.72	0.35	N-51°-E	二段底状。
第1389号	PL.51	91	2 B	2	X=41897・898	Y=-47220・221	ほぼ円形	0.90	0.85	0.43	N-84°-W	
第1399号	PL.51	92	2 B	2	X=41891・892	Y=-47250	楕円形	1.10	0.89	0.06	N-41°-E	
第1399号	PL.51	93	2 B	2	X=41889・890	Y=-47252	円形	0.52	0.52	0.12	N-0°	
第1399号	PL.52	94	2 B	2	X=41885	Y=-47252・253	楕円形	0.69	0.57	0.40	N-82°-E	
第1399号	PL.51	95	2 B	2	X=41885・886	Y=-47244・245	楕円形	1.08	0.97	0.35	N-17°-E	
第1289号	PL.46	96	1 D	2	X=41984・986	Y=-47339・340	ほぼ円形	1.33	1.25	0.25	N-85°-E	土器か。
第1289号	PL.46	97	1 D	4	X=41984・985	Y=-47341・342	ほぼ円形	0.96	0.86	0.16	N-84°-E	底面に礫多い。
第1289号	PL.46	98	1 D	4	X=41984・985	Y=-47343・344	ほぼ円形	0.79	0.73	0.28	N-61°-W	
第1289号	PL.46	99	1 D	1~5	X=41984・985	Y=-47352	楕円形	0.93	0.73	0.11	N-11°-W	
第1289号	PL.46	100	1 D	4	X=41978・979	Y=-47354	不定形	1.10	0.70	0.05	N-27°-E	石か。
第1299号	PL.46	101	1 D	4	X=41970	Y=-47292・293	楕円形	0.95	0.70	0.10	N-78°-E	焼土、炭化物粒を含 む。
第1399号	PL.52	102	2 B	2	X=41886・888	Y=-47248・249	方形	1.18	0.48	0.32・ 0.16		
第1299号	PL.46	103	1 D	2	X=41995・997	Y=-47327・328	楕円方形	1.87	0.96	0.32	N-16°-W	礫。22往と重複。
第1299号	PL.47	104	1 D	2	X=41984・986	Y=-47337・339	不定形	1.72	1.14	0.26	N-49°-W	底面にビット2。
第1299号	PL.47	105	1 D	1~5	X=41986・987	Y=-47331・332	不定形	1.08	0.71	0.22	N-82°-E	
第1299号	PL.47	106	1 D	1~5	X=41984・986	Y=-47330・331	楕円方形	2.08	0.79	0.20	N-14°-E	大礫。140土と重複。
第1299号	PL.47	107	1 D	1~5	X=41984・985	Y=-47328・329	楕円形	1.18	0.82	0.13	N-52°-E	土器。
第1299号	PL.47	108	1 D	1~5	X=41983	Y=-47327	ほぼ円形	0.70	0.66	0.10	N-7°-E	土器。
第1299号	PL.47	109	1 D	1~5	X=41982・983	Y=-47326・327	ほぼ円形	0.83	0.78	0.34	N-18°-W	底面に大礫1点。
第1279号	PL.45	110	1 D	1~5	X=42000・001	Y=-47333・334	ほぼ円形	0.95	0.89	0.11	N-24°-E	礫(全無)。
第1349号	PL.47	111	1 E	2	X=42016・018	Y=-47326・328	楕円方形	1.03	1.28	0.13	N-17°-E	礫多い。
第1309号	PL.47	112	1 D	4	X=41986・987	Y=-47332・334	楕円形	1.11	0.80	0.16	N-67°-W	
第1299号	PL.47-48	113	1 D	1~5	X=41985・986	Y=-47336・337	楕円形	1.20	0.88	0.17	N-3°-E	土器か。
第1309号	PL.47	114	1 D	1~5	X=41984・985	Y=-47335・336	ほぼ円形	0.96	0.90	0.31	N-30°-W	追虫器機1が出土。
第1309号	PL.47	115	1 D	1~5	X=41994・995	Y=-47334・335	楕円形	0.55	0.67	0.10	N-57°-E	
第1399号	PL.52	116	2 B	2	X=41892・895	Y=-47243・245	不定形	3.98	1.88	0.35	N-16°-W	大礫多量。21溝と重 複。
第1399号	PL.52	117	2 B	2	X=41893・896	Y=-47240・241	不定形	3.92	0.90	0.25	N-4°-W	大礫多量。
第1309号	PL.47	118	1 D	1~5	X=41987	Y=-47306・307	楕円方形	0.57	0.80	0.09	N-5°-E	底面に大礫。
第1309号	PL.48	119	1 D	2	X=41975・976	Y=-47308・309	楕円形	0.82	0.71	0.73	N-79°-E	深い、断面圓筒。井 戸か。
第1309号	PL.48	120	1 D	1~5	X=41985・986	Y=-47302・303	円形	0.72	0.72	0.45	N-0°	底面に大礫多い。井 戸か。
第1399号	PL.52	121	2 B	2	X=41897・899	Y=-47239・240	不定形	1.73	1.37	0.15	N-3°-E	確認面に礫。
第1309号	PL.47	122	1 D	1~5	X=41959・960	Y=-47328・329	楕円形	0.97	0.83	0.33	N-7°-W	礫多い。

## 第1節 古墳時代以降の遺構と遺物

種別 第 号	写真図版 号	区	面	X=41・42…	Y=-47…	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	主軸方位	備考	
第1308E	PL.48 123	I	D	4	X=41972・973	Y=-47333~335	方形	1.70	0.78	0.10	N-80°-E	
第1308E	PL.48 124	I	D	1~5	X=41981・982	Y=-47333・334	円形	0.93	0.93	0.29	N-0°	
第1308E	PL.48 125	I	D	2	X=41979・980	Y=-47332・333	楕円形	1.14	0.80	0.12	N-76°-W	須恵器焼か。
第1299E	PL.48 126	I	D	1~5	X=41985・986	Y=-47336・337	ほぼ円形	1.22	1.09	0.22	N-3°-E	
第1311E	PL.48 127	I	D	2	X=41981・982	Y=-47332・333	楕円形	1.17	0.95	0.23	N-14°-W	
第1311E	PL.48 128	I	D	1~5	X=41982・983	Y=-47332・333	不定形	1.42	0.97	0.11	N-7°-W	
第1311E	PL.48 129	I	D	2	X=41966・967	Y=-47313・314	円形	0.87	0.87	0.45	N-0°	須恵器焼か。
第1311E	PL.48 130	I	D	4	X=41967・968	Y=-47324・325	楕円形	0.84	0.73	0.18	N-26°-W	土師器杯か。
第1311E	PL.49 131	I	D	4	X=41975~977	Y=-47340・341	楕円形	1.44	1.04	0.11	N-50°-W	土器。
第1311E	PL.48 132	I	D	1~5	X=42000・001	Y=-47328・329	楕円形	1.15	1.02	0.24	N-18°-W	器多い。
第1308E	PL.49 133	I	D	1~5	X=41986・987	Y=-47305・306	隅丸方形	1.05	1.13	0.25	N-10°-W	上位に礫1点。
第1277E	PL.49 134	I	D	1~5	X=41991・992	Y=-47306・307	ほぼ円形	1.10	1.04	0.27	N-40°-W	
第1311E	PL.45 135	I	D	2	X=41977~979	Y=-47302・303	隅丸方形	1.68	1.00	0.35	N-29°-W	遺物出土。
第1299E	PL.49 136	I	D	1~5	X=41983・985	Y=-47328・329	楕円形	1.16	0.90	0.34	N-6°-E	土師器鬚1が出土。
第1311E	PL.49 137	I	D	1~5	X=41980・981	Y=-47327・328	楕円形	1.04	0.88	0.25	N-48°-E	
第1311E	PL.49 138	I	D	1~5	X=41981~983	Y=-47328・329	楕円形	1.28	1.17	0.40	N-6°-E	上位に土器、表面に礫。
第1328E	PL.49 139	I	D	1~5	X=41984	Y=-47327・328	不定形	1.10	0.43	0.17	—	4溝と重複。
第1299E	PL.49 140	I	D	1~5	X=41985・986	Y=-47330・331	楕円形	0.96	0.81	0.23	N-2°-W	
第1328E	PL.49 141	I	D	2	X=41982・983	Y=-47329・330	楕円形	1.32	1.13	0.27	N-32°-E	上位に土器2点。
第1328E	PL.49 142	I	D	2	X=41988・989	Y=-47313~316	方形	2.65	0.99	0.40	N-84°-E	
第1277E	PL.49 143	I	D	4	X=41975~977	Y=-47298~300	不定形	1.75	1.07	0.19	N-57°-E	底面にビット2。
第1328E	PL.49 144	I	D	4	X=41992	Y=-47333・334	楕円形	0.77	0.64	0.10	N-13°-W	上位に石1点。
第1328E	PL.50 145	I	D	2	X=41973・974	Y=-47309・310	楕円形	1.18	1.00	0.88	N-88°-W	坪戸か。
第1328E	PL.49 146	I	D	1~5	X=41974	Y=-47312	不定形	0.50	0.43	0.51	—	断面図無。
第1328E	PL.50 147	I	D	1~5	X=41992・993	Y=-47330・331	楕円形	0.79	0.66	0.12	N-89°-E	礫4点。
第1328E	PL.50 148	I	D	4	X=41988・989	Y=-47339・340	楕円形	0.80	0.50	0.16	N-21°-E	
第1348E	PL.50 149	I	E	1~5	X=42025・026	Y=-47331・332	楕円形	1.10	0.85	0.21	N-28°-E	土器、器多い。
第1328E	PL.50 150	I	D	1~5	X=41986・987	Y=-47324	楕円形	0.84	0.38	0.18	N-15°-E	
第1409E	151	F	3	X=42001~003	Y=-47255・256	不定形	1.40	1.15	0.17	N-44°-W	下位に礫。	
第1418E	152	G	3	X=42013~015	Y=-47250・251	長円形	2.63	0.91	0.08	N-17°-W		
第1409E	153	F	3	X=42004・005	Y=-47272・273	楕円形	1.19	0.96	0.13	N-83°-E		
第1418E	154	G	3	X=42008・009	Y=-47265	楕円形	0.95	0.80	0.13	N-28°-W		
第1428E	155	H	3	X=42023・024	Y=-47246・247	方形	1.45	0.59	0.05	N-28°-E		
第1409E	156	F	3	X=42005・006	Y=-47236~238	方形	2.44	1.40	0.07	N-80°-E		
第1328E	PL.50 157	I	D	1~5	X=41991・992	Y=-47333~335	楕円形	1.19	0.81	0.15	N-79°-E	表面に礫。
第1418E	158	G	3	X=42018	Y=-47265・266	方形	0.70	0.59	0.13	N-4°-E		
第1418E	159	G	3	X=42019・020	Y=-47256	円形	0.91	0.89	0.14	N-6°-E		
第1448E	PL.52 160	B	4	X=41882	Y=-47237・238	ほぼ円形	0.96	0.87	0.32	N-65°-E	腹上に多量の礫。	
第1469E	PL.52 161	D	4	X=41947	Y=-47255・256	楕円形	0.95	0.70	0.07	N-39°-W		
第1499E	PL.53 162	H	4	X=42033・034	Y=-47252	楕円形	0.81	0.47	0.04	N-31°E	腹上に礫。	
第1478E	PL.53 163	E	4	X=41966・967	Y=-47260・261	方形	1.37	1.13	0.22・0.11	N-76°-W	底面に焼土。	
第1478E	PL.53 164	E	4	X=41951・952	Y=-47259・260	不定形	1.05	0.58	0.18	N-13°-E	415Pと重複。	
第1378E	PL.53 165	I	2	X=42101	Y=-47244・245	円形	0.73	0.72	0.27	N-37°-E		
第1378E	PL.53 166	I	2	X=42068・069	Y=-47275・276	不定形	0.61	0.53	0.12	N-53°-E		
第1488E	PL.53 167	F	4	X=41985・986	Y=-47244・245	ほぼ円形	0.77	0.67	0.15	N-16°-W		
第1438E	PL.54 168	I	3	X=42076・077	Y=-47275・276	ほぼ円形	1.20	1.14	0.19	N-44°-E	底面一部に硯。	
第1438E	PL.54 169	I	3	X=42082	Y=-47251	ほぼ円形	0.60	0.55	0.13	N-32°-E		
第1438E	PL.54 170	I	3	X=42072・073	Y=-47273・274	円形	0.95	0.95	0.26	N-0°		
第1518E	PL.55 171	E	1	X=41997・998	Y=-47203・204	ほぼ円形	1.11	1.05	0.33	N-21°-E		
第1508E	PL.54 172	I	4	X=42063・064	Y=-47256・257	不定形	1.30	1.05	0.12	N-20°-E		
第1508E	PL.54-73 173	I	4	X=42085・086	Y=-47271	ほぼ円形	0.88	0.78	0.24	N-44°-E		
第1508E	PL.54-55 174	I	4	X=42054・055	Y=-47253・254	楕円形	0.85	0.72	0.10	N-76°-E		
第1508E	PL.54-55 175	I	4	X=42055・056	Y=-47251	楕円形	0.95	0.75	0.20	N-47°-W		
第1508E	PL.54-55 176	I	4	X=42057・058	Y=-47251・252	楕円形	0.85	0.70	0.20	N-51°-E		
第1508E	PL.55 177	I	4	X=42058・059	Y=-47250	不定形	0.65	0.54	0.15・0.07	N-54°-E	2段段状。	
第1508E	PL.55 178	I	4	X=42076・077	Y=-47250・251	楕円形	1.03	0.68	0.11	N-3°-E	底面に焼土。	
第1458E	PL.55 179	C	4	X=41907	Y=-47255・256	不定形	0.72	0.63	0.14	N-20°-E	底面に焼土。	
第1468E	PL.55 180	D	4	X=41931~933	Y=-47257・258	楕円形	1.44	1.25	0.07	N-53°-E	底面に焼土。	

## 8 井戸

調査時においては、2区から3基の井戸が確認された。整理作業の進捗の中で、土坑の検討を行った結果、4基の土坑について井戸である可能性が高いことが判明した。ここでは、調査時に判断したものを中心に報告するものとし、土坑で処理されたものについては、土坑として詳細報告しているので簡略化して以下に報告したい。

- ① 2号土坑 1区A 1～5面
- ② 119号土坑 1区D 2面
- ③ 120号土坑 1区D 1～5面
- ④ 145号土坑 1区D 2面

2区1面

### 1号井戸(第152図、PL.56)

**位置** 2区B1面、X=41888～890、Y=-47253～255。

**重複** 重複はないが、北側に6号溝が東西に走行する。

**平面形状** 楕円形。西側が2段に掘り込まれる。

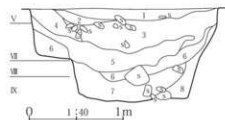
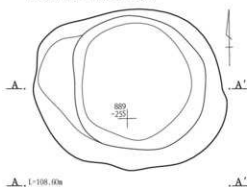
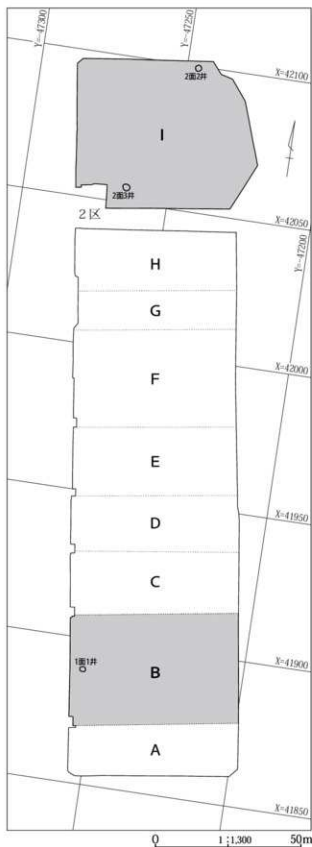
**長軸方位** N-90°-E。

**規模** 長軸2.0m、短軸1.7m、深さ0.95m。

**埋没土層** 黄・暗・黒褐色土主体。8層が観察された。どの層位からも大小の礫が比較的に多く混入している。

**遺物** 出土遺物はない。

**所見** 出土遺物が無く、火山噴出物等の堆積も明瞭でなく、詳細は不明。1面検出であることから、中・近世以降の所産と考えられる。



- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり、Br-F輝石、ロームブロックを含む。10cm程の礫混入。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。白色粒、ロームブロックを含む。10cm程の礫混入。
- 3 黄褐色土(10YR5/6) しまりあり。粘質土、白色粒を含む。10cm程の礫多く混入。ロームブロック主体。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。白色粒を含む。
- 5 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。ロームブロック主体。礫に混入。
- 6 褐色土(10YR4/6) 軟質。粘質土。ロームブロックを含む。25cm程の礫混入。
- 7 褐色土(10YR4/4) 軟質。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。10cm程の礫多く混入。
- 8 明黄暗褐色土(10YR6/6) 粘質土。礫の崩落上。ロームと褐色土がラミナ状に堆積。下位に10cm程の礫。

第152図 2区井戸位置図とB1面井戸

## 2区2面

## 2号井戸(第153図、PL.56)

位置 2区12面、X=42098~100、Y=-47245~247。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

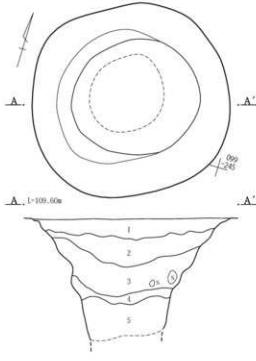
長軸方位 N-55°-E。

規模 長軸2.13m、短軸1.98m、深さ1.3m以上。湧水のため、底面調査に至らず。

埋没土層 暗褐色土主体。5層が観察された。1層にAs-B軽石を少量含み、3層で礫を確認した。

遺物 出土遺物はない。

所見 出土遺物から時期的判断ができないが、最上層にAs-B軽石が含まれ、2面検出ということから、As-B軽石降下時にはほぼ埋没していたものと判断される。



- 1 暗褐色土(10FR3/4) しまりあり。As-B軽石を7%、黒色粘土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土(10FR3/4) しまりあり。やや粘質土。黒色粘質ブロックを含む。
- 3 暗褐色土(10FR3/3) しまりあり。粘質土。黒色粘土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土(10FR3/4) ややしまりあり。砂、褐色粘土ブロックを含む。
- 5 暗褐色土(10FR3/4) 粘土層。

## 3号井戸(第153図、PL.56)

位置 2区12面、X=42054~056、Y=-47263~265。

重複 なし。

平面形状 楕円形。

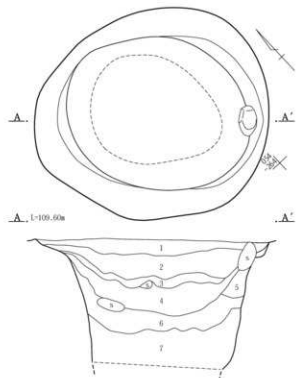
長軸方位 N-50°-W。

規模 長軸2.42m、短軸2.32m、深さ1.3m以上。湧水のため、底面調査に至らず。

埋没土層 暗褐色土主体。7層が観察された。1層にAs-B軽石を多く含み、3・4・6層に礫を含む。

遺物 出土遺物はない。

所見 出土遺物からの判断ができないが、最上層にAs-B軽石が多く含まれ、2面検出ということから、As-B軽石降下時にはほぼ埋没していたものと判断される。



- 1 褐色土 しまりあり。粘質土。As-B軽石を多く、ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。As-B軽石を少量含む。
- 3 暗褐色土 軟質。非常に粘質土。
- 4 暗褐色土 軟質。非常に粘質土。礫を多量に含む。
- 5 暗褐色土 軟質。非常に粘質土。
- 6 灰褐色土 軟質。非常に粘質土。
- 7 黒褐色土 軟質。非常に粘質土。

0 1:40 1m

第153図 2区12面井戸

第8表 井戸計測一覧表

井戸 番号	写真図版 PL.	区	面	X=41...、42	Y=-47...	形状	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	主軸方位	備考	
第152図	PL.56	1	2	1	X=41888~890 Y=-47253~255	楕円形	2.12	1.71	0.98	N-74°-W		
第153図	PL.56	2	2	1	2	X=42098~100 Y=-47245~247	ほぼ円形	2.10	1.99	(1.27)	N-63°-E	3層に礫多い。
第153図	PL.56	3	2	1	2	X=42054~056 Y=-47263~265	楕円形	2.48	2.19	(1.35)	N-50°-W	4層に礫多い、壁に礫。